

令和6年度
市民意識調査報告書



船 橋 市

は じ め に



昭和12年に人口4万3千人ほどで歩み始めた船橋市は、現在では約65万人を擁し、市民の皆様が文化、スポーツ、福祉、環境、教育など、さまざまな分野で輝きを放つ活力あふれる大都市へと発展しました。

また、船橋市は、東京湾に面して恵み豊かな干潟である三番瀬、内陸部には工業地、商業地、住宅地、農地が広がり、バランスのとれた産業と、発達した交通網により、全国有数の都市としてのポテンシャルを持っています。

この全国に誇れるすばらしい市民力と都市力を活かし、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるまち、快適で豊かに暮らせる人と環境にやさしいまちを目指して、さまざまな施策に全力で取り組んでいるところです。

船橋市市民意識調査は、皆様の意見を市政運営に役立てるため、昭和47年度から毎年実施しております。

令和6年1月に発生した能登半島地震は、被災地に甚大な被害をもたらしました。本市としても、国・県と連携を図りながら、珠洲市への職員派遣、輪島市や能登町への医療センターのDMAT派遣のほか、被災者の一時的な住まいとして市営住宅を無償提供するなど被災地の支援に取り組んでまいりました。こうした中、令和6年度は「災害への備え」等をテーマとして調査を行いました。

今回の調査結果は、今後の市政運営における貴重な基礎資料として活用してまいります。

結びに、調査にご協力いただいた多くの市民の皆様に心より御礼申し上げます。

船橋市長 松戸 徹

市章・市の花・市の木



市章（昭和12年制定）
「舟」の文字を図案化したもので、船橋発展のシンボルです。



市の木 サザンカ

若潮国体（昭和48年に千葉県で開催）の記念事業として、昭和45年に市民の皆さんに選んでいただきました。

市の花 「第24回全国都市緑化ふなばしフェア（平成19年）」の開催を記念して制定しました。



ヒマワリ

太陽に向かって咲き、力強く、将来の船橋市の子どもたちに勇気と希望を与える花



カザグルマ

船橋市に自生している貴重種であり、市のシンボルとして、大切に保護していくべき花

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査内容	3
4. 配布・回収結果	3
5. 居住地区区分	4
6. 報告書の見方	5
II. 調査回答者の属性	7
1. 性別	9
2. 年齢	9
3. 職業	10
4. 世帯状況	10
5. 居住年数	11
6. 居住地区	11
7. 以前の居住地	12
III. 調査結果の分析	13
1. 「住みごち」について	15
（1）船橋市への愛着	15
（2）船橋市への定住意向	18
（3）船橋市の住みごち	21
（3－1）船橋市が住みよい理由	24
（3－2）船橋市が住みよくない理由	28
（4）「住みごち」概観	32
2. 「広報活動」について	33
（1）情報を入手するためによく利用するもの	33
（1－1）よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ	35
（2）市の事業やイベント情報などの入手方法	37
（3）広報紙やホームページで知りたい情報	39
（4）「広報ふなばし」の閲読状況	41
（4－1）「広報ふなばし」の入手方法	43
（4－2）「広報ふなばし」の発行回数	45
（4－3）「広報ふなばし」の読みやすさ	47
（4－4）「広報ふなばし」を読まない理由	49
（4－5）「広報ふなばし」が読みにくい理由	51

(5) 「広報活動」概観.....	52
3. 「生涯学習」について.....	53
(1) 生涯学習の認知度.....	53
(2) 講演会・学習会・催し物の参加状況.....	55
(3) 継続した学び・活動をしているか.....	57
(4) 学びの成果を活かしたいか.....	59
(5) 新たに学習したいこと.....	61
(6) 「生涯学習」概観.....	63
4. 「公園」と「緑」について.....	65
(1) 船橋市緑の基本計画の認知度.....	65
(2) 目に映りふれあうことのできる緑の量.....	67
(3) 近隣の緑に関する状況.....	70
(4) 緑の量の変化.....	72
(5) 近隣の公園の満足度.....	75
(5-1) 満足、不満の具体的な理由.....	77
(6) 公園の利用目的・利用頻度・滞在時間・役割等.....	79
(6-1) 遊びや体を動かす場.....	86
(6-2) 良好な景観の形成.....	87
(6-3) 自然を感じる場.....	88
(6-4) 地域社会の交流拠点.....	89
(6-5) コミュニティ活動の場.....	90
(6-6) 防災・減災機能.....	91
(6-7) 地球温暖化の防止.....	92
(6-8) 生き物生息環境の保全.....	93
(6-9) 地域の資産価値の向上.....	94
(7) 緑の活動の認知度.....	96
(8) 緑豊かなまちづくりのために取り組んでみたいこと.....	98
(9) 必要な市の支援.....	100
(10) シンボルや今後残したい場所.....	102
(11) 重点的に保全または増やしていくところ.....	109
(12) 『公園』と『緑』について」概観.....	111
5. 「災害への備え」について.....	112
(1) 日頃の災害への備え.....	112
(2) 備えの具体例.....	114
(3) 具体的な備蓄品.....	117
(4) 備蓄品別の備えている期間.....	120
(4-1) 飲料水.....	121
(4-2) 食料品.....	122

(4-3) 常備薬.....	123
(4-4) 処方薬.....	124
(4-5) 簡易・携帯トイレ	125
(5) 備えていない理由.....	126
(6) 備蓄していない理由	128
(7) 家具の転倒防止	130
(7-1) 家具の転倒防止をしていない理由	132
(8) 感震ブレーカーの設置.....	134
(9) 平常時の防災行政無線の聞こえ方	136
(10) 災害時の防災行政無線の聞こえ方	138
(11) 情報入手のために利用する媒体	140
(12) 防災情報を入手するために利用しているホームページ、メール、SNS等	142
(13) デジタル版ハザードマップの利用状況.....	144
(14) 「災害への備え」概観	146
6. 「市の施策」について.....	147
(1) ここ数年でよくなった市の施策	147
(2) 力を入れるべき市の施策	151
(3) 「市の施策について」概観.....	155
7. 自由意見.....	157
(1) 自由意見のまとめ.....	157
(2) 自由意見の抜粋	158
IV. 調査票.....	171

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、愛着心や定住意識、住み良さ、市政の各分野における市民ニーズの基本動向を把握分析するとともに、これまで実施してきた市民意識調査結果との時系列分析等を行うことにより、今後の施策展開に資することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：船橋市全域
- (2) 調査対象：船橋市在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標 本 数：3,000 人
- (4) 標本抽出：住民基本台帳から性別、年齢、地域などを考慮して無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送配布－郵送回収
(※ 調査期間中に督促を兼ねた「礼状はがき」を 1 回送付)
- (6) 調査期間：令和 6 年 9 月 6 日（金）～9 月 30 日（月）
- (7) 調査機関：株式会社総合企画

3. 調査内容

- (1) 「住みごころ」について
- (2) 「広報活動」について
- (3) 「生涯学習」について
- (4) 「公園」と「緑」について
- (5) 「災害への備え」について
- (6) 「市の施策」について

4. 配布・回収結果

- (1) 標 本 数：3,000
- (2) 回 収 数：1,321
- (3) 有効回収率：44.0%

年度	有効回収率
令和 2 年度	56.6%
令和 3 年度	49.5%
令和 4 年度	45.4%
令和 5 年度	46.9%
令和 6 年度	44.0%

5. 居住地区区分

本調査での船橋市内の地区区分（行政ブロック）は、下表・下図の通りである。

◆居住地区内町名

地 区	該 当 町 名
南部地区	宮本、市場、東船橋、東町、駿河台、本町、湊町、浜町、若松、日の出、西浦、栄町、潮見町、高瀬町、南本町、海神、海神町、海神町東、海神町西、海神町南、南海神
西部地区	山野町、印内町、葛飾町、本郷町、古作町、古作、西船、印内、東中山、二子町、本中山、旭町、行田町、行田、山手、北本町、前貝塚町、丸山、上山町、馬込西、馬込町、藤原
中部地区	夏見、夏見町、夏見台、米ヶ崎町、高根町、金杉町、金杉、金杉台、緑台、高根台、芝山、新高根
東部地区	前原東、前原西、中野木、二宮、飯山満町、滝台町、滝台、薬円台、薬園台町、七林町、三山、田喜野井、習志野、習志野台、西習志野
北部地区	二和東、二和西、三咲町、三咲、南三咲、八木が谷町、咲が丘、みやぎ台、八木が谷、高野台、松が丘、大穴町、大穴南、大穴北、小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町、坪井東、坪井西、坪井町

◆居住地区区分図（行政ブロック）



6. 報告書の見方

(1) 結果の表示方法

本報告書を見るにあたって、留意すべきこととして以下の事項があげられる。

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率の合計が100%にならないことがある。
- ②基数となるべき実数はnとして掲載した。各比率はnを100%として算出した。
- ③複数回答の質問では、すべての選択肢の比率の合計は通常100%を超える。
- ④誤差を考慮し、nが小さい場合(10未満)は、基本的に検討の対象としない。
- ⑤図中にある「その他」の比率は、選択肢として「その他」を選んだ回答者数の比率であり、表にある「その他」の内訳は具体的な内容についての件数である。選択肢「その他」を選んでも内容の記入がないものや、1人の回答者が複数の内容を記入しているものがあるため、「その他」の比率と「その他」の内訳件数は一致しない。
- ⑥分析の都合上、複数の回答選択肢を1つにまとめる加工をしている場合がある。1つにまとめた際にそれぞれの比率の合計と異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。

【「Ⅱ. 調査回答者の属性」の「2. 年齢」(9ページ)を参照】

「50～59歳」と「60～69歳」と「70歳以上」を『50歳以上』として1つにまとめた場合、「50～69歳」(21.7%)と「60～69歳」(15.4%)と「70歳以上」(18.7%)の構成比を合わせると55.8%となる。しかし、「50～59歳」(286人)と「60～69歳」(203人)と「70歳以上」(247人)の基数を合わせた736人を、全体の1,321人で割った構成比は55.7%となり、0.1%の差異が生じる。

(2) 標本誤差

標本誤差は、次式により得られる。ただし、信頼度は一般的に用いられる 95%とする。

(注)「信頼度 95%」とは、100 回同じ調査を実施したときに、おおむね 95 回はこの精度が得られることを示す。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b = 標本誤差

N = 母集団数 (船橋市全体・人)

n = サンプル数 (人) …本報告書ではこれを n (比率算出の基数) で示す。

P = 回答比率

また、N は n より十分大きいので、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ とみなしている。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

◆ 今回の調査結果の標本誤差 (信頼度 95%)

回答比率(P) n (人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,321	±1.62%	±2.16%	±2.47%	±2.64%	±2.70%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
758	±2.14%	±2.85%	±3.26%	±3.49%	±3.56%
505	±2.62%	±3.49%	±4.00%	±4.27%	±4.36%
300	±3.39%	±4.53%	±5.19%	±5.54%	±5.66%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%

(表の見方) 例えば、ある設問の回答者数が 1,321 人であり、その設問中にある選択肢の回答比率が 50%であった場合、「回答比率の誤差の範囲は±2.70%以内 (47.30%~52.70%)」である。ただし信頼度が 95%であるので、誤差の範囲が±2.70%以内となる確率は 95%である。」と見ることができる。

(3) 時系列比較の出典について

時系列比較の出典は、過年度に実施した市民意識調査の結果によるものである。

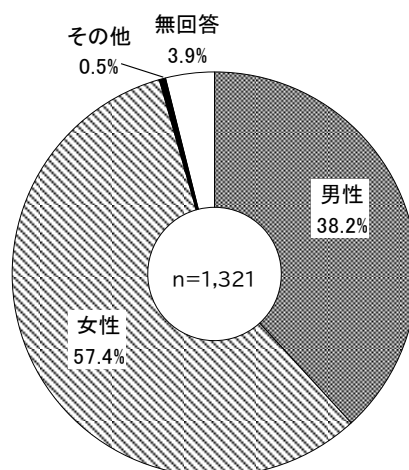
Ⅱ．調査回答者の属性

Ⅱ. 調査回答者の属性

1. 性別

回答者の性別は、女性（758 人・57.4％）の割合が、男性（505 人・38.2％）より高くなっている。

	基数	構成比 (%)	配布数
1. 男性	505	38.2	1,521
2. 女性	758	57.4	1,479
3. その他	6	0.5	
(無回答)	52	3.9	
合 計	1,321	100.0	3,000



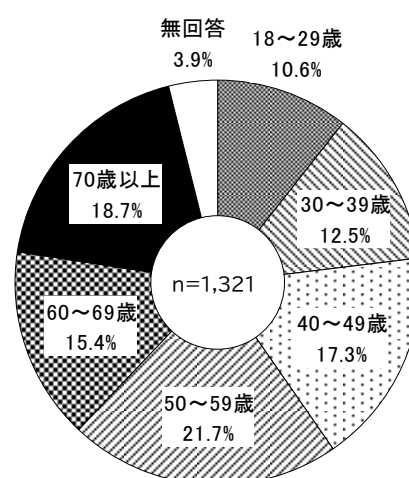
図Ⅱ－1 性別

2. 年齢

回答者の年齢は、50～59 歳（286 人・21.7％）の割合が最も高く、次いで 70 歳以上（247 人・18.7％）が 2 割弱となっている。

最低は 18～29 歳（140 人・10.6％）となっている。

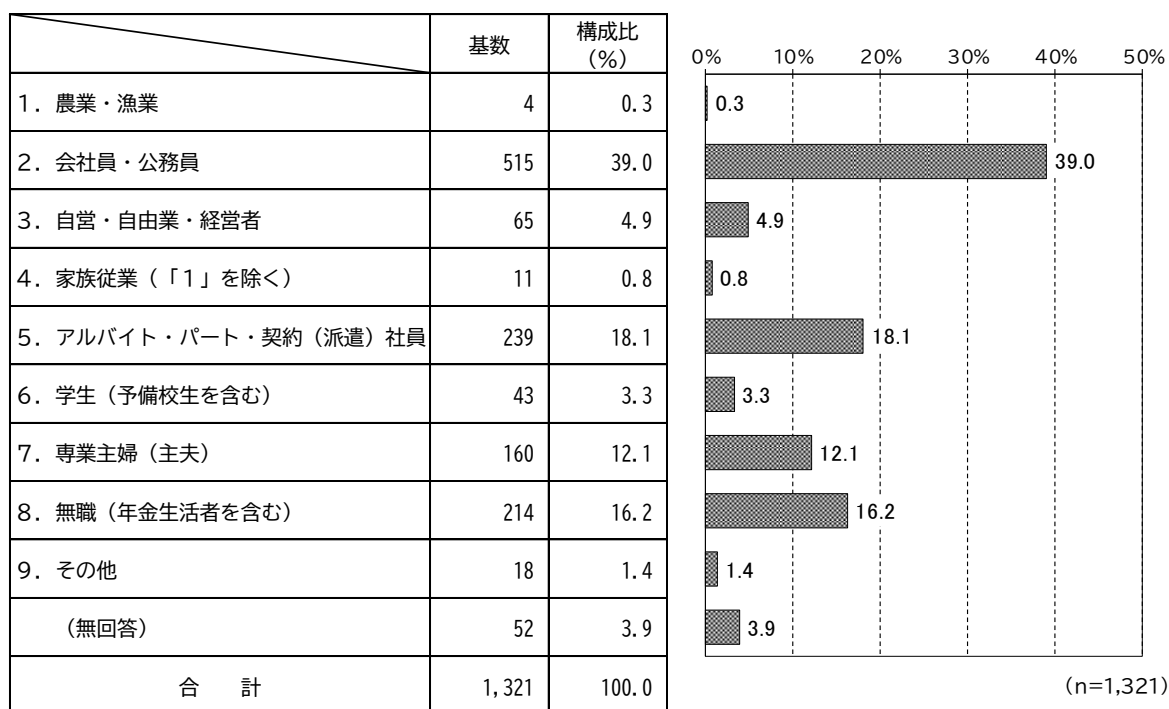
	基数	構成比 (%)
1. 18～29歳	140	10.6
2. 30～39歳	165	12.5
3. 40～49歳	229	17.3
4. 50～59歳	286	21.7
5. 60～69歳	203	15.4
6. 70歳以上	247	18.7
(無回答)	51	3.9
合 計	1,321	100.0



図Ⅱ－2 年齢

3. 職業

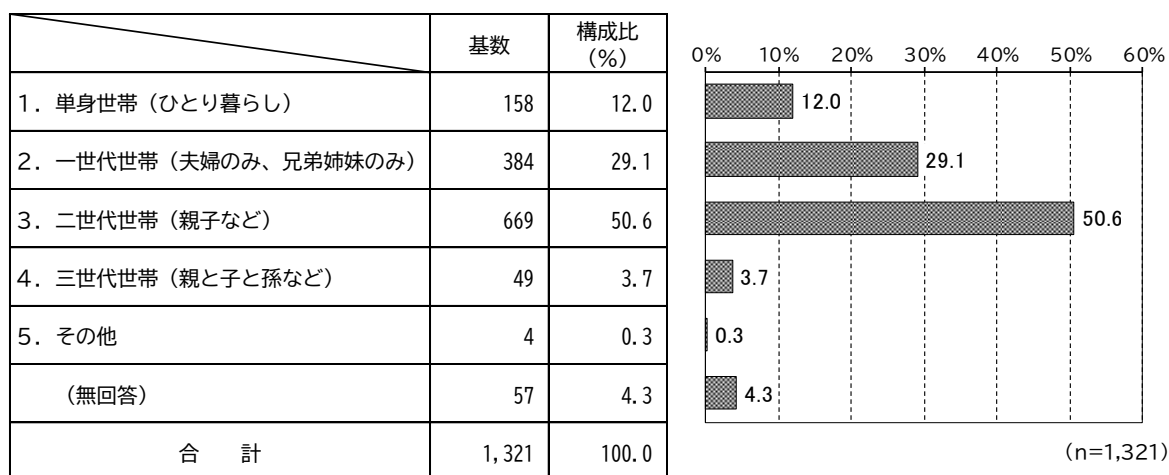
回答者の職業は、会社員・公務員（515 人・39.0%）の割合が最も高く、4 割弱となっている。次いで、アルバイト・パート・契約（派遣）社員（239 人・18.1%）、無職（年金生活者を含む）（214 人・16.2%）、専業主婦（主夫）（160 人・12.1%）と続いている。



図Ⅱ－3 職業

4. 世帯状況

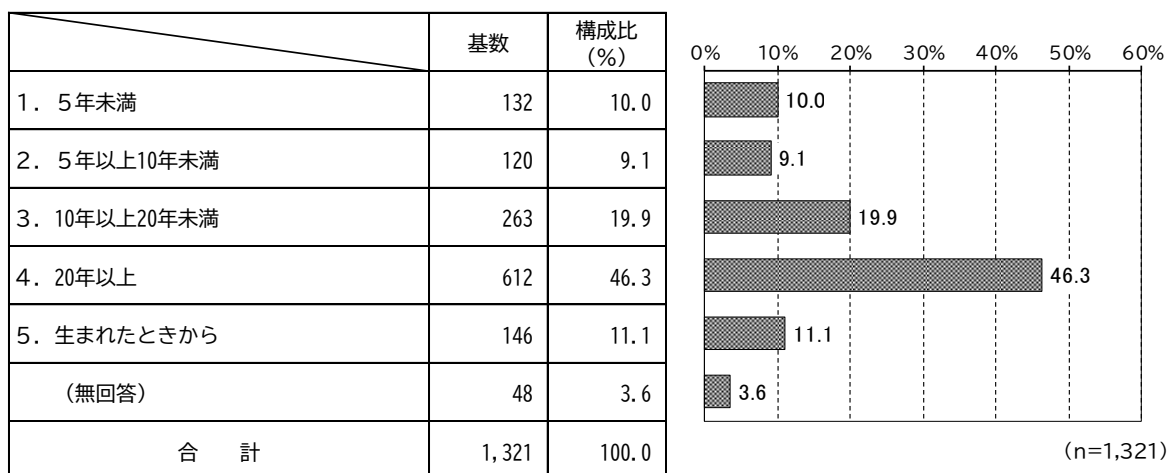
回答者の世帯状況は、二世帯世帯（親子など）（669 人・50.6%）の割合が最も高く、5 割を超えている。次いで、一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）（384 人・29.1%）、単身世帯（ひとり暮らし）（158 人・12.0%）と続いている。



図Ⅱ－4 世帯状況

5. 居住年数

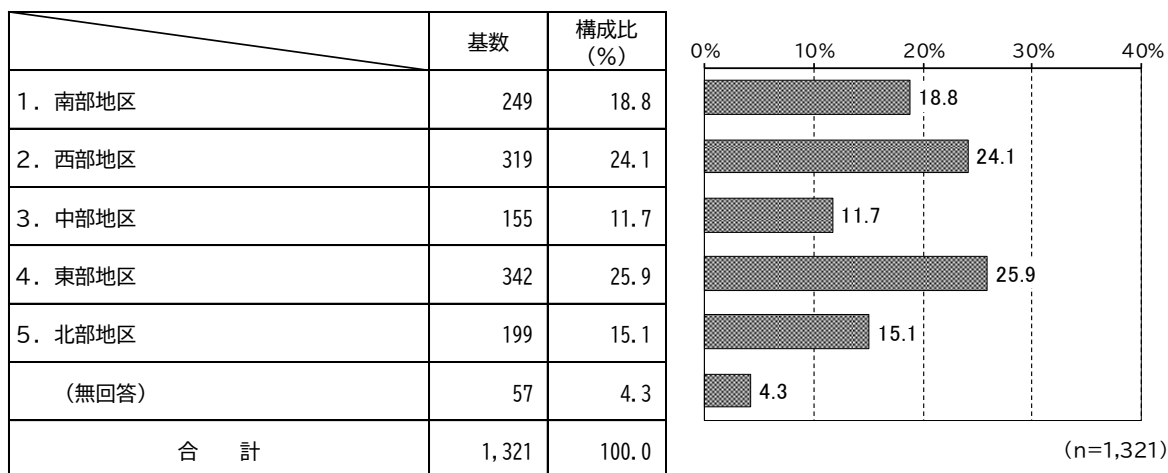
回答者の居住年数は、20 年以上（612 人・46.3%）の割合が最も高く、4 割を超えている。次いで、10 年以上 20 年未満（263 人・19.9%）、生まれたときから（146 人・11.1%）、5 年未満（132 人・10.0%）、5 年以上 10 年未満（120 人・9.1%）の順になっている。



図Ⅱ－5 居住年数

6. 居住地区

回答者の居住地区は、東部地区（342 人・25.9%）、西部地区（319 人・24.1%）が 2 割を超え、次いで、南部地区（249 人・18.8%）、北部地区（199 人・15.1%）、中部地区（155 人・11.7%）の順になっている。

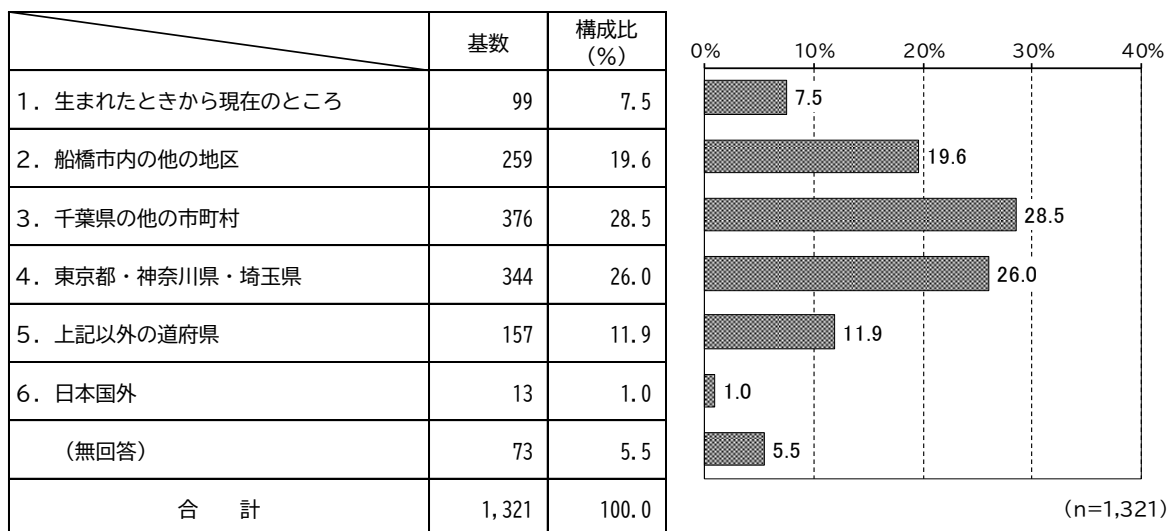


図Ⅱ－6 居住地区

7. 以前の居住地

回答者の以前の居住地は、千葉県の他の市町村（376 人・28.5%）が3割弱、東京都・神奈川県・埼玉県（344 人・26.0%）、船橋市内の他の地区（259 人・19.6%）が2割、上記以外の道府県（157 人・11.9%）が続いている。

生まれたときから現在のところ（99 人・7.5%）、日本国外（13 人・1.0%）は1割を下回っている。



図Ⅱ－7 以前の居住地

Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 「住みごころ」について

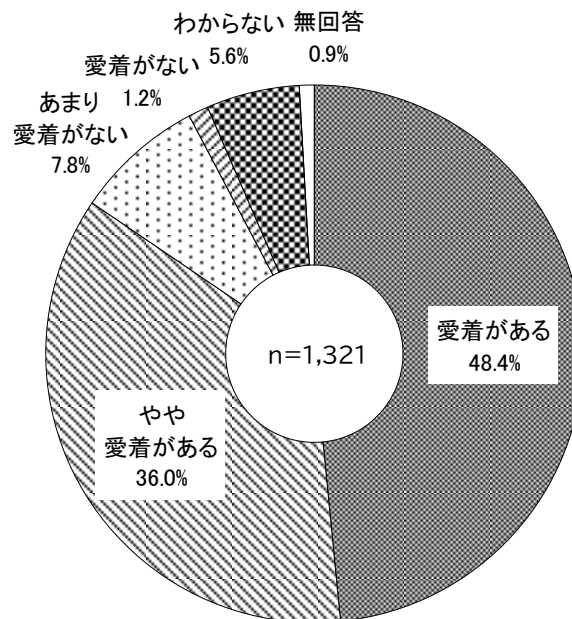
(1) 船橋市への愛着

『愛着を持っている人』は8割超

【問1】「船橋市」に愛着を持っていますか。(○は1つ)

船橋市に愛着を持っているかの質問に、「愛着がある」の割合は48.4%と5割弱の人が回答している。「やや愛着がある」(36.0%)を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、84.4%と8割を超えている。

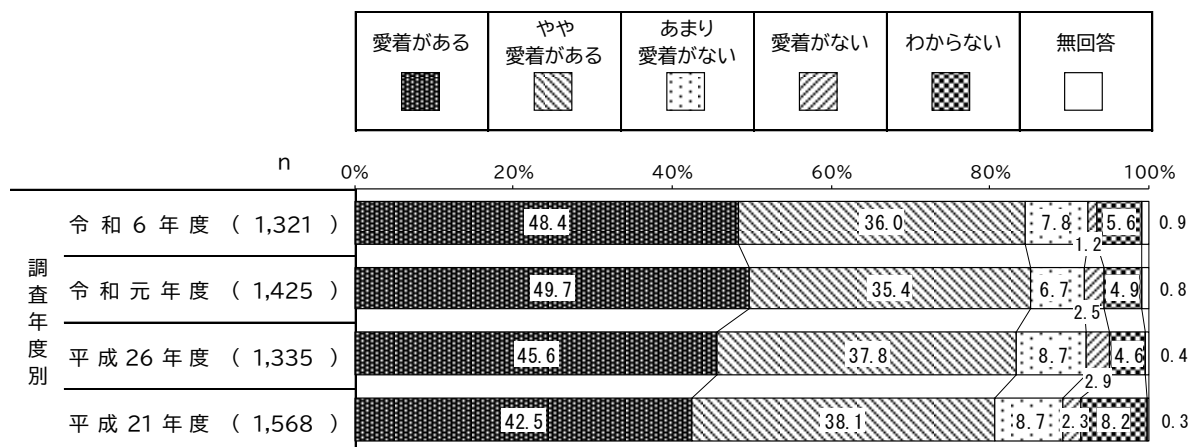
一方、「あまり愛着がない」(7.8%)と「愛着がない」(1.2%)を合わせた『愛着を持っていない人』の割合は、9.0%となっている。



図Ⅲ-1 船橋市への愛着

【時系列比較】

時系列で比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合（84.4%）は、令和元年度（85.1%）と比べても、高い水準を維持している。

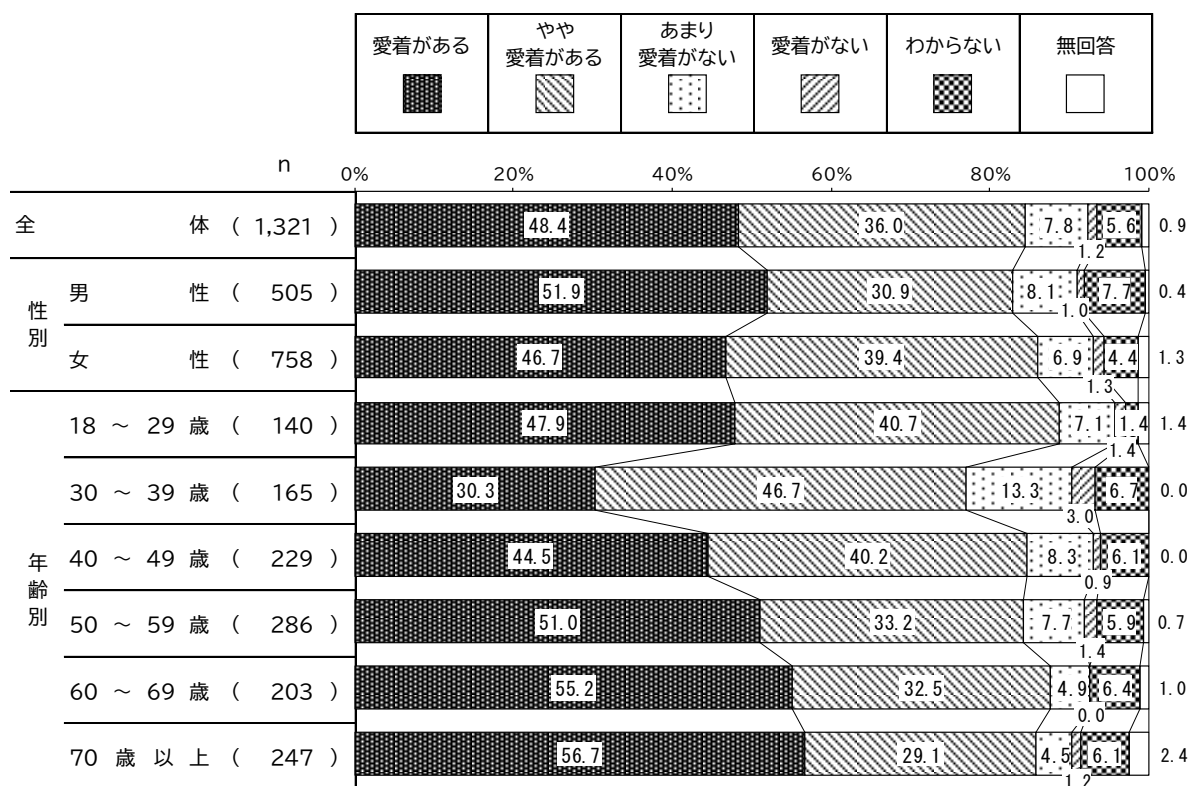


図Ⅲ－2 船橋市への愛着（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、女性（86.1%）が男性（82.8%）より3.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『愛着を持っている人』の割合は、18～29歳（88.6%）が最も高く9割弱となっている。最も低い30～39歳（77.0%）とは11.6ポイントの差がある。

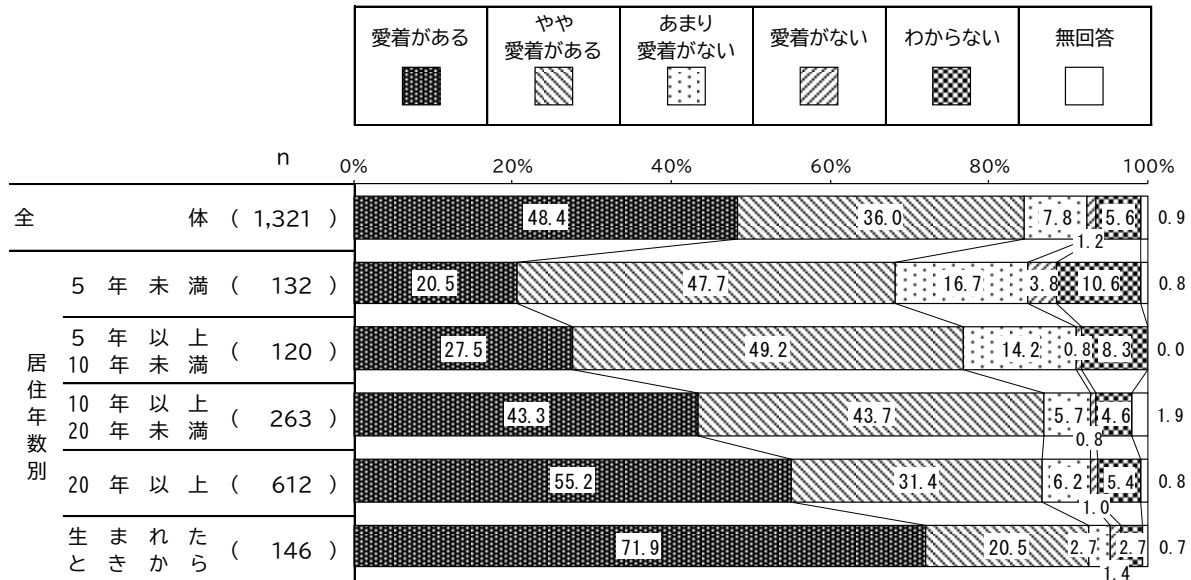


図Ⅲ－3 船橋市への愛着（性別／年齢別）

【居住年数別】

居住年数別にみると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、「生まれたときから」（92.4％）が最も高く 9 割を超えている。

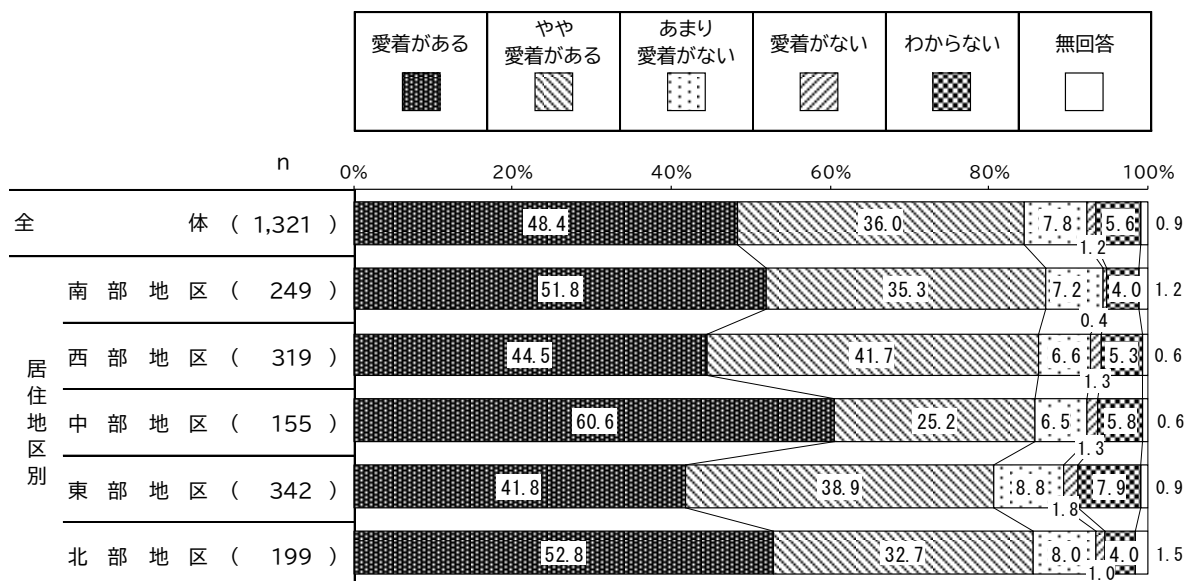
「生まれたときから」を除いた居住年数だけで比べると、居住年数が長いほど『愛着を持っている人』の割合が高い傾向があり、最も低い「5 年未満」（68.2％）と最も高い「10 年以上 20 年未満」（87.0％）の差は 18.8 ポイントある。



図Ⅲ－4 船橋市への愛着（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、南部地区（87.1％）、西部地区（86.2％）、中部地区（85.8％）、北部地区（85.5％）、東部地区（80.7％）となっており、全ての地区で8割を超えている。



図Ⅲ－5 船橋市への愛着（居住地区別）

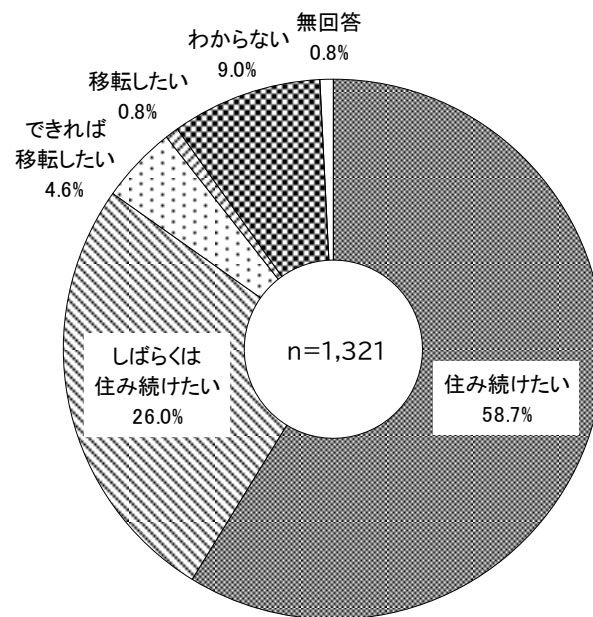
(2) 船橋市への定住意向

『住み続けたい人』は8割超

【問2】今後も「船橋市」に住み続けたいと思いますか。(Qは1つ)

今後も船橋市に住み続けたいと思うかの質問に対し、「住み続けたい」(58.7%)と「しばらくは住み続けたい」(26.0%)を合わせた『住み続けたい人』の割合は、84.7%と8割を超えている。

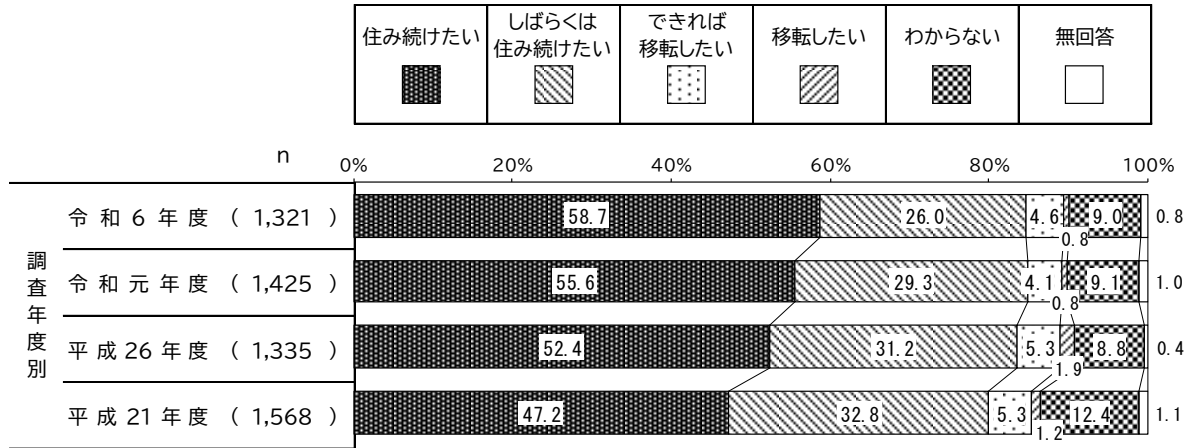
一方、「できれば移転したい」(4.6%)と「移転したい」(0.8%)を合わせた『移転したい人』の割合は、5.4%となっている。



図Ⅲ－6 船橋市への定住意向

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合(84.7%)は平成 21 年度から年々高くなる傾向が見られ、平成 21 年度(80.0%)と比べて 4.7 ポイント増加している。

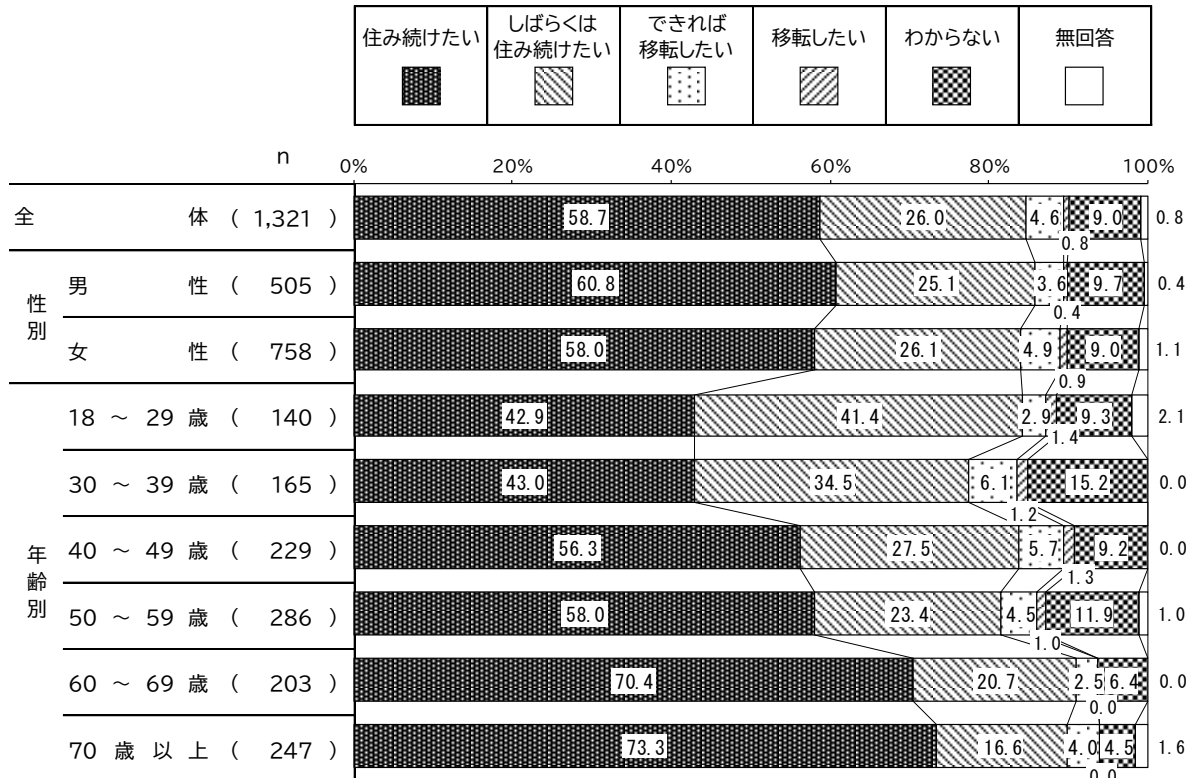


図Ⅲ－７ 船橋市への定住意向（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、男性(85.9%)が女性(84.1%)より1.8ポイント高くなっている。

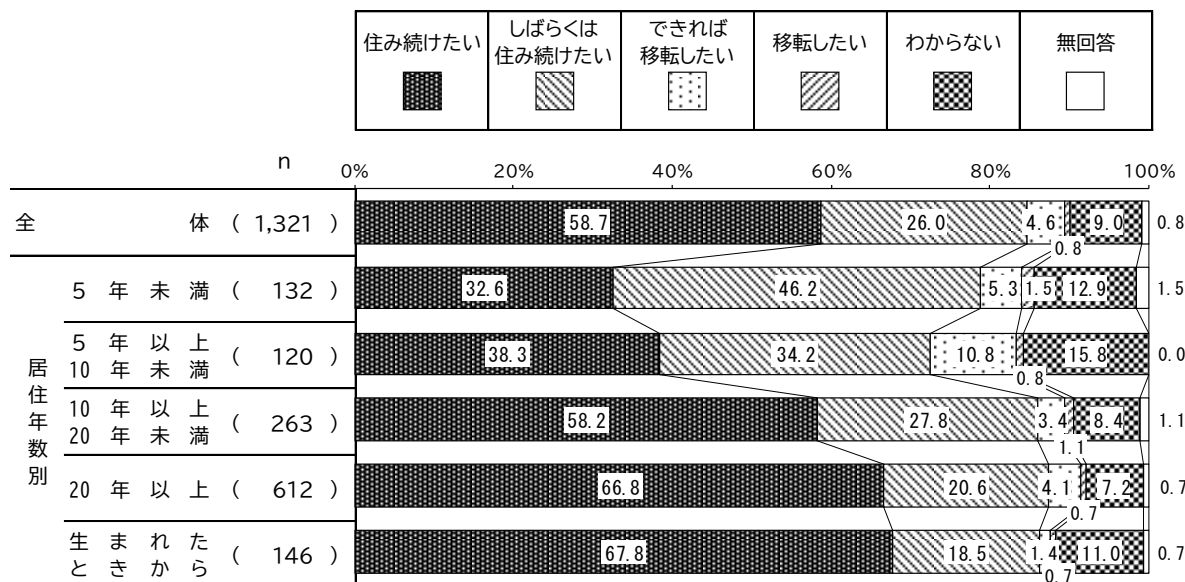
年齢別にみると、『住み続けたい人』の割合は、30～39歳(77.5%)を除いて、81.4%～91.1%の範囲にあり、8割を超えている。



図Ⅲ－８ 船橋市への定住意向（性別／年齢別）

【居住年数別】

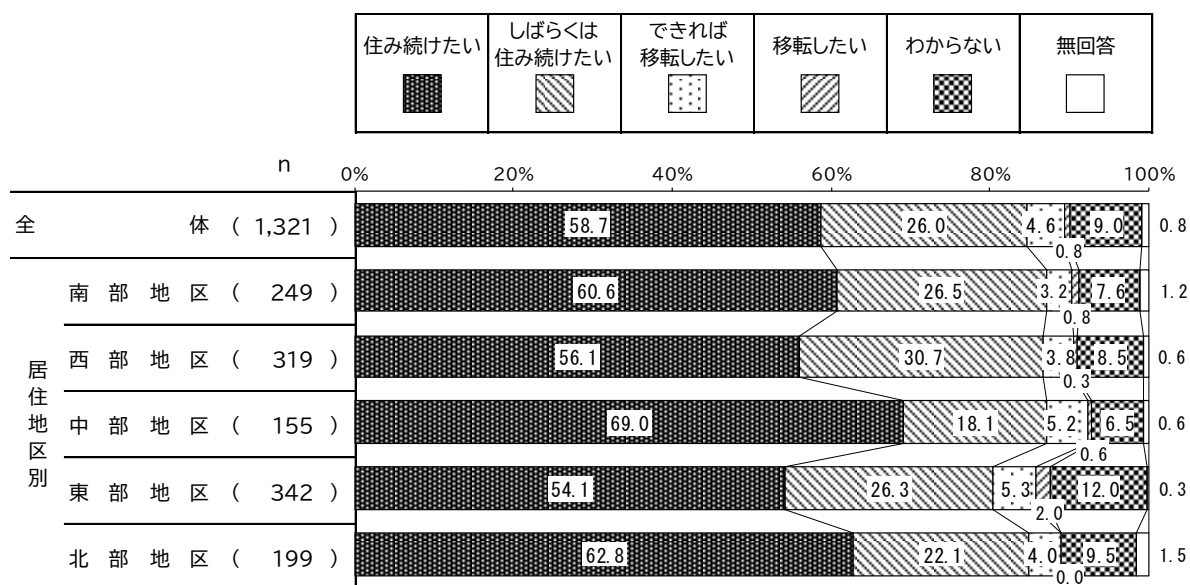
居住年数別にみると、「住み続けたい」と答えた割合が、生まれたときから（67.8%）、20年以上（66.8%）で高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、10年以上20年未満（86.0%）、20年以上（87.4%）、生まれたときから（86.3%）で8割を超えている。



図Ⅲ－9 船橋市への定住意向（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住み続けたい」は中部地区（69.0%）で7割弱と最も高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合では、南部地区（87.1%）、中部地区（87.1%）、西部地区（86.8%）が9割近くとなっている。



図Ⅲ－10 船橋市への定住意向（居住地区別）

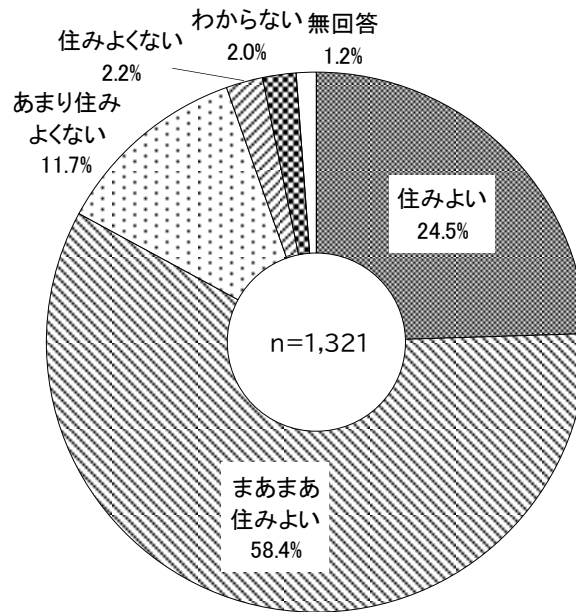
(3) 船橋市の住みごち

『住みよく思う人』は8割超

【問3】「船橋市」を住みよいまちと感じていますか。(〇は1つ)

船橋市の住みごちを聞いたところ、「住みよい」(24.5%)と「まあまあ住みよい」(58.4%)を合わせた『住みよく思う人』の割合は、82.9%と8割を超えている。

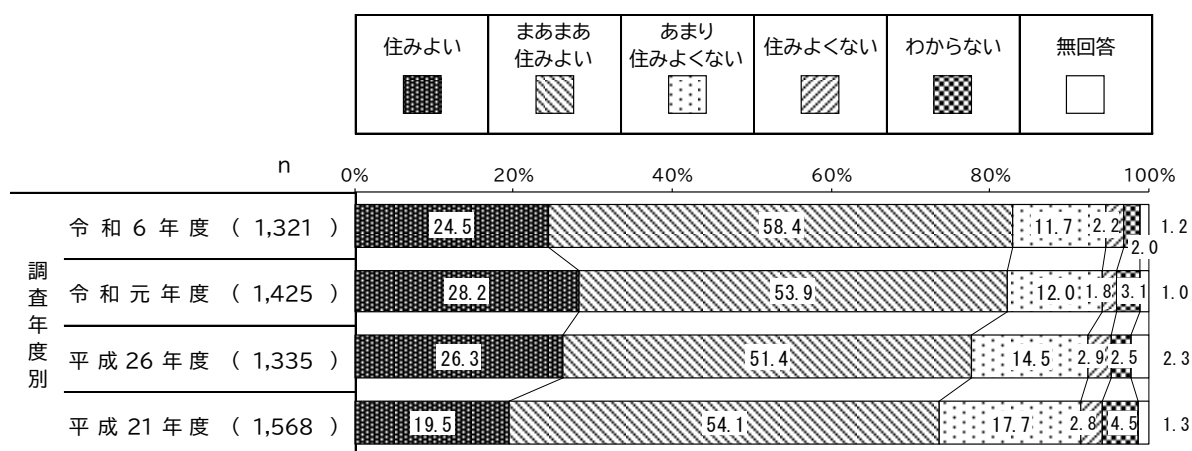
一方、「あまり住みよくない」(11.7%)と「住みよくない」(2.2%)を合わせた『住みよく思わない人』の割合は、13.9%となっている。



図Ⅲ－１１ 船橋市の住みごち

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合（82.9%）は年々高くなり、平成 21 年度（73.6%）と比べて 9.3 ポイント増加している。

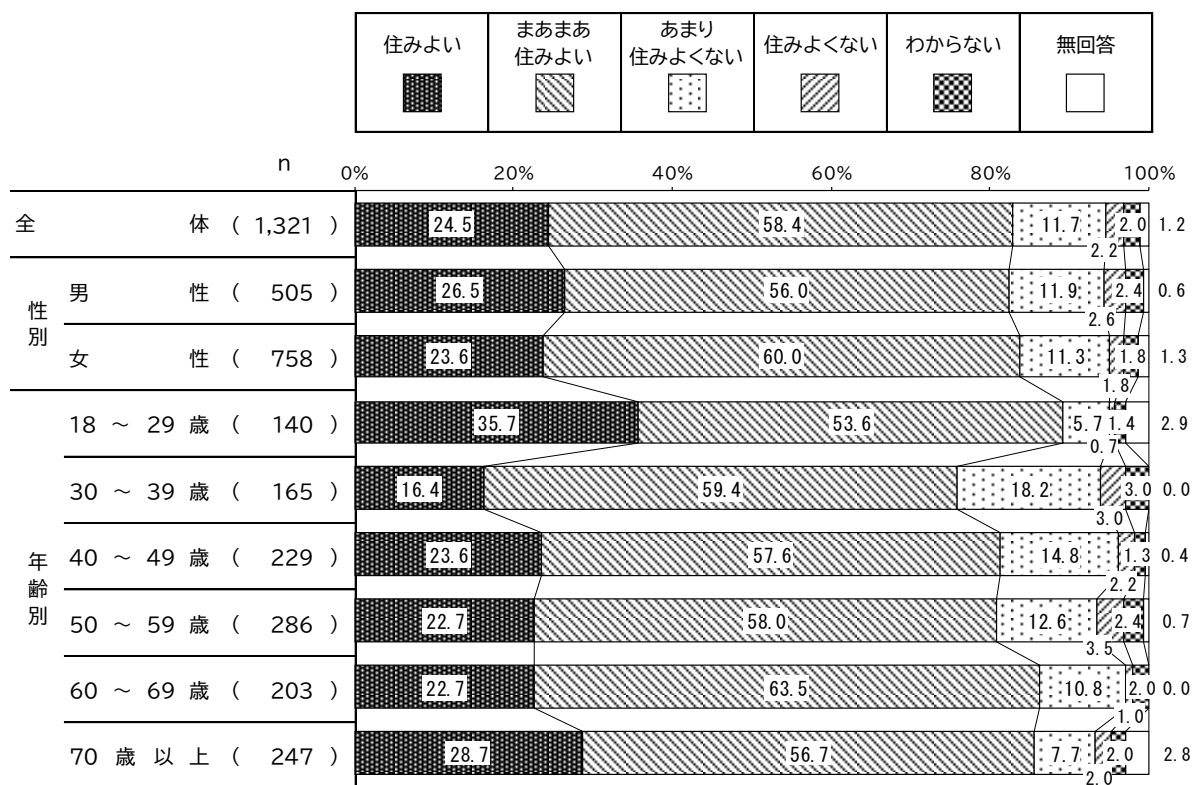


図Ⅲ－１２ 船橋市の住みごころ（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、女性（83.6%）と男性（82.5%）でおおむね変わらない。

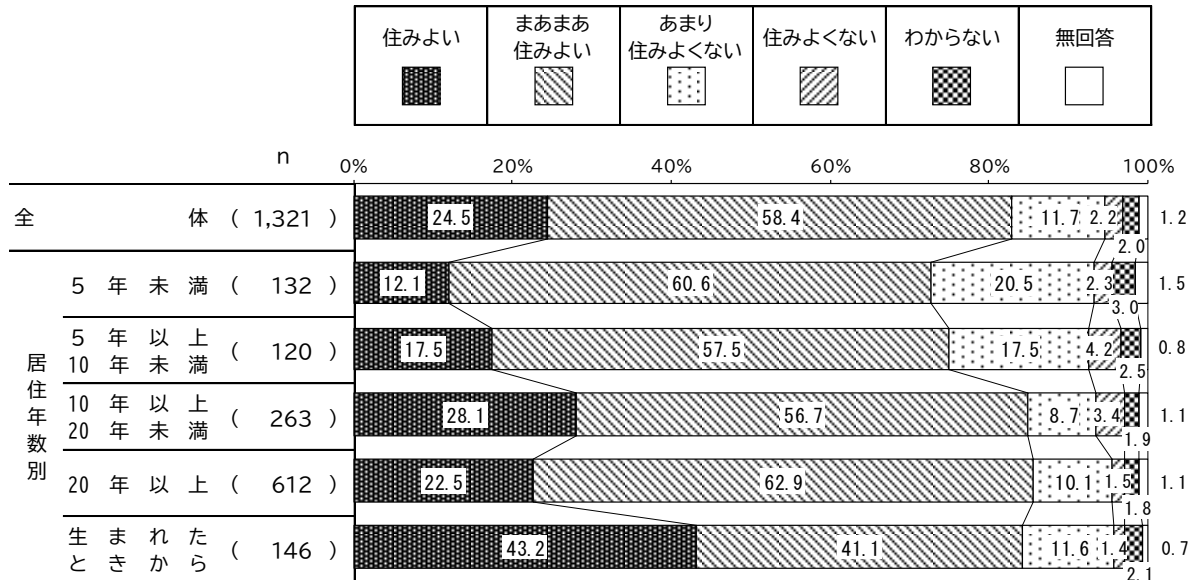
年齢別にみると、『住みよく思う人』の割合は、18～29 歳（89.3%）が最も高くなっているが、30～39 歳（75.8%）を除き、他の年齢でも8割を超えている。



図Ⅲ－１３ 船橋市の住みごころ（性別／年齢別）

【居住年数別】

居住年数別にみると、「住みよい」は生まれたときから（43.2％）が最も高いが、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、20年以上（85.4％）が最も高くなっている。

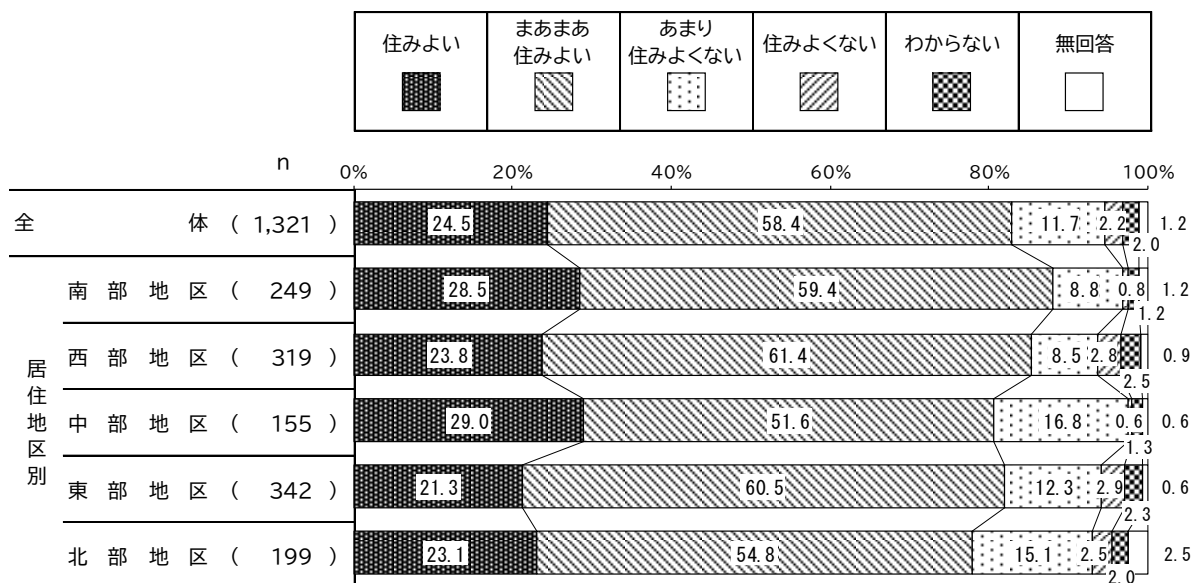


図Ⅲ－１４ 船橋市の住みごち（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住みよい」の割合は、中部地区（29.0％）が最も高く、東部地区（21.3％）で最も低くなっている。

「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、北部地区（77.9％）を除き、全ての地区で8割を超えている。



図Ⅲ－１５ 船橋市の住みごち（居住地区別）

(3-1) 船橋市が住みよい理由

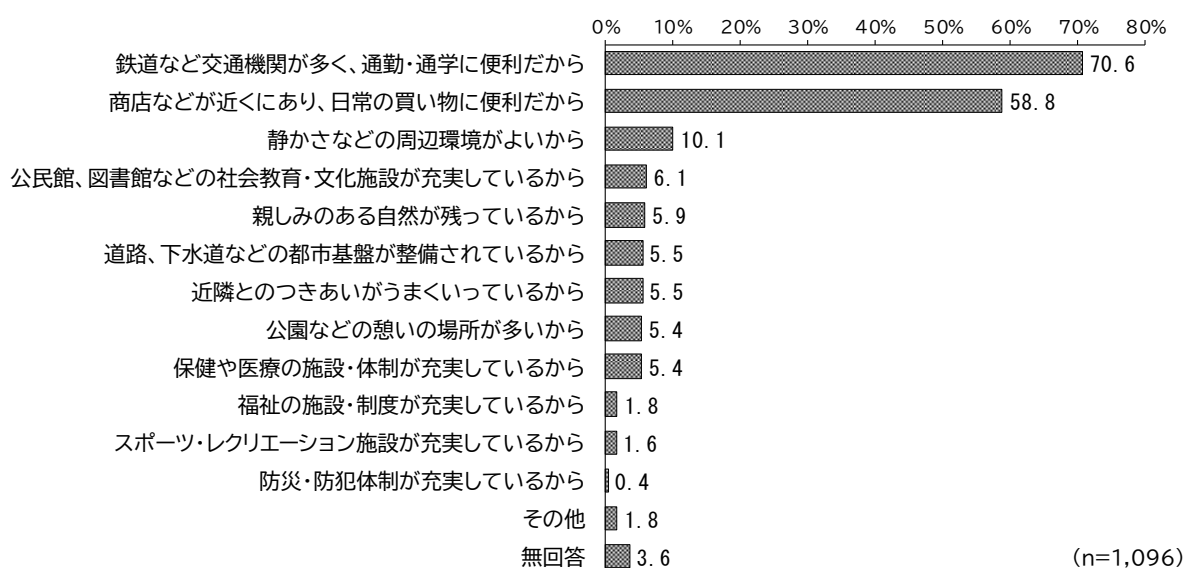
「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」住みよいが7割超

(問3で「1. 住みよい」または「2. まあまあ住みよい」とお答えの方)

【問3-1】住みよいと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

船橋市の住みごころについて「住みよい」、「まあまあ住みよい」と答えた人(1,096人)に対して、その理由を聞いたところ、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」(70.6%)が最も高く、次いで「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」(58.8%)までが5割を超えており、この2つを理由として挙げる人が多い。

「その他」については、「ごみの分別が他の自治体と比べて楽だから」(4件)、「百貨店・大型商業施設があるから」(3件)などが挙げられている。



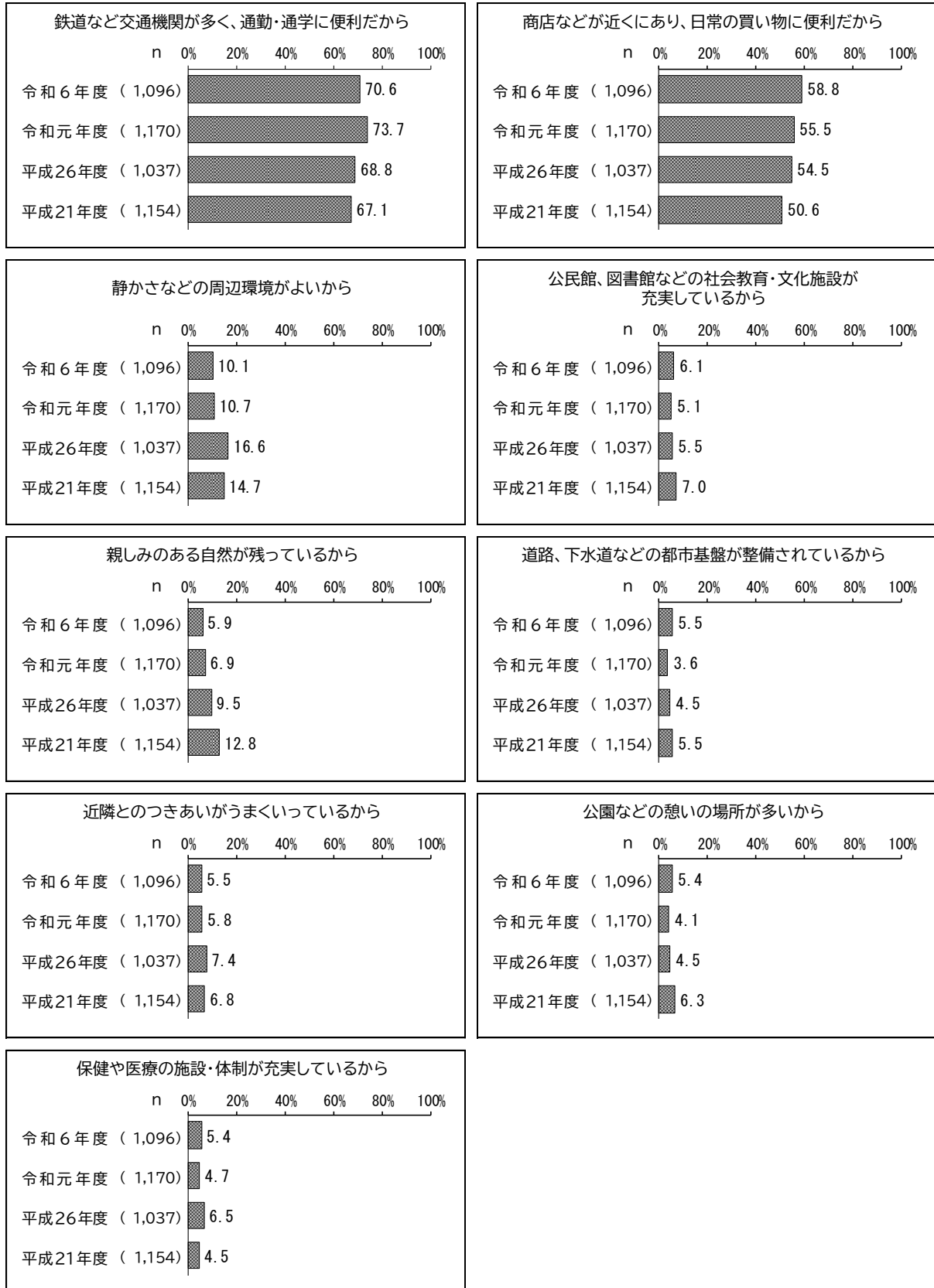
図Ⅲ-16 船橋市が住みよい理由

表Ⅲ-1 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
ごみの分別が他の自治体と比べて楽だから	4
百貨店・大型商業施設があるから	3
災害が少ないから	2
都内に近いから	2
駅近で便利だから	2
その他(1件のみの回答)	6
(記載なし)	1
合 計	20

【時系列比較】（上位8項目）（8位が同率で2つあるため9項目を記載）

住みよい理由として挙げられている割合が高い上位8項目について、時系列で比較すると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」（70.6％）は令和元年度（73.7％）と比べて3.1ポイント減少しており、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」（58.8％）では令和元年度（55.5％）と比べて3.3ポイント増加している。



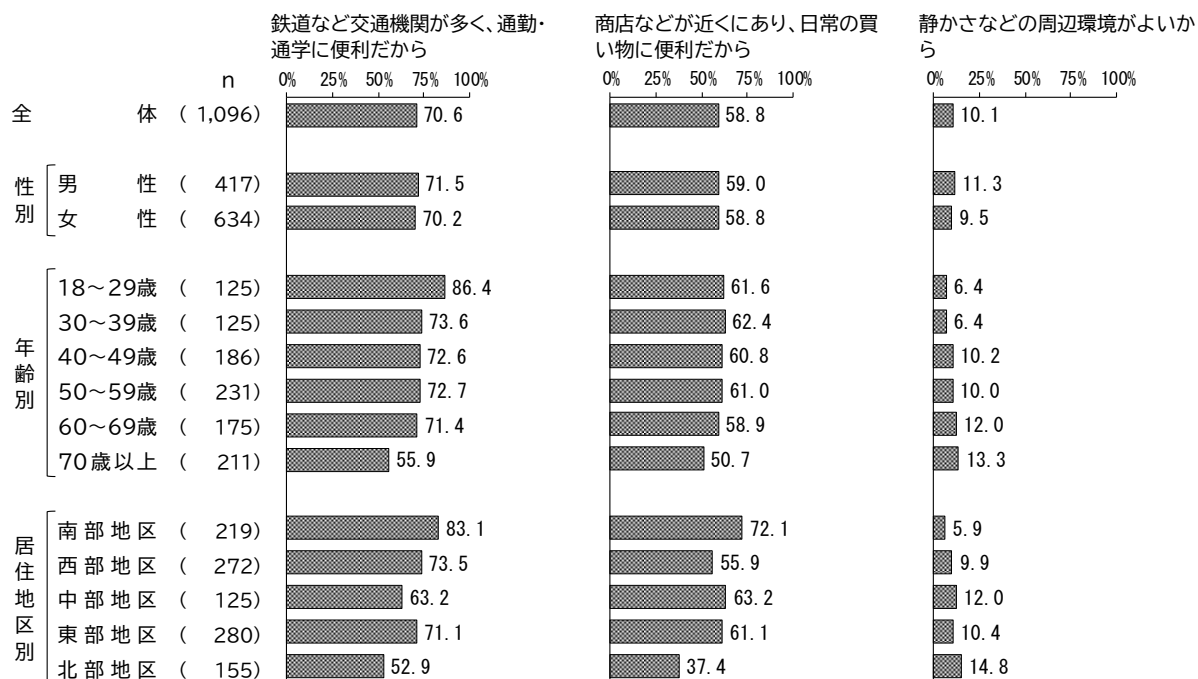
図Ⅲ－１７ 船橋市が住みよい理由 上位8項目（時系列比較）

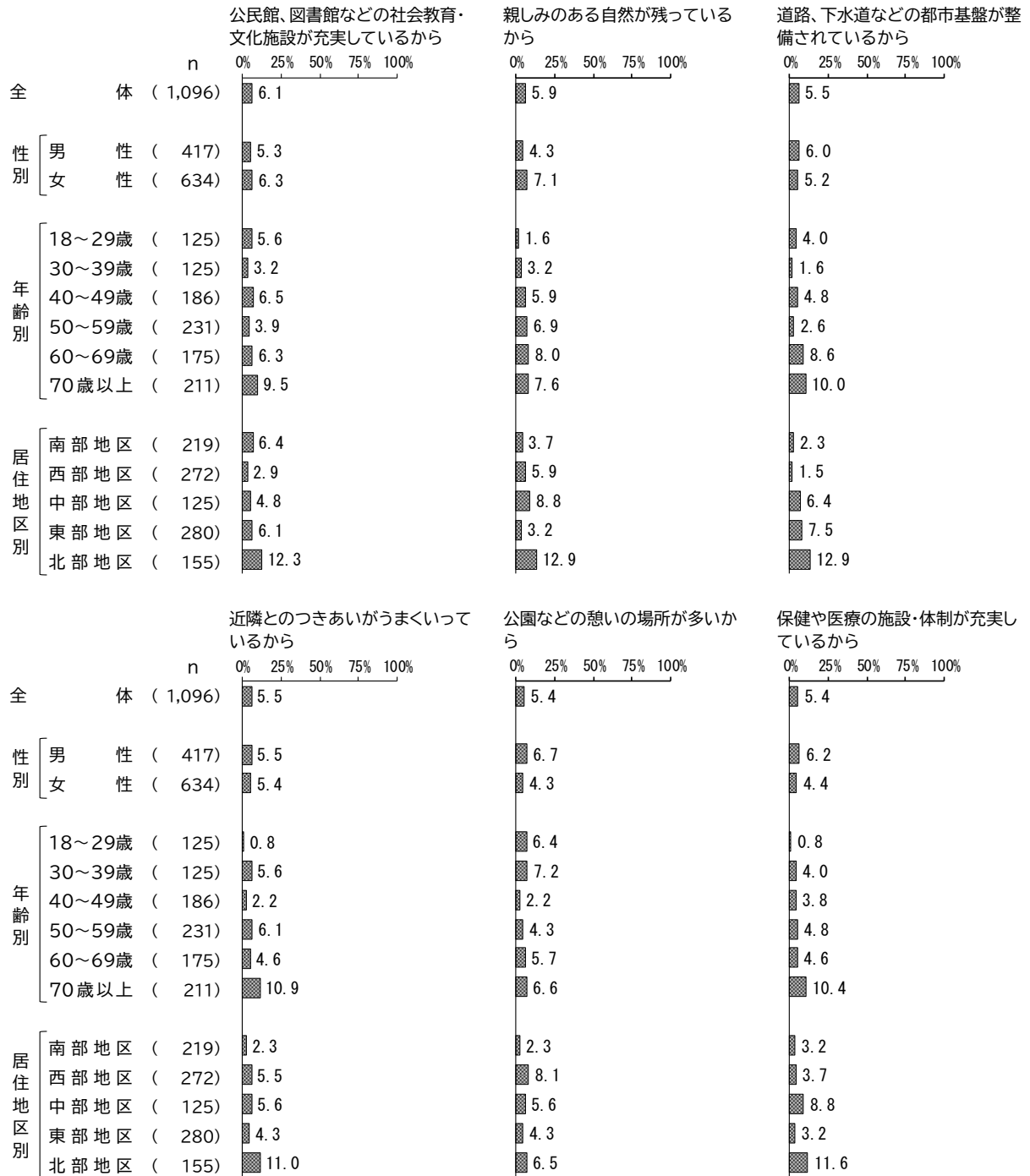
【性別／年齢別／居住地区別】（上位8項目）（8位が同率で2つあるため9項目を記載）

性別で比較すると、割合が高い上記8項目について、男性と女性で大きな差は見られない。

年齢別にみると、18～29歳で「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」（86.4%）が最も高くなっており、年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向が見られる。

居住地区別にみると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」で南部地区（83.1%、72.1%）、「静かさなどの周辺環境がよいから」で南部地区（83.1%、72.1%）、「静かさなどの周辺環境がよいから」、「静かさなどの周辺環境がよいから」、「静かさなどの周辺環境がよいから」で南部地区（83.1%、72.1%）の割合が高く、地区別の特色が見られる。





図Ⅲ－１８ 船橋市が住みよい理由 上位８項目（性別／年齢別／居住地区別）

(3-2) 船橋市が住みよくない理由

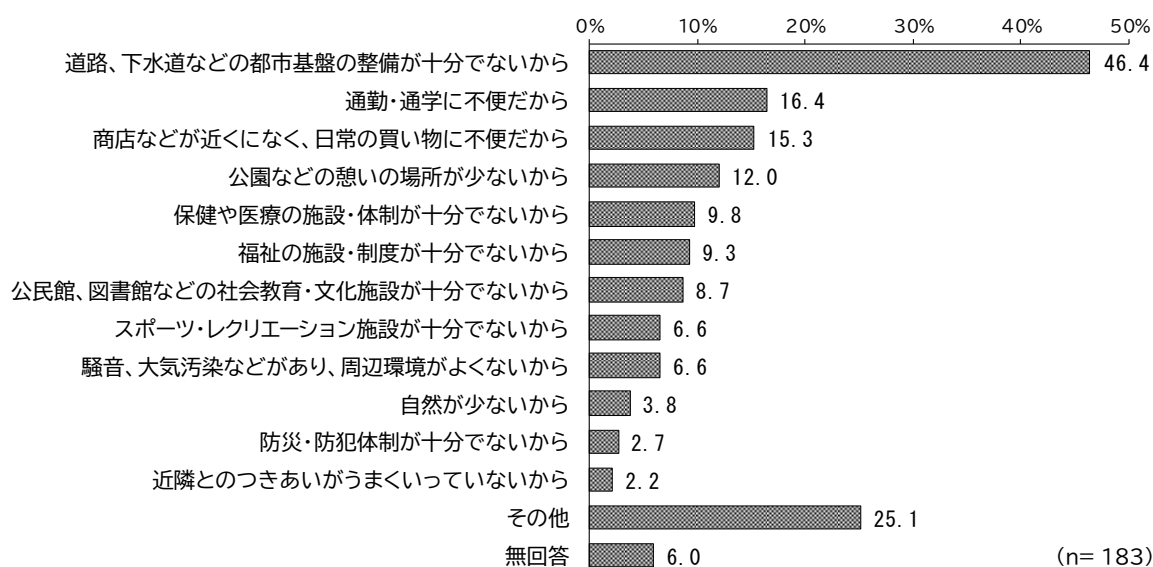
「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」住みよくないが4割超

(問3で「3. あまり住みよくない」または「4. 住みよくない」とお答えの方)

【問3-2】住みよくないと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

船橋市の住みごころについて、「あまり住みよくない」、「住みよくない」と答えた人(183人)にその理由を聞いたところ、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」が46.4%で最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」(16.4%)、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」(15.3%)、「公園などの憩いの場所が少ないから」(12.0%)が続いている。

「その他」については、「渋滞が激しい・道路が混んでいるから」(20件)、「道・車道・歩道が狭い・歩道がない・危険な道が多いから」(11件)などが挙がっている。



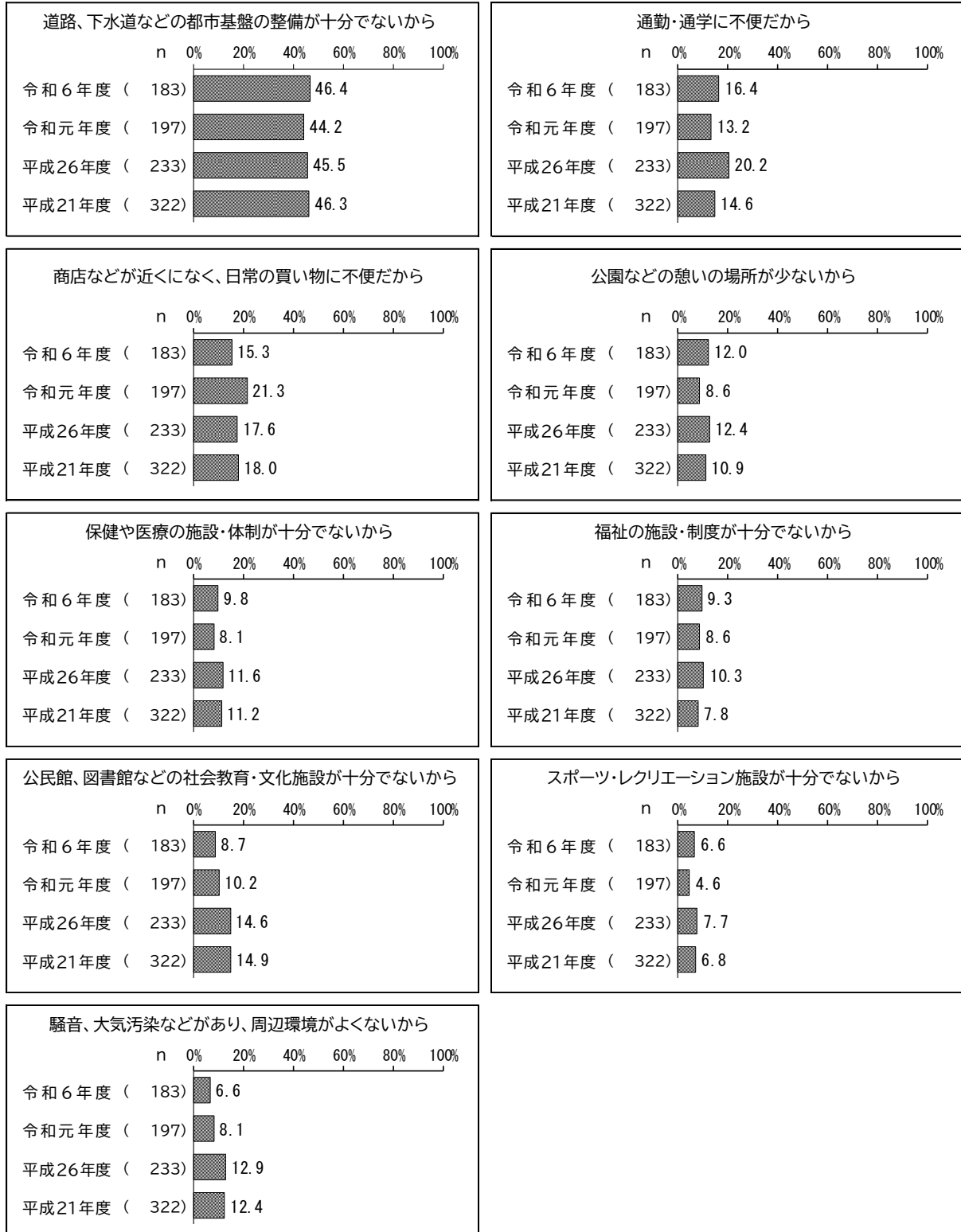
図Ⅲ-19 船橋市が住みよくない理由

表Ⅲ-2 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
渋滞が激しい・道路が混んでいるから	20
道・車道・歩道が狭い・歩道がない・危険な道が多いから	11
子どもに手厚くない・子育て支援が劣っているから	5
マナーを守らない外国人が多いから	2
その他(1件のみの回答)	14
(記載なし)	1
合 計	53

【時系列比較】（上位8項目）（8位が同率で2つあるため9項目を記載）

住みよくない理由として挙げられている割合が高い上位8項目について、時系列で比較すると、全体での割合が最も高い「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」（46.4％）は、令和元年度（44.2％）から2.2ポイント増加しており、「公園など憩いの場所が少ないから」（12.0％）、「通勤・通学に不便だから」（16.4％）では令和元年度（8.6％、13.2％）と比べて3.4、3.2ポイント増加している。一方、「商店などが近しくなく、日常の買い物に不便だから」（15.3％）は、令和元年度（21.3％）と比べて6.0ポイント減少している。



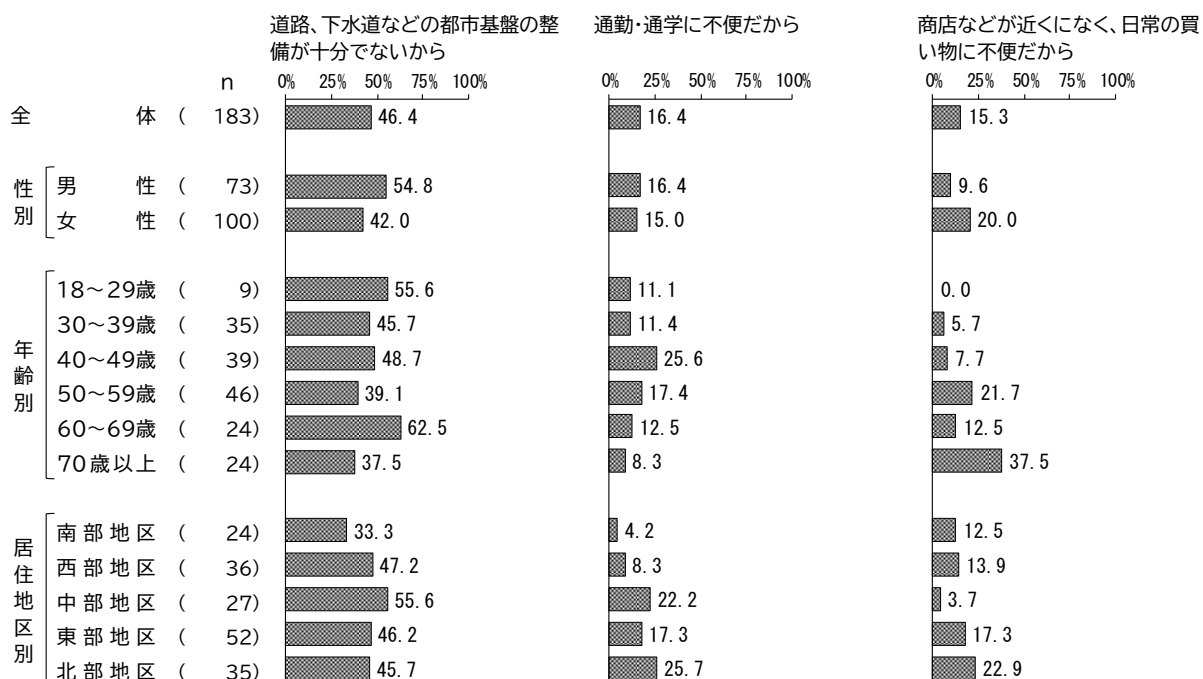
図Ⅲ－２０ 船橋市が住みよくない理由 上位8項目（時系列比較）

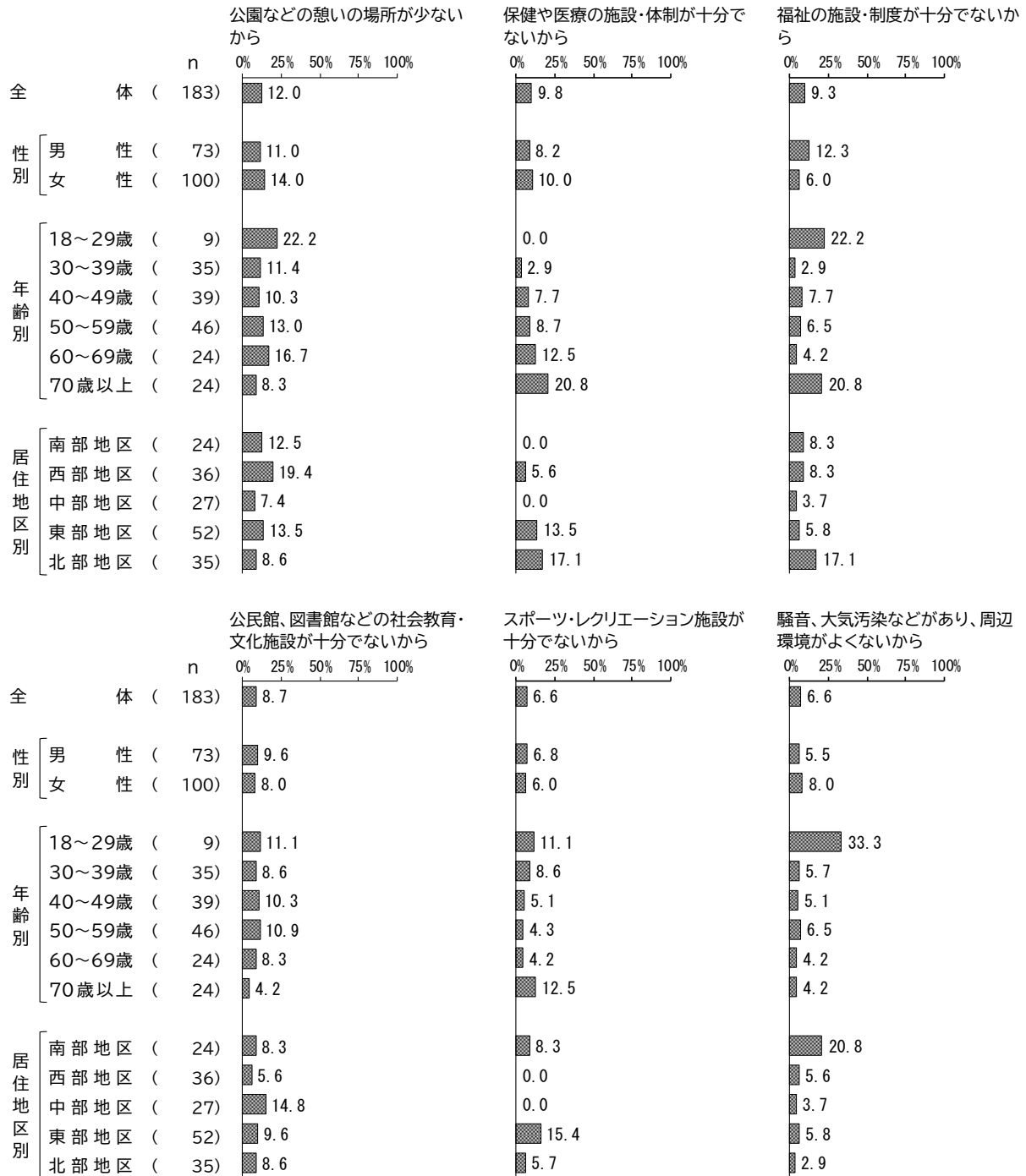
【性別／年齢別／居住地区別】（上位8項目）（8位が同率で2つあるため9項目を記載）

性別で比較すると、「道路、下水道などの都市基盤の設備が十分でないから」は、男性（54.8%）が女性（42.0%）より 12.8 ポイント高くなっているが、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」は、女性（20.0%）が男性（9.6%）より 10.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」は、60～69 歳（62.5%）が最も高く、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」、「保健や医療の施設・体制が十分でないから」、「スポーツ・レクリエーション施設が十分でないから」は 70 歳以上（37.5%、20.8%、12.5%）の割合が最も高い。「騒音、大気汚染などがあり、周辺環境がよいから」、「公園などの憩いの場所が少ないから」、「福祉の施設・制度が十分でないから」、「公民館、図書館などの社会教育・文化施設が十分でないから」では、18～29 歳（33.3%、22.2%、22.2%、11.1%）の割合が最も高くなっている。

居住地区別にみると、中部地区は「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」（55.6%）、北部地区は「通勤・通学に不便だから」、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」、「保健や医療の施設・体制が十分でないから」、「福祉の施設・制度が十分でないから」（25.7%、22.9%、17.1%、17.1%）、東部地区は「スポーツ・レクリエーション施設が十分でないから」（15.4%）、西部地区は「公園などの憩いの場所が少ないから」（19.4%）、南部地区は「騒音、大気汚染などがあり、周辺環境がよいから」（20.8%）の割合が高く、地区による差が見られる。





図Ⅲ－21 船橋市が住みよくない理由 上位8項目（性別／年齢別／居住地区別）

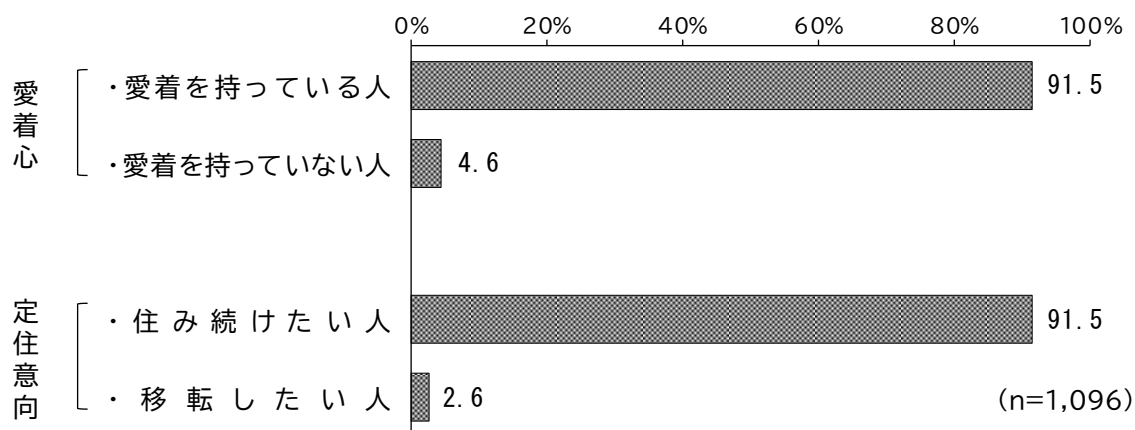
(4) 「住みごころ」概観

『住みよく思う人』は『愛着を持っている人』『住み続けたい人』がともに9割超

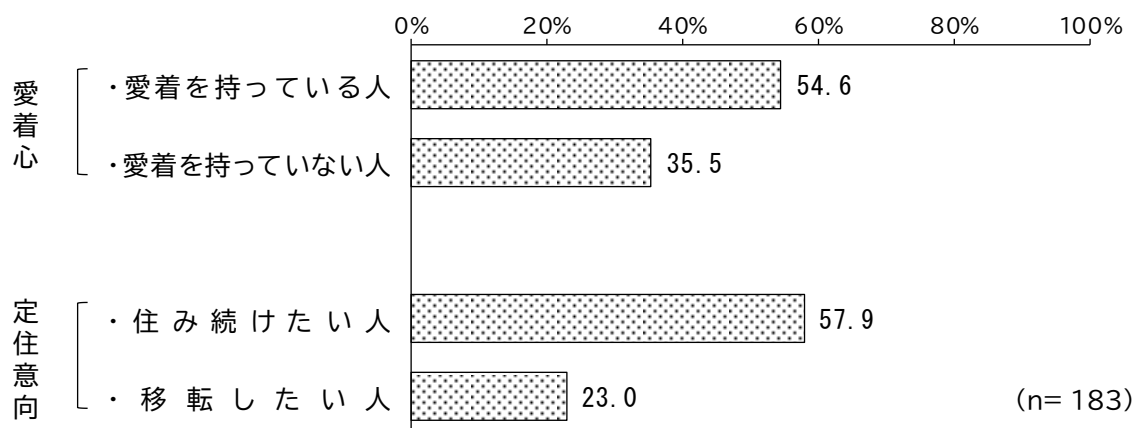
本調査では、市民の船橋市に対する愛着心、定住意向、住みごころ（住みよさ意識）を経年的に聞いている。「人もまちも輝く笑顔あふれる船橋」を実現するため、また、堅調な人口増加と人口構造の変化があっても持続的な発展を遂げていくためには、「愛着があるまち」、「住み続けたいまち」として評価され、多くの人に選ばれるまちとなる必要がある。

そこで、「愛着心」、「定住意向」と「住みごころ」との設問集計を行ったところ、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』（1,096人）では、「愛着がある」、「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』と、「住み続けたい」、「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、ともに9割を超えている。一方、「あまり住みよくない」と「住みよくない」を合わせた『住みよく思わない人』（183人）であっても、『愛着を持っている人』と『住み続けたい人』の割合はともに5割を超えている。

『住みよく思う人』（n=1,096）



『住みよく思わない人』（n=183）



図Ⅲ－２２ 船橋市への愛着心と定住意向（船橋市の住みごころ別）

2. 「広報活動」について

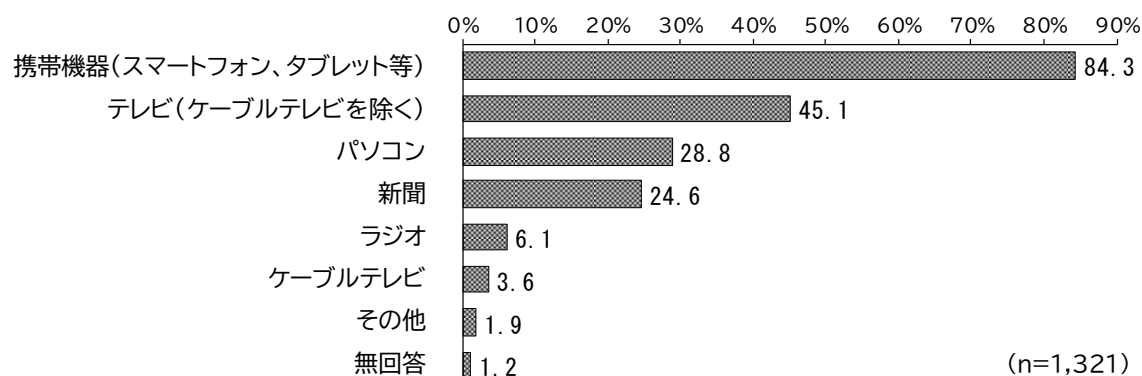
(1) 情報を入手するためによく利用するもの

情報入手は、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」の利用が8割超

【問4】普段、情報を入手するためによく利用する情報媒体は何ですか。(〇はいくつでも)

情報を入手するためによく使われているのは、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」(84.3%)で最も高く、次いで「テレビ(ケーブルテレビを除く)」(45.1%)までは4割を超え、これらの情報媒体が広く利用されている。以下、「パソコン」(28.8%)、「新聞」(24.6%)が2割を超えている。

「その他」については、「広報紙」(12件)、「チラシ・雑誌・フリーペーパー」(4件)などが挙げられている。



図Ⅲ－23 情報を入手するためによく利用するもの

表Ⅲ－3 「その他」の内容

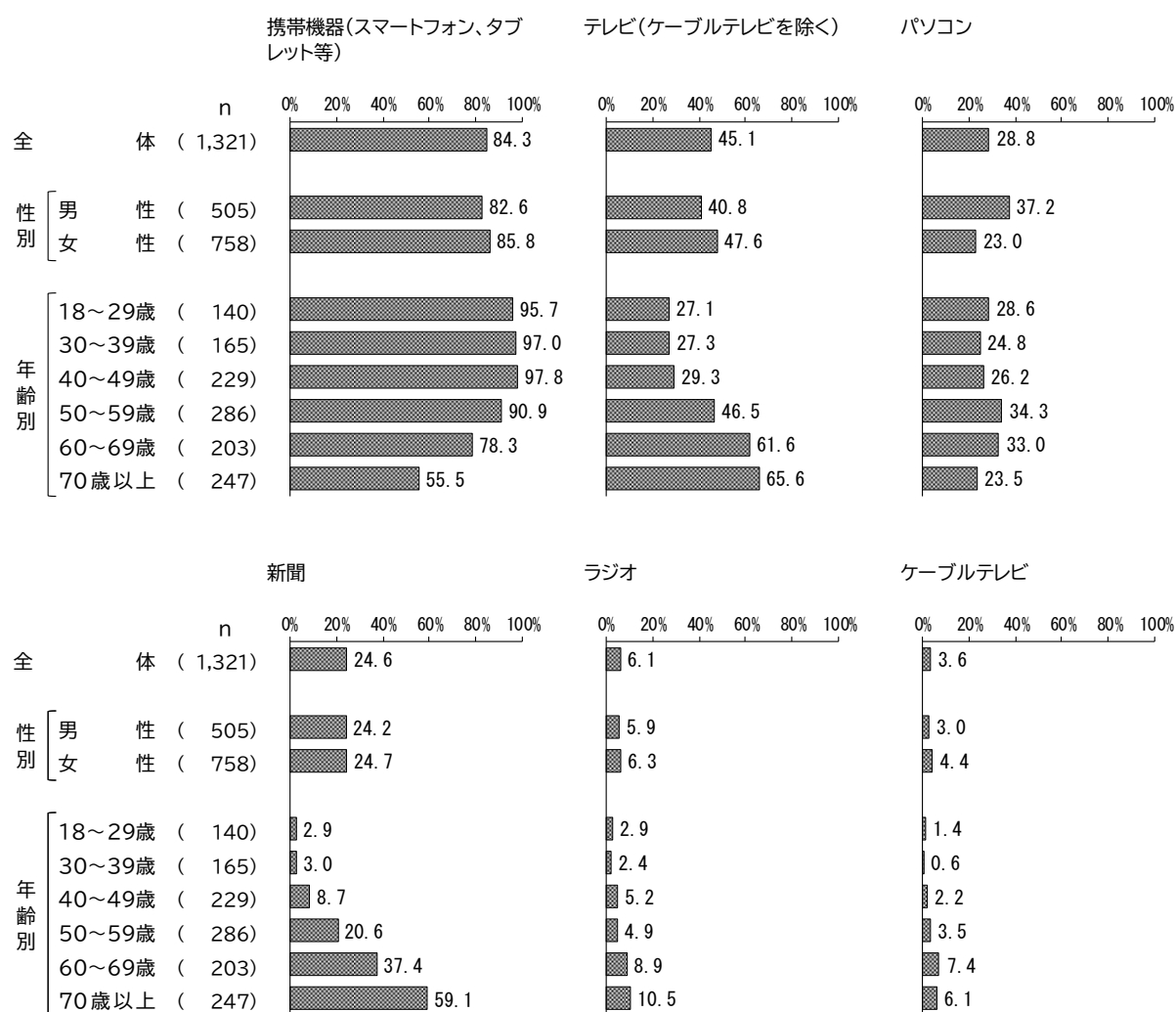
「その他」の内容	件数
広報紙	12
チラシ・雑誌・フリーペーパー	4
近所・知人からの口コミ	3
YouTube等のSNS	2
その他(1件のみの回答)	4
特になし	3
合 計	28

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「パソコン」の割合では男性（37.2％）が女性（23.0％）より14.2ポイント高く、「テレビ（ケーブルテレビを除く）」では女性（47.6％）が男性（40.8％）より6.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」では、最も高い40～49歳（97.8％）と最も低い70歳以上（55.5％）に42.3ポイントの差が見られるが、70歳以上でも5割超えの人が利用している。

一方、「テレビ（ケーブルテレビを除く）」、「新聞」の割合は、年齢が上がるに従い高くなっており、「新聞」においては、最も低い18～29歳（2.9％）と最も高い70歳以上（59.1％）に56.2ポイントの差がある。



図Ⅲ－２４ 情報入手するためによく利用するもの（性別／年齢別）

(1-1) よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ

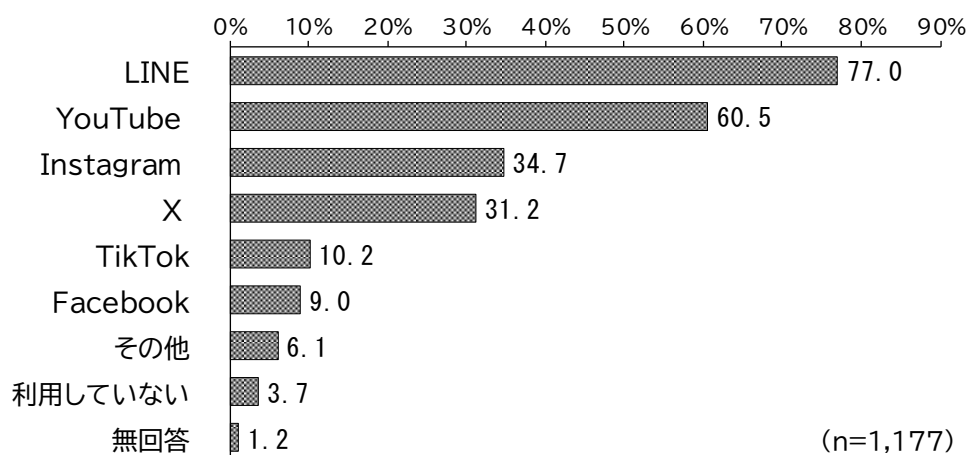
「LINE」をよく利用する人は8割近い

(問4で「1. パソコン」または「2. 携帯機器(スマートフォン、タブレット等)」とお答えの方)

【問4-1】普段よく利用(閲覧)するソーシャルメディア系サービス・アプリは何ですか。
(〇はいくつでも)

情報を入手するためによく利用する情報媒体でパソコンまたは携帯機器(スマートフォン、タブレット等)と答えた人(1,177人)に、普段よく利用(閲覧)するソーシャルメディア系サービス・アプリについて聞いたところ、「LINE」の割合が77.0%と最も高く8割近い人が利用している。次いで、「YouTube」(60.5%)、「Instagram」(34.7%)、「X」(31.2%)、「TikTok」(10.2%)と続いている。

「その他」については、「Yahoo・Yahoo!ニュース」(26件)、「Google」(17件)などが挙げられている。



図Ⅲ-25 よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ

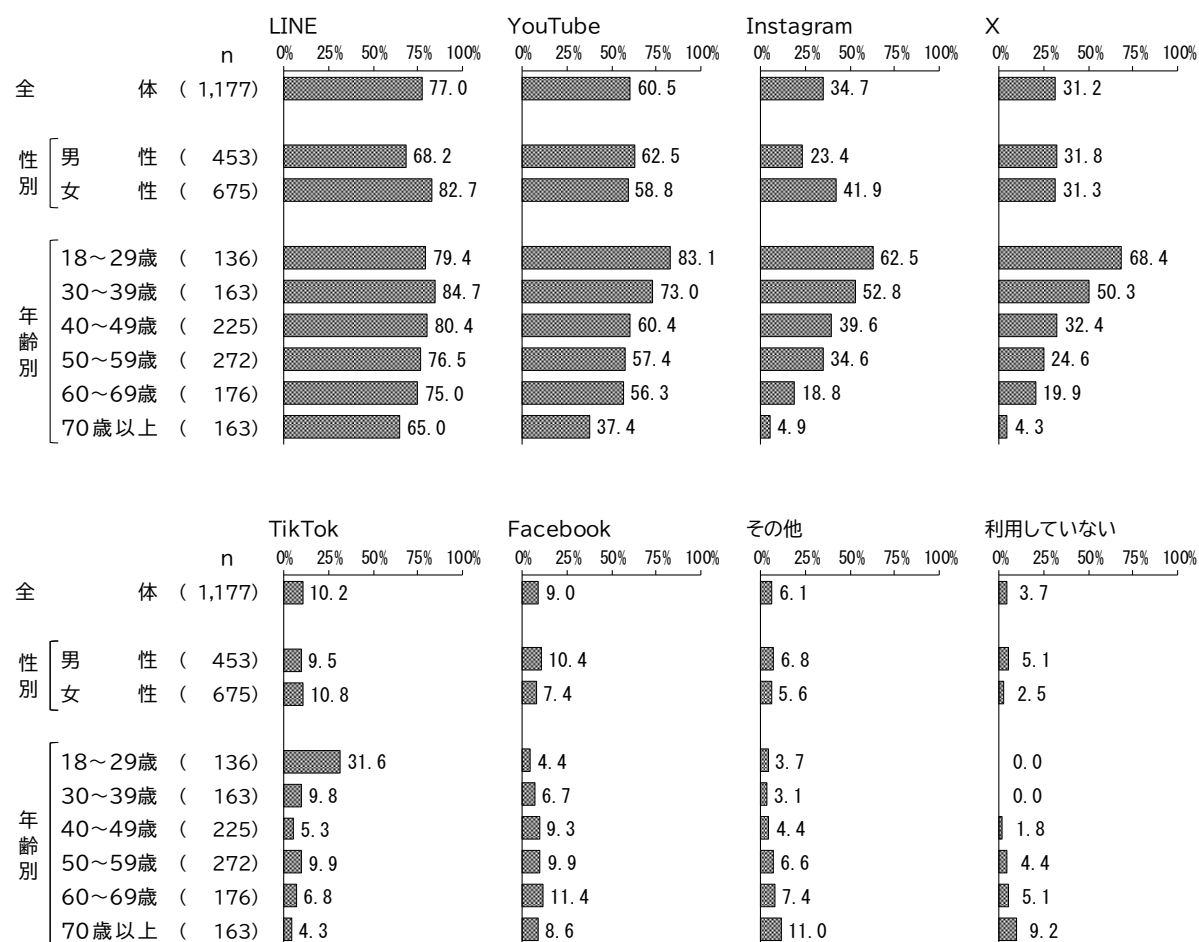
表Ⅲ-4 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
Yahoo・Yahoo!ニュース	26
Google	17
NETニュース・WEBニュース	9
SNS (Bluesky, Pinterest, Twitch, TikTok Lite, 他)	9
SmartNews	3
その他(1件のみの回答)	8
(記載なし)	4
合 計	76

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「LINE」、「Instagram」、「TikTok」では、女性（82.7%、41.9%、10.8%）の割合が、男性（68.2%、23.4%、9.5%）に比べて高く、「YouTube」、「Facebook」では、男性（62.5%、10.4%）の割合が、女性（58.8%、7.4%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「Facebook」を除く全てのソーシャルメディア系サービス・アプリで、年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、18～29 歳では「YouTube」、「LINE」、「X」、「Instagram」の割合が 83.1%、79.4%、68.4%、62.5%と 6 割を超えている。



図Ⅲ－２６ よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ（性別／年齢別）

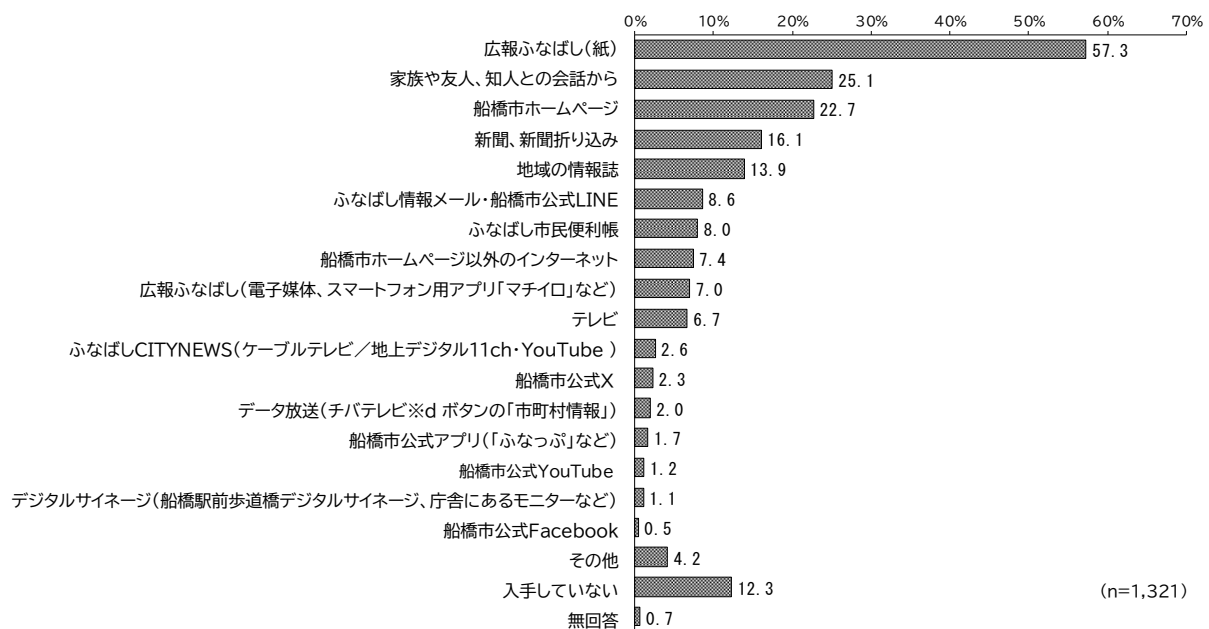
(2) 市の事業やイベント情報などの入手方法

「広報ふなばし（紙）」から情報を得ている人は6割近く

【問5】 普段、市の事業やイベント情報などをどこから入手していますか。
(〇はいくつでも)

市の事業やイベント情報などを得る手段として、「広報ふなばし（紙）」の割合は、57.3%と最も高く6割近くに達している。次いで、「家族や友人、知人との会話から」(25.1%)、「船橋市ホームページ」(22.7%)、「新聞、新聞折り込み」(16.1%)、「地域の情報誌」(13.9%)と続いている。

「その他」については、「街なかでの掲示物、看板、配布物」(13件)、「学校・幼稚園・保育園等での配布物」(11件)などが挙げられている。



図Ⅲ－２７ 市の事業やイベント情報などの入手方法

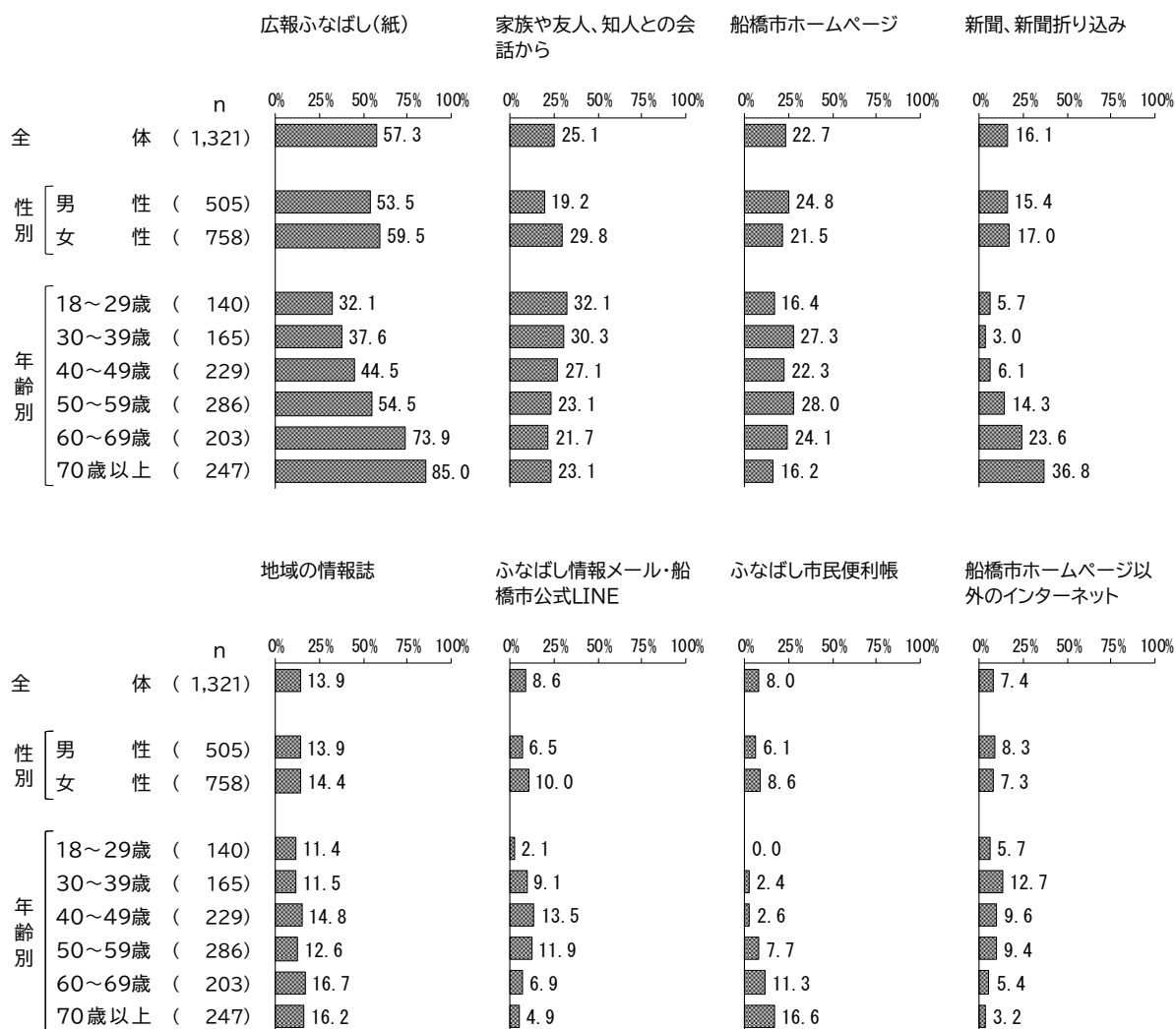
表Ⅲ－５ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
街なかでの掲示物、看板、配布物	13
学校・幼稚園・保育園等での配布物	11
町会・自治会・マンションの掲示板、回覧板、配布物	9
ちいき新聞	6
ポスター	6
SNSやアプリ、ホームページ検索	4
船橋つうしん・まいぶれ・みんなの掲示板	3
その他（１件のみの回答）	4
（記載なし）	2
合 計	58

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「家族や友人、知人との会話から」、「広報ふなばし（紙）」では、女性（29.8%、59.5%）の割合が、男性（19.2%、53.5%）より10.6、6.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報ふなばし（紙）」、「新聞、新聞折り込み」、「ふなばし市民便利帳」といった紙媒体で、年齢が上がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、70歳以上では「広報ふなばし（紙）」（85.0%）、「新聞、新聞折り込み」（36.8%）、「ふなばし市民便利帳」（16.6%）が最も高くなっている。



図Ⅲ－28 市の事業やイベント情報などの入手方法 上位8項目（性別／年齢別）

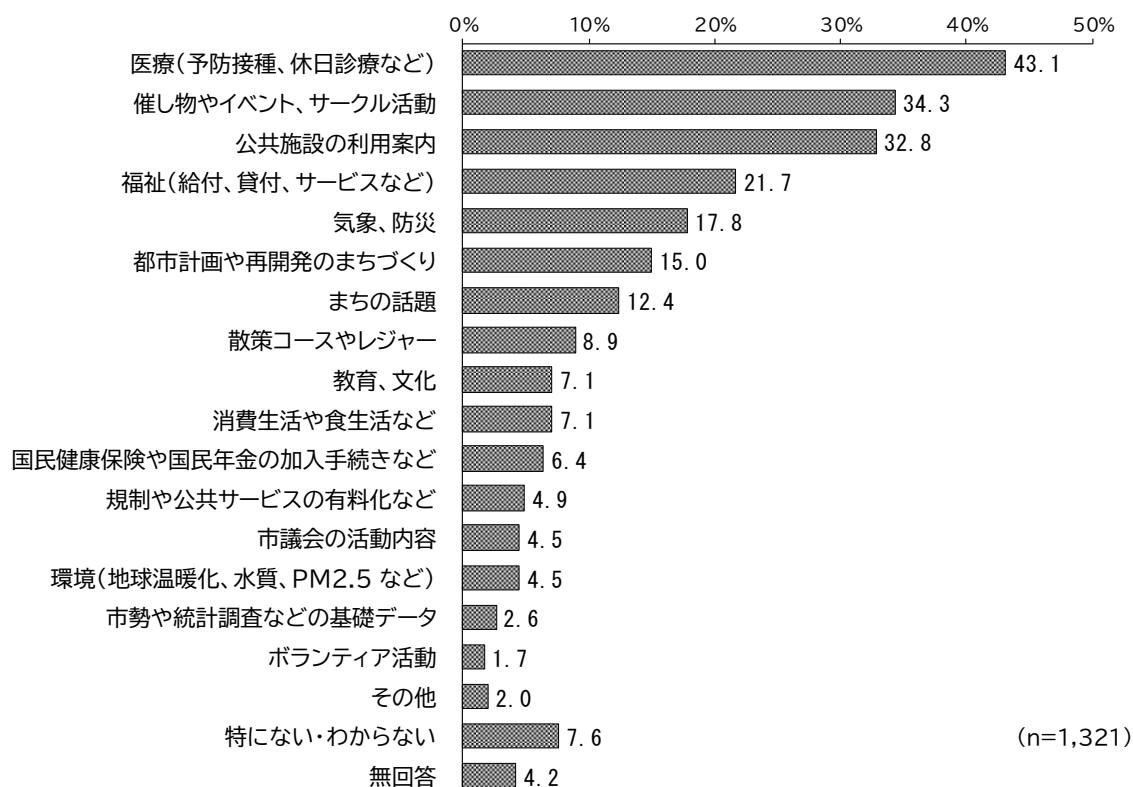
(3) 広報紙やホームページで知りたい情報

知りたい情報は、「医療（予防接種、休日診療など）」が4割超

【問6】広報紙やホームページで知りたい情報は何ですか。（〇は3つまで）

広報紙やホームページで知りたい情報として、「医療（予防接種、休日診療など）」（43.1%）が最も高く、次いで、「催し物やイベント、サークル活動」（34.3%）、「公共施設の利用案内」（32.8%）、「福祉（給付、貸付、サービスなど）」（21.7%）と続いている。

「その他」については、「助成金・補助金・年金・税金に関する情報」（6件）、「ごみの分別・収集関係の情報」（4件）などが挙がっている。



図Ⅲ－２９ 広報紙やホームページで知りたい情報

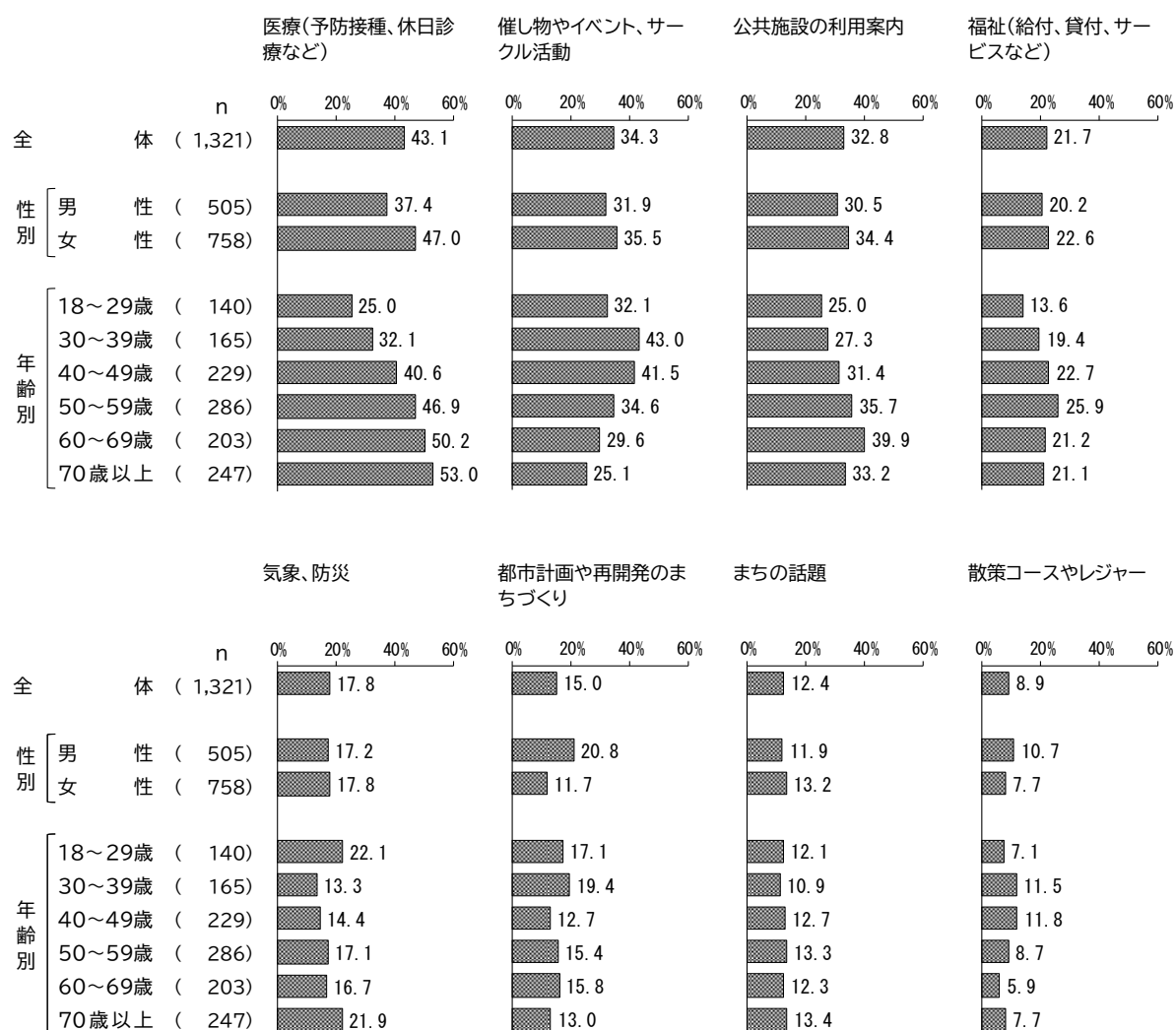
表Ⅲ－６ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
助成金・補助金・年金・税金に関する情報	6
ごみの分別・収集関係の情報	4
職員募集・仕事募集	3
子育てに関する情報	2
その他（1件のみの回答）	13
合 計	28

【性別／年齢別】（上位 8 項目）

性別で比較すると、「医療（予防接種、休日診療など）」は、女性（47.0％）が男性（37.4％）より、9.6 ポイント高くなっている。一方、「都市計画や再開発のまちづくり」は、男性（20.8％）が女性（11.7％）より 9.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「医療（予防接種、休日診療など）」では、年齢が上がるに従い高くなっており、40 歳以上の全ての年齢で 4 割を超えている。「催し物やイベント、サークル活動」は、年齢が下がるに従い高くなる傾向があり、30～39 歳と 40～49 歳の年齢で 4 割を超えている。「公共施設の利用案内」は、年齢が上がるに従い高くなる傾向があり、60～69 歳で 39.9％と最も高くなっている。



図Ⅲ－３０ 広報紙やホームページで知りたい情報 上位 8 項目（性別／年齢別）

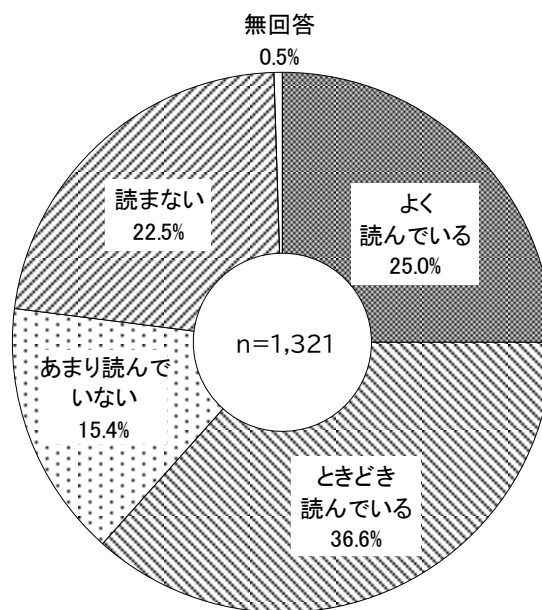
(4) 「広報ふなばし」の閲読状況

『読んでいる人』は6割超

【問7】「広報ふなばし」を読んでいますか。次の中から1つ選んでください。(Qは1つ)

「広報ふなばし」を読んでいるかについて聞いたところ、「よく読んでいる」(25.0%)と「ときどき読んでいる」(36.6%)を合わせた『読んでいる人』の割合は、61.6%と6割を超えている。

一方、「あまり読んでいない」(15.4%)と「読まない」(22.5%)を合わせた『読まない人』の割合は、37.9%で4割近くとなっている。

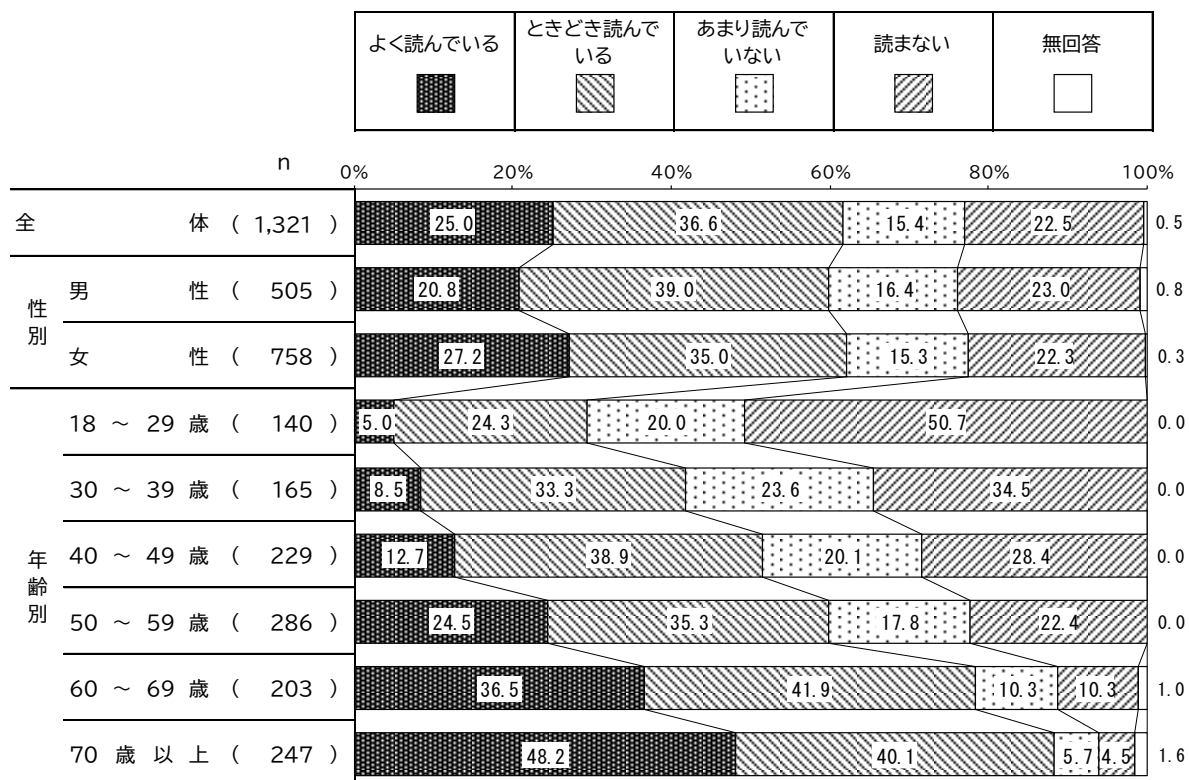


図Ⅲ－31 「広報ふなばし」の閲読状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「よく読んでいる」の割合は、女性（27.2％）が男性（20.8％）より 6.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるに従い「よく読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせた『読んでいる人』の割合が高くなっており、割合が最も低い 18～29 歳（29.3％）と最も高い 70 歳以上（88.3％）には 59.0 ポイントの差がある。



図Ⅲ－３２ 「広報ふなばし」の閲読状況（性別／年齢別）

(4-1) 「広報ふなばし」の入手方法

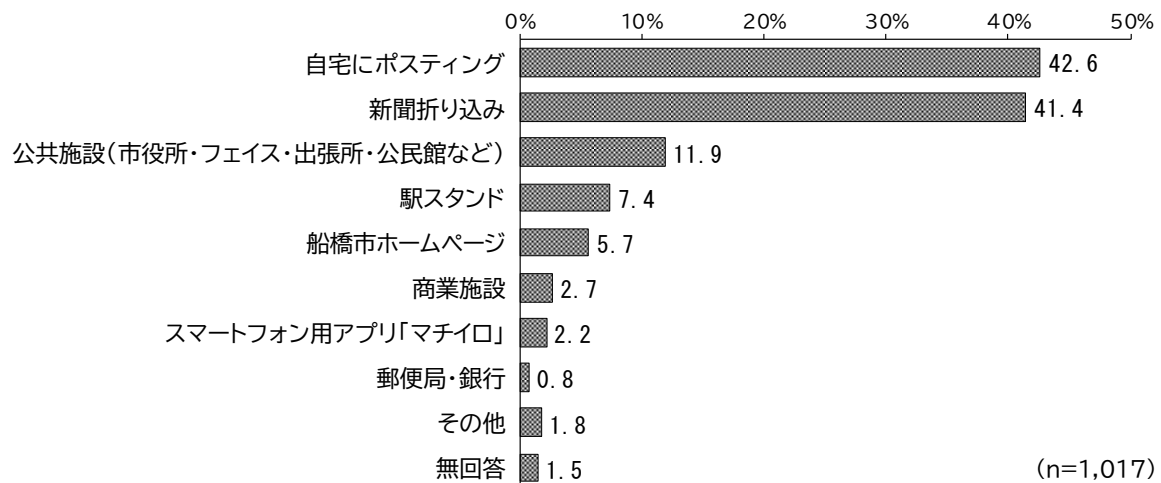
「広報ふなばし」の入手方法は、「自宅にポスティング」、「新聞折り込み」が4割超

（問7で「1. よく読んでいる」「2. ときどき読んでいる」「3. あまり読んでいない」とお答えの方）

【問7-1】「広報ふなばし」をどこで入手していますか。次の中からすべて選んでください。（〇はいくつでも）

「広報ふなばし」を「よく読んでいる」または「ときどき読んでいる」、「あまり読んでいない」と答えた人(1,017人)に、その入手方法を聞いたところ、「自宅にポスティング」(42.6%)が最も高く、「新聞折り込み」(41.4%)までが4割を超えている。次いで、「公共施設(市役所・フェイス・出張所・公民館など)」(11.9%)と続き、これら以外の入手方法は全て1割未満となっている。

「その他」については、「回覧板」(6件)などが挙げられている。



図Ⅲ－３３ 「広報ふなばし」の入手方法

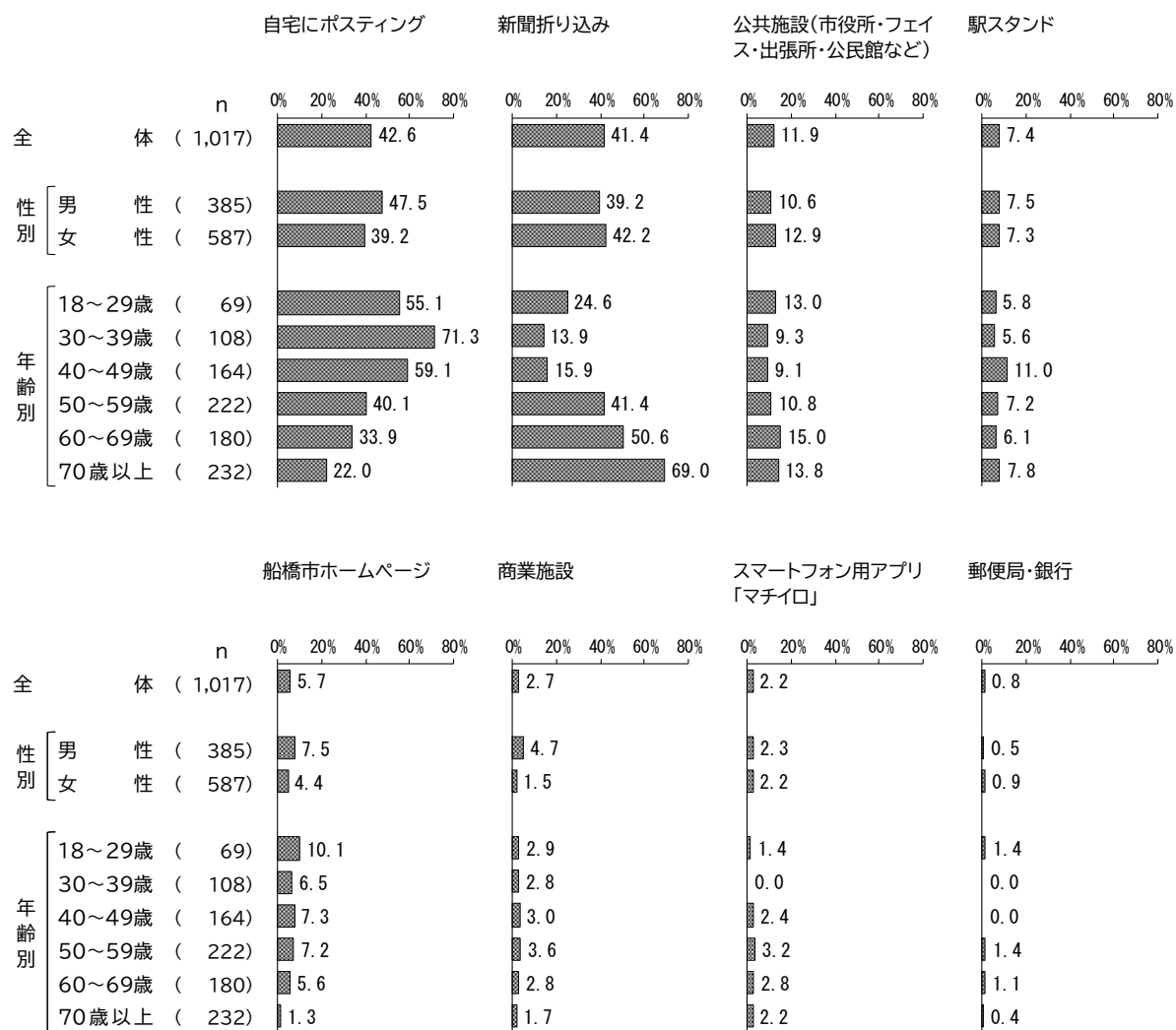
表Ⅲ－７ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
回覧板	6
船橋市LINE	2
その他（1件のみの回答）	9
（記載なし）	1
合 計	18

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「自宅にポスティング」では、男性（47.5％）が女性（39.2％）より 8.3 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「新聞折り込み」では、年齢が上がるに従い割合が高くなる傾向があり、割合が最も低い 30～39 歳（13.9％）と最も高い 70 歳以上（69.0％）には 55.1 ポイントの差がある。一方、「自宅にポスティング」では、年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向があり、割合が最も低い 70 歳以上（22.0％）と最も高い 30～39 歳（71.3％）には 49.3 ポイントの差がある。



図Ⅲ－34 「広報ふなばし」の入手方法（性別／年齢別）

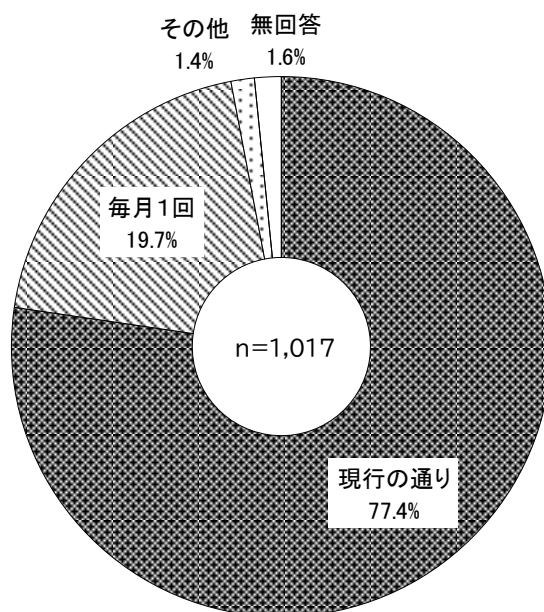
(4-2) 「広報ふなばし」の発行回数

「現行の通り」が8割近く

【問7-2】「広報ふなばし」は月2回（1日・15日）発行しています。発行回数で好ましいものを、次の中から1つ選んでください。（○は1つ）

「広報ふなばし」を「よく読んでいる」または「ときどき読んでいる」、「あまり読んでいない」と答えた人（1,017人）に、好ましい発行回数を聞いたところ、「現行の通り」が77.4%、「毎月1回」が19.7%となっている。

「その他」については、「年に2回」（3件）、「どちらでもよい」（3件）などが挙げられている。



図Ⅲ－35 「広報ふなばし」の発行回数

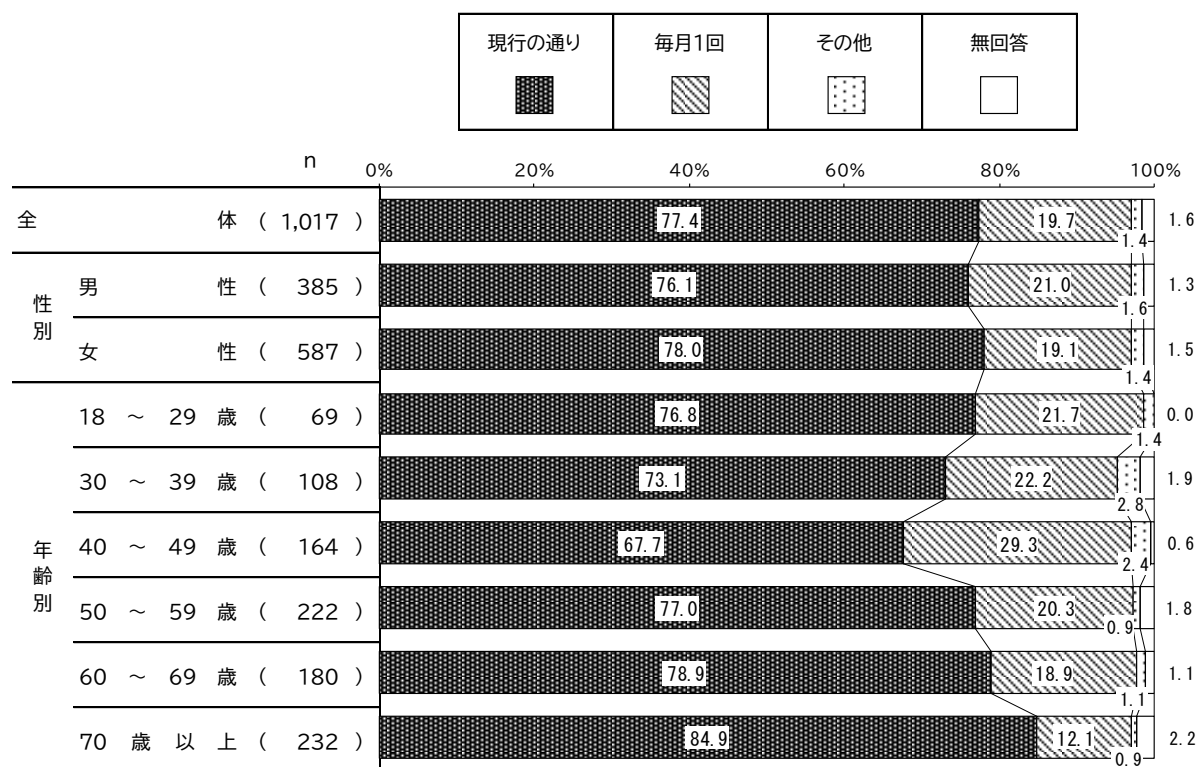
表Ⅲ－8 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
年に2回	3
どちらでもよい	3
その他（1件のみの回答）	2
わからない	3
（記載なし）	3
合 計	14

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「現行の通り」は、女性（78.0％）が男性（76.1％）より 1.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「現行の通り」の割合が最も低い 40～49 歳（67.7％）と最も高い 70 歳以上（84.9％）には 17.2 ポイントの差がある。



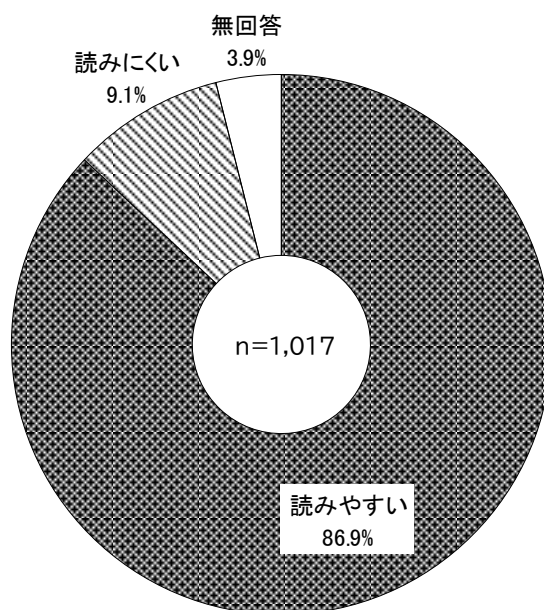
図Ⅲ－３６ 「広報ふなばし」の発行回数（性別／年齢別）

(4-3) 「広報ふなばし」の読みやすさ

「読みやすい」が9割近く

【問7-3】「広報ふなばし」は読みやすいですか。次の中から1つ選んでください。
(○は1つ)

「広報ふなばし」を「よく読んでいる」または「ときどき読んでいる」、「あまり読んでいない」と答えた人(1,017人)に、読みやすさを聞いたところ、「読みやすい」が86.9%、「読みにくい」が9.1%となっている。

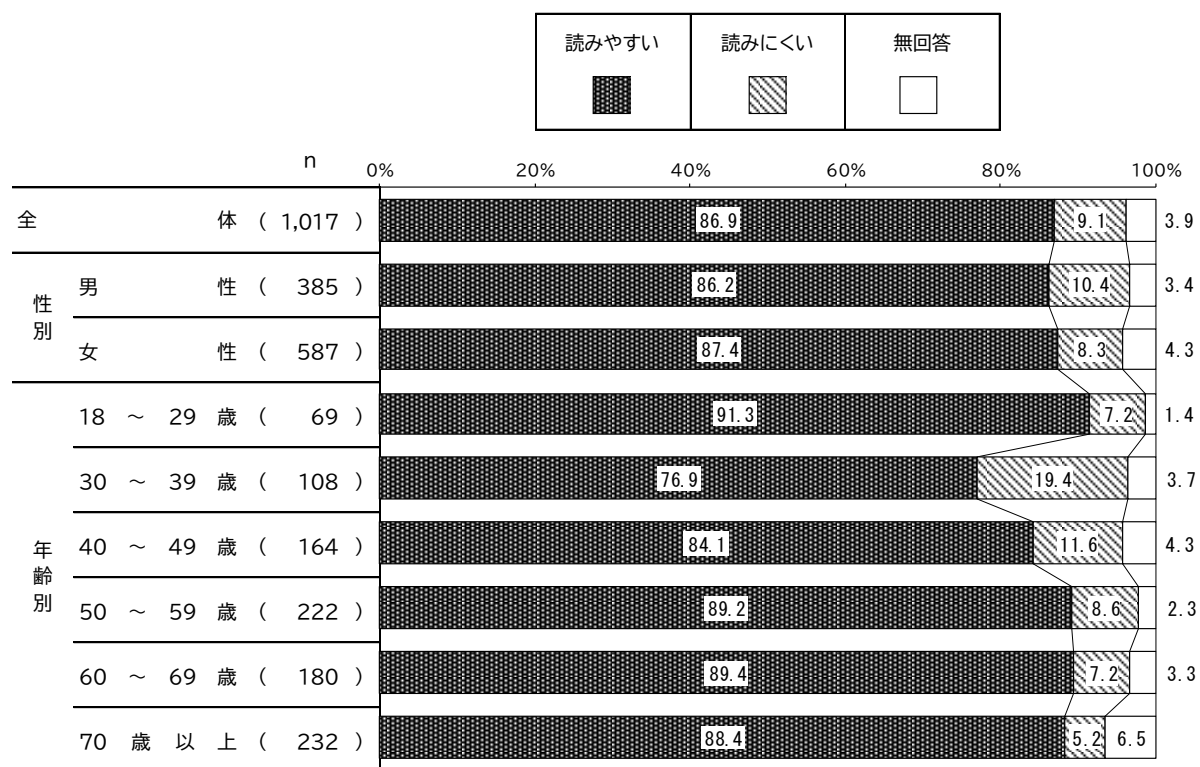


図Ⅲ-37 「広報ふなばし」の読みやすさ

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「読みにくい」は、男性（10.4%）が女性（8.3%）より 2.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読みやすい」の割合が最も低い 30～39 歳（76.9%）と最も高い 18～29 歳（91.3%）には 14.4 ポイントの差がある。



図Ⅲ－３８ 「広報ふなばし」の読みやすさ（性別／年齢別）

(4-4) 「広報ふなばし」を読まない理由

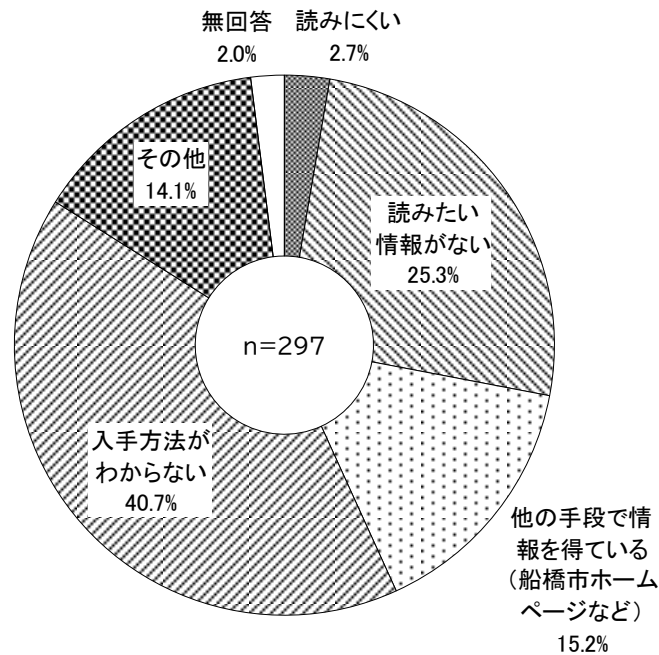
読まない理由は、「入手方法がわからない」が4割超

(問7で「4. 読まない」とお答えの方)

【問7-4】「広報ふなばし」を読まない理由を次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

「広報ふなばし」を「読まない」と答えた人(297人)に、読まない理由を聞いたところ、「入手方法がわからない」が40.7%で最も高く、次いで、「読みたい情報がない」(25.3%)、「他の手段で情報を得ている(船橋市ホームページなど)」(15.2%)と続いている。

「その他」については、「興味・関心がないから、読む気がしないから」(16件)などが挙げられている。



図Ⅲ-39 「広報ふなばし」を読まない理由

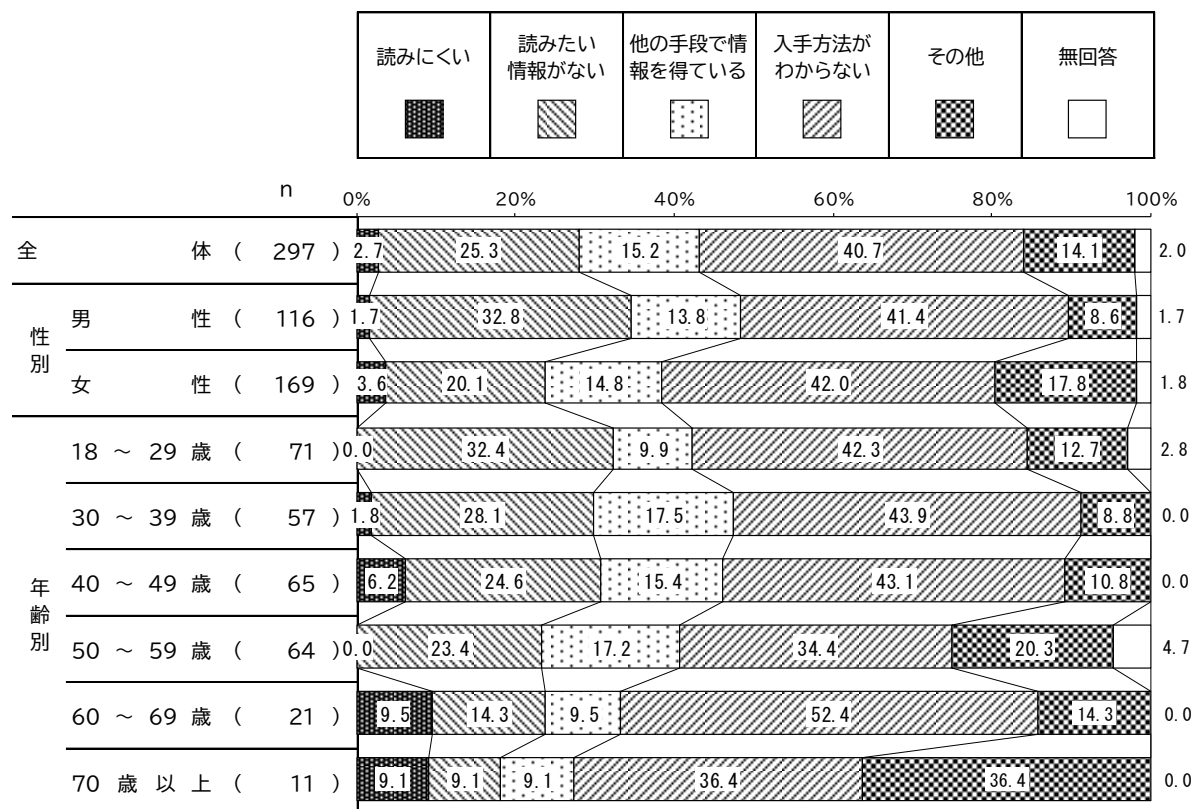
表Ⅲ-9 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
興味・関心がないから、読む気がしないから	16
新聞をとっていないから・新聞購読を止めたから・ポスティングされないから	12
読む機会・タイミング・時間がないから	3
「広報ふなばし」を知らないから	5
入手するのが面倒くさいから・わざわざ入手できる場所に行かないから	2
その他(1件のみの回答)	2
(記載なし)	4
合 計	44

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「読みたい情報がない」は、男性（32.8%）が女性（20.1%）より 12.7 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「入手方法がわからない」は、最も低い 50～59 歳（34.4%）と最も高い 60～69 歳（52.4%）には 18.0 ポイントの差があり、「他の手段で情報を得ている」は、最も低い 70 歳以上（9.1%）と最も高い 30～39 歳（17.5%）には 8.4 ポイントの差がある。



図Ⅲ－４０ 「広報ふなばし」を読まない理由（性別／年齢別）

(4-5) 「広報ふなばし」が読みにくい理由

読みにくい理由は、「興味ある情報・記事がない、少ない、つまらない」が多い

(問7-3で「2. 読みにくい」または 問7-4で「1. 読みにくい」とお答えの方)

【問7-5】読みにくいとされた具体的な理由をご自由にお書きください。

「広報ふなばし」を「読みにくい」と答えた人(101人)に、読みにくい具体的な理由について自由意見を聞いたところ、「興味のある情報・記事がない、少ない、つまらない」(18件)が最も多く、次いで、「文字・活字が小さすぎる」、「ページ・記事・情報が多すぎる、ごちゃごちゃしている」、「情報がわかりにくい、必要な情報が探しにくい、要点がわからない」(ともに10件)、「文字・活字が多すぎる」(9件)と続いている。

表Ⅲ-10 「広報ふなばし」が読みにくい理由の内容

「広報ふなばし」が読みにくい理由の内容	件数
興味のある情報・記事がない、少ない、つまらない	18
文字・活字が小さすぎる	10
ページ・記事・情報が多すぎる、ごちゃごちゃしている	10
情報がわかりにくい、必要な情報が探しにくい、要点がわからない	10
文字・活字が多すぎる	9
レイアウト・段組み・配置がよくない	8
構成が読みにくい	5
図・写真が少ない	3
その他(1件のみの回答)	9
(記載なし)	33
合 計	115

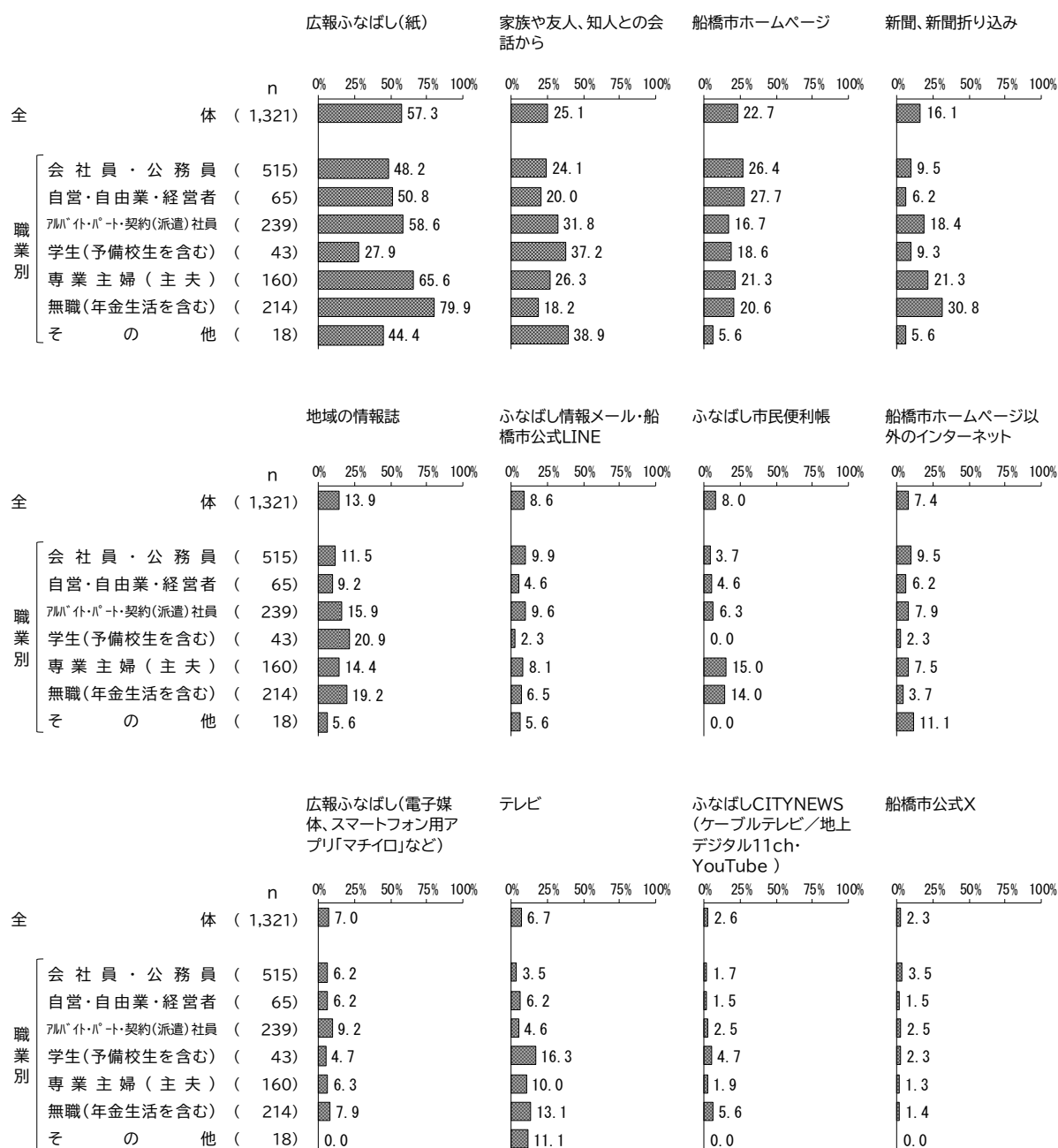
(5) 「広報活動」概観

市の事業やイベント情報などを得る手段は、職業によって大きな差がある

市の事業やイベント情報などを得る手段については、全体、性別、年齢別に比較しているが、ここでは、職業別の区分間で差が見られる項目を挙げる。

※「農業・漁業」はn数が4、「家族従業（農業・漁業を除く）」はn数が11と少ないため掲載せず

職業別にみると、「広報ふなばし（紙）」では、無職（年金生活を含む）（79.9%）、専業主婦（主夫）（65.6%）の割合が高くなっている。「家族や友人、知人との会話から」では、学生（予備校生を含む）（37.2%）、アルバイト・パート・契約（派遣）社員（31.8%）の割合が、「船橋市ホームページ」では、自営・自由業・経営者（27.7%）、会社員・公務員（26.4%）の割合が高くなっている。



図Ⅲ－４１ 市の事業やイベント情報などの入手方法 上位12項目（職業別）

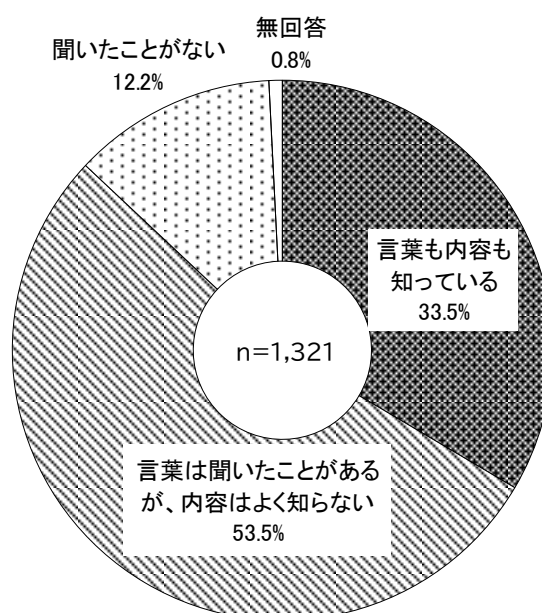
3. 「生涯学習」について

(1) 生涯学習の認知度

「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が5割超

【問8】あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。
(○は1つ)

生涯学習について聞いたところ、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が53.5%で最も高く、次いで、「言葉も内容も知っている」(33.5%)、「聞いたことがない」(12.2%)となっている。

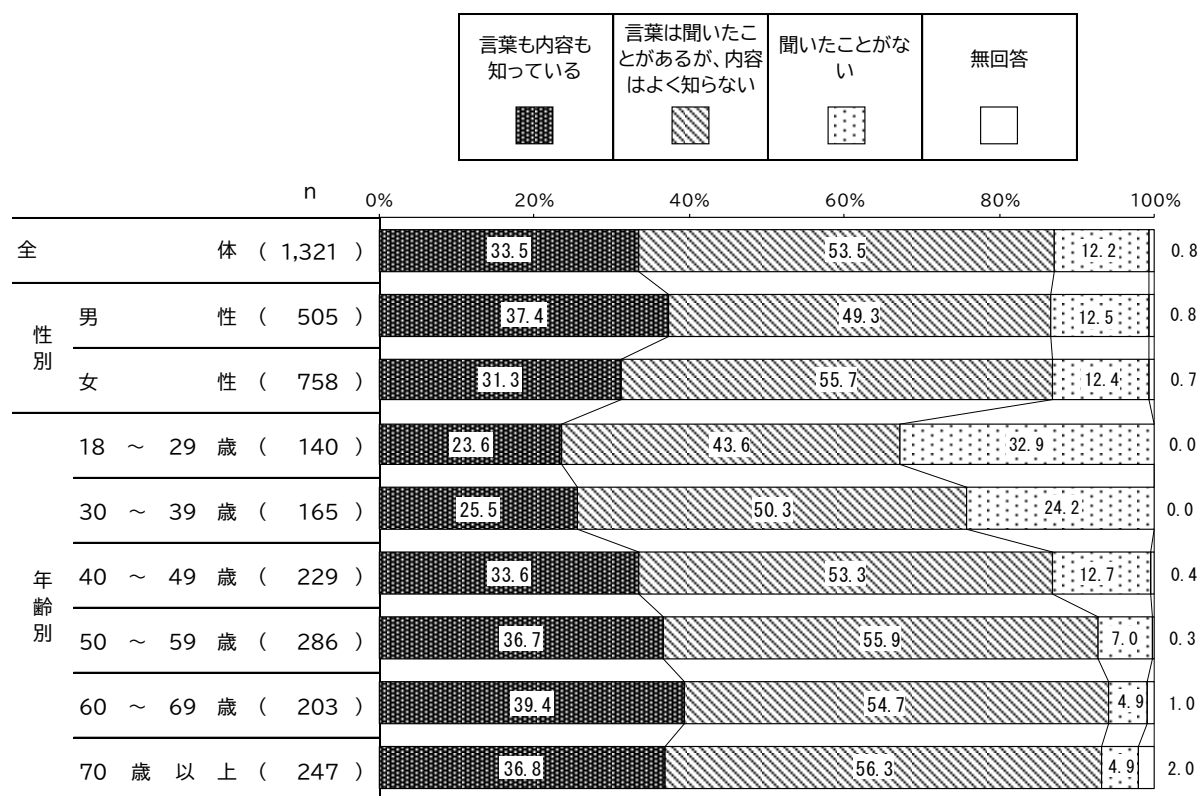


図Ⅲ－42 生涯学習の認知度

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」では、女性（55.7%）が男性（49.3%）より 6.4 ポイント高く、「言葉も内容も知っている」では、男性（37.4%）が女性（31.3%）より 6.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「言葉も内容も知っている」では、年齢が上がるに従い割合が高くなる傾向があり、割合が最も低い 18～29 歳（23.6%）と最も高い 60～69 歳（39.4%）では、15.8 ポイントの差がある。



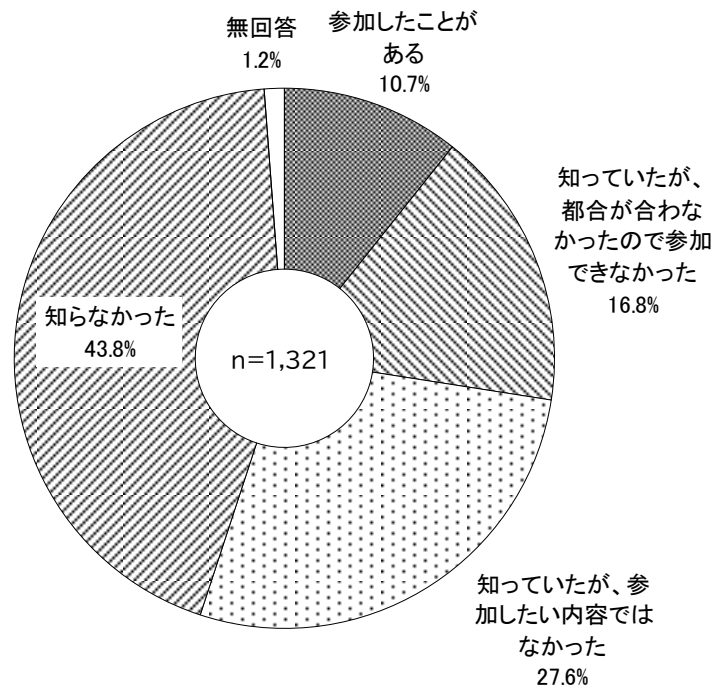
図Ⅲ－４３ 生涯学習の認知度（性別／年齢別）

(2) 講演会・学習会・催し物の参加状況

講演会・学習会・催し物に参加した人は1割超

【問9】あなたは、この1年間に船橋市（公民館を含む）が主催した講演会・学習会・催し物に参加したことがありますか。（○は1つ）

この1年間に、船橋市が主催するイベントに参加したことがあるかについて聞いたところ、「知らなかった」（43.8%）が最も高く、次いで「知っていたが、参加したい内容ではなかった」（27.6%）、「知っていたが、都合が合わなかったので参加できなかった」（16.8%）、「参加したことがある」（10.7%）となっている。

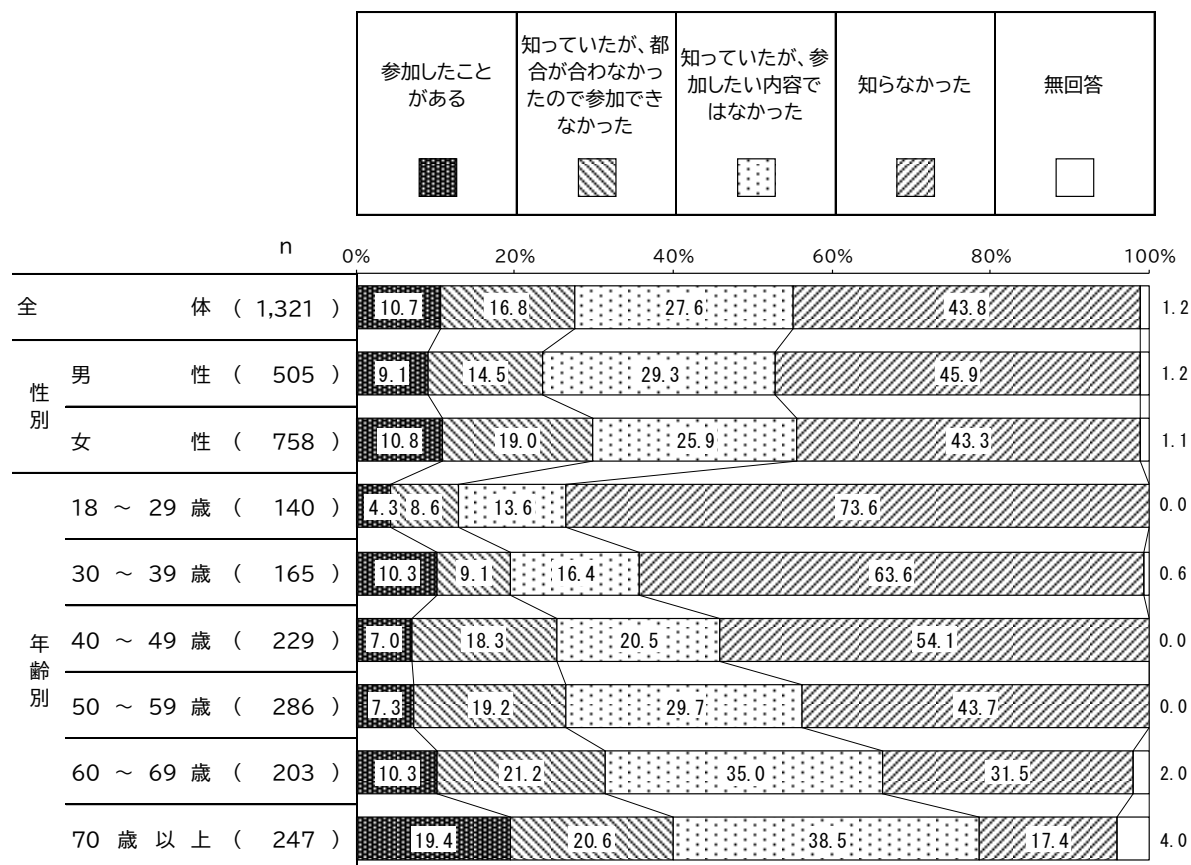


図Ⅲ－４４ 講演会・学習会・催し物の参加状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「知っていたが、都合が合わなかったので参加できなかった」の割合は、女性（19.0%）が男性（14.5%）より4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が下がるに従い「知らなかった」の割合が高くなっており、最も高い18～29歳（73.6%）と最も低い70歳以上（17.4%）には56.2ポイントの差がある。



図Ⅲ－４５ 講演会・学習会・催し物の参加状況（性別／年齢別）

(3) 継続した学び・活動をしているか

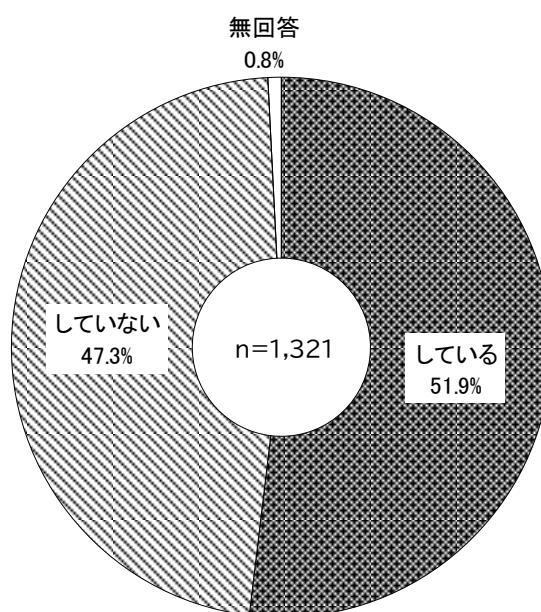
「継続して何かを学んだり、活動をしている」が5割超

【問10】あなたは、継続して（※）何かを学んだり、活動したりしていますか。

（○は1つ）

※ この1年くらいの間に、月に1日以上学びを行っている状態のこと。

この1年くらいの間に、継続して月に1日以上学びや活動をしているか聞いたところ、「している」が51.9%、「していない」が47.3%となっている。

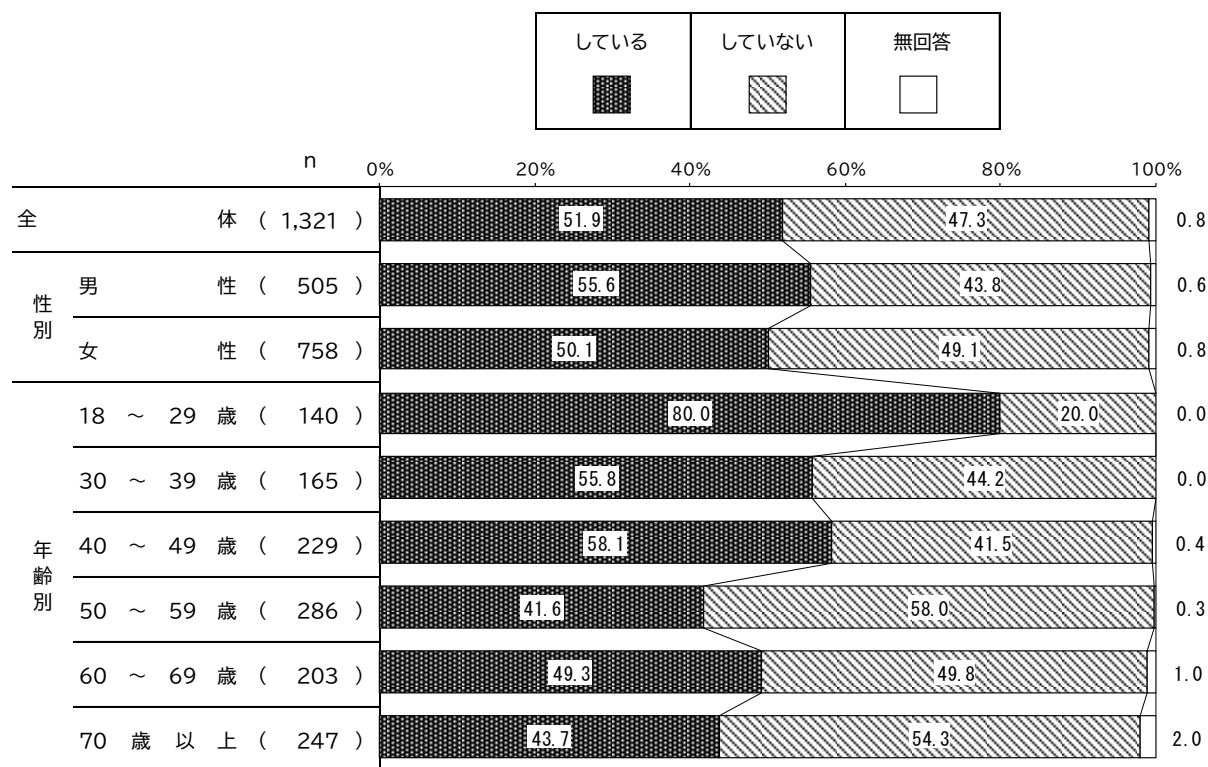


図Ⅲ－４６ 継続した学び・活動をしているか

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「している」では、男性（55.6％）が女性（50.1％）より 5.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「している」の割合が最も低い 50～59 歳（41.6％）と最も高い 18～29 歳（80.0％）には 38.4 ポイントの差がある。



図Ⅲ－４７ 継続した学び・活動をしているか（性別／年齢別）

(4) 学びの成果を活かしたいか

『活かしている・活かしたい人』の割合は5割超

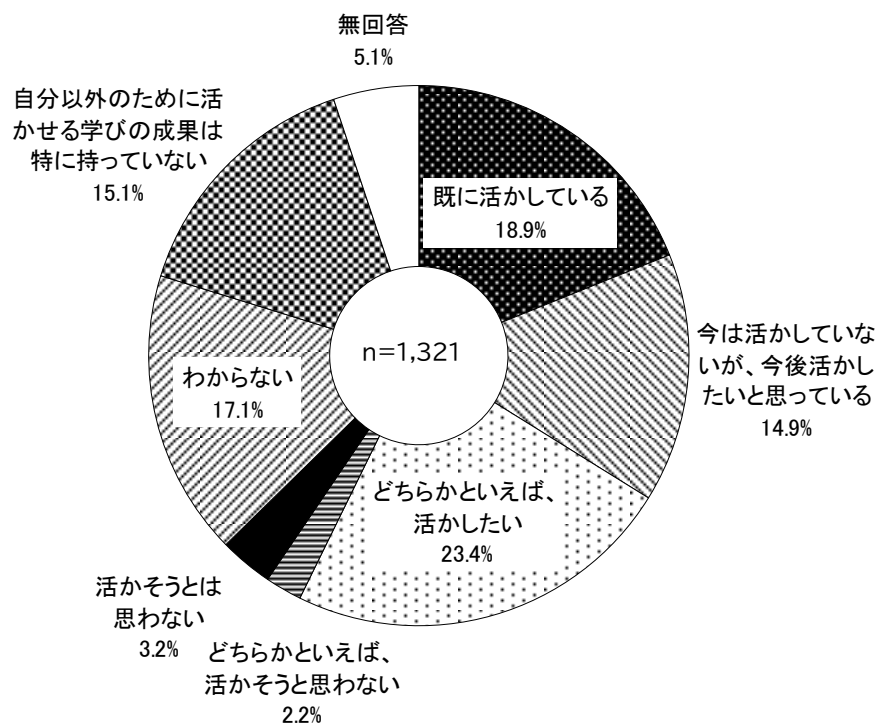
【問11】あなたは、学びの成果（※1）を自分以外のために活かしたいと思いますか。
（※2）（○は1つ）

※1 自分のこれまでの学びや活動を通じて得た知識・技術・技能などのこと。

※2 仕事、地域や社会での活動、家庭・日常の生活、家族や友人等の健康の維持・増進などに役立てること。

学びの成果を自分以外に活かしたいと思っているかを聞いたところ、「どちらかといえば、活かしたい」が23.4%で最も高く、次いで「既に活かしている」(18.9%)、「わからない」(17.1%)、「自分以外のために活かせる学びの成果は特に持っていない」(15.1%)と続いている。また、「既に活かしている」、「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」、「どちらかといえば、活かしたい」を合わせた『活かしている・活かしたい人』の割合は57.2%と5割を超えている。

「活かそうとは思わない」は3.2%、「どちらかといえば、活かそうとは思わない」は2.2%となっている。

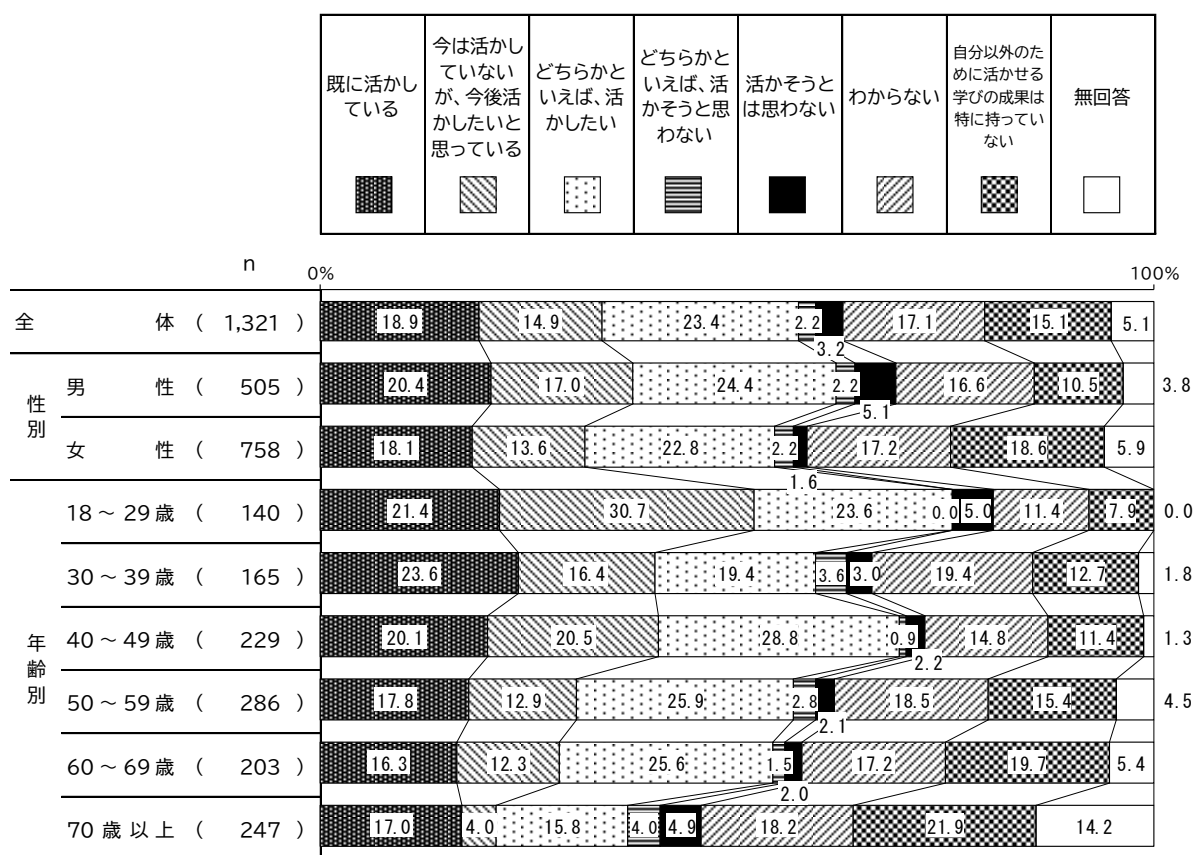


図Ⅲ－48 学びの成果を活かしたいか

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「既に活かしている」、「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」、「どちらかといえば、活かしたい」で男性（20.4%、17.0%、24.4%）が女性（18.1%、13.6%、22.8%）よりそれぞれ2.3、3.4、1.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」では18～29歳（30.7%）が最も高く、「どちらかといえば、活かしたい」では40～49歳（28.8%）、「既に活かしている」では30～39歳（23.6%）が最も高い。「既に活かしている」、「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」、「どちらかといえば、活かしたい」を合わせた『活かしている・活かしたい人』の割合は年齢が下がるに従い高くなる傾向があり、最も高い18～29歳（75.7%）と最も低い70歳以上（36.8%）に38.9ポイントの差がある。



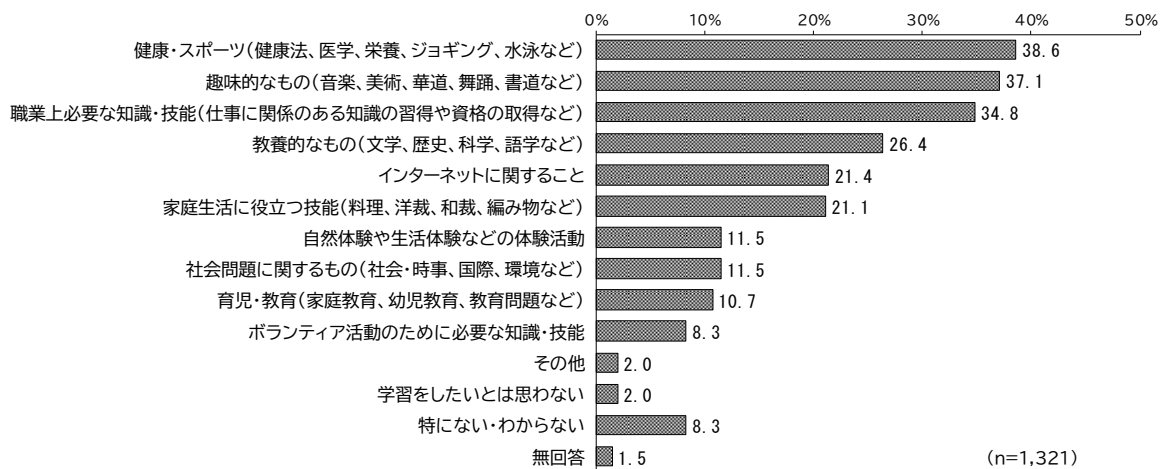
図Ⅲ－４９ 学びの成果を活かしたいか（性別／年齢別）

(5) 新たに学習したいこと

「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が4割弱

【問12】今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。
(〇はいくつでも)

「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が38.6%で最も高く、次いで「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」(37.1%)、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」(34.8%)、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」(26.4%)と続いている。

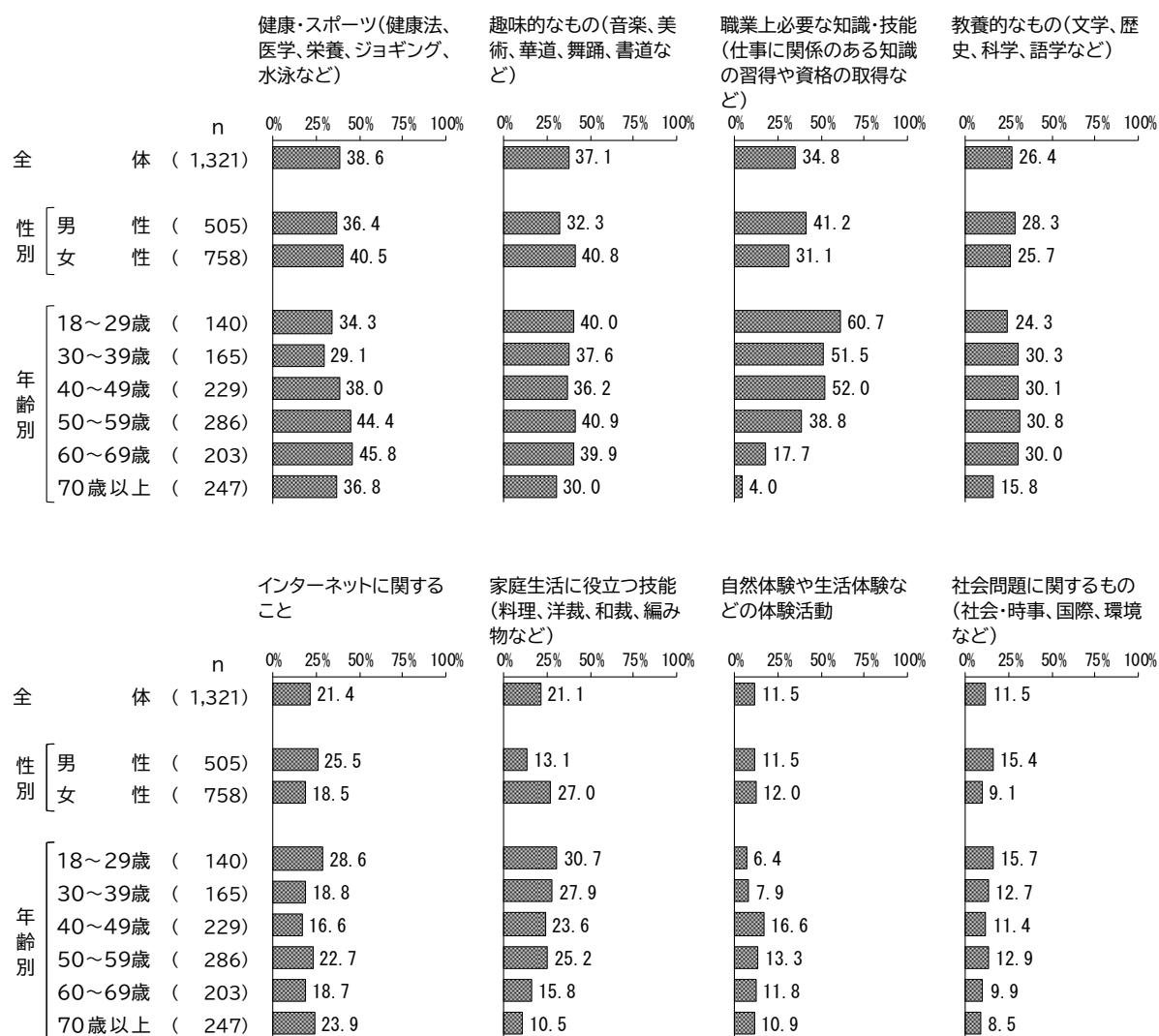


図Ⅲ－５０ 新たに学習したいこと

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)」では女性(27.0%)が男性(13.1%)よりも13.9ポイント高く、「職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)」では、男性(41.2%)が女性(31.1%)より10.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)」では、年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向があり、割合が最も低い70歳以上(4.0%)と最も高い18～29歳(60.7%)には56.7ポイントの差がある。



図Ⅲ－５１ 新たに学習したいこと 上位８項目（性別／年齢別）

(6) 「生涯学習」概観

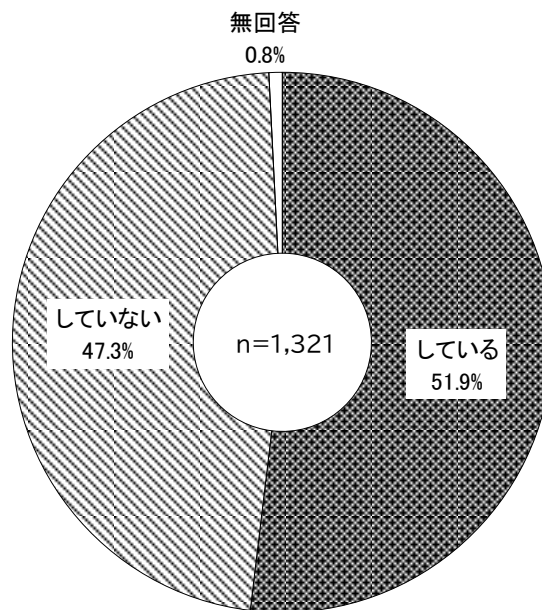
ふなばし一番星プランで設定している目標の①「継続して何かを学んだり、活動したりしている人の割合」は 51.9%、②「学びの成果を自分以外のために活かす（既に活かしている）人の割合」は 18.9%

第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）では、生涯をとおして自分らしく学び続け、学びの成果を活かすことができる社会の実現を目指すため、2つの目標を設定しています。

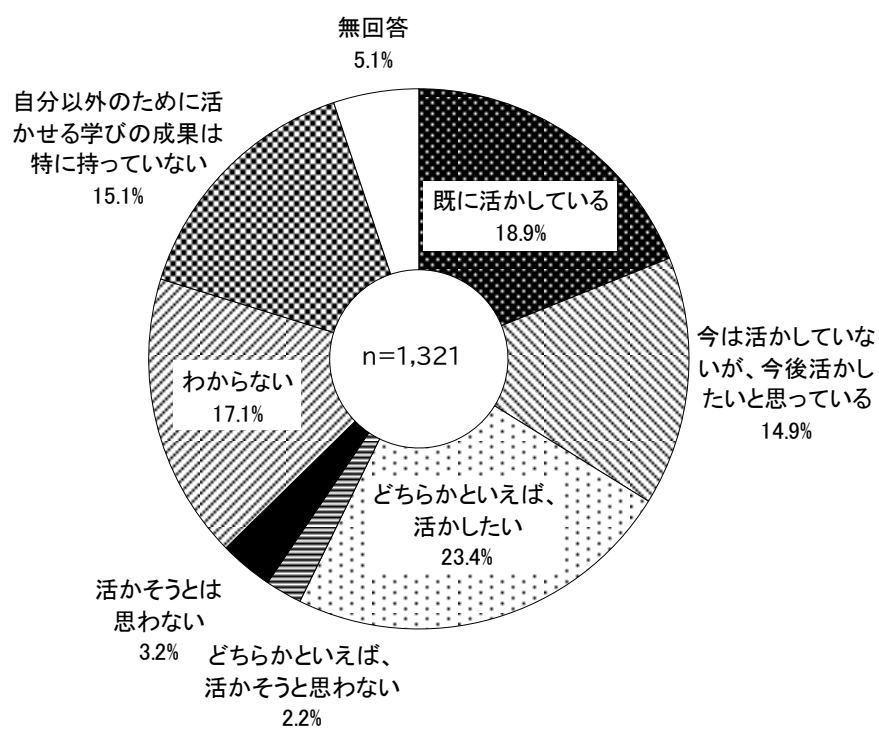
1つ目は「継続して何かを学んだり、活動したりしている人の割合」の向上で、本調査では 51.9%でしたが、ふなばし一番星プランの目標値は令和 13 年度に 60.0%としています。

2つ目は「学びの成果を自分以外のために活かす（既に活かしている）人の割合」の向上で、本調査では 18.9%でしたが、ふなばし一番星プランの目標値は令和 13 年度に 23.0%としています。

今後についても、目標値を達成するため、生涯学習に関する施策を展開していきます。



再掲 図Ⅲ－4 6 継続した学び・活動をしているか



再掲 図Ⅲ－４８ 学びの成果を活かしたいか

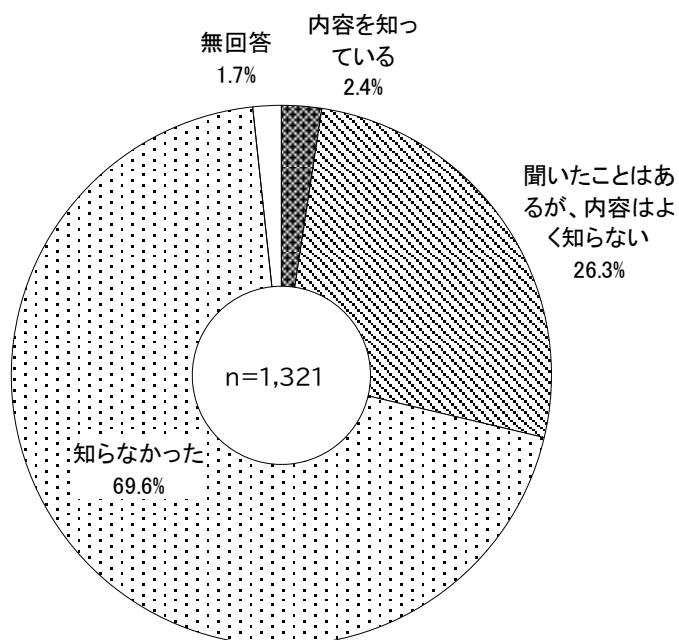
4. 「公園」と「緑」について

(1) 船橋市緑の基本計画の認知度

「船橋市緑の基本計画」の『内容を知らない人』が9割超

【問13】「船橋市緑の基本計画」をご存じですか。(○は1つ)

「船橋市緑の基本計画」について聞いたところ、「知らなかった」が69.6%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(26.3%)、「内容を知っている」(2.4%)となっている。「知らなかった」(69.6%)と「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(26.3%)を合わせた『内容を知らない人』の割合は95.9%と9割を超えている。

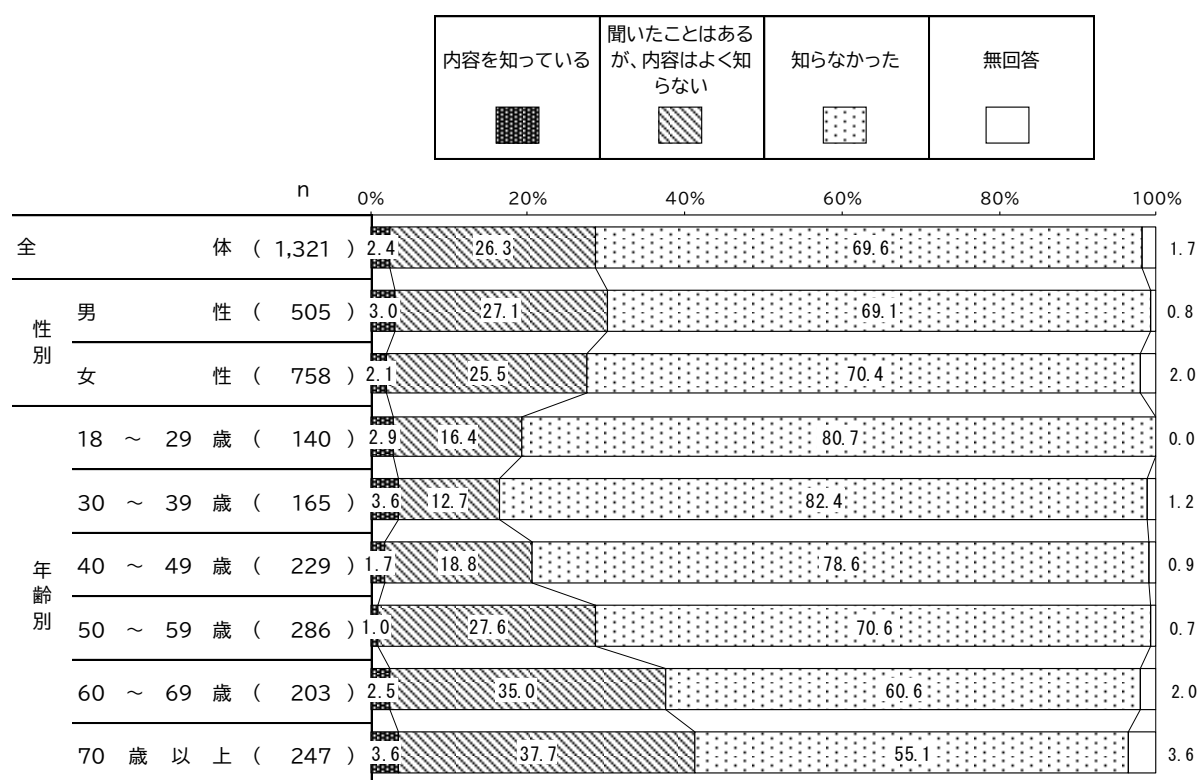


図Ⅲ－52 船橋市緑の基本計画の認知度

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」では、男性（27.1％）が女性（25.5％）より 1.6 ポイント高く、「知らなかった」では、女性（70.4％）が男性（69.1％）より 1.3 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知らなかった」の割合は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い 70 歳以上（55.1％）と最も高い 30～39 歳（82.4％）には 27.3 ポイントの差がある。一方、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」では、年齢が上がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、割合が最も低い 30～39 歳（12.7％）と最も高い 70 歳以上（37.7％）には 25.0 ポイントの差がある。



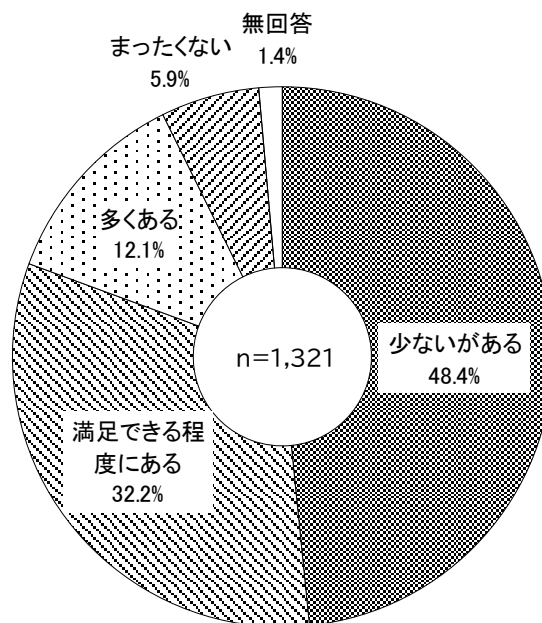
図Ⅲ－５３ 船橋市緑の基本計画の認知度（性別／年齢別）

(2) 目に映りふれあうことのできる緑の量

『多くある・満足できる程度にあると感じる人』の割合は4割超

【問14】「船橋市緑の基本計画」では、都市の中でどこにでも緑が目に入り、ふれあうことのできる、都市と緑が共生する街づくりの実現をめざしています。お住いの近くで日常的に目に映りふれあうことのできる緑はありますか。(〇は1つ)

日常的に目に映りふれあうことのできる緑はあるかを聞いたところ、「少ないがある」が48.4%で最も高く、次いで、「満足できる程度にある」(32.2%)、「多くある」(12.1%)と続いている。また、「多くある」(12.1%)と「満足できる程度にある」(32.2%)を合わせた『多くある・満足できる程度にあると感じる人』の割合は44.3%と4割を超えている。

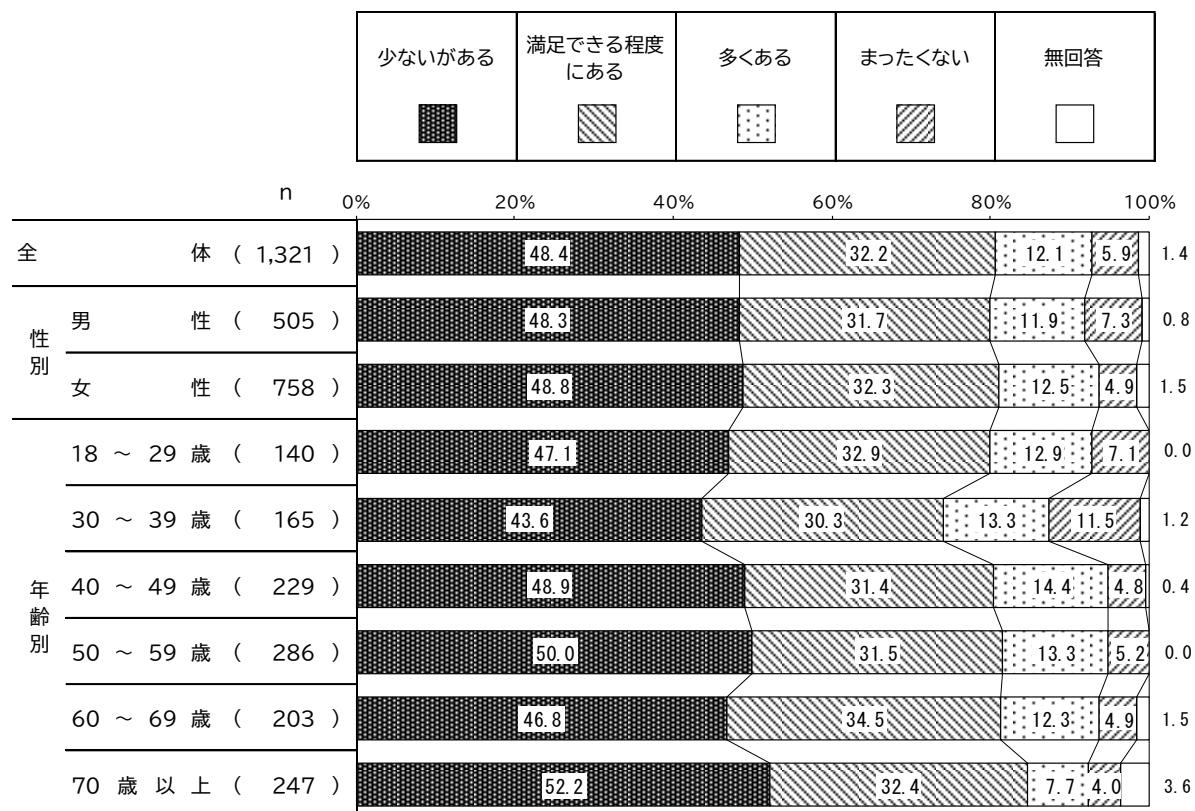


図Ⅲ－５４ 目に映りふれあうことのできる緑の量

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「少ないがある」、「満足できる程度にある」、「多くある」の割合は、男性（48.3%、31.7%、11.9%）、女性（48.8%、32.3%、12.5%）とほとんど変わらない。

年齢別にみると、「少ないがある」の割合は、割合が最も低い30～39歳（43.6%）と最も高い70歳以上（52.2%）には8.6ポイントの差がある。一方、「まったくない」では、割合が最も低い70歳以上（4.0%）と最も高い30～39歳（11.5%）には7.5ポイントの差がある。

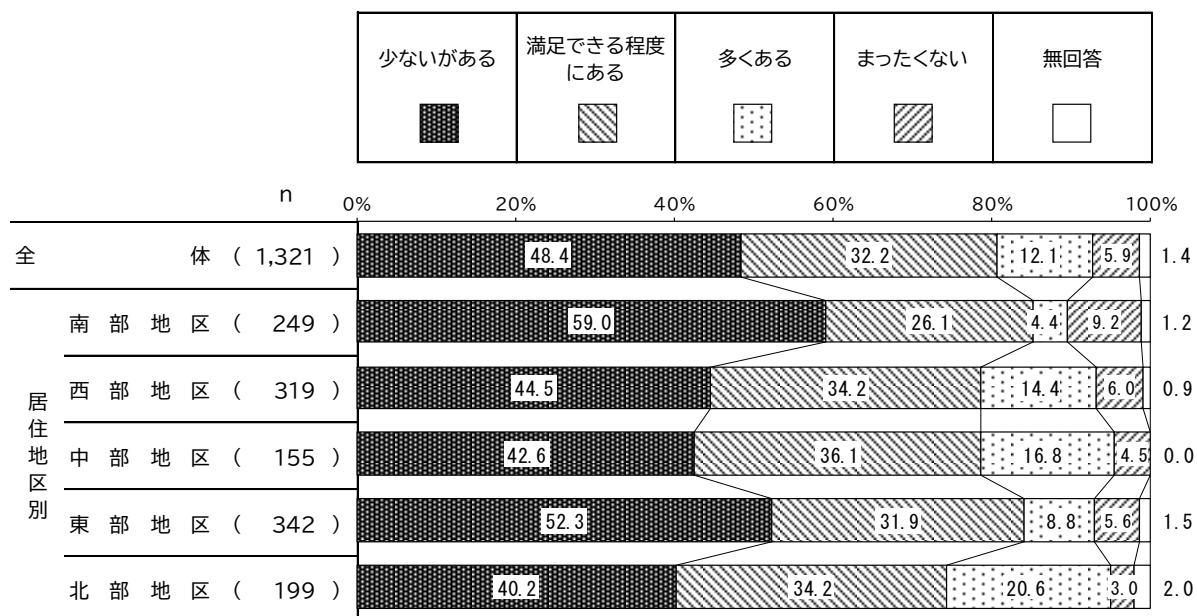


図Ⅲ－５５ 目に映りふれあうことのできる緑の量（性別／年齢別）

【居住地区別】

居住地区別で比較すると、「少ないがある」の割合は、南部地区（59.0%）が最も高く、北部地区（40.2%）で最も低くなっている。一方、「多くある」の割合は、北部地区（20.6%）が最も多く、南部地区（4.4%）が最も低くなっている。

「少ないがある」、「満足できる程度にある」、「多くある」を合わせた『あると感じる人』の割合では、全ての地区でおおむね9割となっている。



図Ⅲ－５６ 目に映りふれあうことのできる緑の量（居住地区別）

(3) 近隣の緑に関する状況

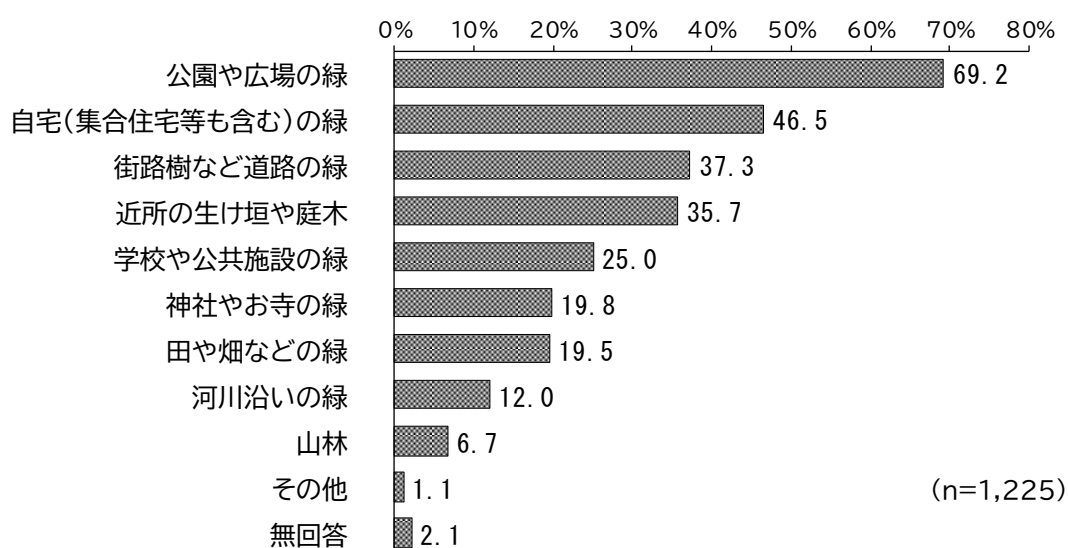
「公園や広場の緑」が7割弱

(問14で「1. 少ないがある」「2. 満足できる程度にある」「3. 多くある」とお答えの方)

【問15】お住いの近くにあるのはどのような緑ですか。(〇はいくつでも)

日常的に目に映りふれあうことができる緑について、「少ないがある」「満足できる程度にある」「多くある」と答えた人(1,225人)にその具体的な場所を聞いたところ、「公園や広場の緑」が69.2%で最も高く、次いで「自宅(集合住宅等も含む)の緑」(46.5%)、「街路樹など道路の緑」(37.3%)、「近所の生け垣や庭木」(35.7%)と続いている。

「その他」については、「緑地」、「竹林・雑木林」(ともに2件)などが挙げられている。



図Ⅲ－５７ 近隣の緑に関する状況

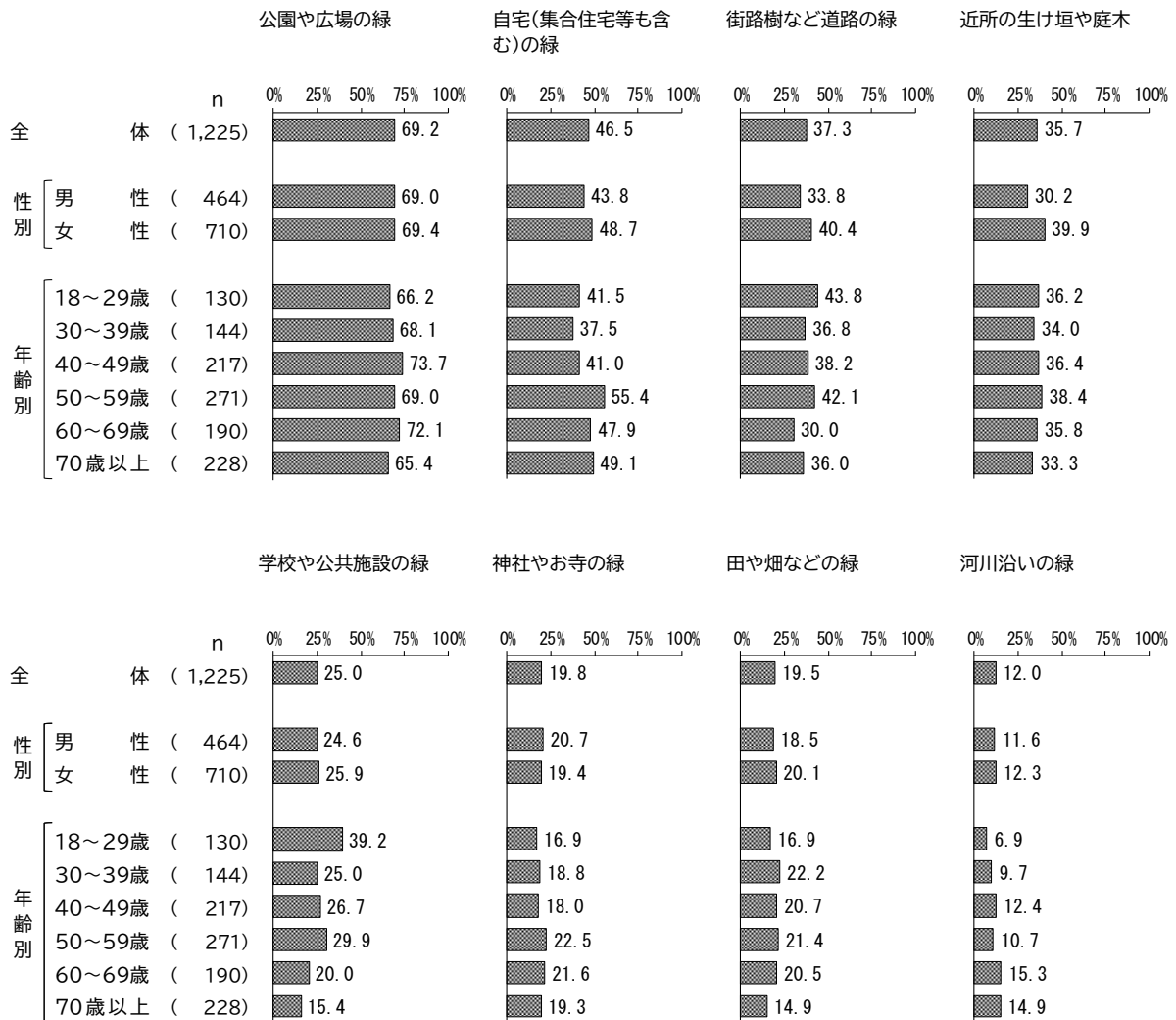
表Ⅲ－１１ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
緑地	2
竹林・雑木林	2
その他(1件のみの回答)	10
合 計	14

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「近所の生け垣や庭木」、「街路樹など道路の緑」、「自宅（集合住宅等も含む）の緑」では、女性（39.9%、40.4%、48.7%）が男性（30.2%、33.8%、43.8%）より 9.7、6.6、4.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自宅（集合住宅等も含む）の緑」では、50～59 歳が 55.4%と最も高くなっている。



図Ⅲ－５８ 近隣の緑に関する状況 上位８項目（性別／年齢別）

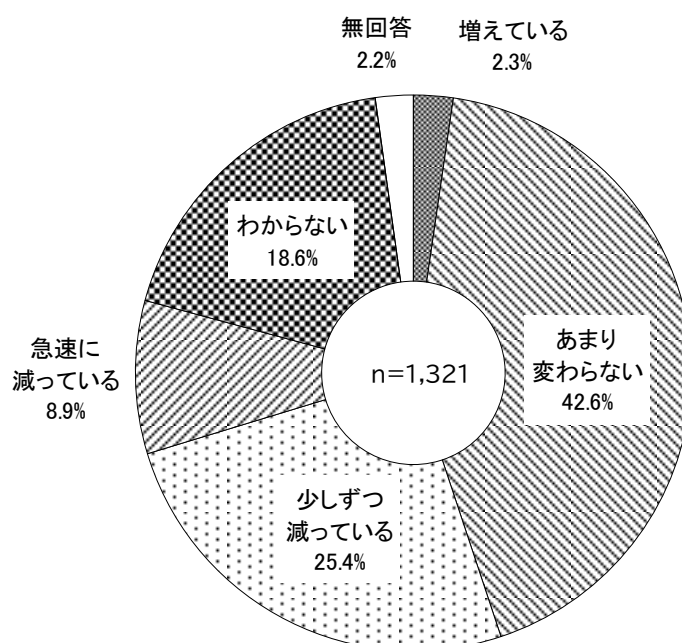
(4) 緑の量の変化

『減っていると感じる人』は3割超

【問16】緑の量の変化についておたずねします。10年前と比べて自宅周辺の緑の量はどのように変化していますか。(〇は1つ)

10年前と比べた自宅周辺の緑の量の変化を聞いたところ、「あまり変わらない」が42.6%で最も高く、次いで、「少しずつ減っている」(25.4%)、「急速に減っている」(8.9%)と続いている。

「少しずつ減っている」と「急速に減っている」を合わせた『減っていると感じる人』の割合は34.3%となっている。

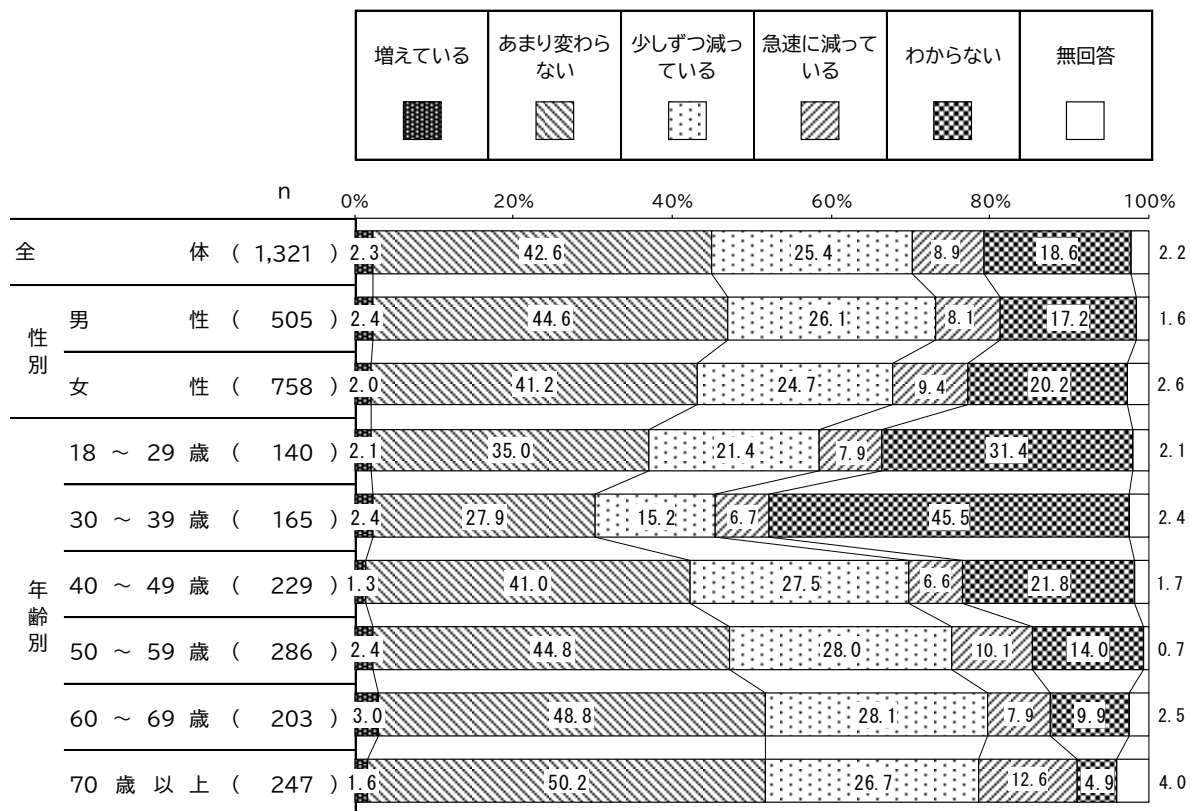


図Ⅲ－59 緑の量の変化

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「あまり変わらない」、「少しずつ減っている」では、男性（44.6%、26.1%）が女性（41.2%、24.7%）より3.4、1.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「少しずつ減っている」と「急速に減っている」を合わせた『減っていると感じる人』の割合では、50～59歳（38.1%）、60～69歳（36.0%）、70歳以上（39.3%）となっている。

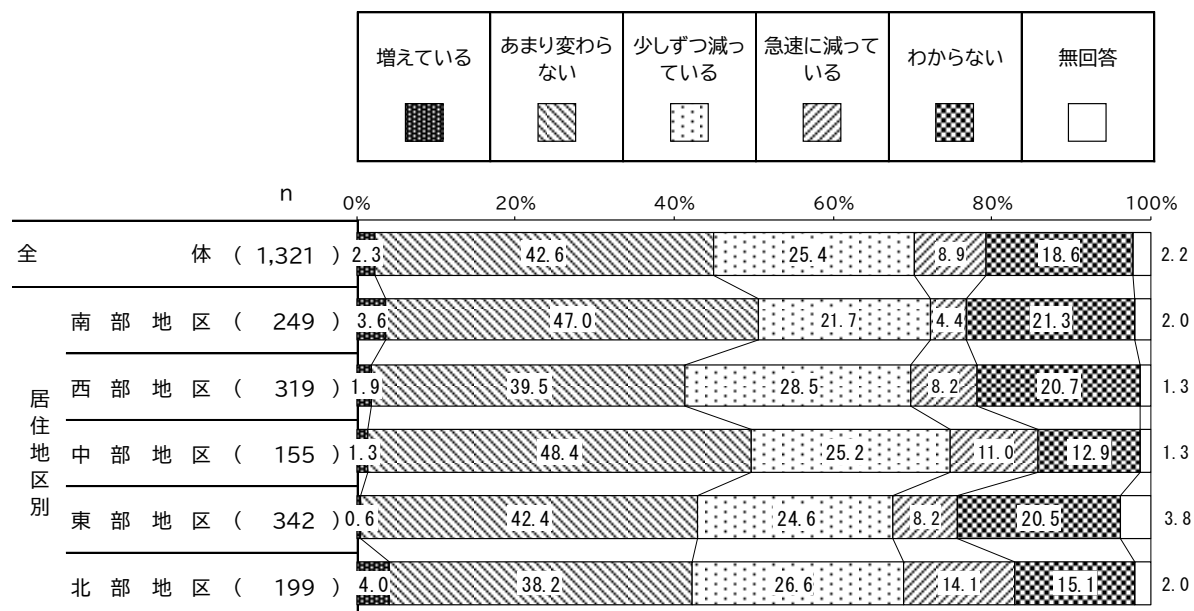


図Ⅲ－60 緑の量の変化（性別／年齢別）

【居住地区別】

居住地区別で比較すると、「あまり変わらない」では、中部地区（48.4%）が最も高く、次いで南部地区（47.0%）、東部地区（42.4%）までが4割を超えている。

「少しずつ減っている」と「急速に減っている」を合わせた『減っていると感じる人』の割合では、北部地区（40.7%）が最も高く、最も低い南部地区（26.1%）と14.6ポイントの差がある。



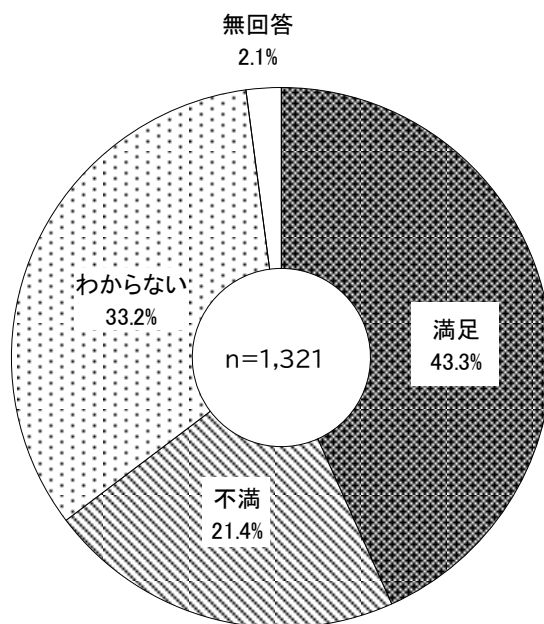
図Ⅲ－61 緑の量の変化（居住地区別）

(5) 近隣の公園の満足度

「満足」が4割超

【問17】自宅から徒歩15分（距離1km）で行ける公園についてどのように感じていますか。（Qは1つ）

自宅から徒歩15分（距離1km）で行ける公園についてどのように感じているか聞いたところ、「満足」が43.3%、「不満」が21.4%、「わからない」が33.2%となっている。

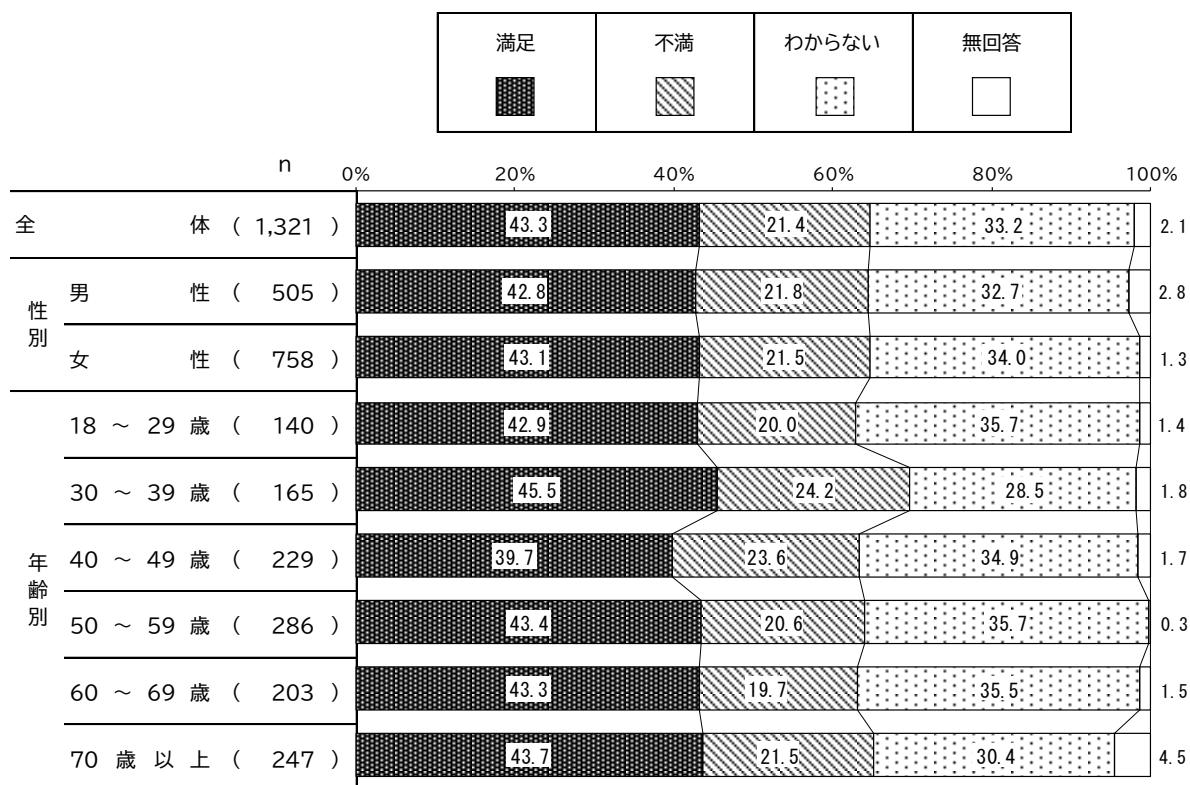


図Ⅲ－62 近隣の公園の満足度

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「満足」、「不満」とともに、男性（42.8%、21.8%）と女性（43.1%、21.5%）でほとんど変わらない。

年齢別にみると、「満足」では30～39歳（45.5%）が最も高く、次いで70歳以上（43.7%）、50～59歳（43.4%）、60～69歳（43.3%）と続いている。一方、「不満」でも30～39歳（24.2%）が最も高く、次いで40～49歳（23.6%）、70歳以上（21.5%）と続いている。



図Ⅲ－63 近隣の公園の満足度（性別／年齢別）

(5-1) 満足、不満の具体的な理由

満足な理由は、「家の近所にある」、「公園が広い」、「散歩・ジョギングができる」が多く、不満な理由は「公園が小さい」、「緑が少ない」、「家の近くにない」が多い。

(問17で「1. 満足」または「2. 不満」とお答えの方)

【問17-2】「満足」、「不満」と感じるのはどのような点ですか。(自由記述)

自宅から行ける公園について「満足」と答えた人(572人)に、満足と感じる具体的な理由を聞いたところ、「家の近所にある」(71件)が最も多く、次いで、「公園が広い」(62件)、「散歩・ジョギングができる」(52件)、「緑が多い」(51件)と続いている。

一方、「不満」と答えた人(283人)に、不満と感じる具体的な理由を聞いたところ、「公園が小さい」(63件)が最も多く、次いで、「緑が少ない」(33件)、「家の近くにない」(29件)、「整備されていない」、「ボール遊びができない」(ともに26件)と続いている。

表Ⅲ-12 「満足」と感じる内容

「満足」と感じる内容	件数
家の近所にある	71
公園が広い	62
散歩・ジョギングができる	52
緑が多い	51
大人・子どもが遊べる	43
清潔・整備されている	37
桜・紅葉	35
遊具がある	30
複数の公園がある	29
四季を感じられる	21
静か・安らぐ	18
行田公園	14
運動・スポーツができる	12
ベンチがある	11
犬の散歩ができる	10
特に不満がない	7
休憩できる	5
気軽に利用できる	5
現状に満足している	4
夏祭りがある	3
施設・設備が多くある	3
思い出がある	2
近くに神社がある	2
天沼弁天池公園	2
長津川親水公園(ふれあい広場)	2
その他(1件のみの回答)	28
(記載なし)	173
合 計	732

表Ⅲ－１３ 「不満」と感じる内容

「不満」と感じる内容	件数
公園が小さい	63
緑が少ない	33
家の近くにない	29
整備されていない	26
ボール遊びができない	26
遊具がない・少ない	23
年配者が使いにくい	14
公園が少ない	13
雑草やゴミが多い	12
日陰がない	12
ベンチがない・少ない	9
トイレがない・汚い	8
マナーや治安が悪い	6
ベンチや遊具が古い・汚い	5
花火ができない	5
一部の方が占拠している	4
交通量が多い	4
禁止なことが多い	3
虫が多い	2
水辺がない	2
芝生のある公園が少ない	2
その他（１件のみの回答）	16
（記載なし）	13
合 計	330

(6) 公園の利用目的・利用頻度・滞在時間・役割等

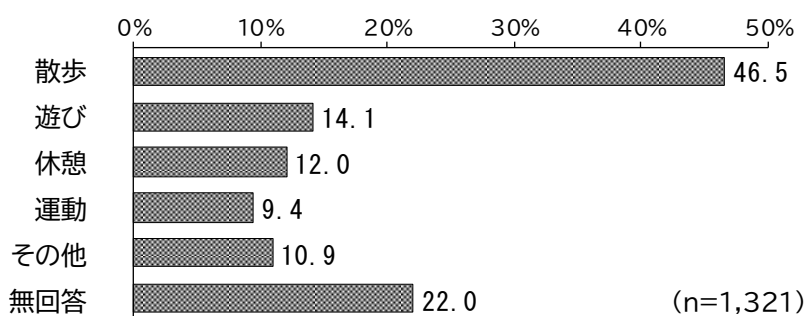
利用目的は「散歩」が5割近く

【問18】公園の主な利用目的と利用頻度、滞在時間を教えてください。また、公園や緑が社会の中での役割を果たすためには、どのようなことが重要だと思いますか。それぞれの項目の重要度を表す数字に○をつけてください。(○は横方向に1つずつ)

・利用目的

公園の主な利用目的では、「散歩」が46.5%と5割近くとなっている。次いで「遊び」(14.1%)、「休憩」(12.0%)と続いている。

「その他」については、「行かない・利用しない」(89件)、「通り道」(18件)などが挙げられている。



図Ⅲ－64 公園の利用目的

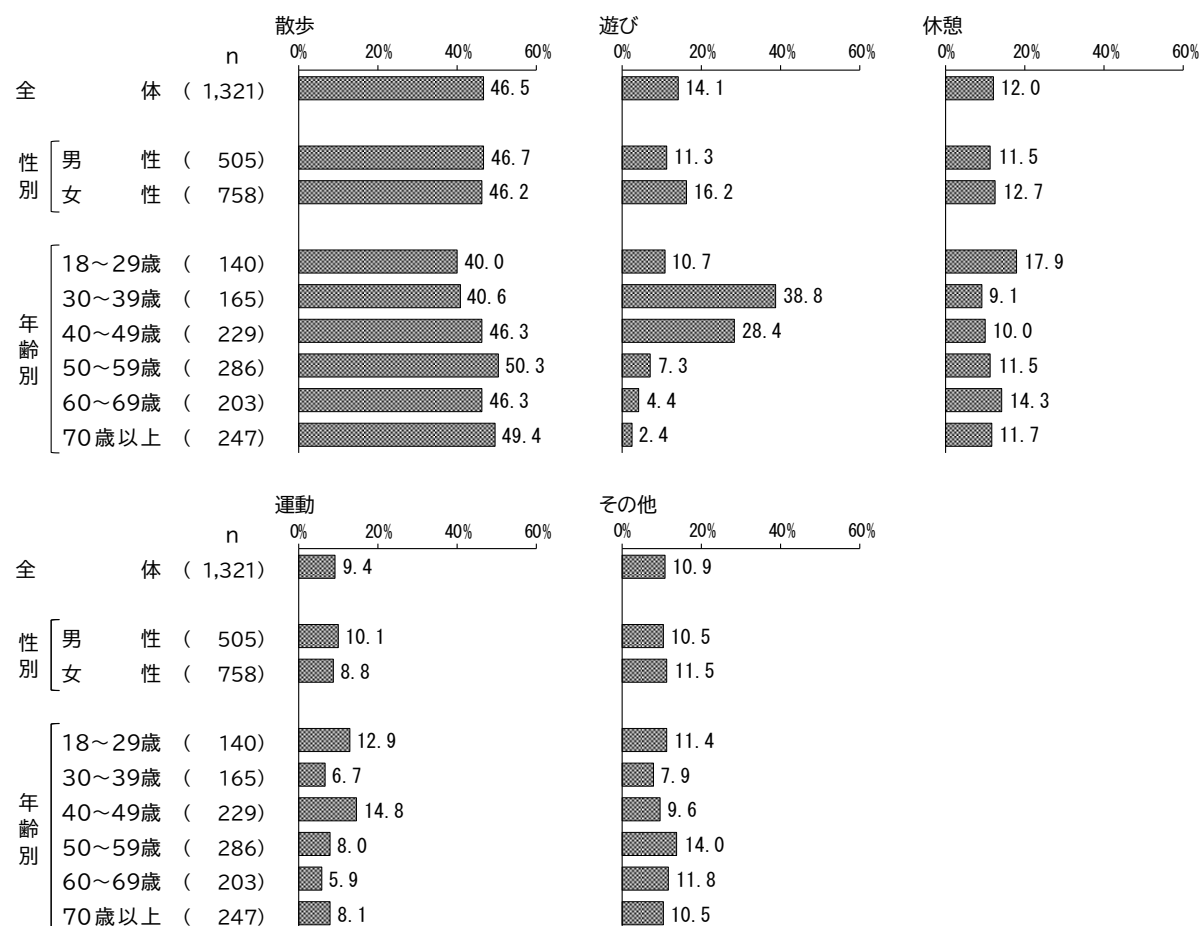
表Ⅲ－14 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
行かない・利用しない	89
通り道	18
子供との遊び	6
憩い、気分転換	5
お祭り	3
犬の散歩	3
花見	3
読書	2
交流	2
その他（1件のみの回答）	9
（記載なし）	4
合 計	144

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「遊び」では女性（16.2%）が男性（11.3%）より 4.9 ポイント高くなっている。

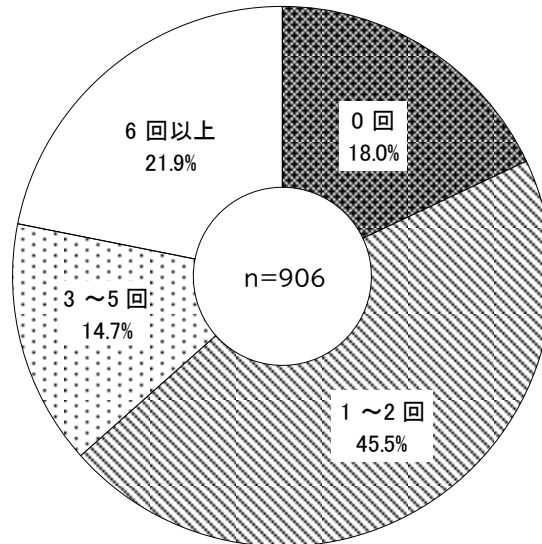
年齢別にみると、「遊び」では、30～39 歳が 38.8%と最も高く、次いで 40～49 歳（28.4%）、18～29 歳（10.7%）と続いている。また、「休憩」では、18～29 歳が 17.9%と最も高く、次いで 60～69 歳（14.3%）、70 歳以上（11.7%）と続いている。



図Ⅲ－65 公園の利用目的（性別／年齢別）

• 利用頻度

公園の月の利用頻度では、「1～2回」が45.5%で最も高く、「6回以上」(21.9%)、「3～5回」(14.7%)となっており、月に1回以上、公園を利用している割合は82.1%と8割を超えている。

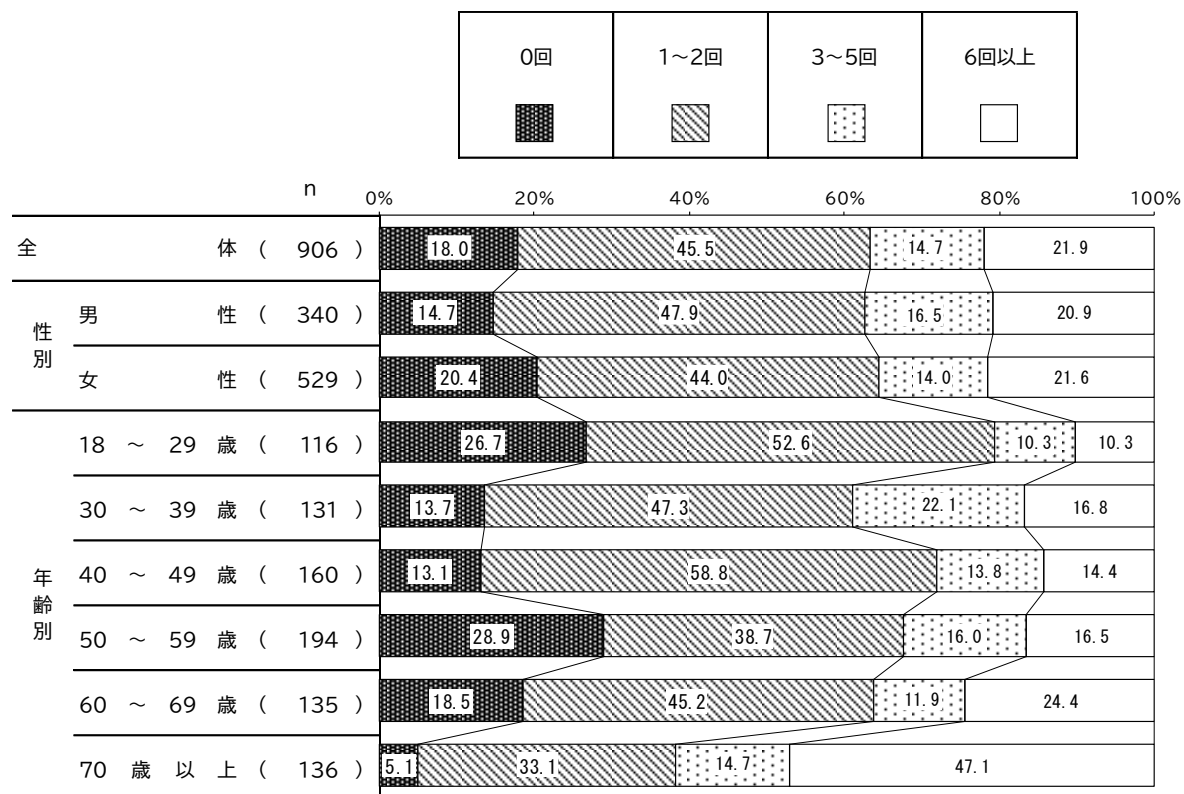


図Ⅲ－66 公園の利用頻度

【性別／年齢別】

性別で比較すると、利用頻度が「0回」の割合は、女性（20.4%）が男性（14.7%）より 5.7 ポイント高くなっている。

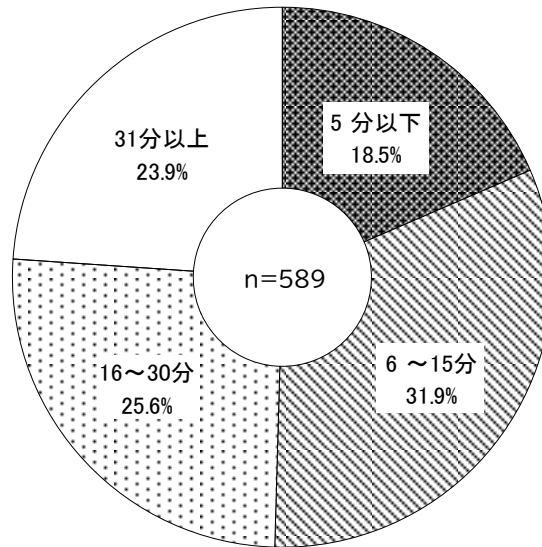
年齢別にみると、「6 回以上」では 70 歳以上が 47.1%と 5 割近くになっている。



図Ⅲ－67 公園の利用頻度（性別／年齢別）

• 滞在時間

公園の1回あたりの平均滞在時間では、「6～15分」が31.9%で最も高く、次いで「16～30分」(25.6%)、「31分以上」(23.9%)、「5分以下」(18.5%)となっている。

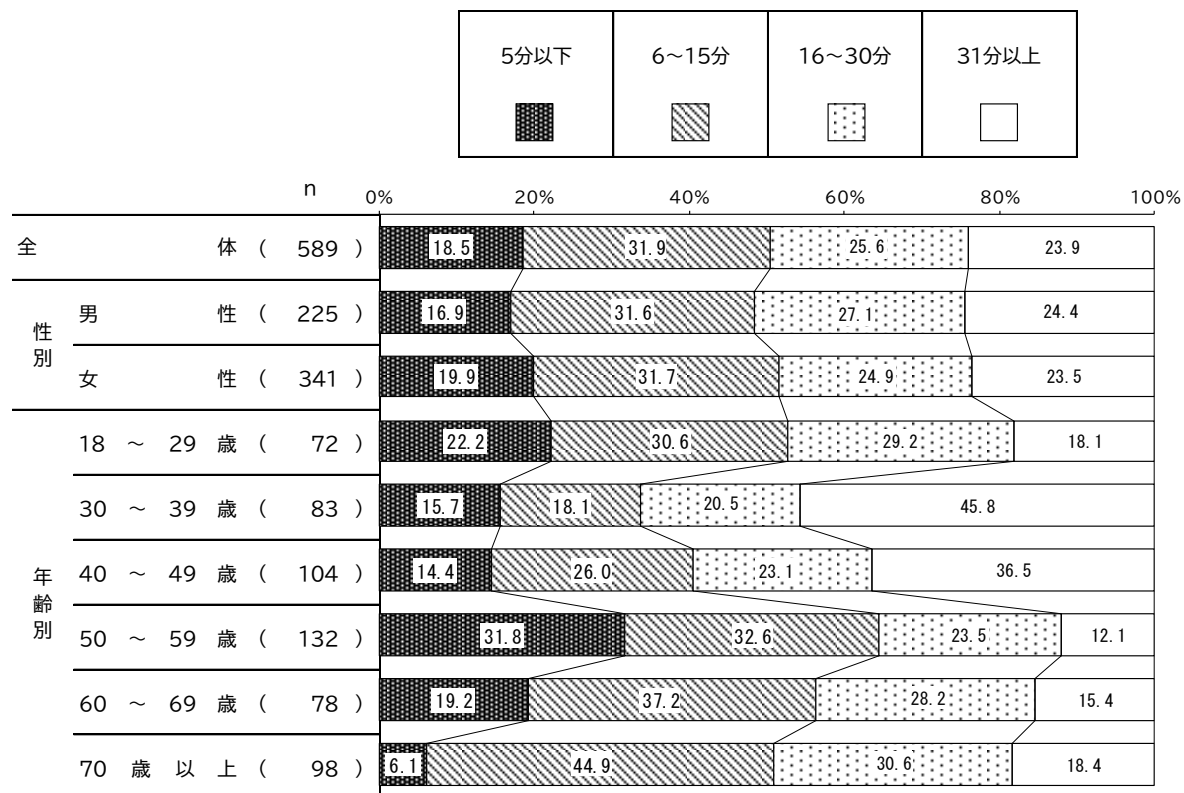


図Ⅲ－68 公園の滞在時間

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「5分以下」では、女性（19.9％）が男性（16.9％）より3.0ポイント高くなっており、「16～30分」では、男性（27.1％）が女性（24.9％）より2.2ポイント高くなっている。

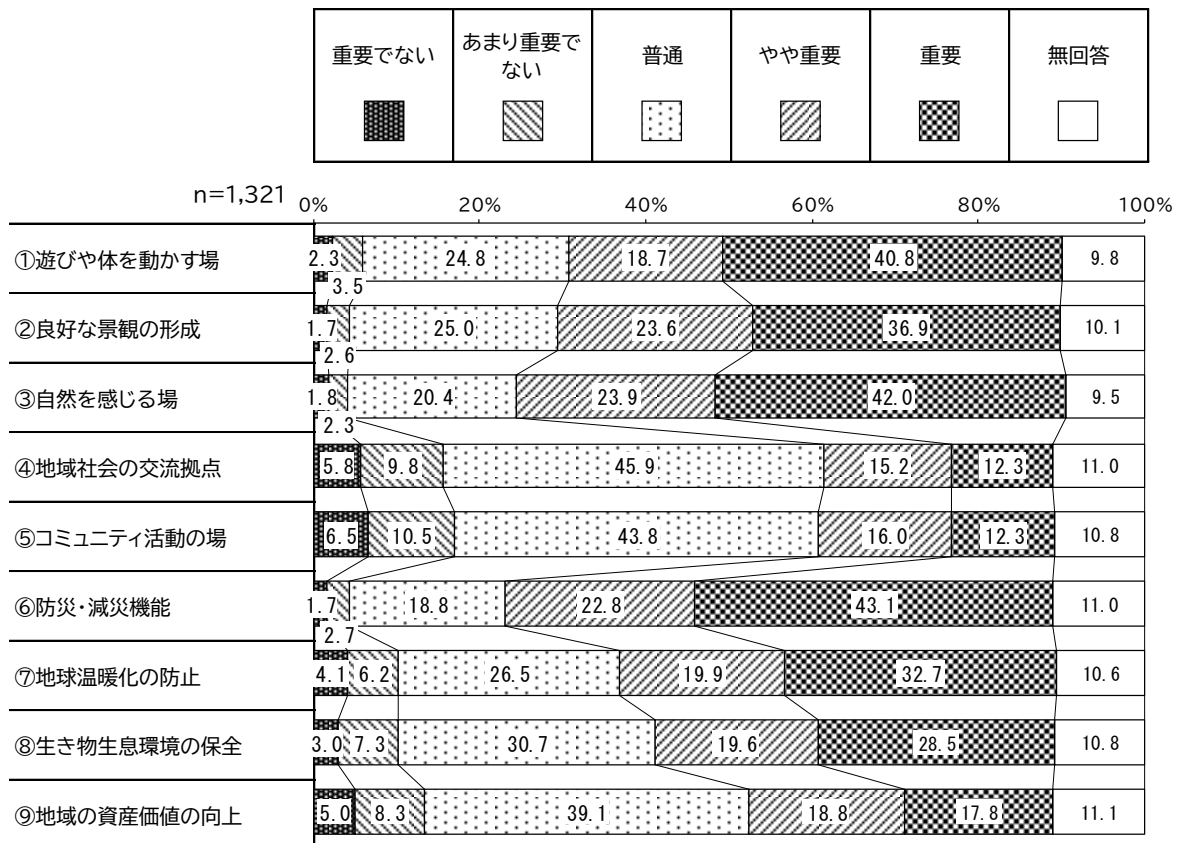
年齢別にみると、「31分以上」では30～39歳が45.8％と最も高く、次いで40～49歳（36.5％）、70歳以上（18.4％）と続いている。



図Ⅲ－６９ 公園の滞在時間（性別／年齢別）

公園や緑が社会の中での役割を果たすためには、どのようなことが重要だと思うかを聞いたところ、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では、③自然を感じる場、⑥防災・減災機能が、ともに65.9%と最も高く、次いで②良好な景観の形成が60.5%、①遊びや体を動かす場が59.5%と続いている。

一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた『重要だと思わない人』では、⑤コミュニティ活動の場が17.0%、次いで④地域社会の交流拠点が15.6%、⑨地域の資産価値の向上が13.3%と続いている。



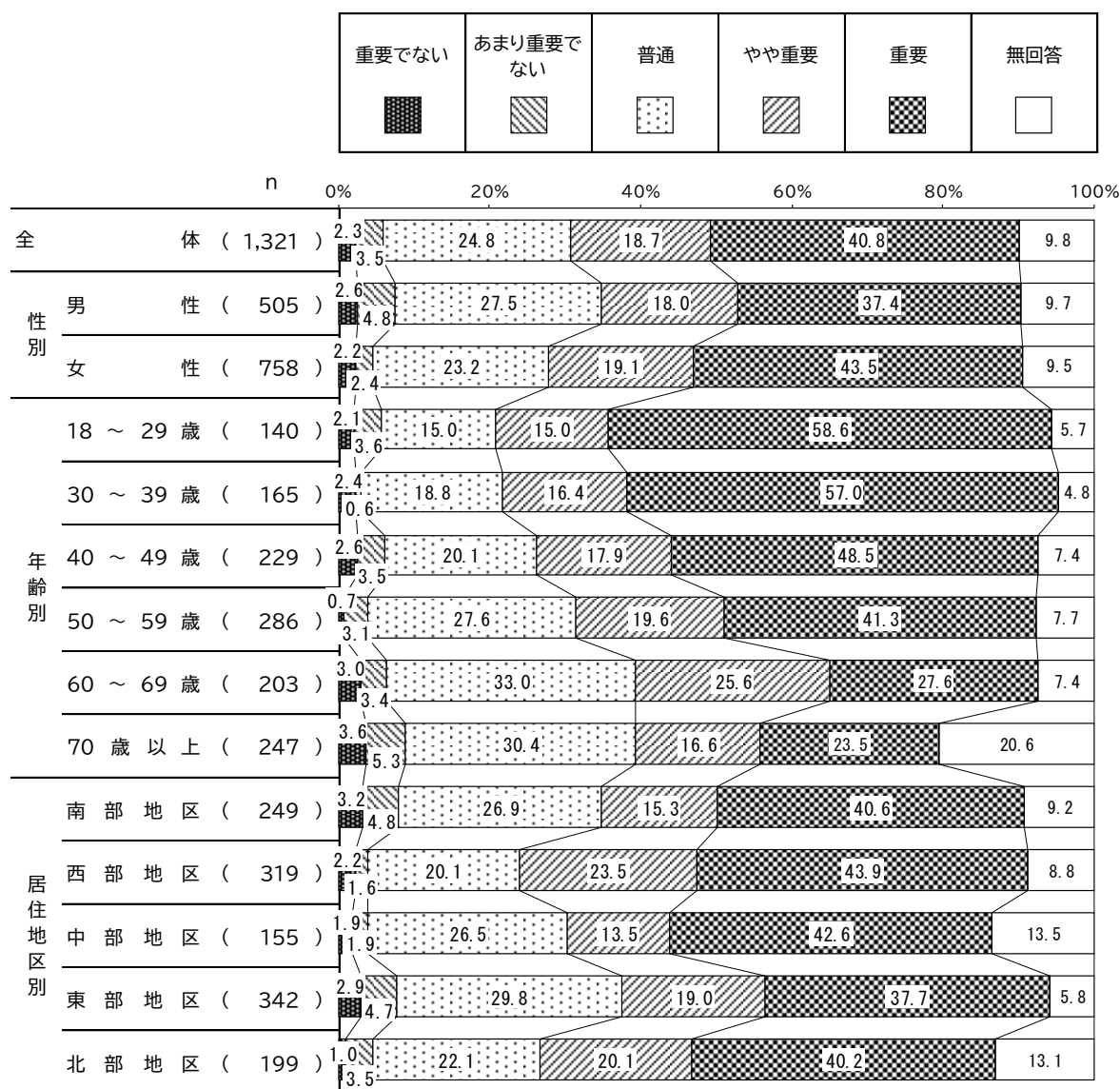
図Ⅲ－７０ 重要だと思う公園や緑の役割

(6-1) 遊びや体を動かす場

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では女性（62.6%）が男性（55.4%）より7.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では年齢が下がるに従い割合が高くなっており、18～29歳が73.6%で最も高くなっている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では西部地区が67.4%と最も高く、次いで北部地区（60.3%）、東部地区（56.7%）と続いている。



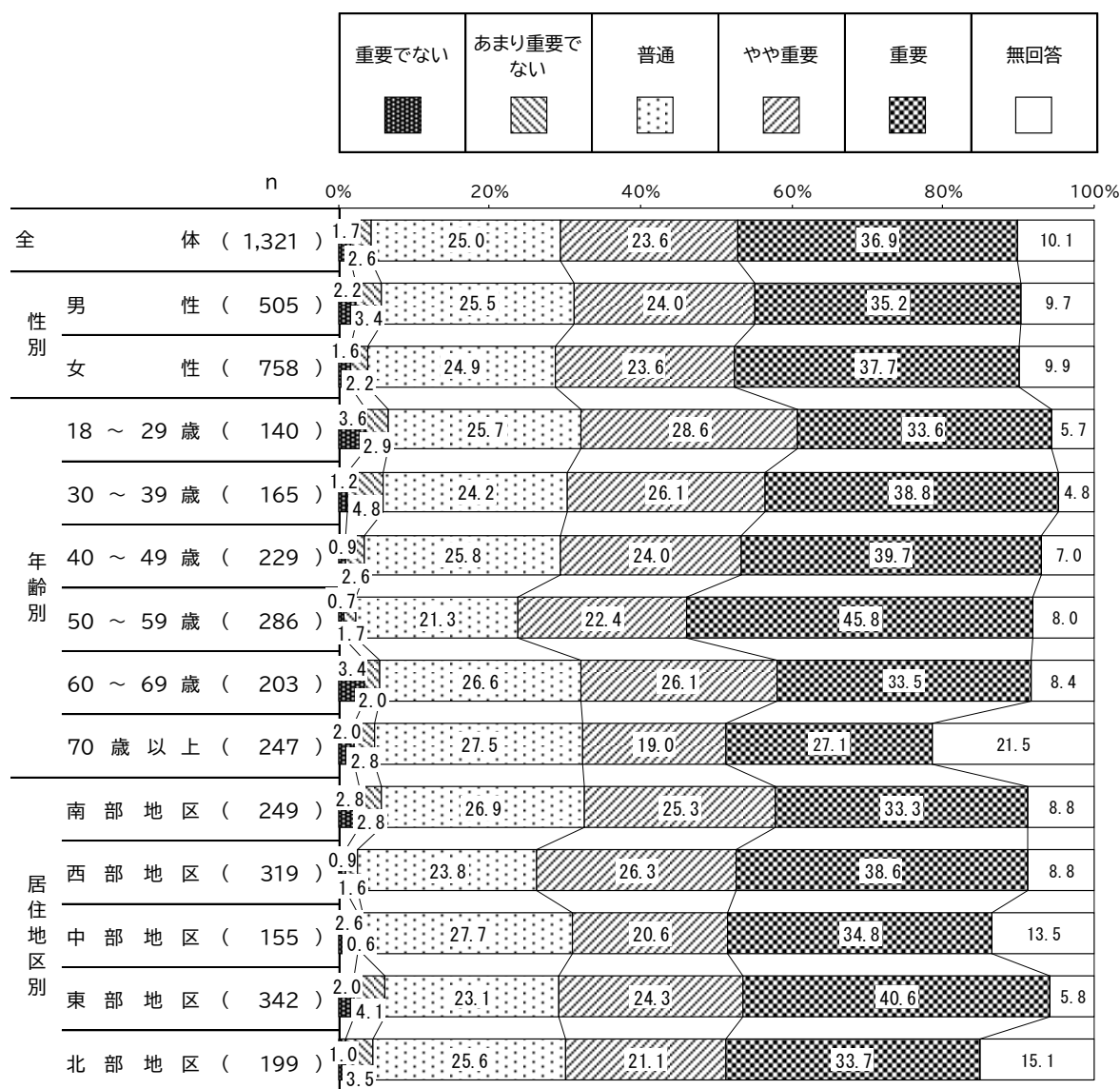
図Ⅲ－71 遊びや体を動かす場（性別／年齢別／居住地区別）

(6-2) 良好な景観の形成

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では女性（61.3%）が男性（59.2%）より 2.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では 50～59 歳が 68.2% で最も高く、次いで 30～39 歳（64.9%）、40～49 歳（63.7%）と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では西部地区、東部地区がともに 64.9% と最も高く、次いで南部地区（58.6%）、中部地区（55.4%）と続いている。



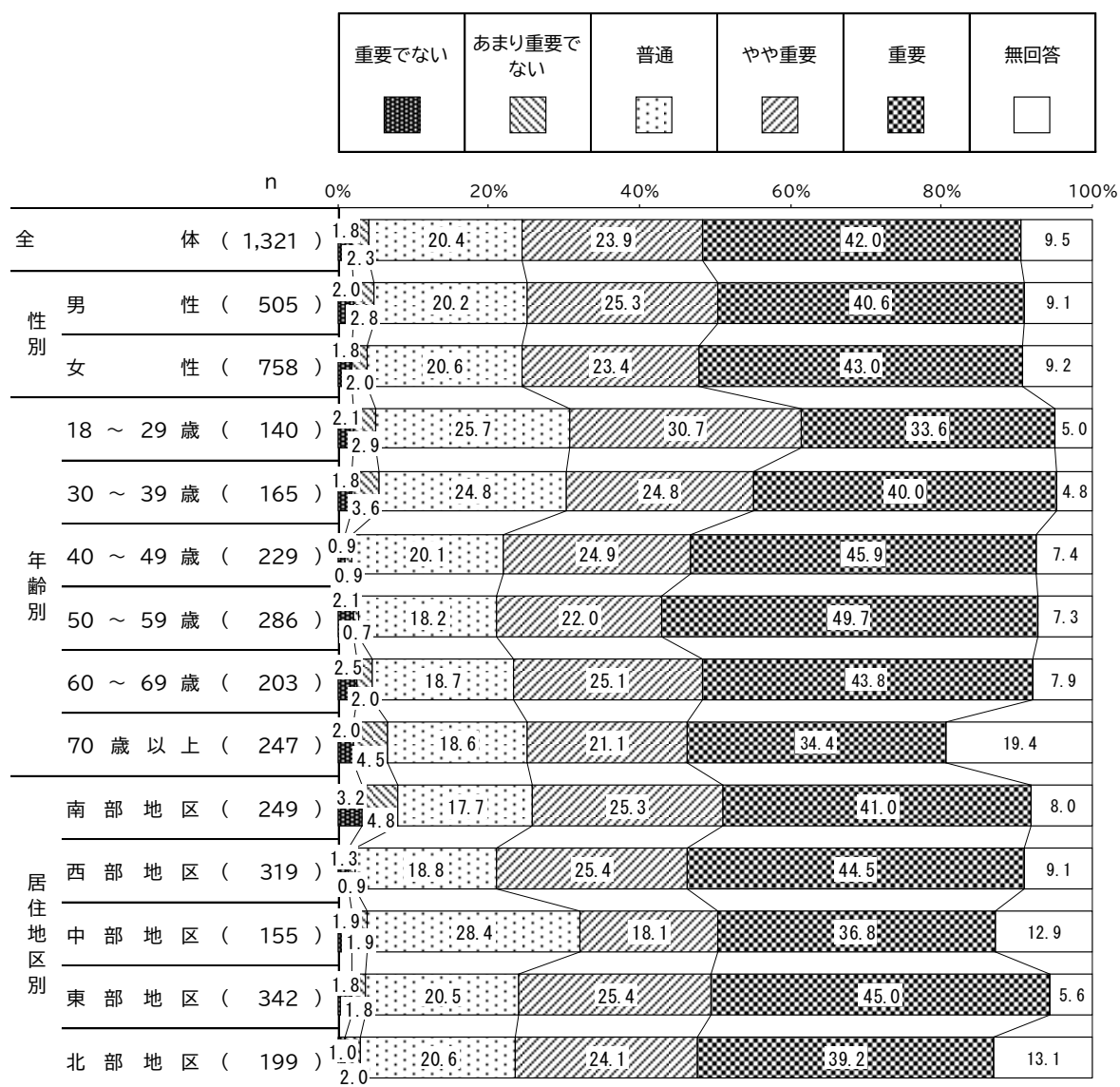
図Ⅲ－７２ 良好な景観の形成（性別／年齢別／居住地区別）

(6-3) 自然を感じる場

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』の割合は、男性(65.9%)、女性(66.4%)とほとんど変わらない。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では50～59歳が71.7%で最も高く、次いで40～49歳(70.8%)、60～69歳(68.9%)と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では東部地区が70.4%と最も高く、次いで西部地区(69.9%)、南部地区(66.3%)と続いている。



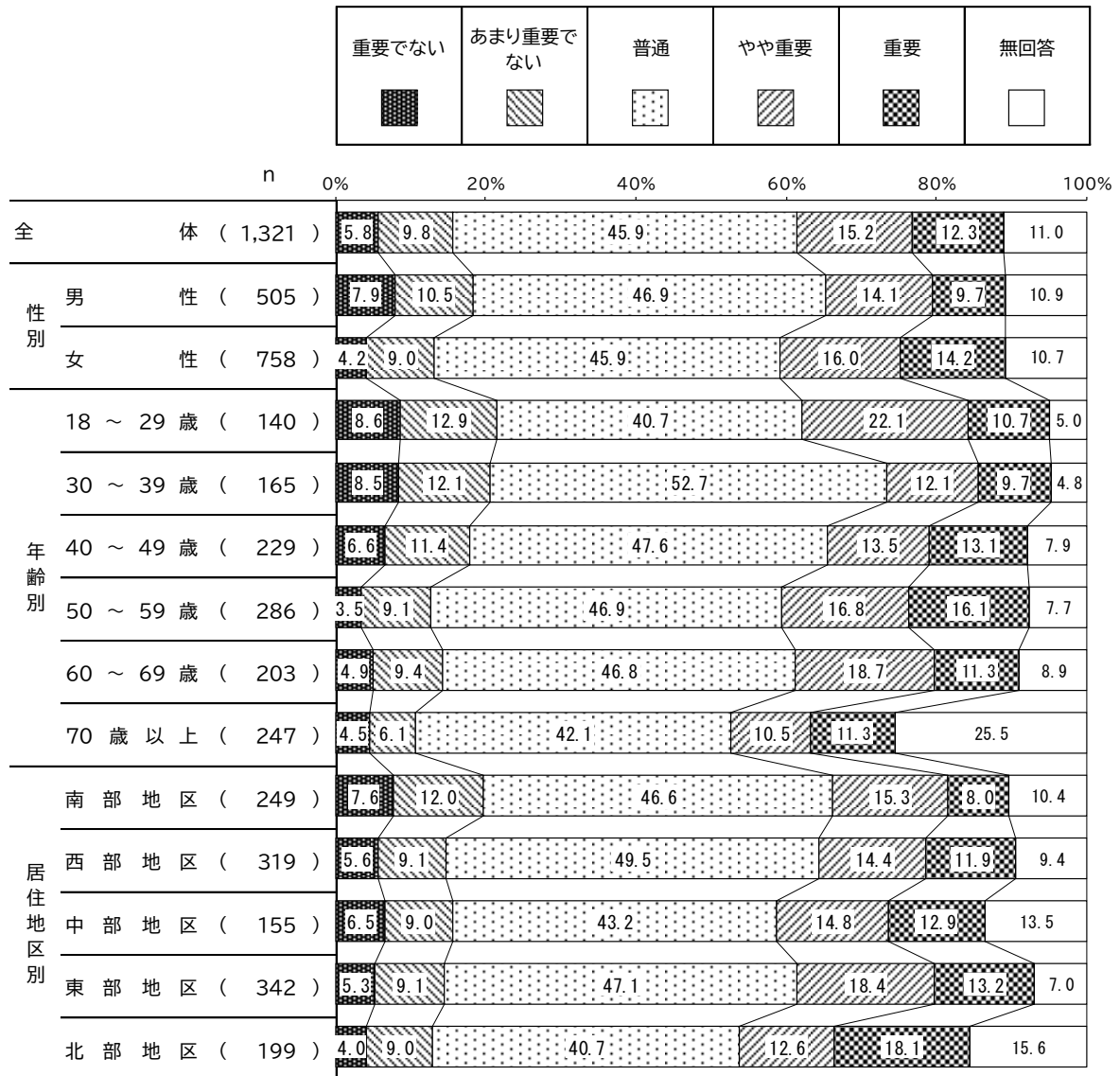
図Ⅲ-73 自然を感じる場（性別／年齢別／居住地区別）

(6-4) 地域社会の交流拠点

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では、女性（30.2%）が男性（23.8%）より 6.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では 50～59 歳が 32.9%で最も高く、次いで 18～29 歳（32.8%）、60～69 歳（30.0%）と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では東部地区が 31.6%と最も高く、次いで北部地区（30.7%）、中部地区（27.7%）と続いている。



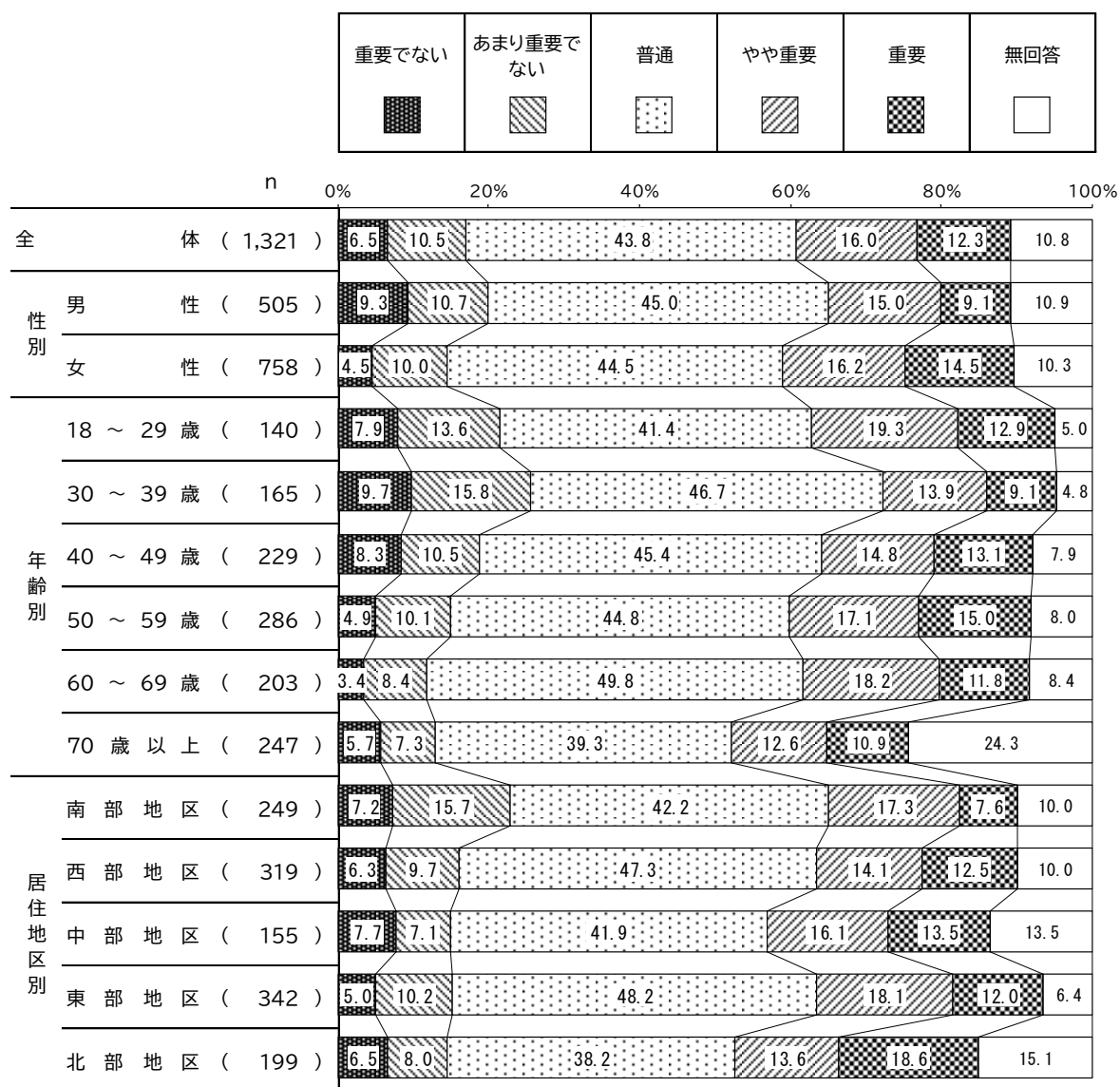
図Ⅲ－74 地域社会の交流拠点（性別／年齢別／居住地区別）

(6-5) コミュニティ活動の場

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では、女性（30.7%）が男性（24.1%）より 6.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では 18～29 歳が 32.2% で最も高く、次いで 50～59 歳（32.1%）、60～69 歳（30.0%）と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では北部地区が 32.2% と最も高く、次いで東部地区（30.1%）、中部地区（29.6%）と続いている。



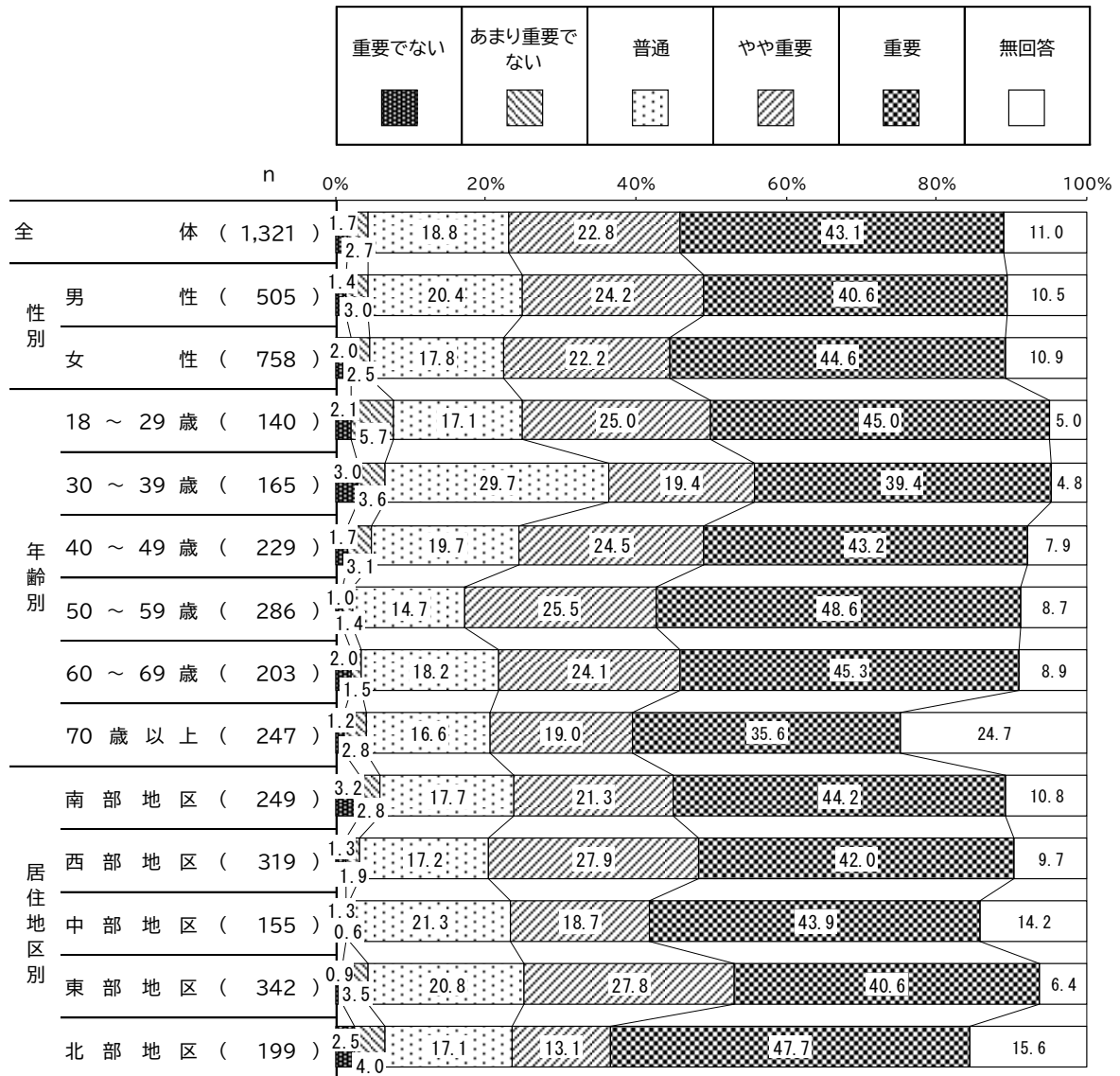
図Ⅲ－７５ コミュニティ活動の場（性別／年齢別／居住地区別）

(6-6) 防災・減災機能

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では、女性（66.8%）が男性（64.8%）より 2.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では 50～59 歳が 74.1% で最も高く、次いで 18～29 歳（70.0%）、60～69 歳（69.4%）と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では西部地区が 69.9% と最も高く、次いで東部地区（68.4%）、南部地区（65.5%）と続いている。



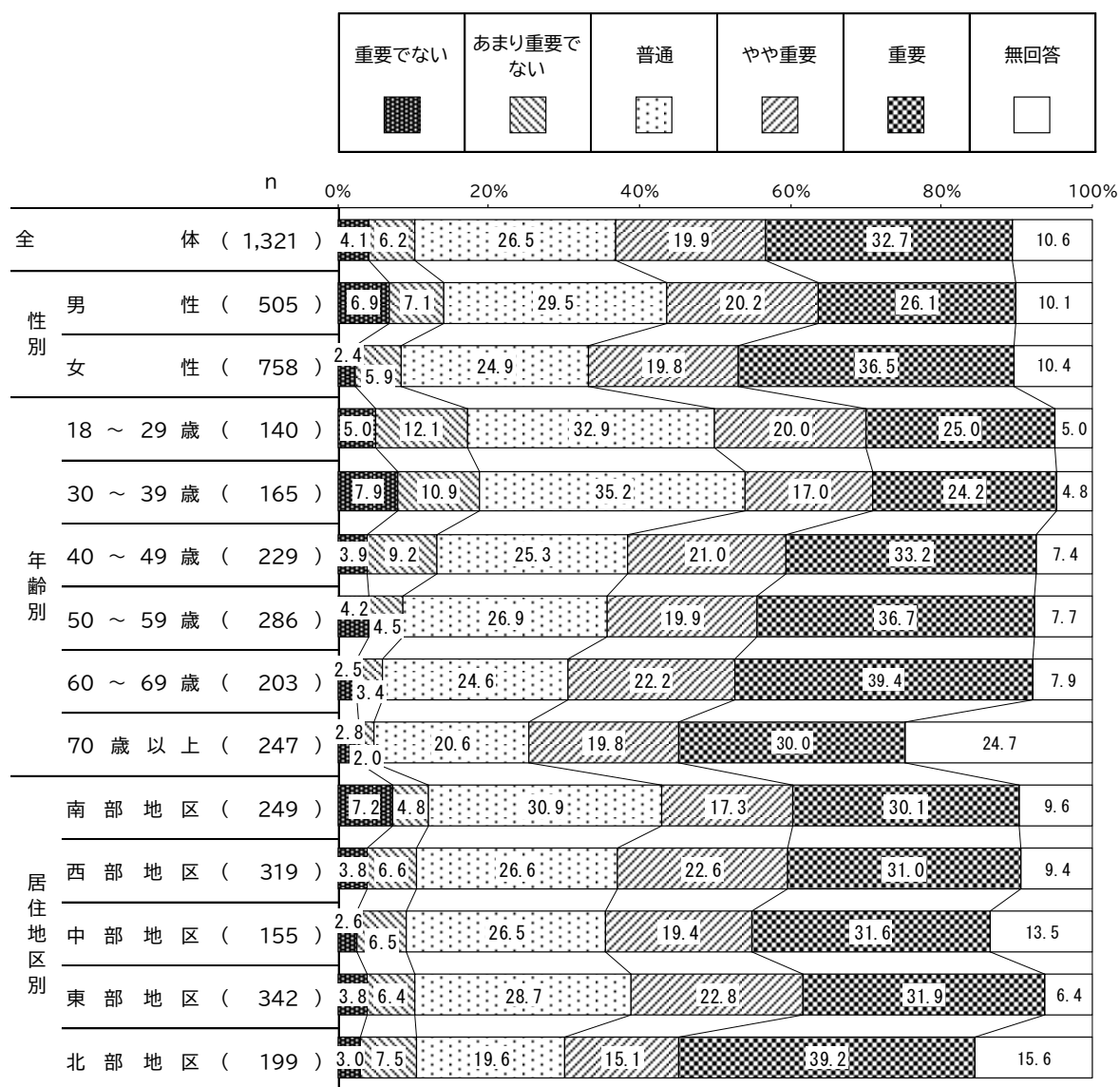
図Ⅲ－76 防災・減災機能（性別／年齢別／居住地区別）

(6-7) 地球温暖化の防止

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では、女性（56.3%）が男性（46.3%）より 10.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では 60～69 歳が 61.6% で最も高く、次いで 50～59 歳（56.6%）、40～49 歳（54.2%）と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では東部地区が 54.7% と最も高く、次いで北部地区（54.3%）、西部地区（53.6%）と続いている。



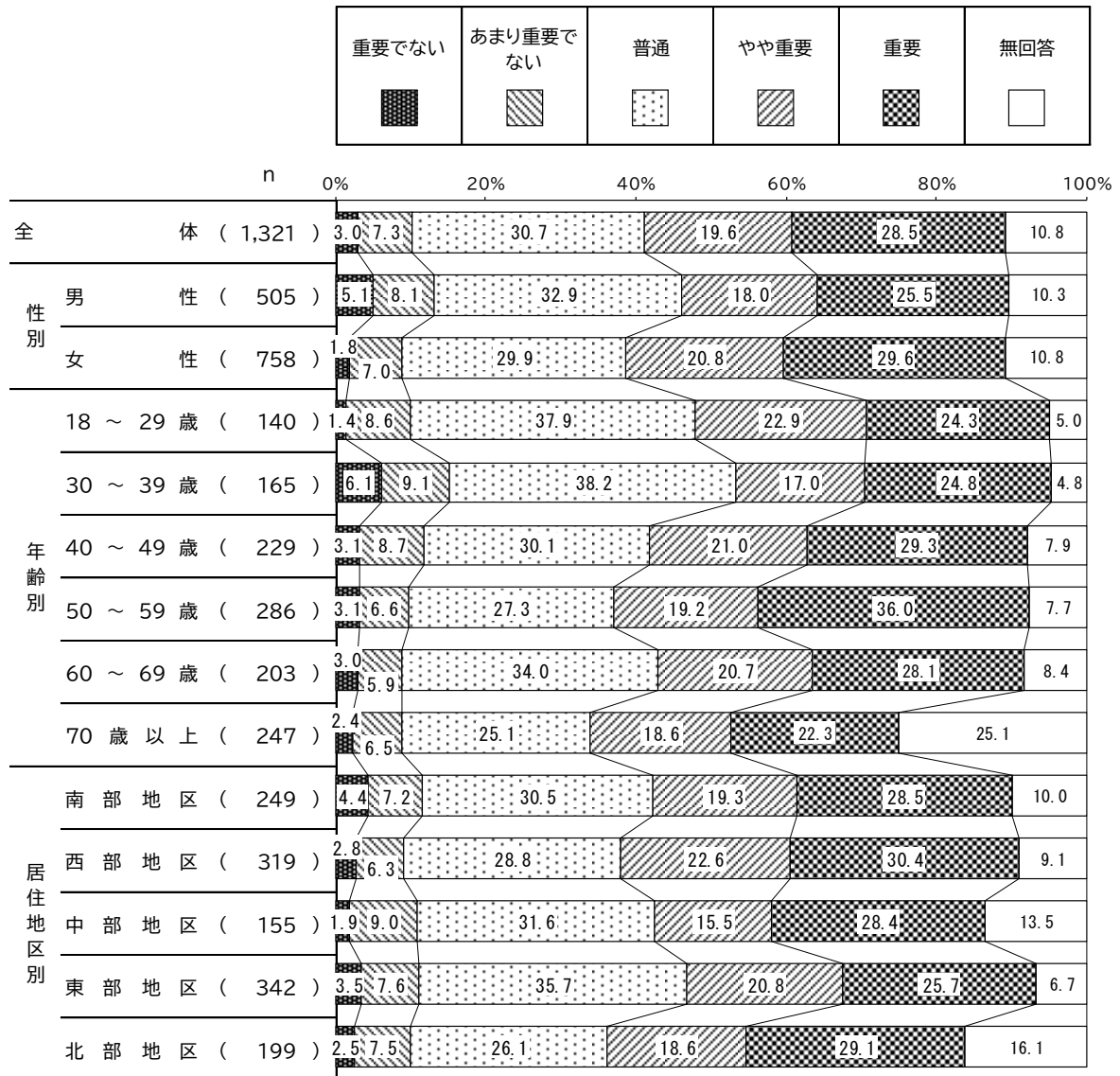
図Ⅲ－７７ 地球温暖化の防止（性別／年齢別／居住地区別）

(6-8) 生き物生息環境の保全

性別で比較すると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では、女性 (50.4%) が男性 (43.5%) より 6.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『重要だと思う人』では 50～59 歳が 55.2% で最も高く、次いで 40～49 歳 (50.3%)、60～69 歳 (48.8%) と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では西部地区が 53.0% と最も高く、次いで南部地区 (47.8%)、北部地区 (47.7%) と続いている。



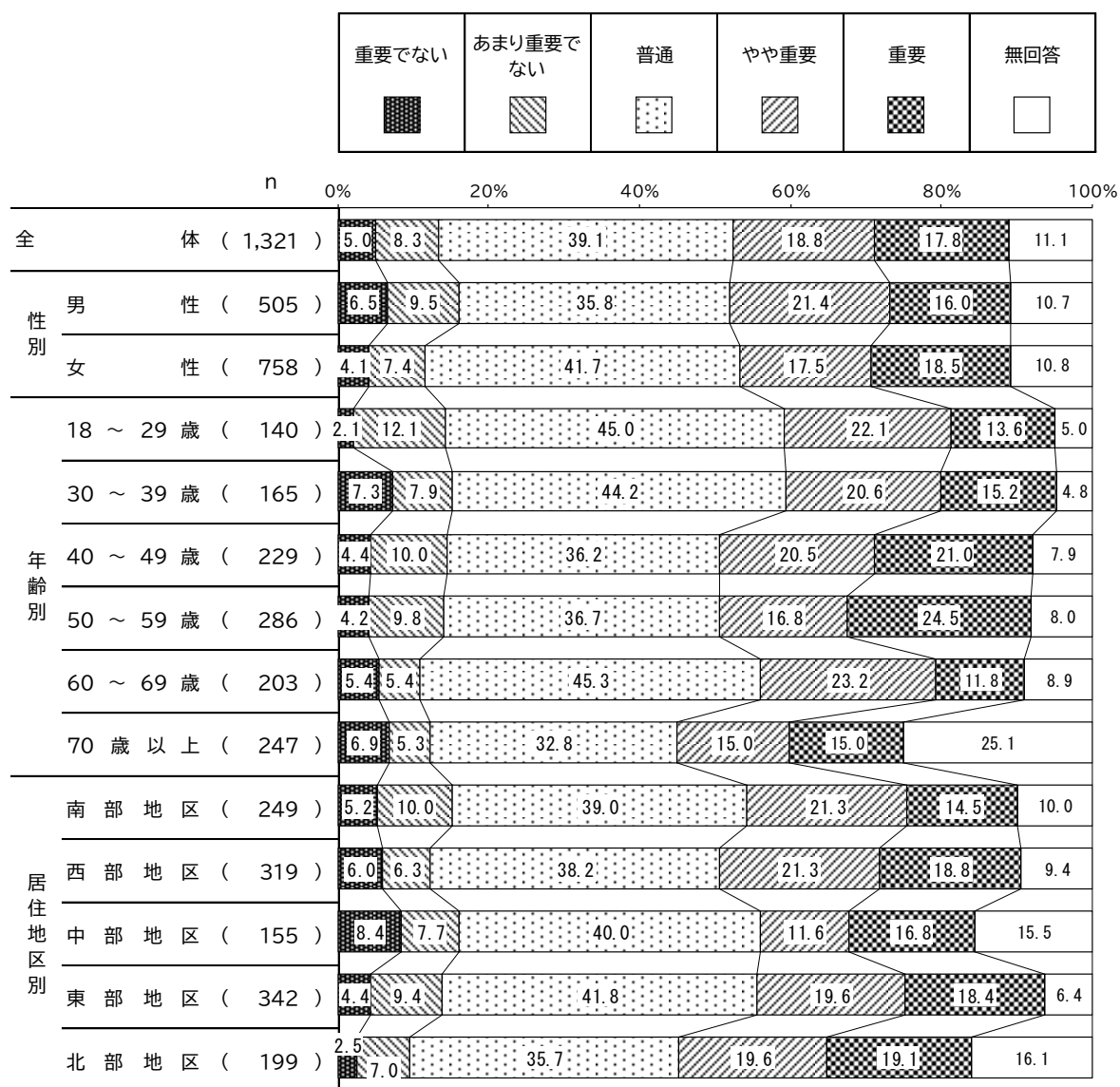
図Ⅲ－７８ 生き物生息環境の保全（性別／年齢別／居住地区別）

(6-9) 地域の資産価値の向上

性別で比較すると、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた『重要だと思わない人』では、男性（16.0%）が女性（11.5%）より 4.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要だと思う人』では 40～49 歳が 41.5% で最も高く、次いで 50～59 歳（41.3%）、30～39 歳（35.8%）と続いている。

居住地区別にみると、『重要だと思う人』では西部地区が 40.1% と最も高く、次いで北部地区（38.7%）、東部地区（38.0%）と続いている。



図Ⅲ－７９ 地域の資産価値の向上（性別／年齢別／居住地区別）

その他の意見については、「行かない・利用しない」（13 件）が最も多く、次いで「子どもの為に必要」（5 件）、「犬の散歩」（4 件）などが挙げられている。

表Ⅲ－１５ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
行かない・利用しない	13
子どもの為に必要	5
犬の散歩	4
その他（１件のみの回答）	4
（記載なし）	1,295
合 計	1,321

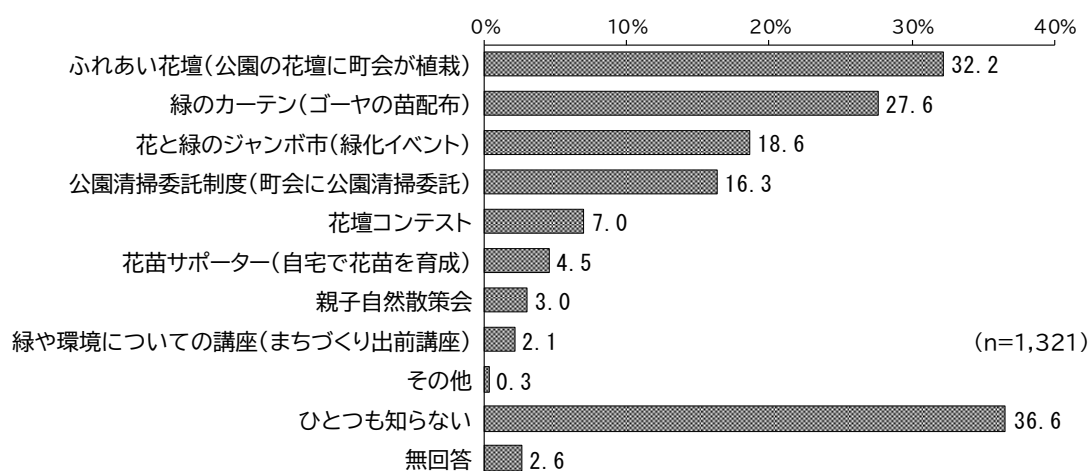
(7) 緑の活動の認知度

「ふれあい花壇（公園の花壇に町会が植栽）」が3割超

【問19】あなたが知っている「緑」に関する活動はどれですか。（〇はいくつでも）

知っている「緑」に関する活動を聞いたところ、「ふれあい花壇（公園の花壇に町会が植栽）」が32.2%で最も高く、次いで「緑のカーテン（ゴーヤの苗配布）」（27.6%）、「花と緑のジャンボ市（緑化イベント）」（18.6%）、「公園清掃委託制度（町会に公園清掃委託）」（16.3%）と続いている。一方、「ひとつも知らない」（36.6%）が3割を超えている。

「その他」については、「地域の街路花壇」（1件）が挙がっている。



図Ⅲ－８０ 緑の活動の認知度

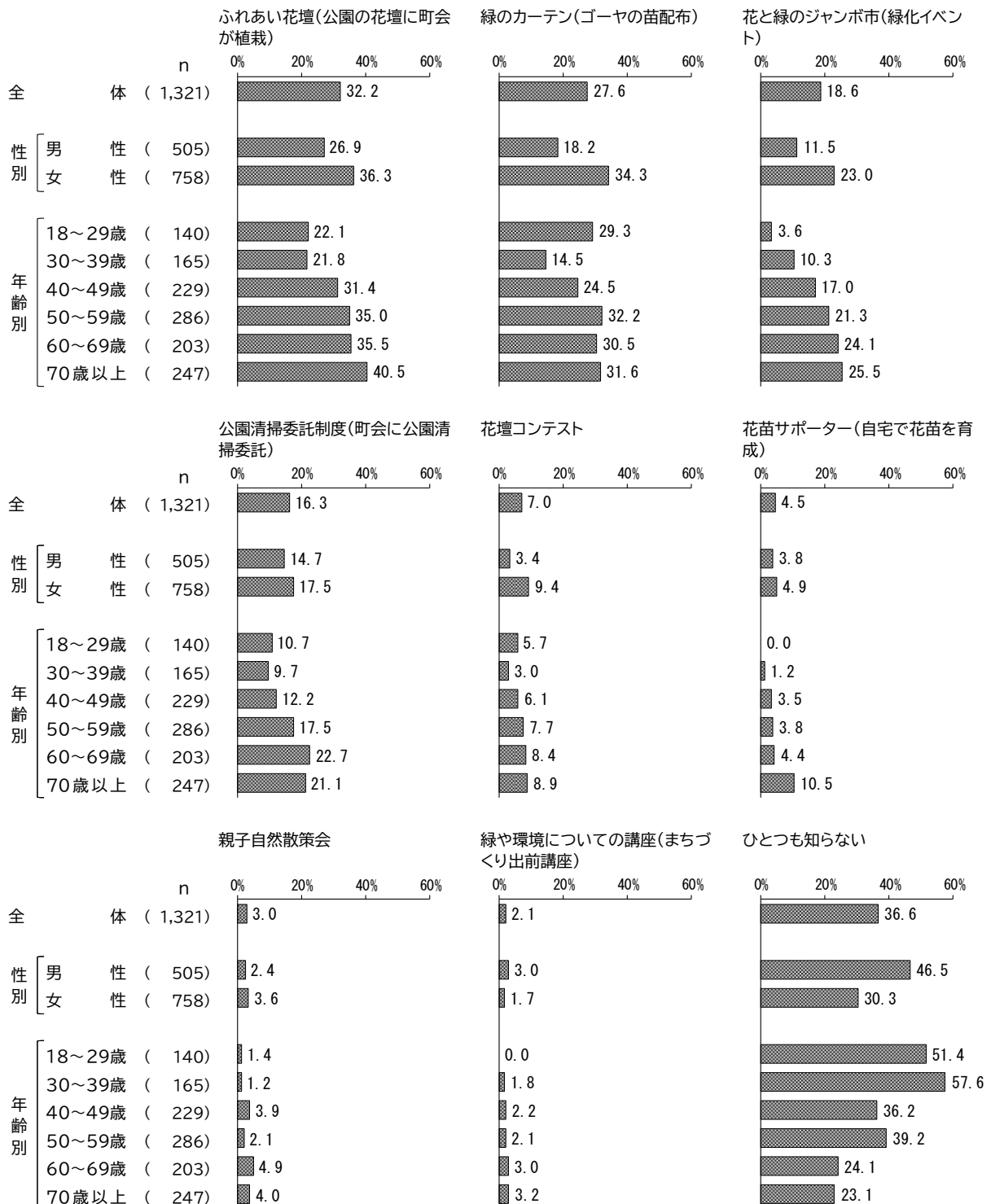
表Ⅲ－１６ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
地域の街路花壇	1
(記載なし)	3
合 計	4

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「緑のカーテン（ゴーヤの苗配布）」、「花と緑のジャンボ市（緑化イベント）」、「ふれあい花壇（公園の花壇に町会が植栽）」では、女性（34.3%、23.0%、36.3%）が男性（18.2%、11.5%、26.9%）より16.1、11.5、9.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「花と緑のジャンボ市（緑化イベント）」の割合は、年齢が上がるに従い高くなっており、割合が最も低い18～29歳（3.6%）と最も高い70歳以上（25.5%）では21.9ポイントの差がある。「ひとつも知らない」では、30～39歳が57.6%で最も高く、次いで18～29歳（51.4%）、50～59歳（39.2%）と続いている。



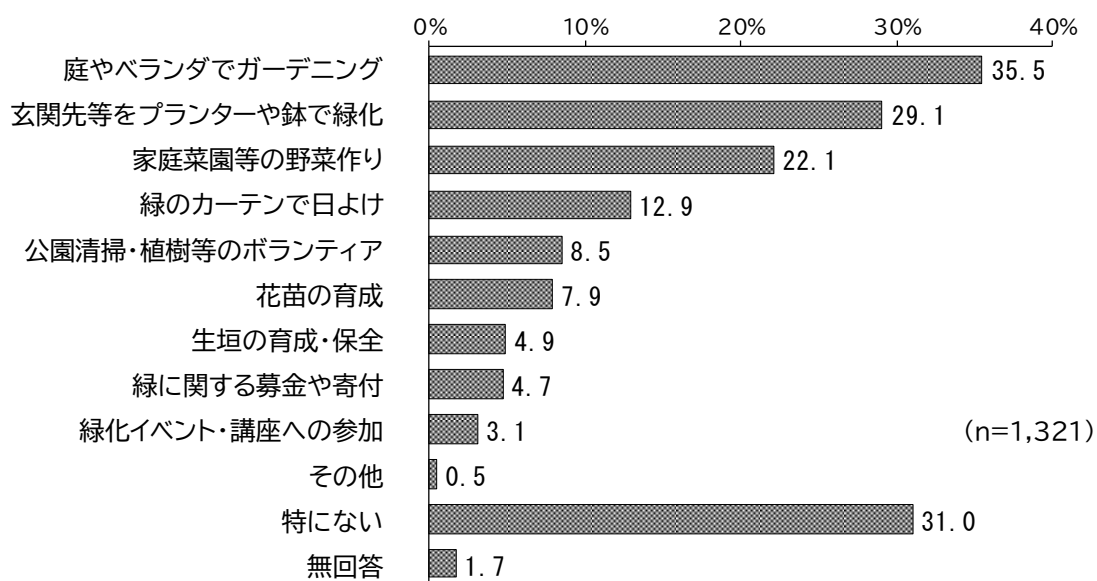
図Ⅲ－８１ 緑の活動の認知度（性別／年齢別）

(8) 緑豊かなまちづくりのために取り組んでみたいこと

「庭やベランダでガーデニング」が3割超

【問20】「緑豊かなまちづくり」のために、あなたが取り組んでみたいこと（すでに取り組んでいること）はどれですか。（〇はいくつでも）

「緑豊かなまちづくり」のために取り組んでみたいこと（すでに取り組んでいること）を聞いたところ、「庭やベランダでガーデニング」が35.5%で最も高く、次いで「玄関先等をプランターや鉢で緑化」（29.1%）、「家庭菜園等の野菜作り」（22.1%）と続いている。



図Ⅲ－８２ 緑豊かなまちづくりのために取り組んでみたいこと

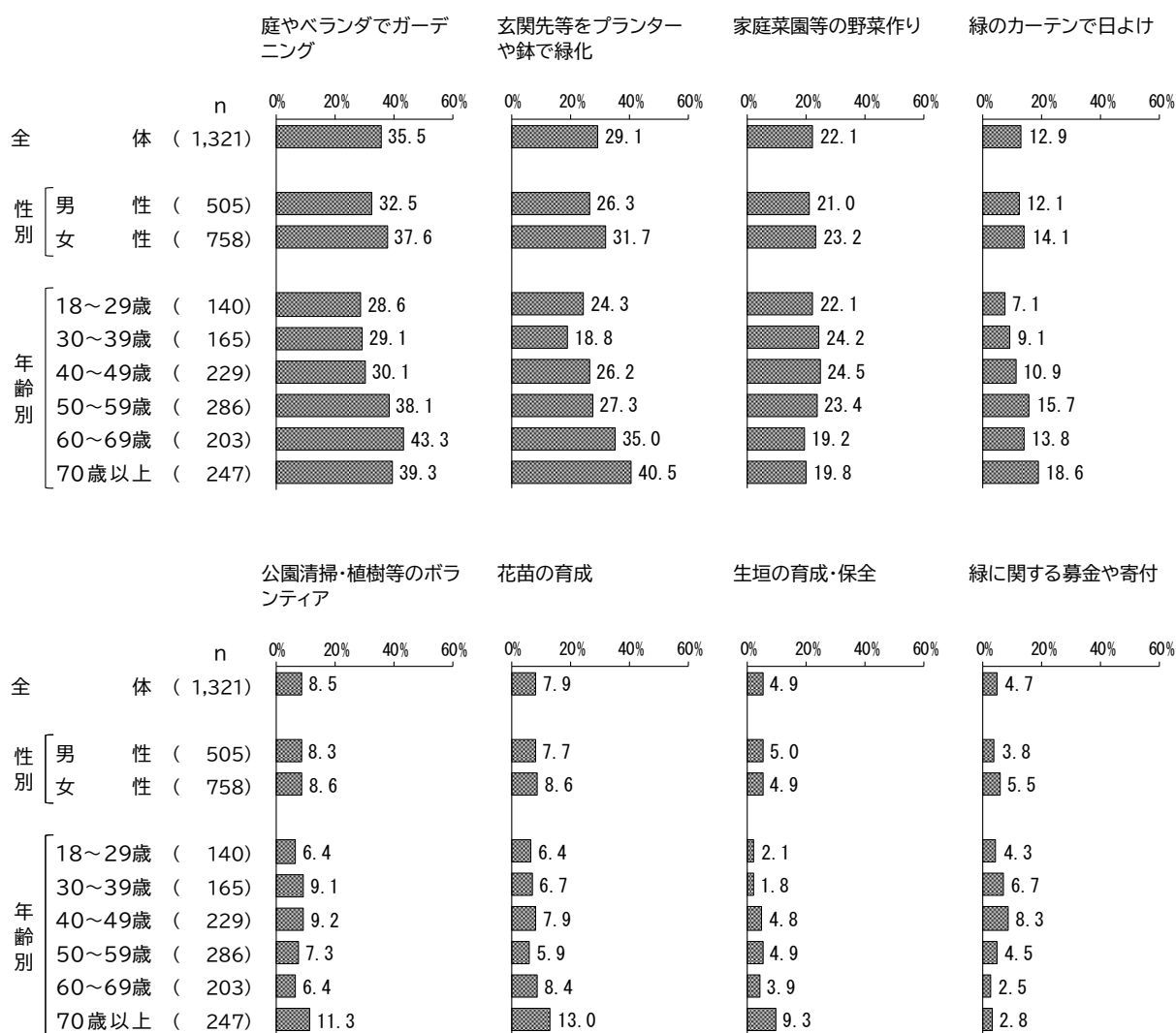
表Ⅲ－１７ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
浄化槽の水の利用（緑化に利用）	1
別エリアでの野菜作り	1
市民税納付	1
学校で緑のカーテン	1
アサギマダラを呼びたい	1
（記載なし）	2
合 計	7

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「玄関先等をプランターや鉢で緑化」、「庭やベランダでガーデニング」では、女性（31.7%、37.6%）が男性（26.3%、32.5%）より 5.4、5.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「玄関先等をプランターや鉢で緑化」の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い 30～39 歳（18.8%）と最も高い 70 歳以上（40.5%）では 21.7 ポイントの差がある。



図Ⅲ－８３ 緑豊かなまちづくりのために取り組んでみたいこと 上位８項目（性別／年齢別）

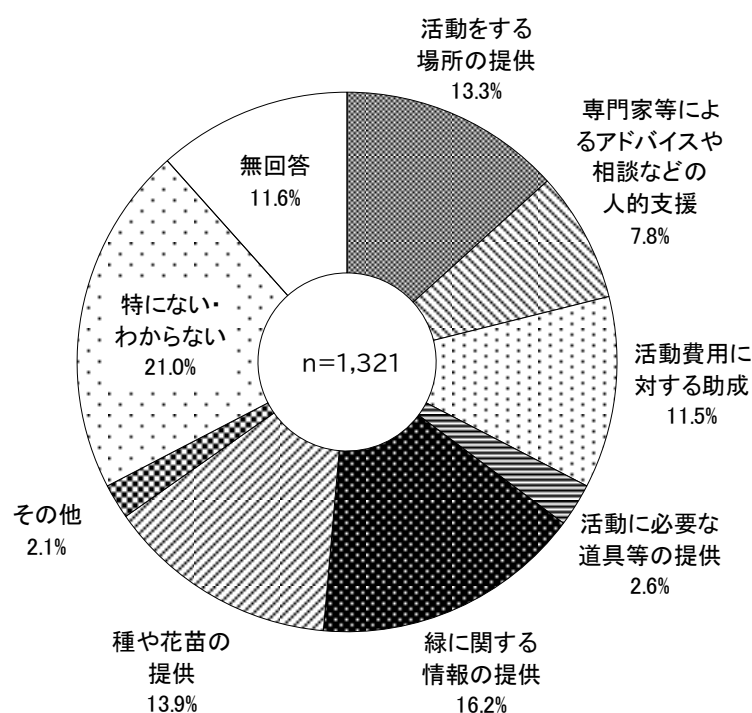
(9) 必要な市の支援

「緑に関する情報の提供」「種や花苗の提供」「活動をする場所の提供」「活動費用に対する助成」が1割超

【問21】今後、市民の方が緑の環境づくりに関わっていくために、市のどのような支援が最も必要だと考えますか。(〇は1つ)

市民の方が緑の環境づくりに関わっていくために必要な市の支援を聞いたところ、「緑に関する情報の提供」が16.2%で最も高く、次いで「種や花苗の提供」(13.9%)、「活動をする場所の提供」(13.3%)、「活動費用に対する助成」(11.5%)と続いている。

「その他」については、「雑草の刈り取り」(4件)、「公園の拡充」、「土の回収・リサイクル」(ともに3件)などが挙げられている。



図Ⅲ－８４ 必要な市の支援

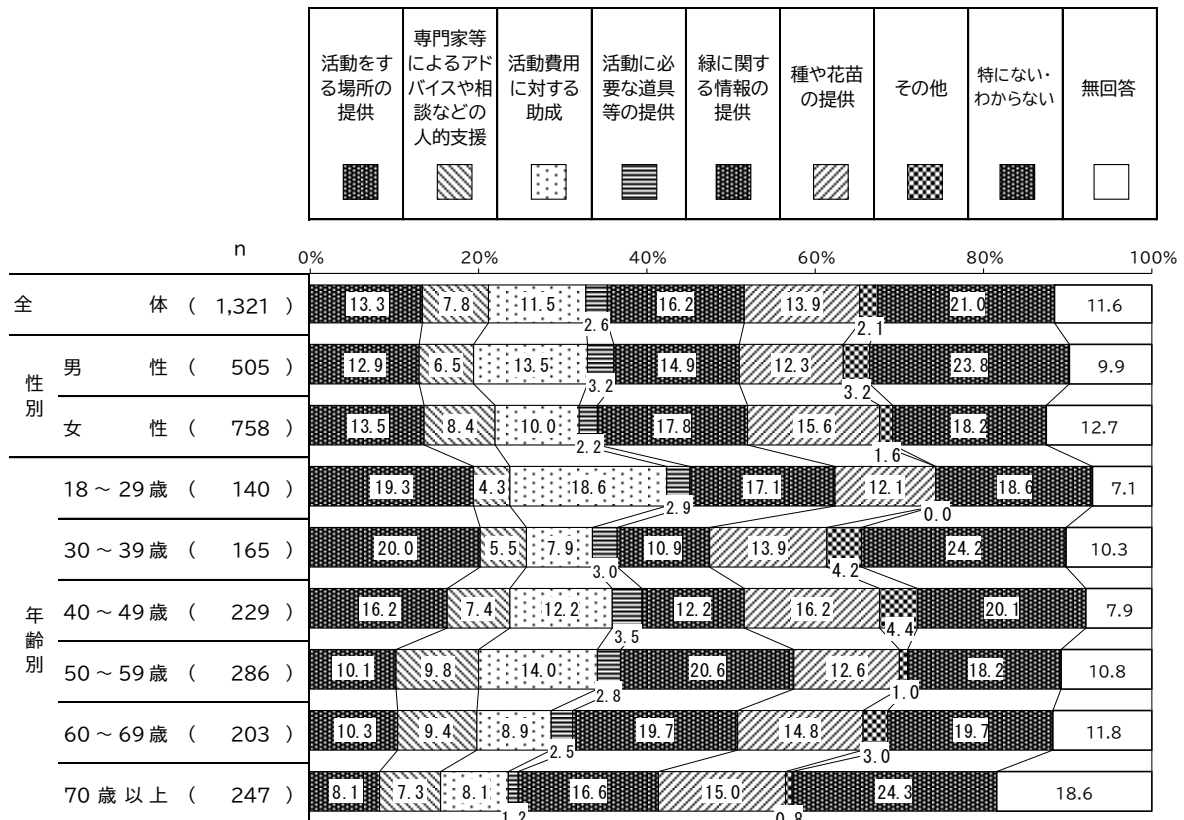
表Ⅲ－１８ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
雑草の刈り取り	4
公園の拡充	3
土の回収・リサイクル	3
農地の提供	2
住宅を増やし過ぎない	2
町・公園の清掃	2
広報活動	2
その他（1件のみの回答）	10
合 計	28

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「種や花苗の提供」、「緑に関する情報の提供」では、女性（15.6%、17.8%）が男性（12.3%、14.9%）より 3.3、2.9 ポイント高くなっている。一方、「活動費用に対する助成」では、男性（13.5%）が女性（10.0%）より 3.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「活動をする場所の提供」では、割合が最も低い 70 歳以上（8.1%）と最も高い 30～39 歳（20.0%）には 11.9 ポイントの差がある。また、「活動費用に対する助成」では、18～29 歳が 18.6%と最も高くなっている。



図Ⅲ－８５ 必要な市の支援（性別／年齢別）

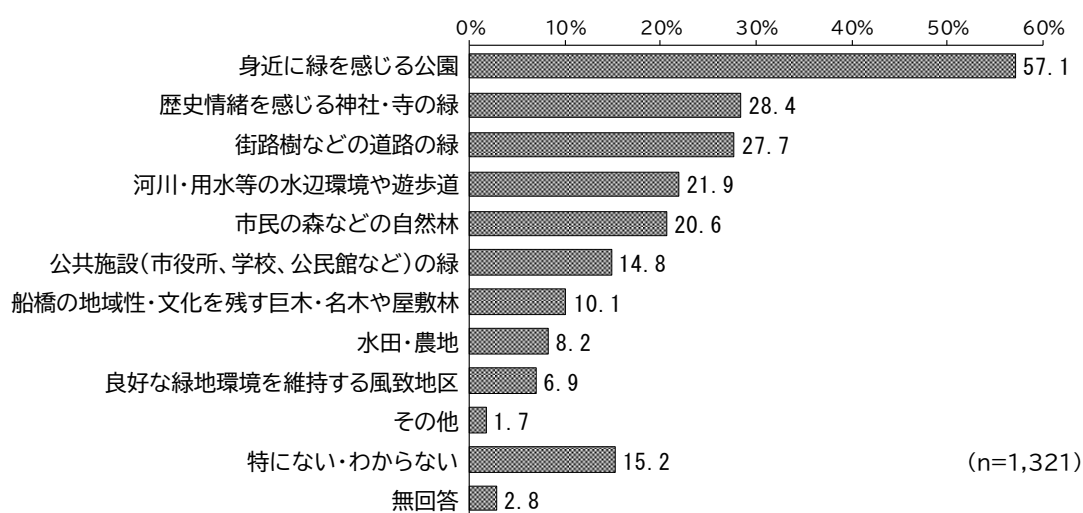
(10) シンボルや今後残したい場所

「身近に緑を感じる公園」が6割近く

【問22】あなたのお住いの地区で、地区の緑のシンボルとを感じる場所や、今後に残したい場所はどこですか。(〇はいくつでも) また、その具体的な場所がわかれば()内に記入してください。

地区の緑のシンボルや今後に残したい場所を聞いたところ、「身近に緑を感じる公園」が57.1%で最も高く、次いで「歴史情緒を感じる神社・寺の緑」(28.4%)、「街路樹などの道路の緑」(27.7%)と続いている。

「その他」については、「アンデルセン公園」(6件)、「県民の森」(2件)などが挙げられている。



図Ⅲ－86 シンボルや今後残したい場所

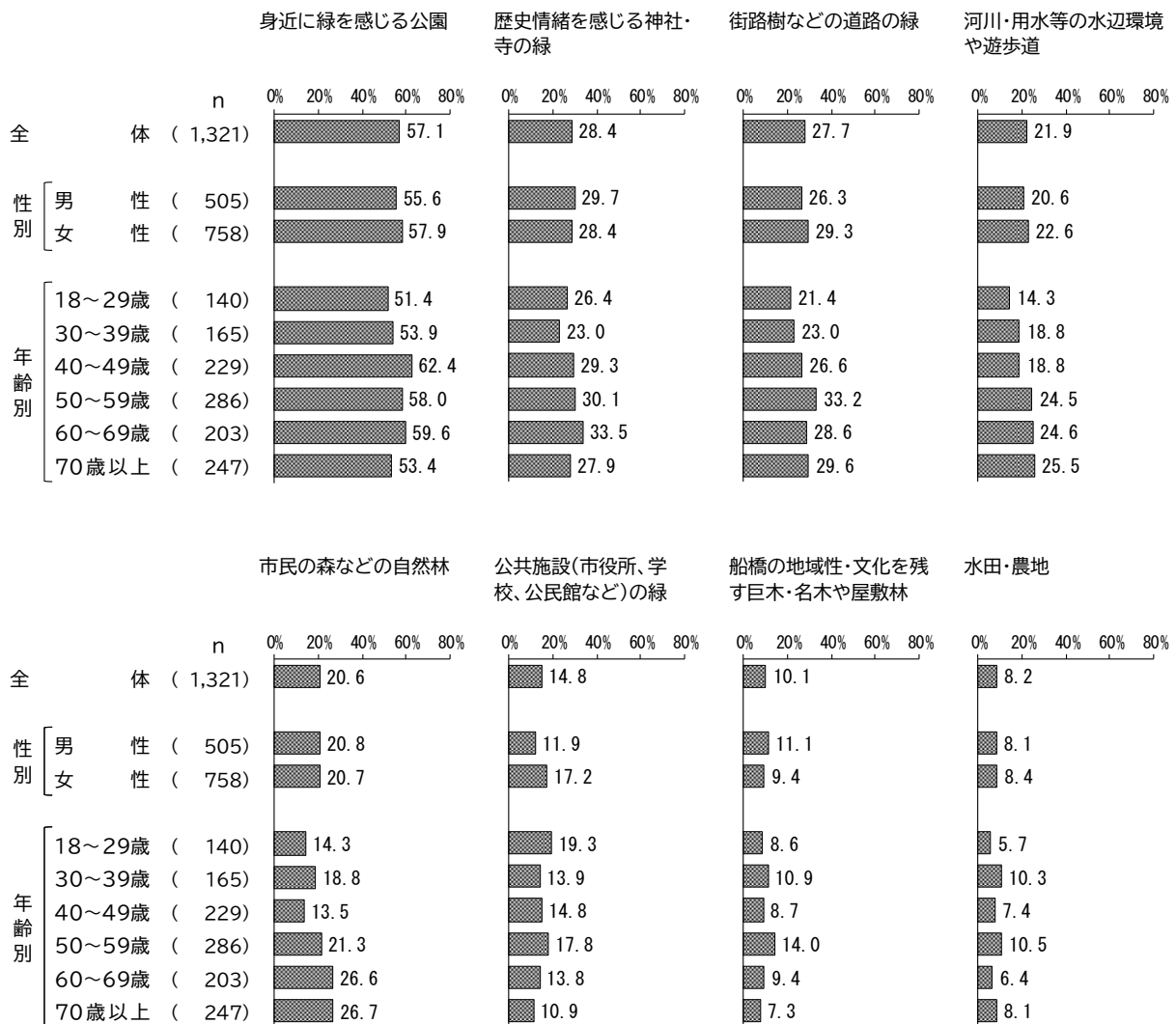
表Ⅲ－19 「その他」の場所

「その他」の内容	件数
アンデルセン公園	6
県民の森	2
その他(1件のみの回答)	15
合 計	23

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「公共施設（市役所、学校、公民館など）の緑」、「街路樹などの道路の緑」では、女性（17.2%、29.3%）が男性（11.9%、26.3%）より 5.3、3.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「身近に緑を感じる公園」では、40～49 歳が 62.4%と最も高く、次いで 60～69 歳（59.6%）、50～59 歳（58.0%）と続いている。また、「市民の森などの自然林」の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い 40～49 歳（13.5%）と最も高い 70 歳以上（26.7%）では 13.2 ポイントの差がある。



図Ⅲ－８７ シンボルや今後残したい場所 上位８項目（性別／年齢別）

【身近に緑を感じる公園】

回答した人（754 人）の具体的な場所としては、「行田公園」（93 件）、「アンデルセン公園」（39 件）、「長津川親水公園（ふれあい広場）」（26 件）などが挙げられている

表Ⅲ－２０ 「公園」の場所

「公園」の内容	件数
行田公園	93
アンデルセン公園	39
長津川親水公園（ふれあい広場）	26
薬円台公園	25
天沼弁天池公園	21
北習志野近隣公園	19
田喜野井公園	19
御滝公園	17
運動公園	16
坪井近隣公園	15
高根木戸近隣公園	8
さくら公園（場所不明）	7
緑地公園（場所不明）	7
小室公園	7
若松公園	7
宮本台公園	7
西船近隣公園	6
海松台公園	6
近隣公園（場所不明）	4
法典公園（グラスポ）	4
その他（3件以下の回答）	87
（記載なし）	352
合 計	792

【街路樹などの道路の緑】

回答した人（366 人）の具体的な場所としては、「桜並木（その他）」（20 件）、「北習志野けやき並木・JuJuきたなら」（11 件）、「桜並木（前原団地）」（9 件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２１ 「道路」の場所

「道路」の内容	件数
桜並木（その他）	20
北習志野けやき並木・JuJuきたなら	11
桜並木（前原団地）	9
海老川沿い	7
桜並木（二和）	6
高根公団周辺	6
船橋駅周辺	5
桜並木（中山競馬場）	5
船橋本町通り	3
桜並木（薬円台公園周辺）	2
ららぽーと周辺	2
その他（1件のみの回答）	25
（記載なし）	265
合 計	366

【公共施設（市役所、学校、公民館など）の緑】

回答した人（196 人）の具体的な場所としては、「アンデルセン公園」（5 件）、「塚田小学校」（4 件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２２ 「公共施設」の場所

「公共施設」の内容	件数
アンデルセン公園	5
塚田小学校	4
小学校（不明）	4
薬円台小学校	3
船橋アリーナ	3
薬園台駅周辺	2
三山小学校	2
行田公園	2
大穴小学校	2
法典公園（グラスポ）	2
海神小学校・中学校	2
飯山満小学校・中学校	2
その他（1 件のみの回答）	27
（記載なし）	136
合 計	196

【市民の森などの自然林】

回答した人（272 人）の具体的な場所としては、「県民の森」（21 件）、「藤原市民の森緑地」、「アンデルセン公園」（ともに 7 件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２３ 「自然林」の場所

「自然林」の内容	件数
県民の森	21
藤原市民の森緑地	7
アンデルセン公園	7
丸山の森緑地	6
金杉緑地	5
夏見緑地	4
松が丘 2 丁目緑地	2
行田公園	2
その他（1 件のみの回答）	18
（記載なし）	203
合 計	275

【水田・農地】

回答した人（108 人）の具体的な場所としては、「梨園」（3 件）、「小室周辺の水田農地」、「西船橋の農地」、「大穴周辺の農地」（ともに 2 件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２４ 「水田・農地」の場所

「水田・農地」の内容	件数
梨園	3
小室周辺の水田農地	2
西船橋の農地	2
大穴周辺の農地	2
その他（1 件のみの回答）	6
（記載なし）	93
合 計	108

【河川・用水等の水辺環境や遊歩道】

回答した人（289 人）の具体的な場所としては、「海老川沿い・遊歩道」（85 件）、「木戸川沿い・遊歩道」、「二重川沿い・遊歩道」（ともに 6 件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２５ 「水辺や遊歩道」の場所

「水辺や遊歩道」の内容	件数
海老川沿い・遊歩道	85
木戸川沿い・遊歩道	6
二重川沿い・遊歩道	6
長津川沿い・遊歩道	4
長津川親水公園	3
坪井せせらぎの森	2
その他（1 件のみの回答）	11
（記載なし）	173
合 計	290

【歴史情緒を感じる神社・寺の緑】

回答した人（375人）の具体的な場所としては、「船橋大神宮・意富比神社」（62件）、「二宮神社」（24件）、「御瀧不動尊金蔵寺」（22件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２６ 「神社・寺」の場所

「神社・寺」の内容	件数
船橋大神宮・意富比神社	62
二宮神社	24
御瀧不動尊金蔵寺	22
御嶽神社	14
山野浅間神社	8
八坂神社	4
神明神社	4
日枝神社	3
法華経寺	3
大宮神社	3
羽黒神社	2
山上神社	2
その他（1件のみの回答）	16
（記載なし）	220
合 計	387

【船橋の地域性・文化を残す巨木・名木や屋敷林】

回答した人（133人）の具体的な場所としては、「二宮神社」（3件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２７ 「巨木・名木、屋敷林」の場所

「巨木・名木、屋敷林」の内容	件数
二宮神社	3
その他（1件のみの回答）	7
（記載なし）	123
合 計	133

【良好な緑地環境を維持する風致地区】

回答した人（91 人）の具体的な場所としては、「滝不動」（10 件）、「中山競馬場」（6 件）などが挙げられている。

表Ⅲ－２８ 「風致地区」の場所

「風致地区」の内容	件数
滝不動	10
中山競馬場	6
その他（１件のみの回答）	6
（記載なし）	70
合 計	92

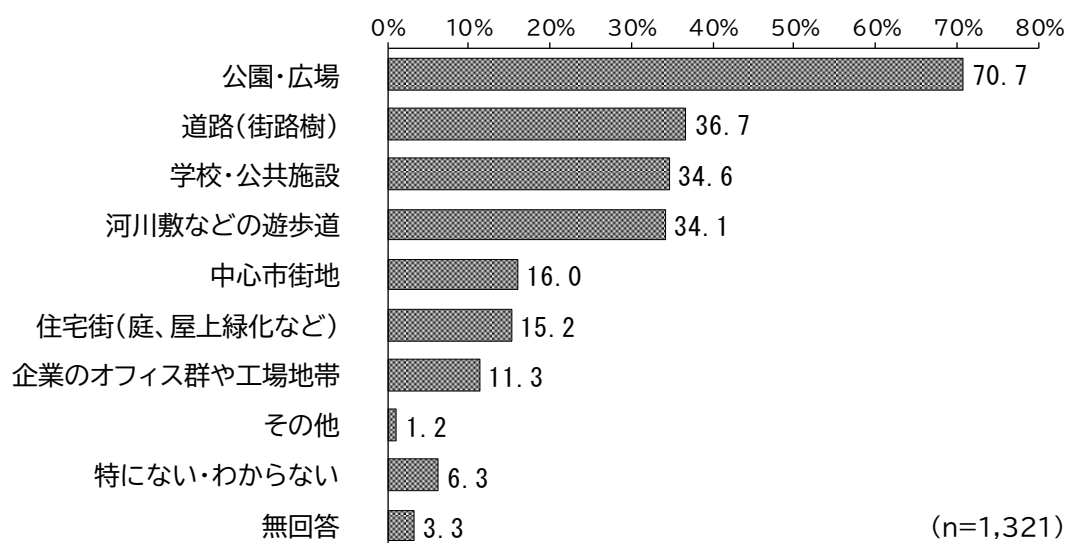
(11) 重点的に保全または増やしていくところ

「公園・広場」が7割超

【問23】これからあなたはどんなところを重点に緑を保全し、または増やしていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

緑を保全、増やしていくべきだと思う場所を聞いたところ、「公園・広場」が70.7%で最も高く、次いで「道路（街路樹）」(36.7%)、「学校・公共施設」(34.6%)、「河川敷などの遊歩道」(34.1%)と続いている。

「その他」については、「商業施設」、「残存の森・林」（ともに2件）などが挙がっている。



図Ⅲ－８８ 重点的に保全または増やしていくところ

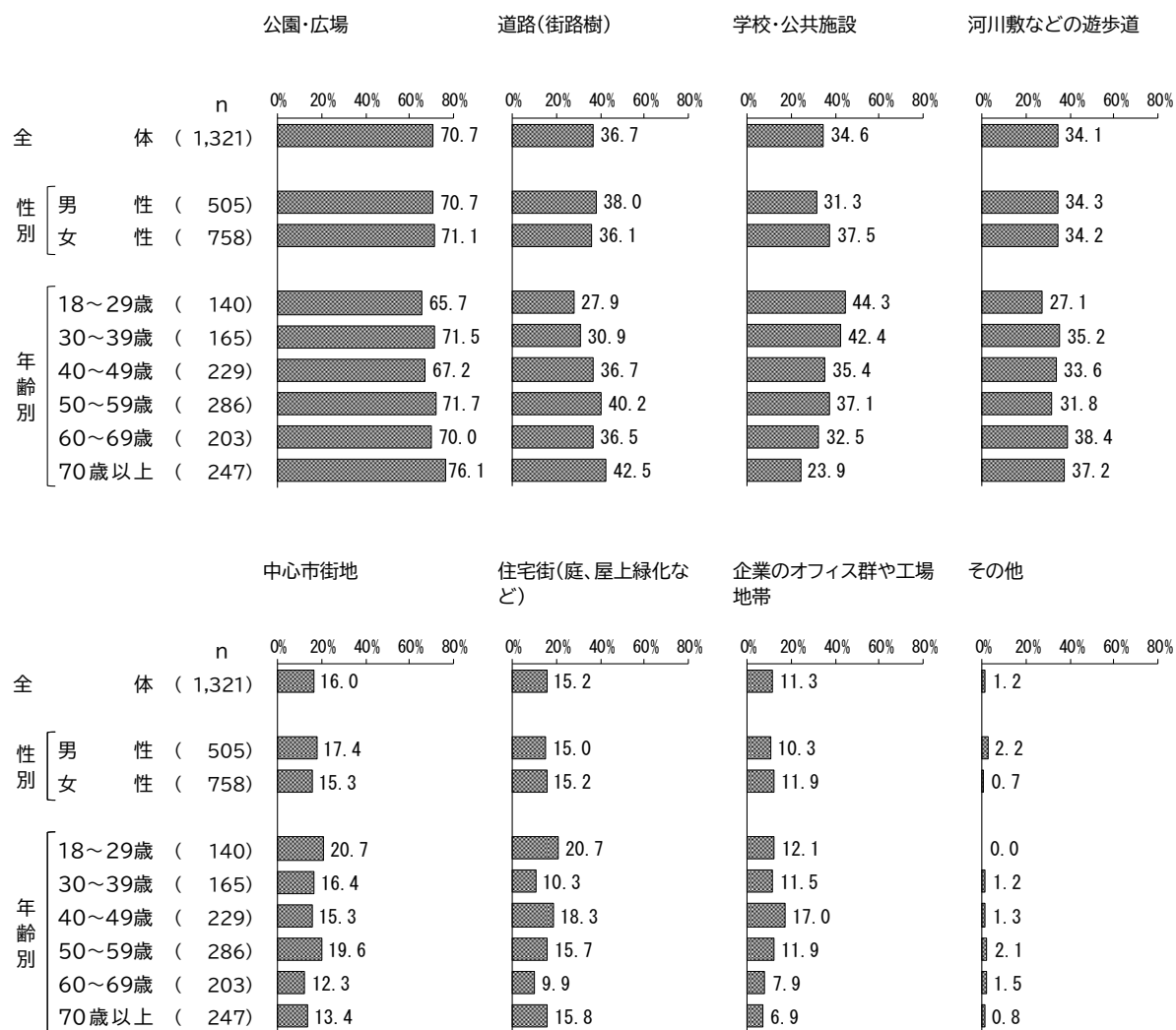
表Ⅲ－２９ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
商業施設	2
残存の森・林	2
その他（1件のみの回答）	12
合 計	16

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「学校・公共施設」では、女性（37.5%）が男性（31.3%）より 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「公園・広場」では、70 歳以上が 76.1%と最も高く、次いで 50～59 歳（71.7%）、30～39 歳（71.5%）と 7 割を超えている。また、「学校・公共施設」の割合は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い 70 歳以上（23.9%）と最も高い 18～29 歳（44.3%）では 20.4 ポイントの差がある。



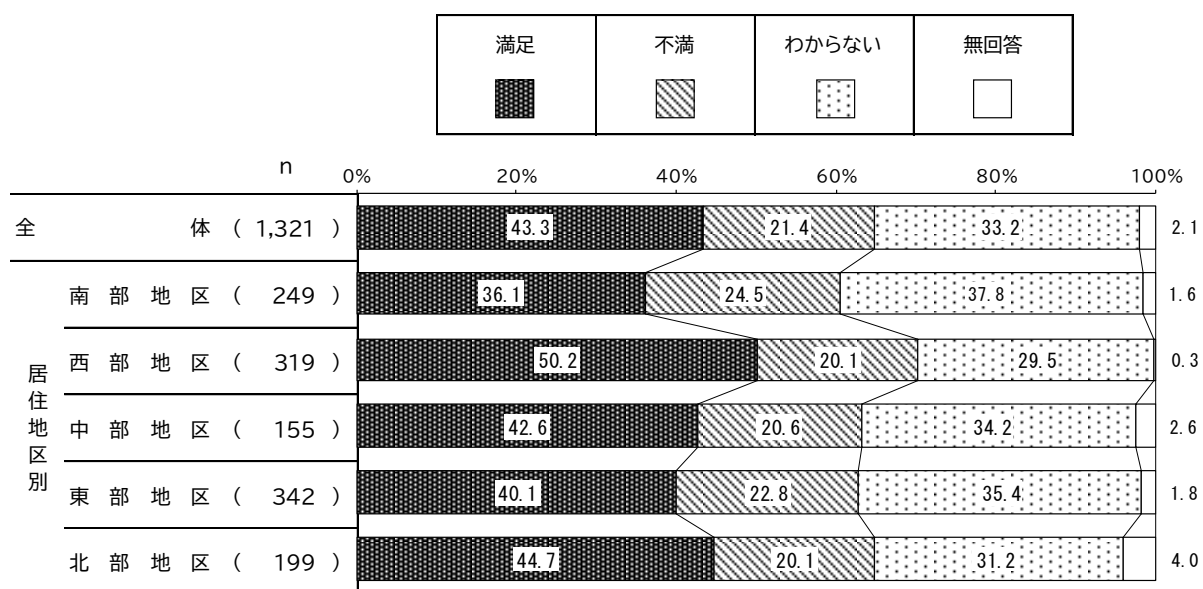
図Ⅲ－８９ 重点的に保全または増やしていくところ（性別／年齢別）

(12) 「『公園』と『緑』について」概観

近隣の公園の満足度は地域によって差がある

自宅から徒歩15分(距離1km)で行ける公園について、居住地区別で比較すると、「満足」では、西部地区が50.2%で最も高くなっており、最も低い南部地区(36.1%)と14.1ポイントの差がある。

一方、「不満」では南部地区が24.5%で最も高く、西部地区(20.1%)、北部地区(20.1%)で低くなっており、居住地区による差が見られる。



図Ⅲ－90 近隣の公園の満足度（居住地区別）

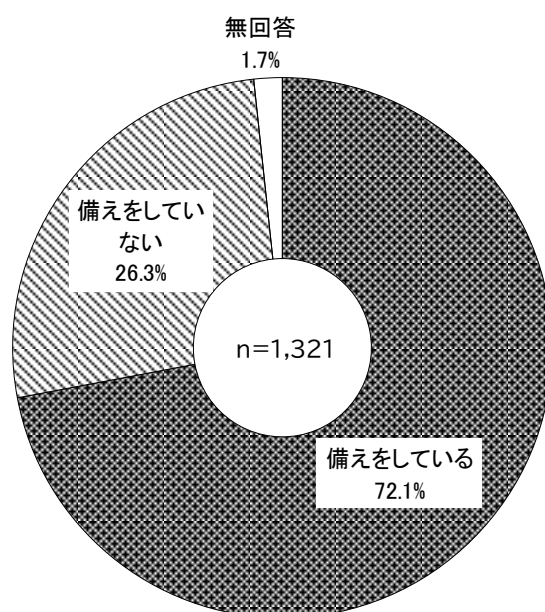
5. 「災害への備え」について

(1) 日頃の災害への備え

日頃から災害に備えている人は7割超

【問24】日頃から災害への備えをしていますか。(〇は1つ)

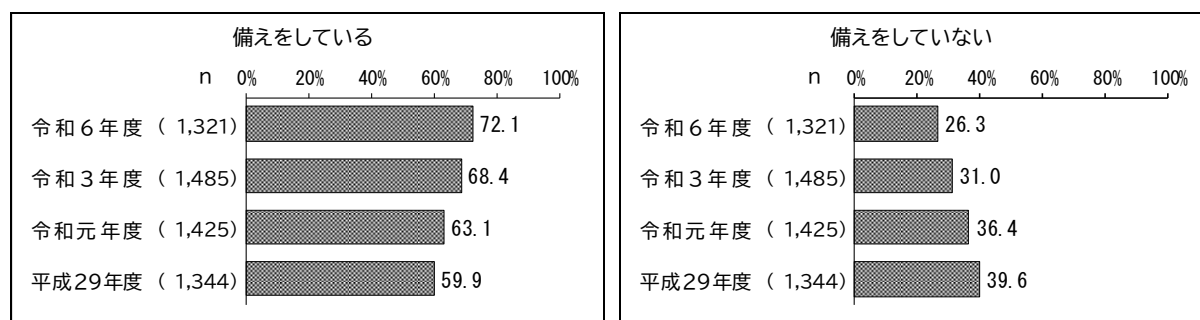
日頃から災害への備えをしているか聞いたところ、「備えをしている」が72.1%、「備えをしていない」が26.3%となっている。



図Ⅲ－9 1 日頃の災害への備え

【時系列比較】

時系列で比較すると、「備えをしている」では令和3年度（68.4%）から3.7ポイント高くなっており、「備えをしていない」では令和3年度（31.0%）から4.7ポイント低くなっている。

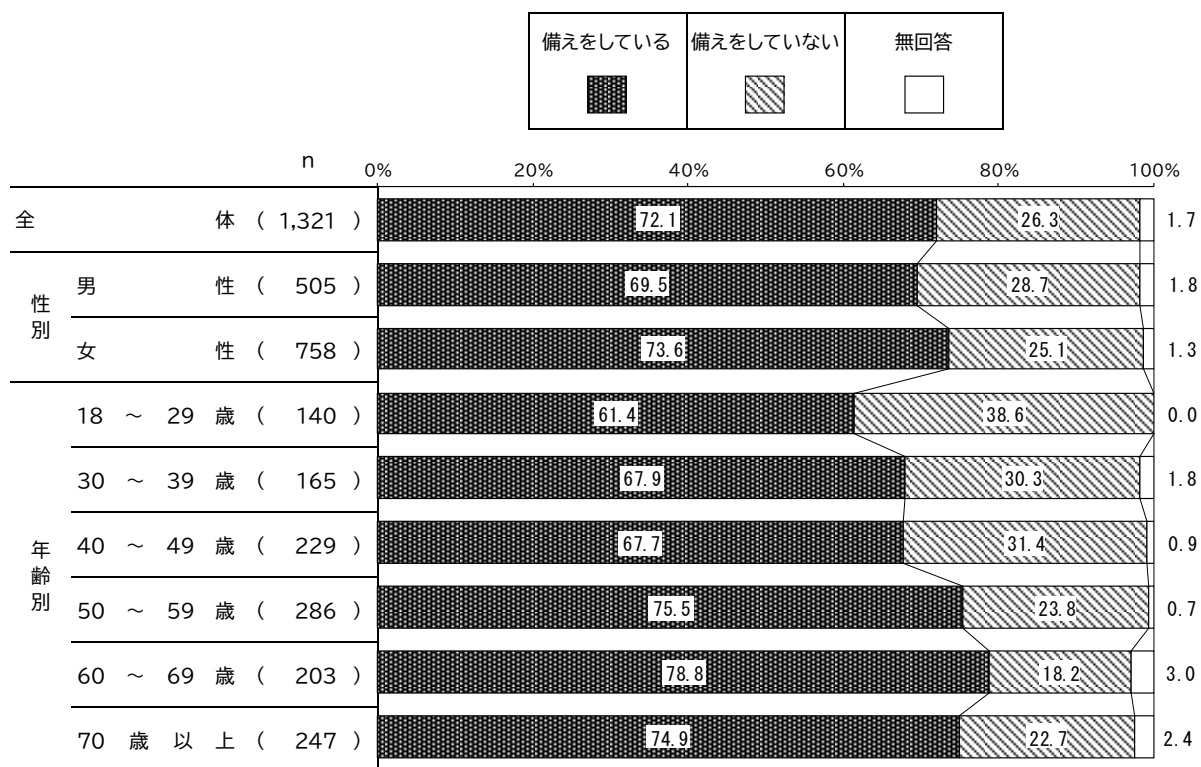


図Ⅲ－9 2 日頃の災害への備え（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「備えをしている」は、女性（73.6%）が男性（69.5%）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、全ての年齢で「備えをしている」の割合が6割を超えている。また、50歳以上では7割を超えており、「備えをしている」割合が最も高い60～69歳は78.8%となっている。



図Ⅲ－９３ 日頃の災害への備え（性別／年齢別）

(2) 備えの具体例

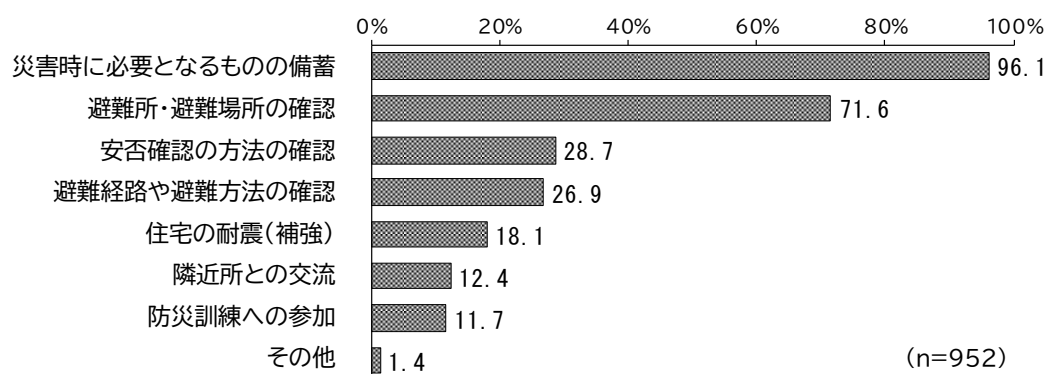
「災害時に必要となるものの備蓄」が9割超

(問24で「1. 備えをしている」とお答えの方)

【問25】どのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

日頃から災害への「備えをしている」と答えた人(952人)が行っている備えは、「災害時に必要となるものの備蓄」の割合が96.1%と最も高く、次いで「避難所・避難場所の確認」(71.6%)、「安否確認の方法の確認」(28.7%)、「避難経路や避難方法の確認」(26.9%)と続いている。

「その他」については、「水・食料の備蓄」(3件)、「家具の転倒防止」(2件)などが挙げられている。



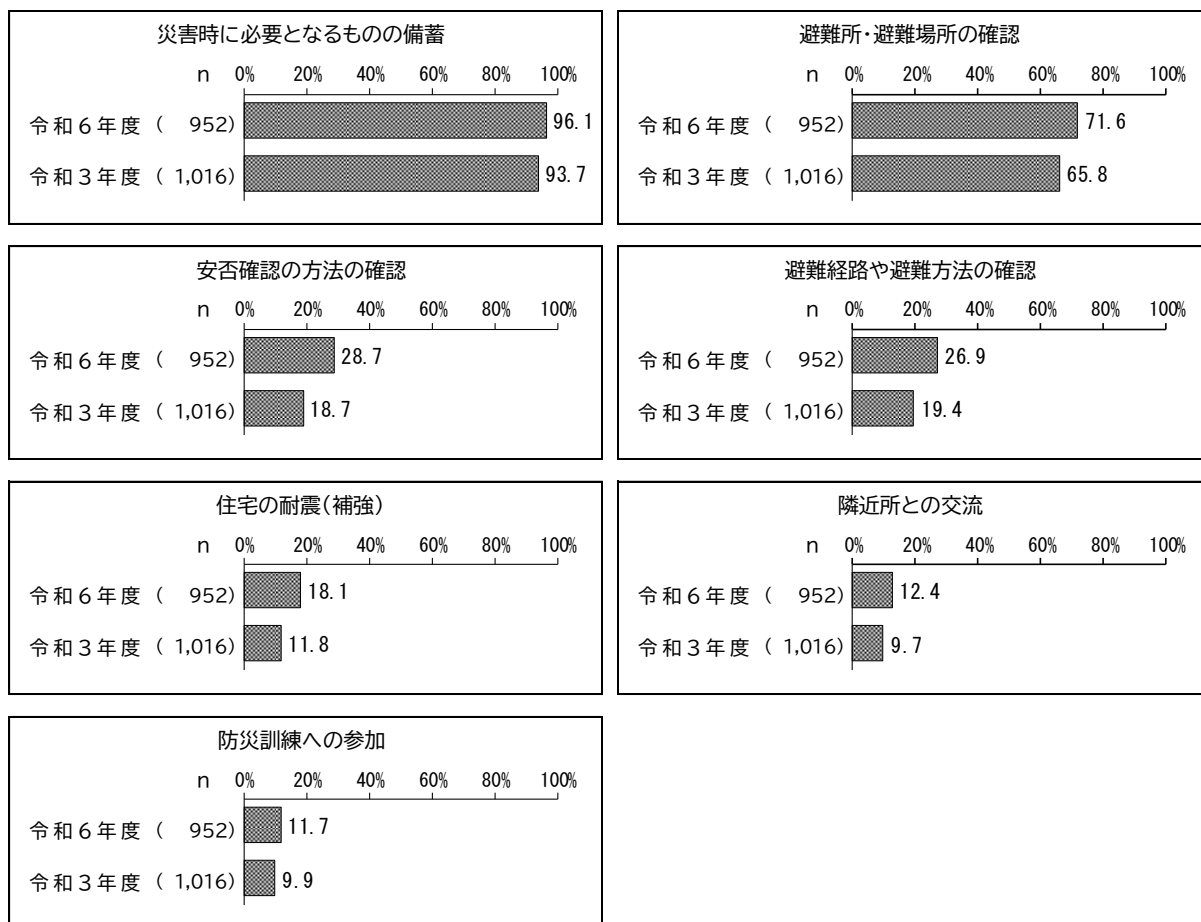
図Ⅲ－94 備えの具体例

表Ⅲ－30 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
水・食料の備蓄	3
家具の転倒防止	2
その他(1件のみの回答)	6
(記載なし)	2
合 計	13

【時系列比較】

時系列で比較すると、令和3年度と比べて全ての項目において高くなっている。「安否確認の方法の確認」(28.7%)では、令和3年度(18.7%)と比べて10.0ポイント高くなっており、「避難経路や避難方法の確認」(26.9%)では、令和3年度(19.4%)と比べて7.5ポイント高くなっている。

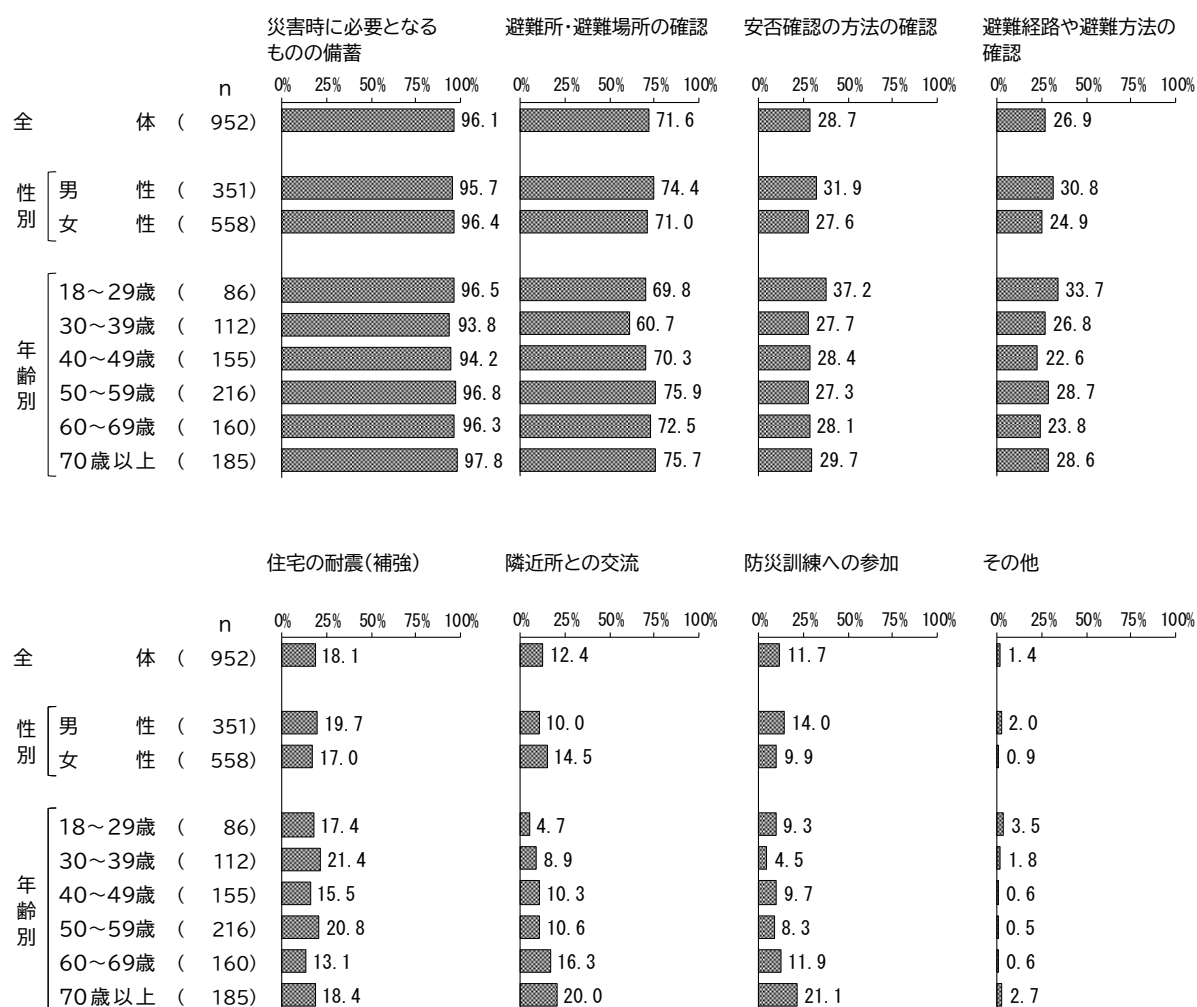


図Ⅲ－９５ 備えの具体例（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「避難経路や避難方法の確認」では、男性（30.8％）が女性（24.9％）より 5.9 ポイント高く、「隣近所との交流」では、女性（14.5％）が男性（10.0％）より 4.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「災害時に必要となるものの備蓄」は、全ての年齢で9割を超えている。また、「安否確認の方法の確認」では、18～29歳が37.2％と最も高くなっている。一方、「住宅の耐震（補強）」、「隣近所との交流」、「防災訓練への参加」は、ほぼ全ての年代で2割を下回っている。



図Ⅲ－96 備えの具体例（性別／年齢別）

(3) 具体的な備蓄品

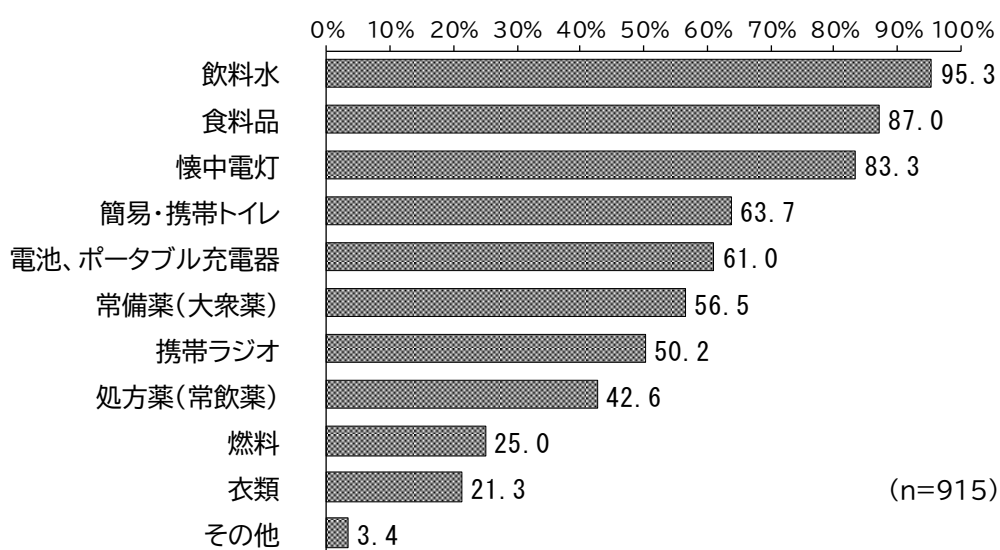
「飲料水」、「食料品」、「懐中電灯」が8割超

(問25で「8. 災害時に必要となるものの備蓄」とお答えの方)

【問26】どのような品を備蓄していますか。(〇はいくつでも)

どのような備えをしているか聞き、「災害時に必要となるものの備蓄」と答えた人(915人)が行っている備蓄品の割合は、「飲料水」が95.3%と最も高く、次いで「食料品」(87.0%)、「懐中電灯」(83.3%)までが8割を超えている。

「その他」については、「ペット用品、ペットフード」、「トイレットペーパー、ティッシュ、ウェットティッシュ」(ともに5件)などが挙がっている。



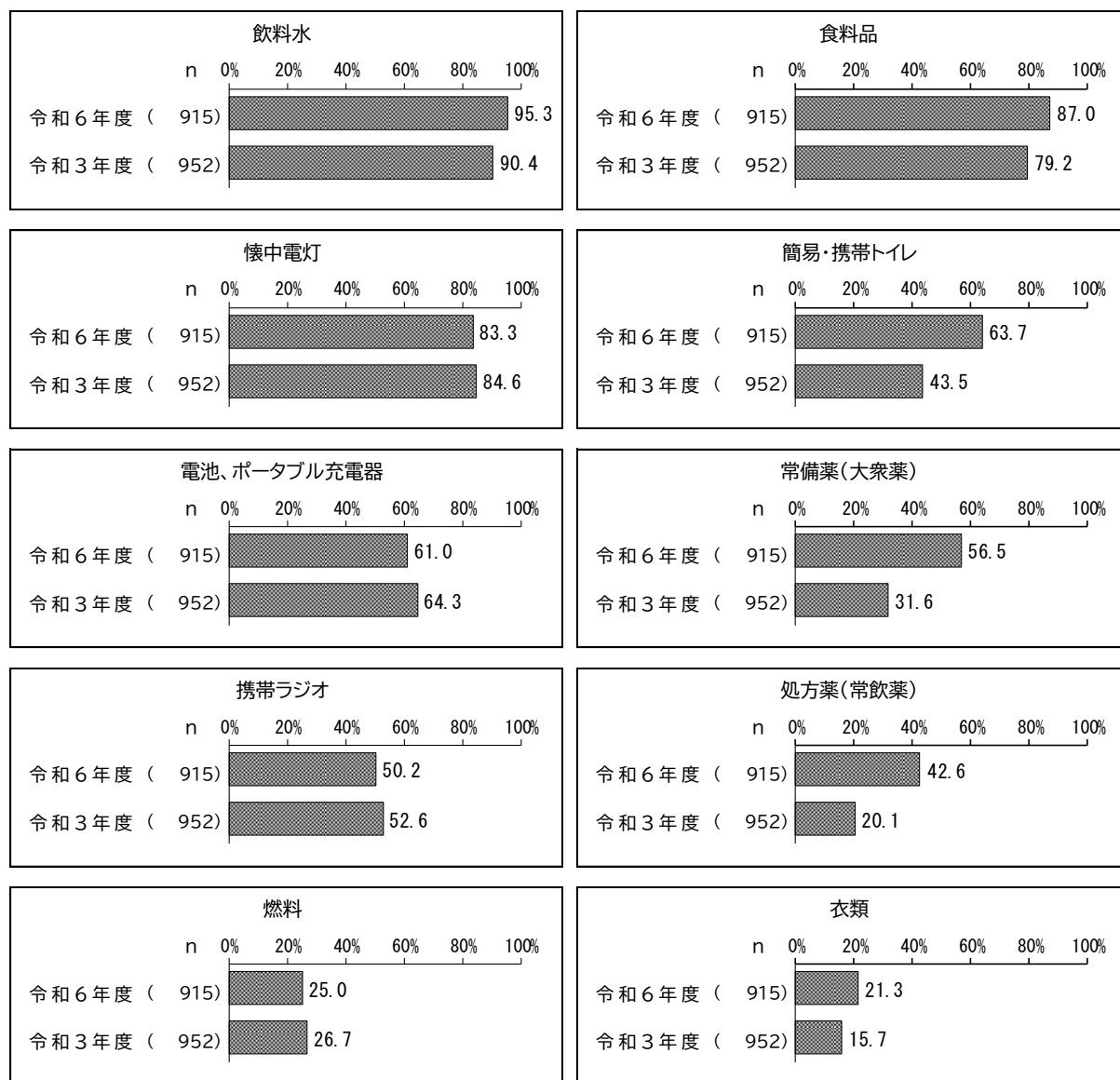
図Ⅲ－97 具体的な備蓄品

表Ⅲ－31 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
ペット用品、ペットフード	5
トイレットペーパー、ティッシュ、ウェットティッシュ	5
テント、寝袋	4
ラップ、アルミホイル	3
防災リュック、防災シート	3
発電機・蓄電池	3
ヘルメット、軍手、手袋	3
眼鏡	2
現金・小銭	2
タオル、バスタオル	2
毛布、ブランケット	2
安全靴	2
その他(1件のみの回答)	9
合 計	45

【時系列比較】

時系列で比較すると、「常備薬（大衆薬）」（56.5％）では令和３年度（31.6％）と比べて24.9ポイント高くなっており、「処方薬（常飲薬）」（42.6％）では令和３年度（20.1％）と比べて22.5ポイント、「簡易・携帯トイレ」（63.7％）では令和３年度（43.5％）に比べて20.2ポイント高くなっている。

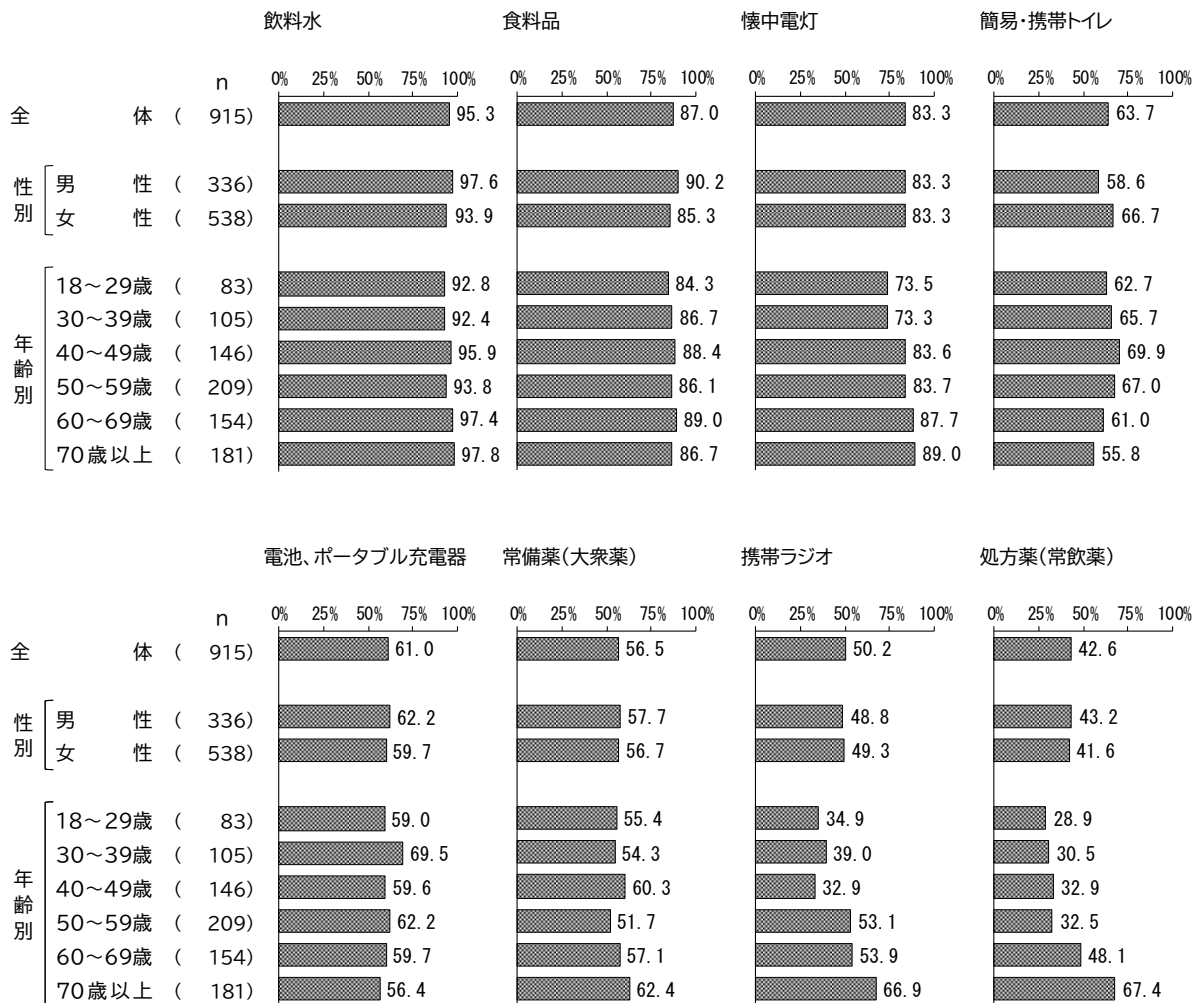


図Ⅲ－９８ 具体的な備蓄品（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「簡易・携帯トイレ」では、女性（66.7％）が男性（58.6％）より 8.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「飲料水」は、全ての年齢で 9 割を超えている。また、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「処方薬（常飲薬）」では年齢が上がるに従い高くなる傾向がある。なお、「処方薬（常飲薬）」では、割合が最も高い 70 歳以上（67.4％）と最も低い 18～29 歳（28.9％）の差が 38.5 ポイントとなっている。



図Ⅲ－９ 具体的な備蓄品 上位８項目（性別／年齢別）

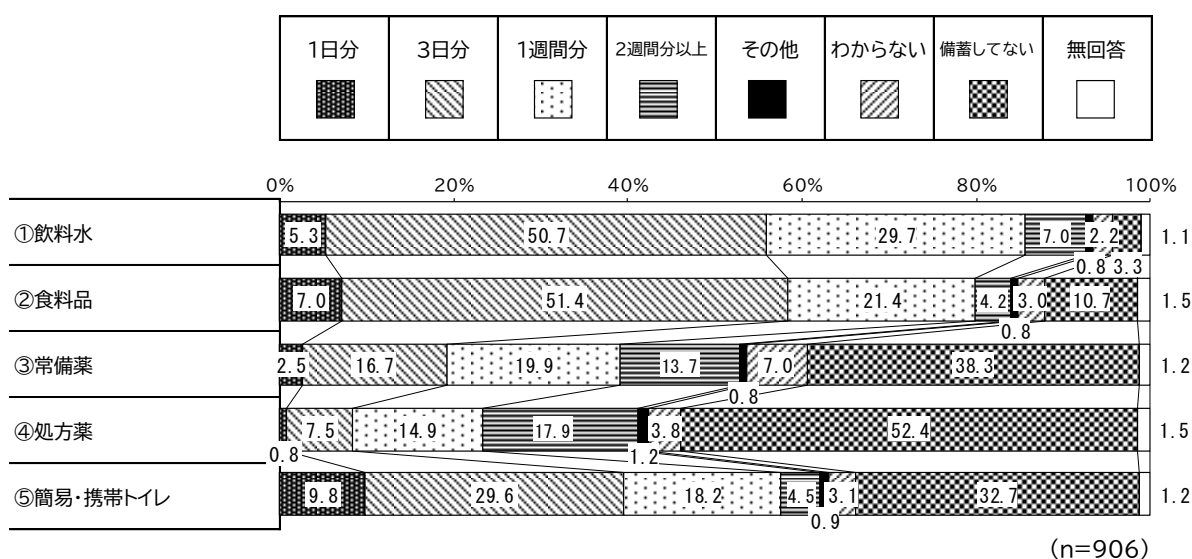
(4) 備蓄品別の備えている期間

「飲料水」または「食料品」を「3日分」備蓄している人が5割超、「1週間分」備蓄している人が2割超

(問26で「1. 飲料水」から「5. 簡易・携帯トイレ」のいずれか1つでもお答えの方)

【問27】飲料水・食料品・薬(常備薬・処方薬)・携帯トイレを何日分備蓄していますか。(〇は横方向に1つずつ)

備蓄している品目で、「①飲料水」「②食料品」「③常備薬」「④処方薬」「⑤簡易・携帯トイレ」のいずれかを答えた人(906人)が備蓄している品・量は、「②食料品」を「3日分」が51.4%と最も多く、次いで「①飲料水」を「3日分」が50.7%、「1週間分」が29.7%となっている。



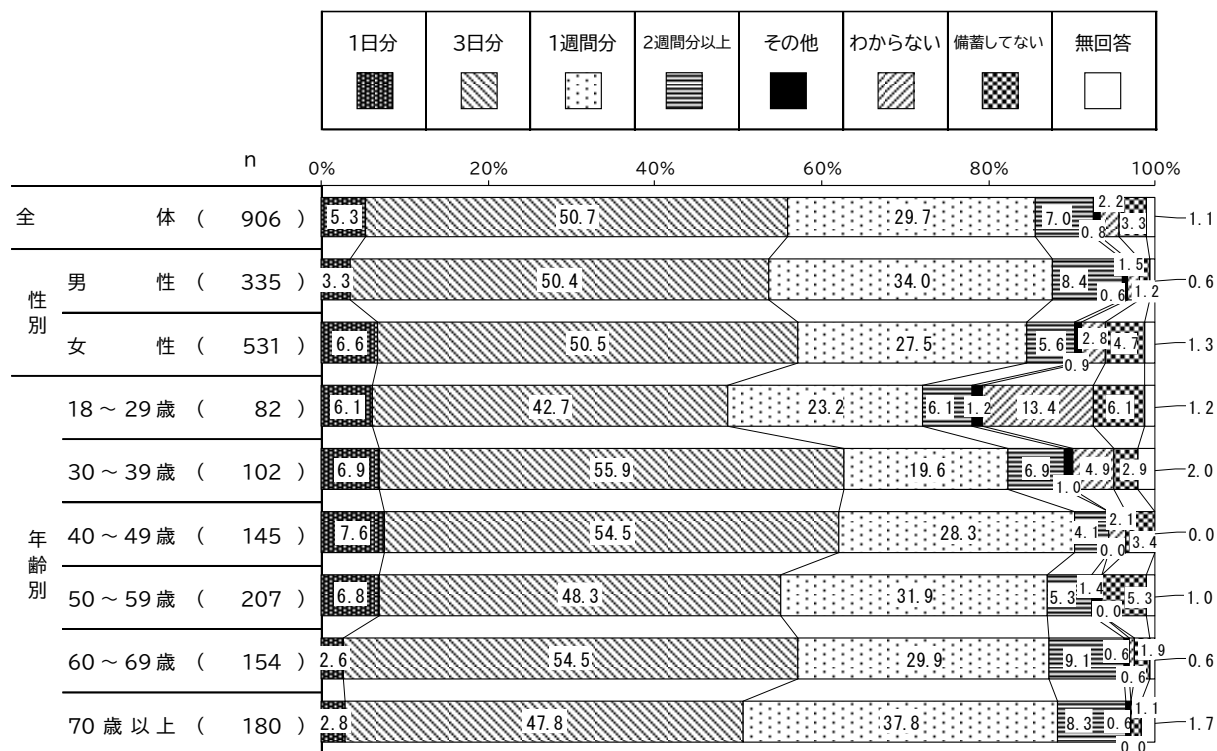
図Ⅲ－１００ 備蓄品別の備えている期間

(4-1) 飲料水

性別で比較すると、「1週間分」では男性（34.0％）が女性（27.5％）より6.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「3日分」では30～39歳が55.9％と最も高く、「1週間分」では70歳以上が37.8％で最も高くなっている。

「その他」については、「5日分」（2件）などが挙げられている。



図Ⅲ－１０１ 飲料水の備蓄量（性別／年齢別）

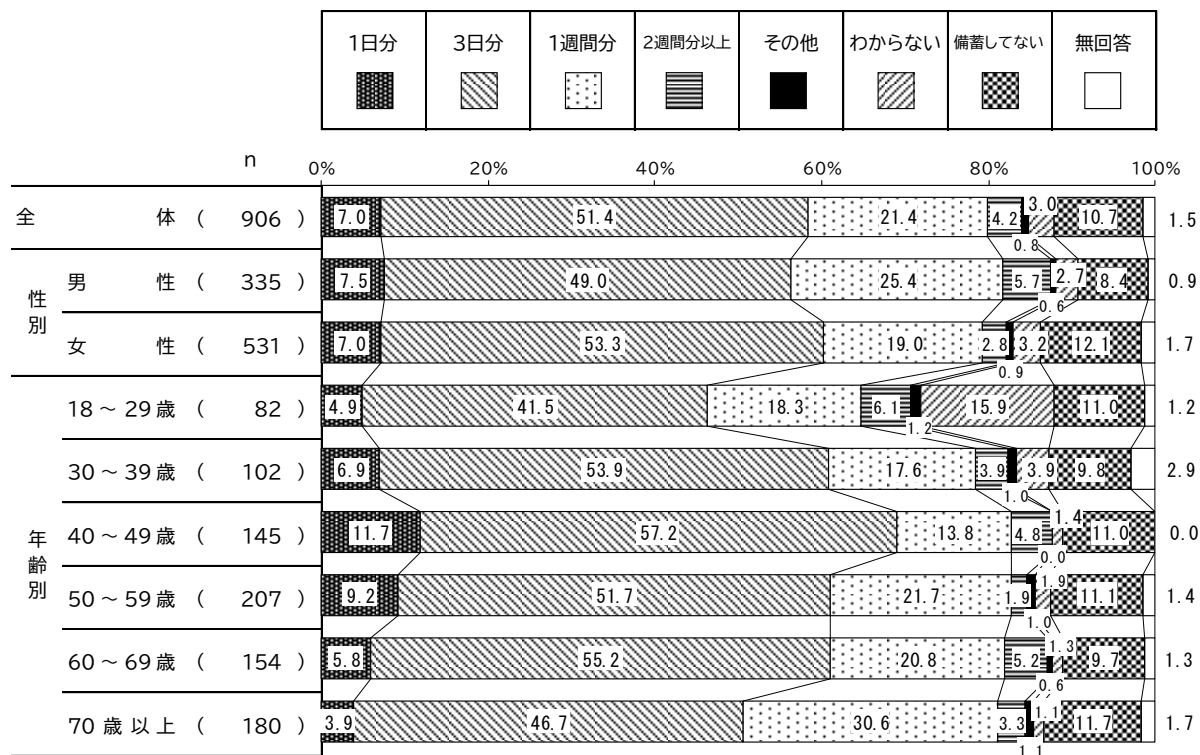
表Ⅲ－３２ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
5日分	2
その他（1件のみの回答）	5
合 計	7

(4-2) 食料品

性別で比較すると、「1週間分」では男性（25.4%）が女性（19.0%）より 6.4 ポイント高く、「3 日分」では女性（53.3%）が男性（49.0%）より 4.3 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「3 日分」では 40～49 歳が 57.2%と最も高く、「1 週間分」では 70 歳以上が 30.6%で最も高くなっている。



図Ⅲ－１０２ 食料品の備蓄量（性別／年齢別）

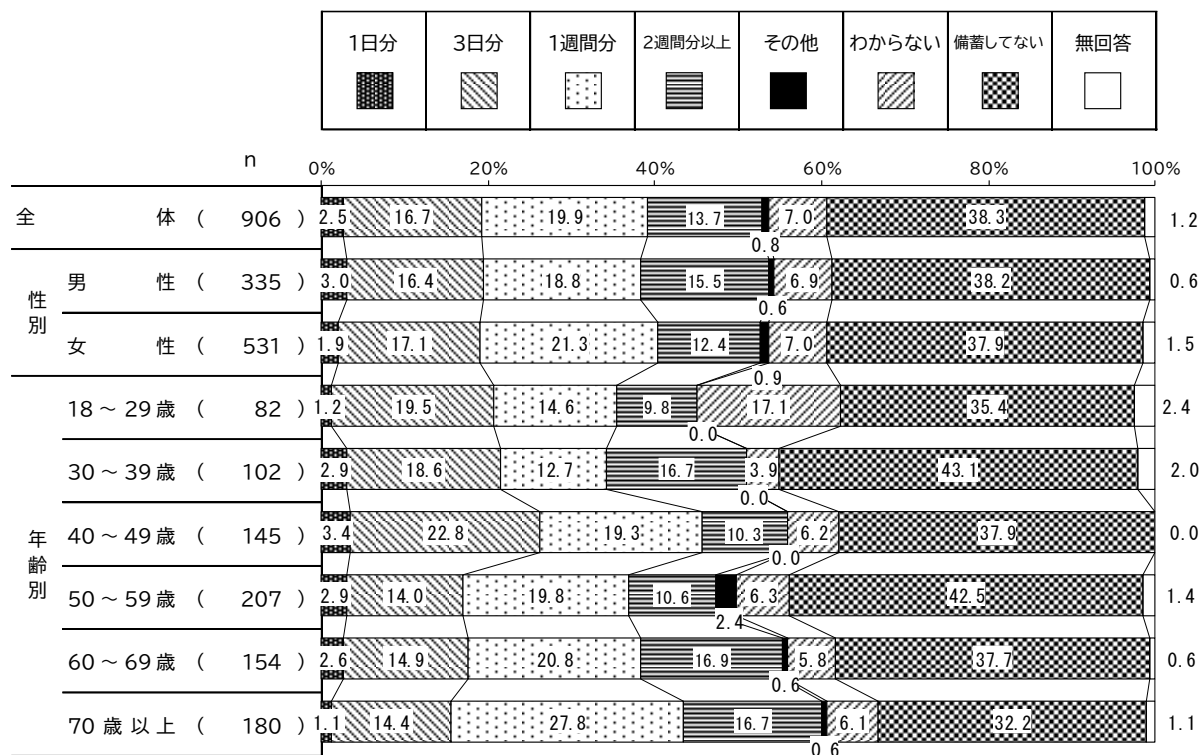
表Ⅲ－３３ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
2日分	1
5日分	1
米	1
軽食程度	1
インスタントラーメン1袋	1
災害用ではないが備蓄している	1
(記載なし)	1
合 計	7

(4-3) 常備薬

性別で比較すると、「2週間分以上」では男性（15.5%）が女性（12.4%）より3.1ポイント高く、「1週間分」では女性（21.3%）が男性（18.8%）より2.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「3日分」では40～49歳が22.8%と最も高く、「1週間分」では70歳以上が27.8%、「2週間分以上」では60～69歳が16.9%で最も高くなっている。



図Ⅲ－１０３ 常備薬の備蓄量（性別／年齢別）

表Ⅲ－３４ 「その他」の内容

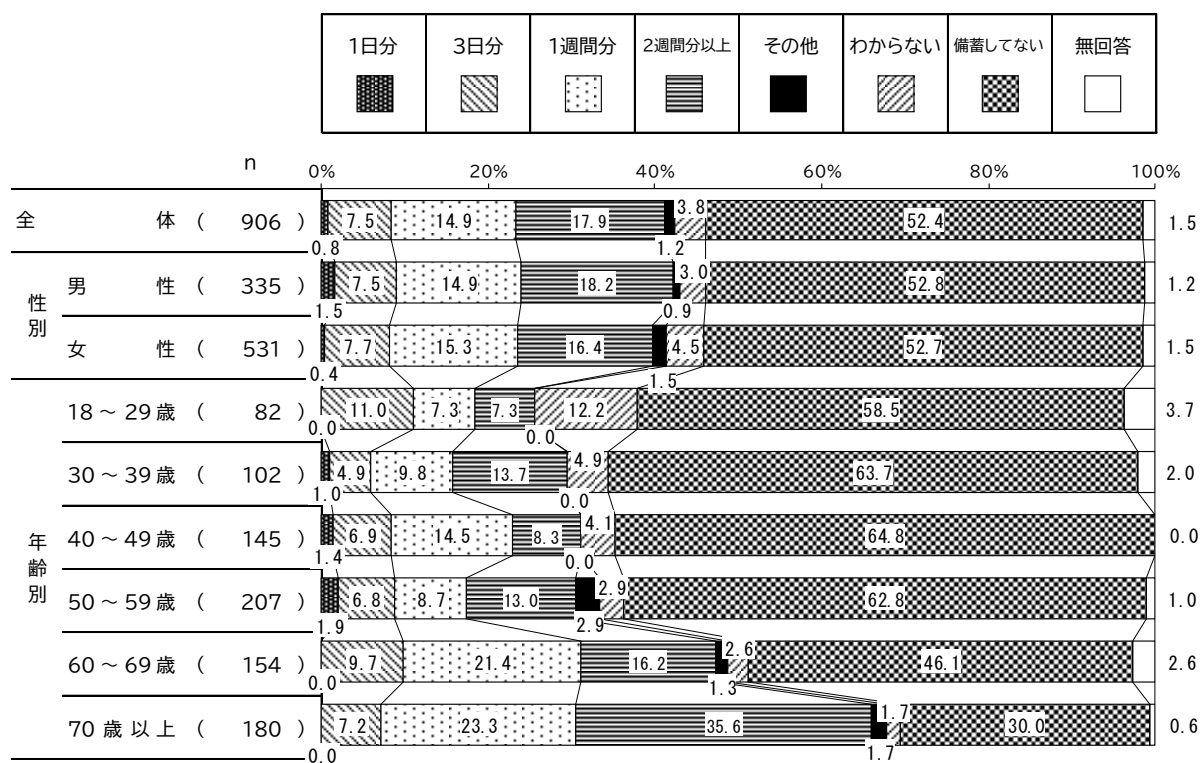
「その他」の内容	件数
1か月分	1
1年以上	1
0日分	1
多め	1
災害用ではないが備蓄している	1
(記載なし)	2
合 計	7

(4-4) 処方薬

性別で比較すると、「2週間分以上」では男性（18.2%）が女性（16.4%）より1.8ポイント高くなっているが、他の備蓄量はおおむね変わらない。

年齢別にみると、年齢が上がるに従い備蓄量が増える傾向があり、70歳以上では「2週間分以上」（35.6%）、「1週間分」（23.3%）で最も高くなっている。

「その他」については、「0日分」（4件）、「2か月分」、「1か月分」（ともに2件）などが挙げられている。



図Ⅲ－１０４ 処方薬の備蓄量（性別／年齢別）

表Ⅲ－３５ 「その他」の内容

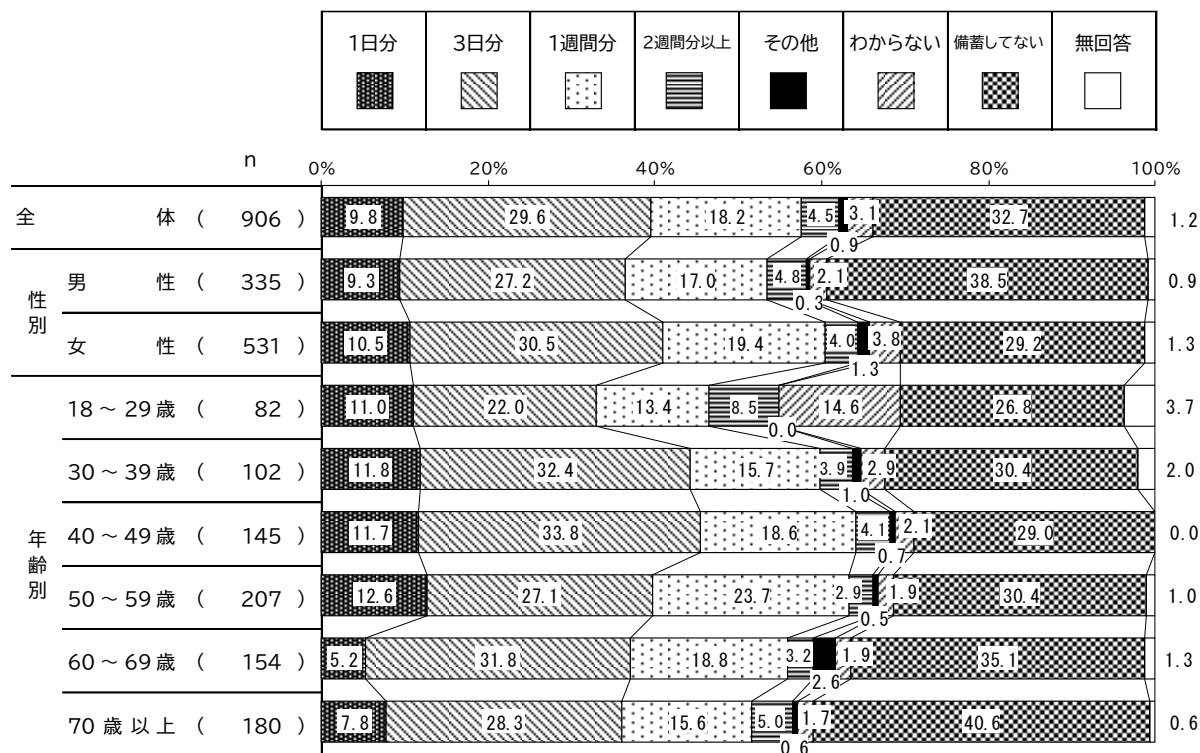
「その他」の内容	件数
0日分	4
2か月分	2
1か月分	2
その他（1件のみの回答）	2
（記載なし）	1
合 計	11

(4-5) 簡易・携帯トイレ

性別で比較すると、「3日分」、「1週間分」、「1日分」で女性（30.5%、19.4%、10.5%）が男性（27.2%、17.0%、9.3%）より3.3、2.4、1.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「3日分」では40歳～49歳（33.8%）、30～39歳（32.4%）と続き、「1週間分」では50～59歳（23.7%）、60～69歳（18.8%）と続いている。

「その他」については、「ゴミ袋を使う」（3件）などが挙がっている。



図Ⅲ－１０５ 簡易・携帯トイレの備蓄量（性別／年齢別）

表Ⅲ－３６ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
ゴミ袋を使う	3
その他（1件のみの回答）	5
合 計	8

(5) 備えていない理由

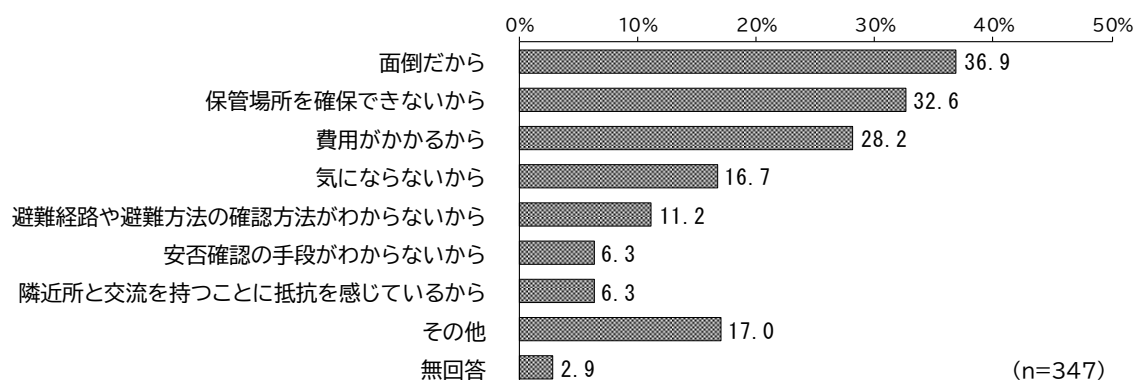
「面倒だから」が4割近く

(問24で「2. 備えをしていない」とお答えの方)

【問28】 備えをしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

日頃から災害への「備えをしていない」と答えた人(347人)の備えをしていない理由は、「面倒だから」が36.9%と最も高く、次いで「保管場所を確保できないから」(32.6%)、「費用がかかるから」(28.2%)と続いている。

「その他」については、「備えようと思っているができていない」(17件)、「何が必要かわからない」(8件)などが挙げられている。



図Ⅲ－１０６ 備えていない理由

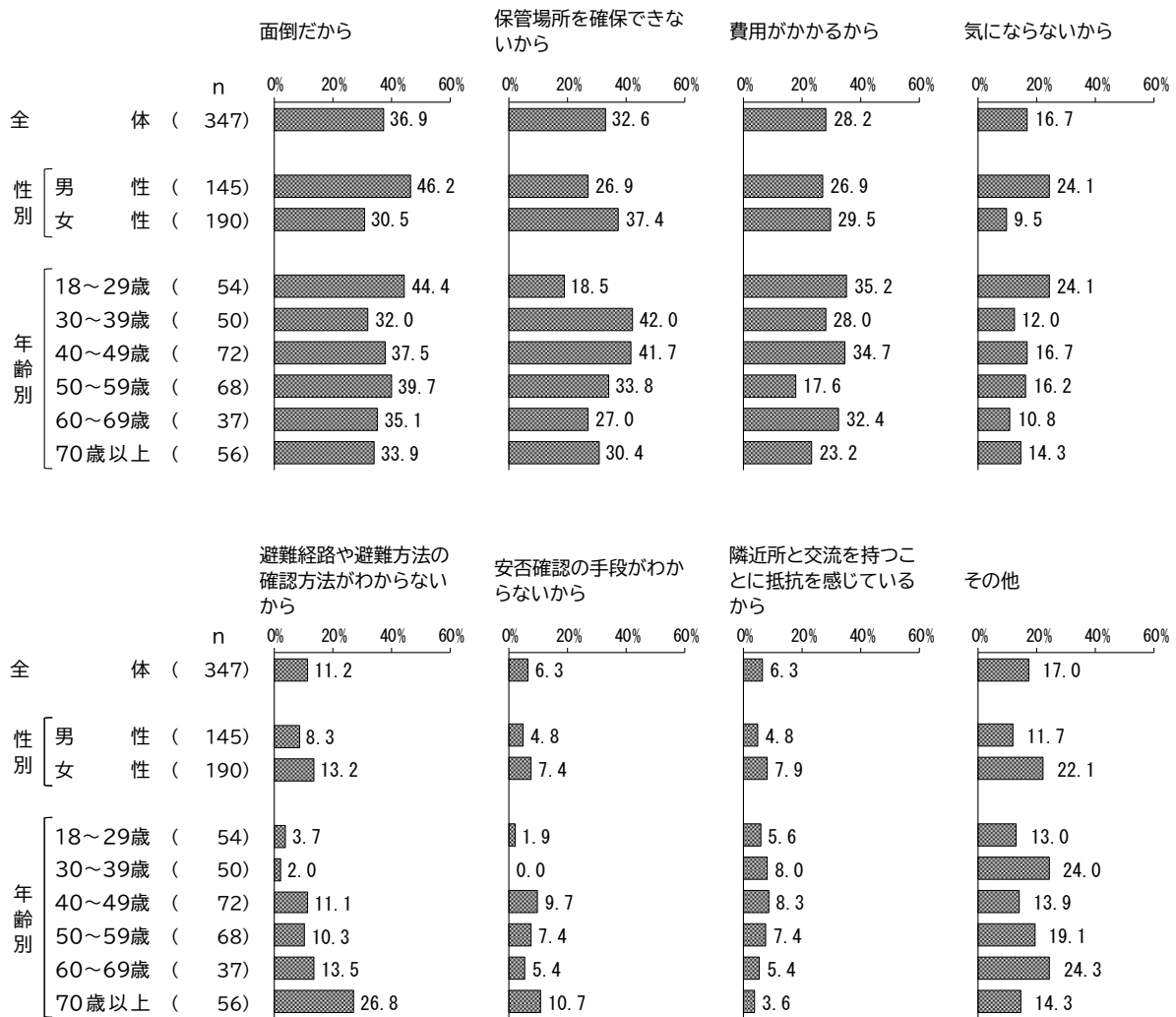
表Ⅲ－３７ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
備えようと思っているができていない	17
何が必要かわからない	8
危機感を感じていない	5
家族に任せている	4
多少はしているが完全ではない	3
金銭面で余裕がない	3
忙しい・時間がない	3
住んでいるところが安全だから	2
その他(1件のみの回答)	11
(記載なし)	3
合 計	59

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「面倒だから」、「気にならないから」では、男性（46.2%、24.1%）が女性（30.5%、9.5%）より 15.7、14.6 ポイント高くなっている。一方、「保管場所を確保できないから」、「避難経路や避難方法の確認方法がわからないから」では、女性（37.4%、13.2%）が男性（26.9%、8.3%）より 10.5、4.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「避難経路や避難方法の確認方法がわからないから」は、最も高い 70 歳以上で 26.8%、最も低い 30～39 歳で 2.0%と 24.8 ポイントの差がある。なお、「面倒だから」では、18～29 歳が 44.4%で 4 割を超えている。



図Ⅲ－107 備えていない理由（性別／年齢別）

(6) 備蓄していない理由

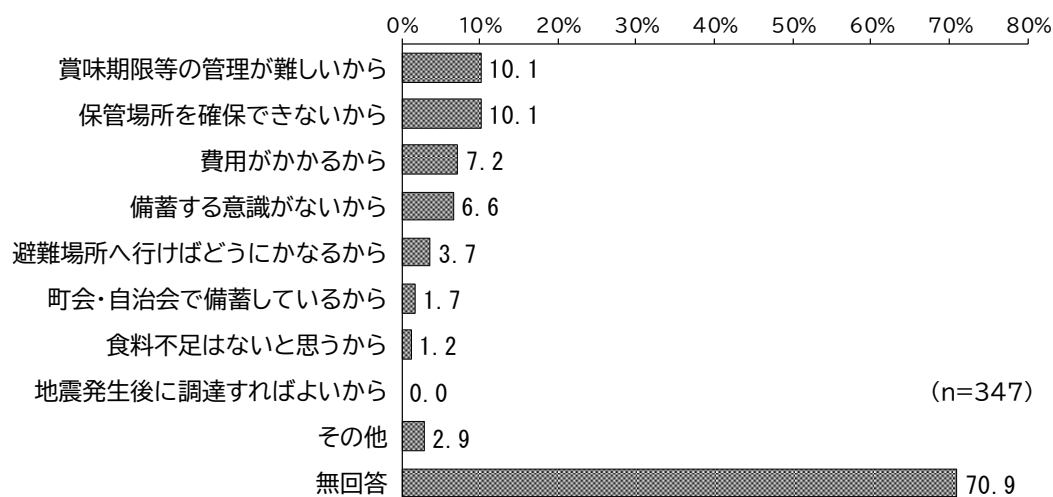
「賞味期限等の管理が難しいから」、「保管場所を確保できないから」が1割

(問25で「8. 災害時に必要となるものの備蓄」を選ばなかった方)

【問29】 備蓄していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

災害への備えのうち、「災害時に必要となるものの備蓄」を選ばなかった人(347人)の備蓄していない理由は、「賞味期限等の管理が難しいから」、「保管場所を確保できないから」がともに10.1%と最も高く、次いで「費用がかかるから」(7.2%)、「備蓄する意識がないから」(6.6%)と続いている。

その他については、「後回しになっている」(5件)、「備蓄する場所がない」、「何をどのくらい備蓄したらいいかわからない」(ともに2件)などが挙げられている。



図Ⅲ－１０８ 備蓄していない理由

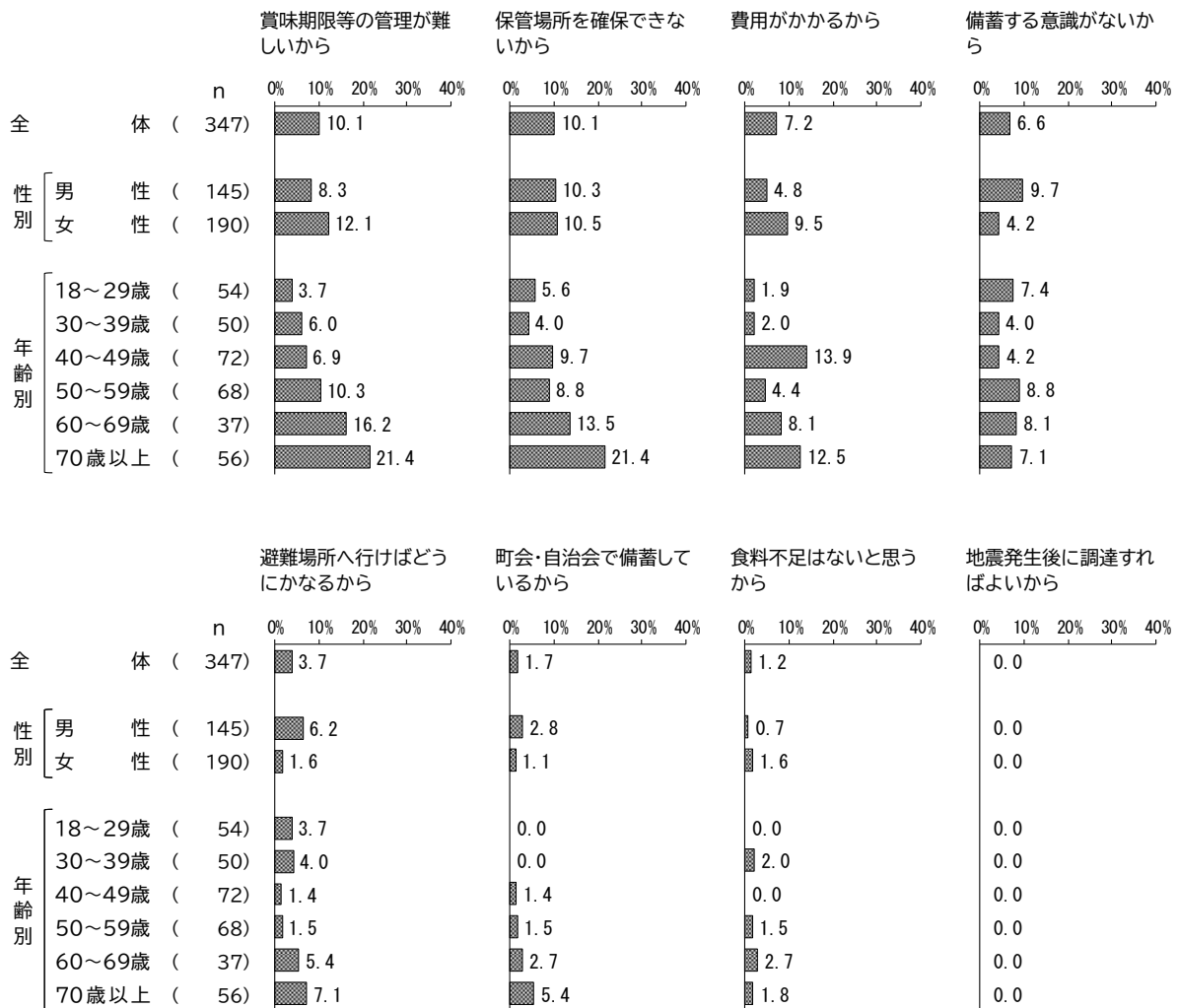
表Ⅲ－３８ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
後回しになっている	5
備蓄する場所がない	2
何をどのくらい備蓄したらいいかわからない	2
その他(1件のみの回答)	5
(記載なし)	1
合 計	15

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「備蓄する意識がないから」では、男性（9.7%）が女性（4.2%）より 5.5 ポイント高くなっている。一方、「費用がかかるから」、「賞味期限等の管理が難しいから」では、女性（9.5%、12.1%）が男性（4.8%、8.3%）より 4.7、3.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「賞味期限等の管理が難しいから」は、年齢が上がるに従い割合が高くなっており、最も高い 70 歳以上で 21.4%、最も低い 18～29 歳で 3.7%と 17.7 ポイントの差がある。



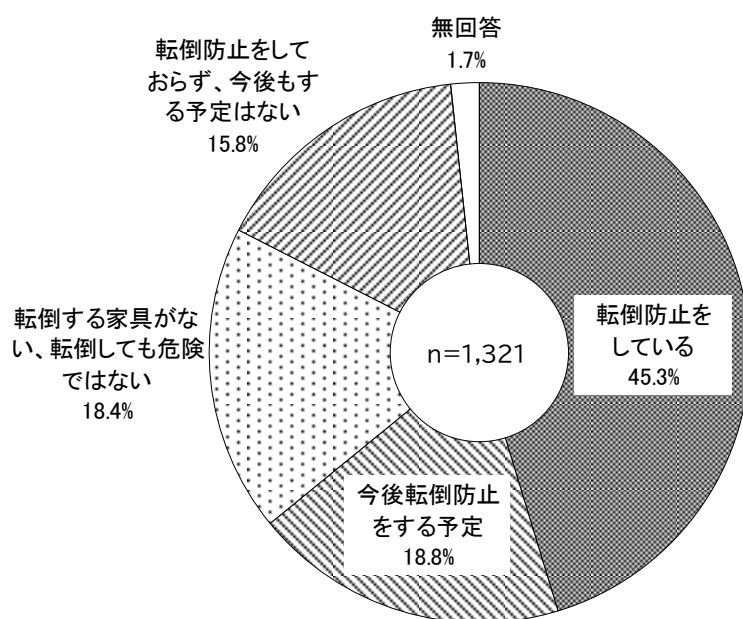
図Ⅲ－１０９ 備蓄していない理由（性別／年齢別）

(7) 家具の転倒防止

家具の「転倒防止をしている」は4割超

【問30】家具の転倒を防止するために何かしていますか。(Qは1つ)

家具の転倒防止をしているかを聞いたところ、「転倒防止をしている」が45.3%、「今後転倒防止をする予定」が18.8%、「転倒する家具がない、転倒しても危険ではない」(18.4%)、「転倒防止をしておらず、今後もしない」(15.8%)となっている。

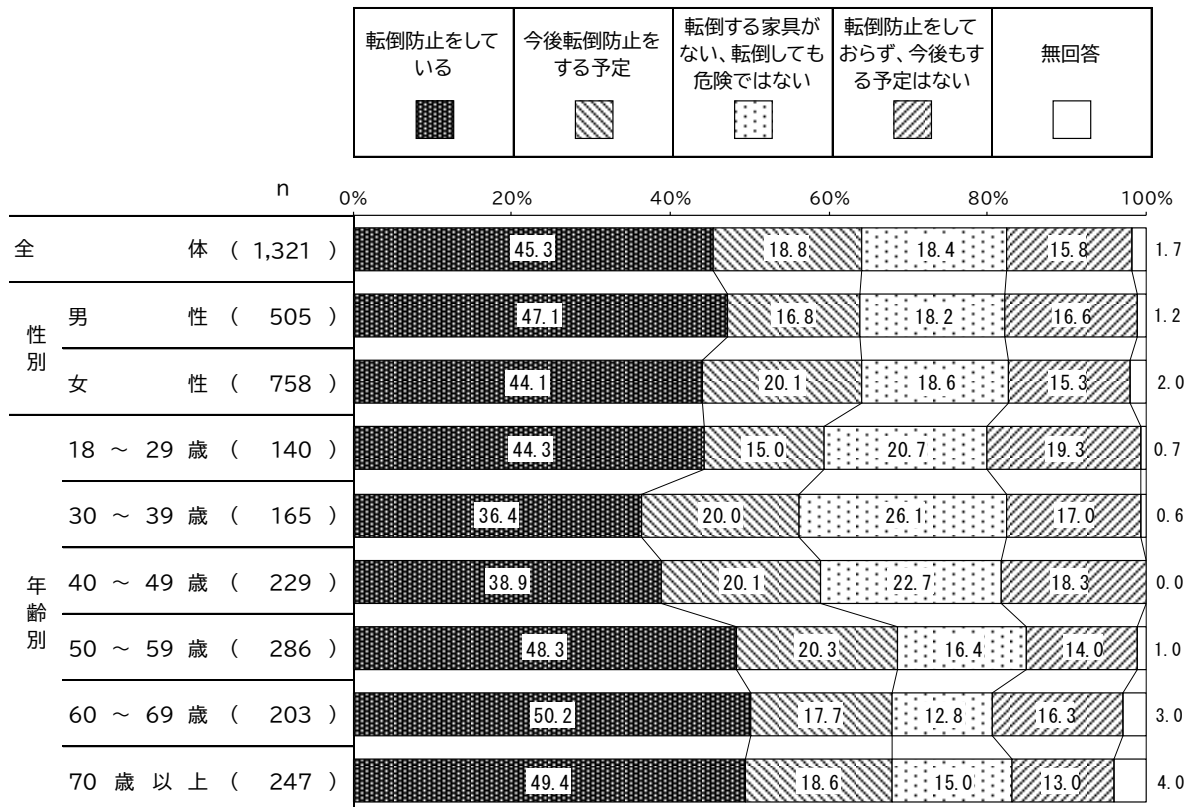


図Ⅲ－１１０ 家具の転倒防止

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「転倒防止をしている」の割合は、男性（47.1%）が女性（44.1%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「転倒防止をしている」では、最も割合が高い60～69歳が50.2%、次いで70歳以上（49.4%）、50～59歳（48.3%）と続いている。



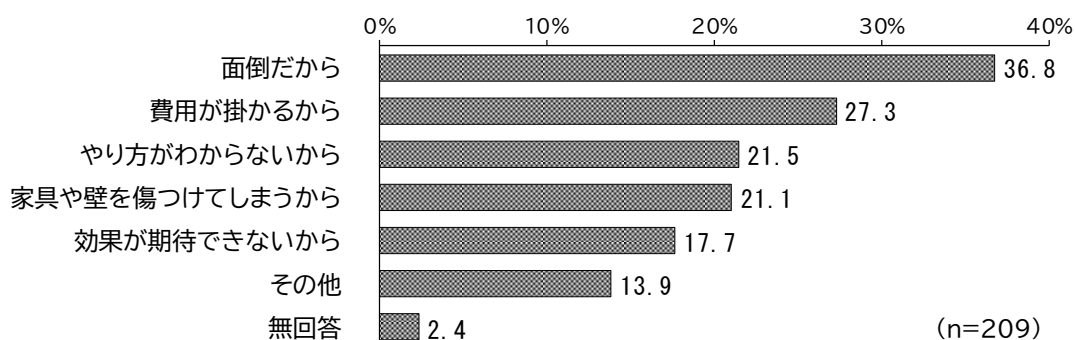
図Ⅲ－１１１ 家具の転倒防止（性別／年齢別）

(7-1) 家具の転倒防止をしていない理由

「面倒だから」が4割近く
(問30で「4. 転倒防止をしておらず、今後もする予定はない」とお答えの方)
【問31】家具の転倒防止をしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「家具の転倒防止をしておらず、今後もする予定はない」と答えた人(209人)の家具の転倒防止をしていない理由は、「面倒だから」が36.8%で最も高く、次いで「費用が掛かるから」(27.3%)、「やり方がわからないから」(21.5%)、「家具や壁を傷つけてしまうから」(21.1%)と続いている。

「その他」については、「転倒しても問題ない」、「倒れるような家具がない」(ともに5件)などが挙げられている。



図Ⅲ-112 家具の転倒防止をしていない理由

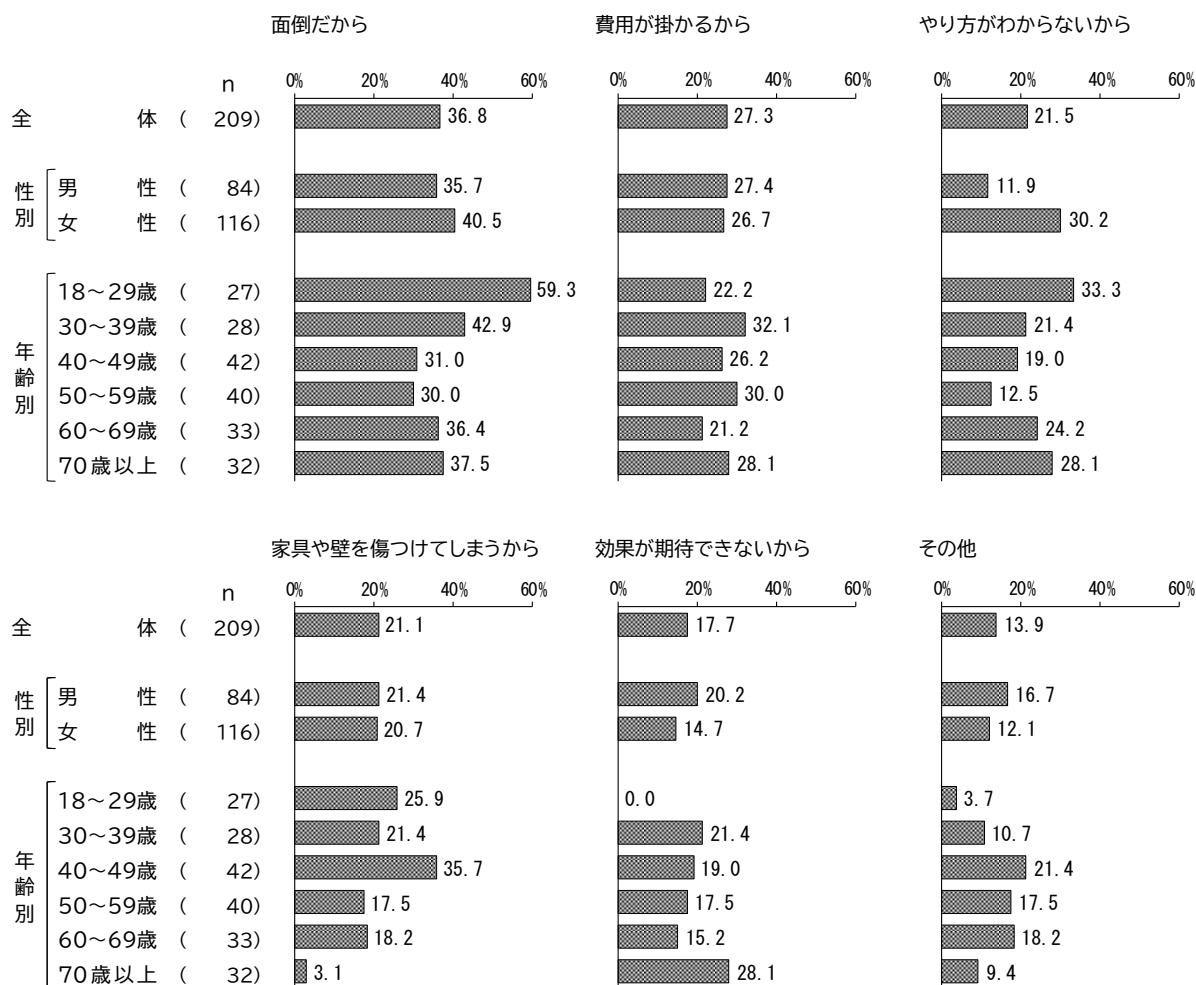
表Ⅲ-39 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
転倒しても問題ない	5
倒れるような家具がない	5
一人ではできない(重い、高い等)	3
免震構造のため	2
その他(1件のみの回答)	11
(記載なし)	3
合 計	29

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「やり方がわからないから」、「面倒だから」の割合は、女性（30.2%、40.5%）が男性（11.9%、35.7%）より18.3、4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「面倒だから」では、18～29歳（59.3%）が6割弱で最も高く、50～59歳（30.0%）で最も低くなっている。「家具や壁を傷つけてしまうから」では、割合が最も高い40～49歳（35.7%）と最も低い70歳以上（3.1%）で32.6ポイントの差がある。



図Ⅲ－１１３ 家具の転倒防止をしていない理由（性別／年齢別）

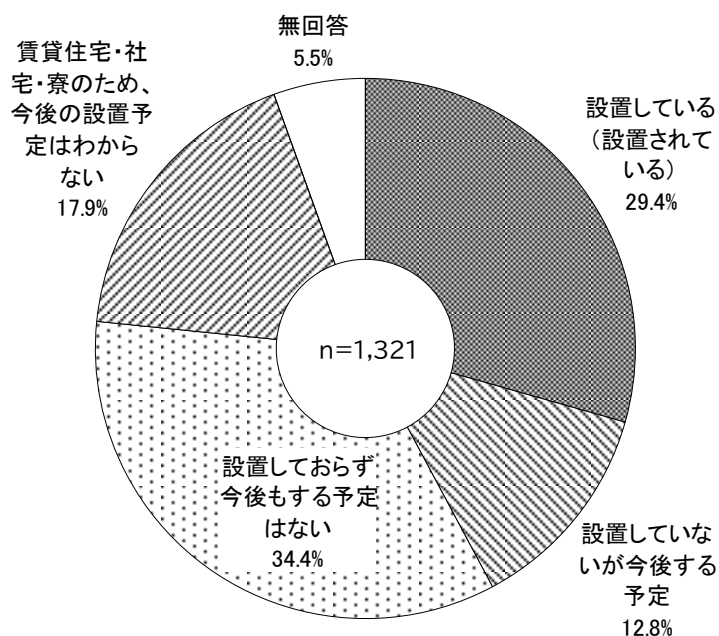
(8) 感震ブレーカーの設置

「設置している（設置されている）」は3割弱

【問32】地震が引き起こす電気火災を防止するために「感震ブレーカー（※）」を設置していますか。（○は1つ）

※感震ブレーカーとは…地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める装置

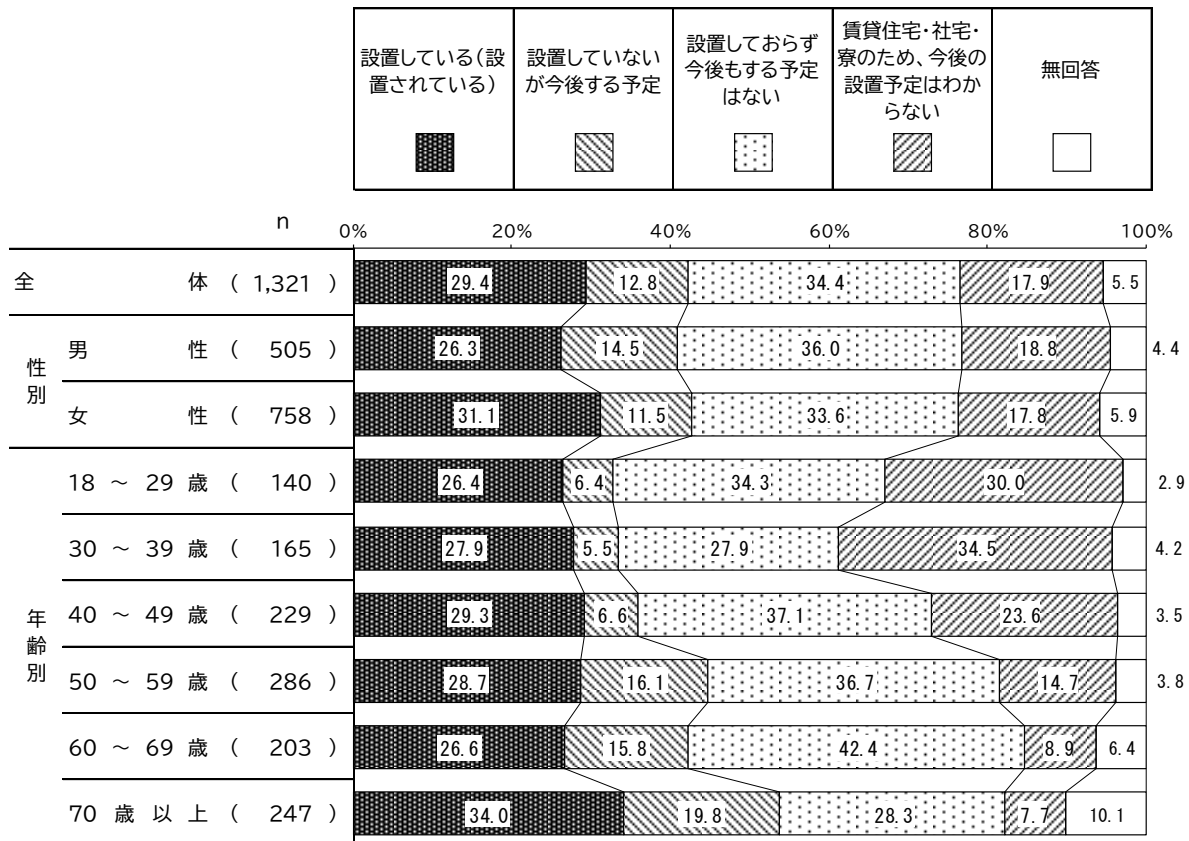
電気火災を防止するために「感震ブレーカー」を設置しているかを聞いたところ、「設置しておらず今後もする予定はない」が34.4%で最も高く、次いで「設置している（設置されている）」（29.4%）、「賃貸住宅・社宅・寮のため、今後の設置予定はわからない」（17.9%）、「設置していないが今後する予定」（12.8%）となっている。



【性別／年齢別】

性別で比較すると、「設置している（設置されている）」の割合では、女性（31.1%）が男性（26.3%）より 4.8 ポイント高く、「設置していないが今後する予定」では男性（14.5%）が女性（11.5%）より 3.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「設置している（設置されている）」では、70 歳以上が 34.0%で最も高くなっている。「設置しておらず今後する予定がない」では、60～69 歳が 42.4%で最も高く、次いで 40～49 歳（37.1%）、50～59 歳（36.7%）と続いている。



図Ⅲ－１１５ 感震ブレーカーの設置（性別／年齢別）

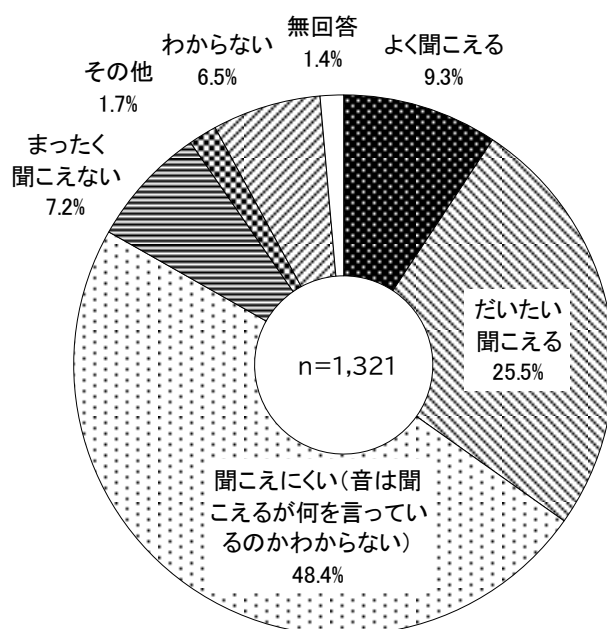
(9) 平常時の防災行政無線の聞こえ方

平常時の防災行政無線が『聞こえる人』は3割超

【問33】防災行政無線では、地震や津波など緊急情報の他に、「迷子・行方不明者情報」や「振り込め詐欺注意喚起」等を、音量を調整して放送しています。平常時の防災行政無線の聞こえ方について、お答えください。(〇は1つ)

平常時の防災行政無線の聞こえ方について聞いたところ、「よく聞こえる」(9.3%)と「だいたい聞こえる」(25.5%)を合わせた『聞こえる人』では34.8%となっている。一方、「聞こえにくい(音は聞こえるが何を言っているのかわからない)」(48.4%)と「まったく聞こえない」(7.2%)を合わせた『聞こえない人』の割合が55.6%となっている。

その他については、「窓が開いていると聞こえるが、開いていないと聞こえない」(5件)、「他市(習志野市、鎌ヶ谷市)の放送しか聞こえない」(4件)などが挙げられている。



図Ⅲ－１１６ 平常時の防災行政無線の聞こえ方

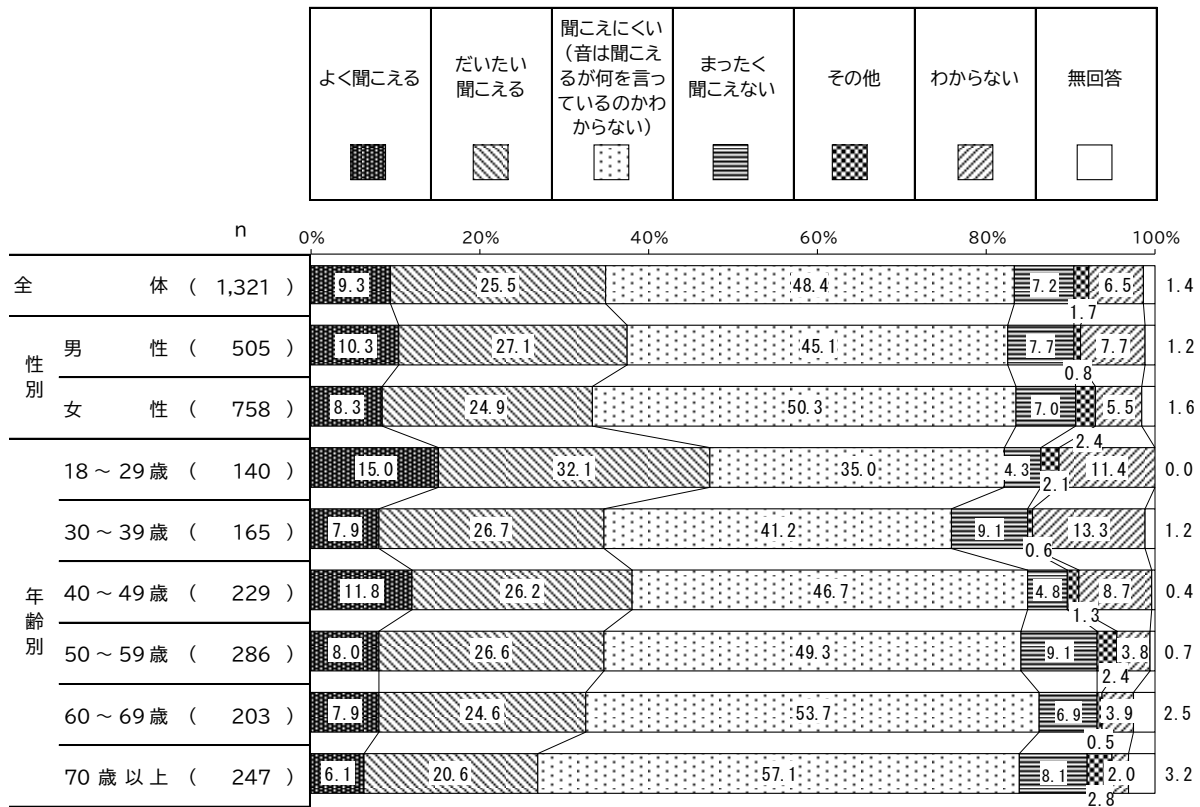
表Ⅲ－４０ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
窓が開いていると聞こえるが、開いていないと聞こえない	5
他市(習志野市、鎌ヶ谷市)の放送しか聞こえない	4
何を言っているかわからない	3
聞いたことがないのでわからない	3
他市の防災行政無線と混合していてわからない	2
その他(1件のみの回答)	5
(記載なし)	1
合 計	23

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「よく聞こえる」と「だいたい聞こえる」を合わせた『聞こえる人』の割合は、男性（37.4%）が女性（33.2%）より 4.2 ポイント高く、「聞こえにくい（音は聞こえるが何を言っているのかわからない）」と「まったく聞こえない」を合わせた『聞こえない人』の割合は、女性（57.3%）が男性（52.8%）より 4.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるに従い『聞こえない人』の割合が高くなっており、最も高い 70 歳以上（65.2%）と、最も低い 18～29 歳（39.3%）では 25.9 ポイントの差がある。



図Ⅲ－１１７ 平常時の防災行政無線の聞こえ方（性別／年齢別）

(10) 災害時の防災行政無線の聞こえ方

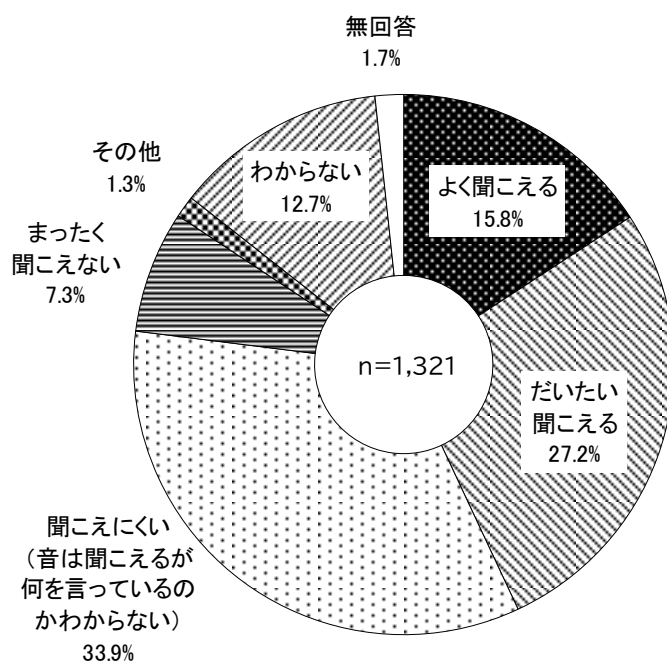
災害時の防災行政無線が『聞こえる人』は4割超

【問34】緊急地震速報や土砂災害警戒情報が発表された際には、Jアラート（全国瞬時警報システム）を通じて、防災行政無線を最大音量で放送しています。災害時の防災行政無線の聞こえ方について、お答えください。（○は1つ）

※最大音量・・・例年5月、8月、11月、2月頃の訓練放送の音量

災害時の防災行政無線の聞こえ方について聞いたところ、「よく聞こえる」（15.8%）と「だいたい聞こえる」（27.2%）を合わせた『聞こえる人』では43.0%となっている。一方、「聞こえにくい（音は聞こえるが何を言っているのかわからない）」（33.9%）と「まったく聞こえない」（7.3%）を合わせた『聞こえない人』の割合が41.2%となっている。

その他については、「聞いたことがない」（11件）などが挙げられている。



図Ⅲ－１１８ 災害時の防災行政無線の聞こえ方

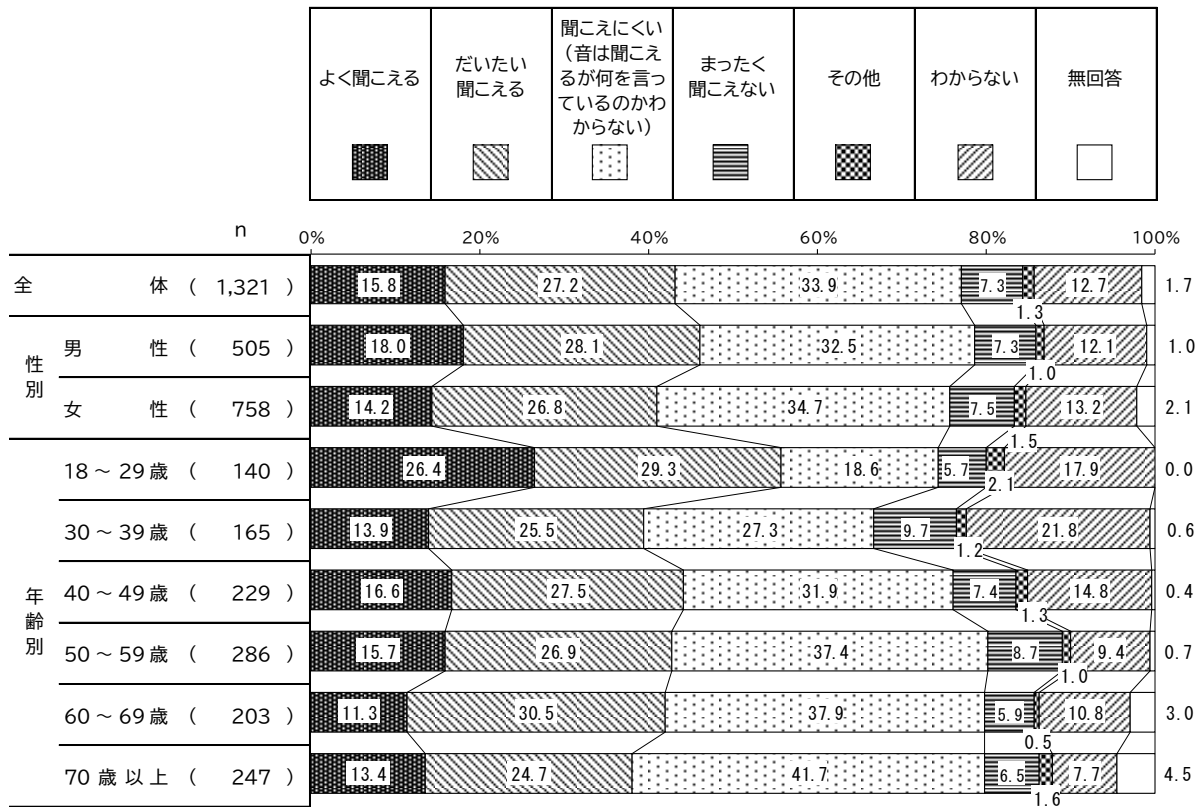
表Ⅲ－４１ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
聞いたことがない	11
その他（1件のみの回答）	4
（記載なし）	2
合 計	17

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「よく聞こえる」と「だいたい聞こえる」を合わせた『聞こえる人』の割合は、男性（46.1%）が女性（41.0%）より 5.1 ポイント高く、「聞こえにくい（音は聞こえるが何を言っているのかわからない）」と「まったく聞こえない」を合わせた『聞こえない人』の割合は、女性（42.2%）が男性（39.8%）より 2.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるに従い『聞こえない人』の割合が高い傾向があり、最も高い 70 歳以上（48.2%）と、最も低い 18～29 歳（24.3%）では 23.9 ポイントの差がある。



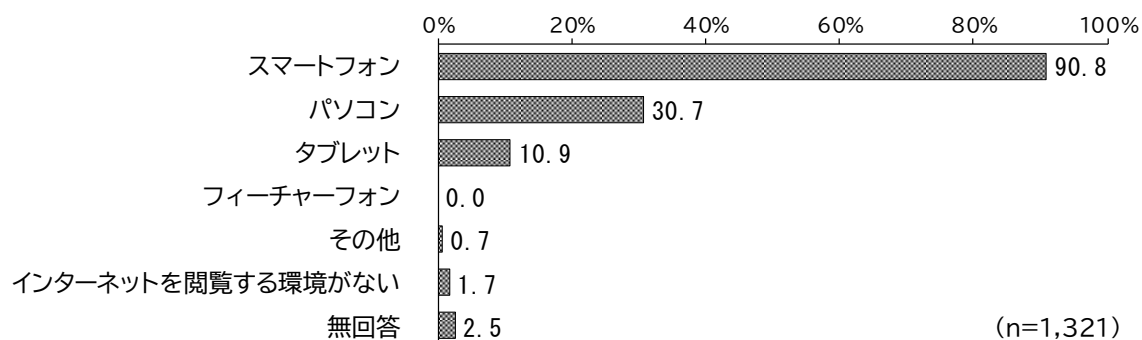
図Ⅲ－１１９ 災害時の防災行政無線の聞こえ方（性別／年齢別）

(11) 情報入手のために利用する媒体

利用媒体は「スマートフォン」が9割超

【問35】ホームページやメール、SNSなどを利用する際、どのような機器でご覧になっていますか。(〇はいくつでも)

情報を入手するために利用する媒体を聞いたところ、「スマートフォン」が90.8%と最も高く9割を超えている。次いで「パソコン」(30.7%)、タブレット(10.9%)と続いている。一方、「インターネットを閲覧できる環境がない」が1.7%となっている。



図Ⅲ－１２０ 情報入手のために利用する媒体

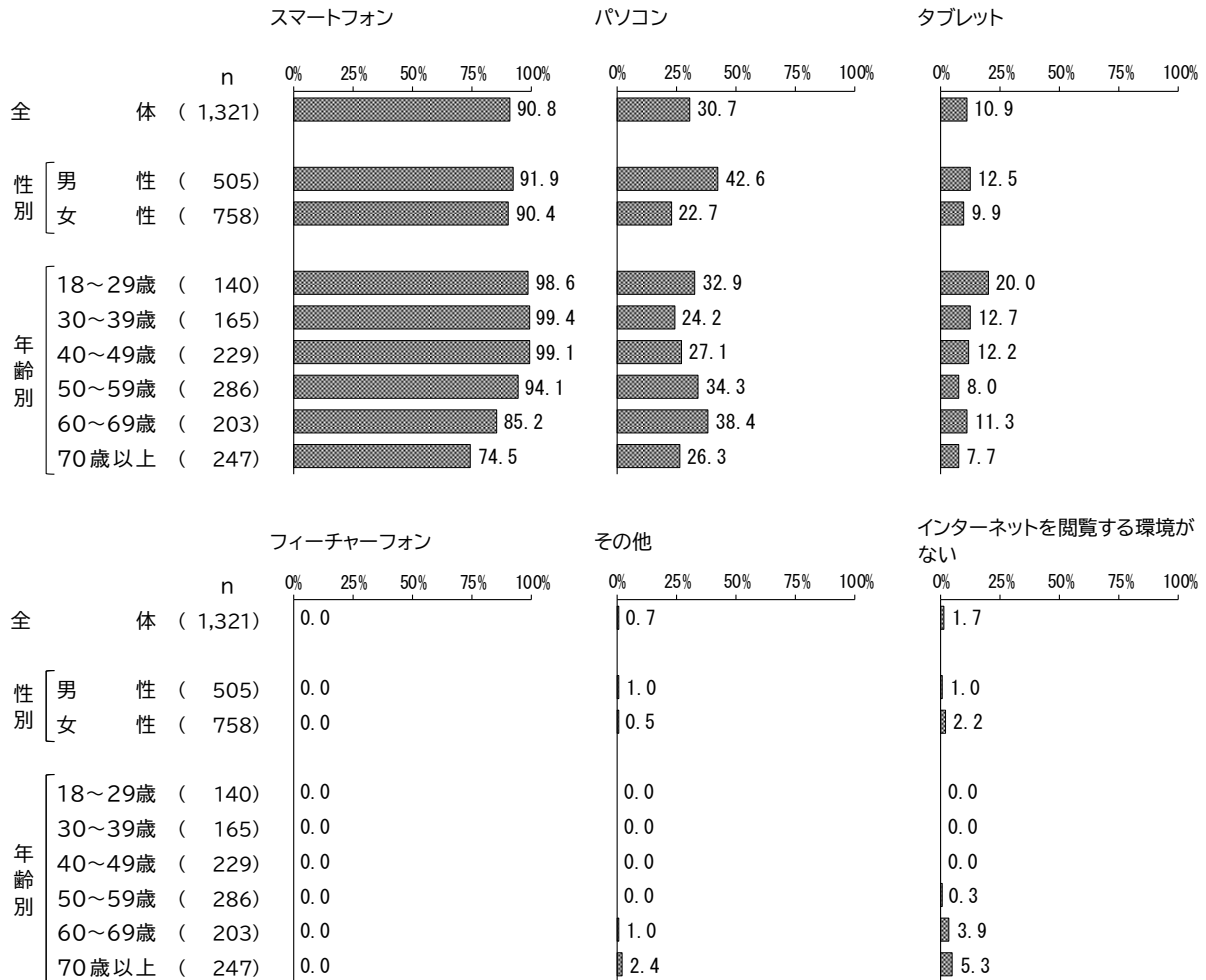
表Ⅲ－４２ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
機器を持っていない	4
持っているが使い方がわからない	2
その他（1件のみの回答）	3
合 計	9

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「スマートフォン」の割合では、男性（91.9%）と女性（90.4%）で9割を超えており、大きく変わらない。「パソコン」、「タブレット」の割合は、男性（42.6%、12.5%）が女性（22.7%、9.9%）より19.9、2.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるに従い「スマートフォン」の割合が低くなる傾向があり、最も低い70歳以上（74.5%）と、最も高い30～39歳（99.4%）では24.9ポイントの差がある。



図Ⅲ－１２１ 情報入手のために利用する媒体（性別／年齢別）

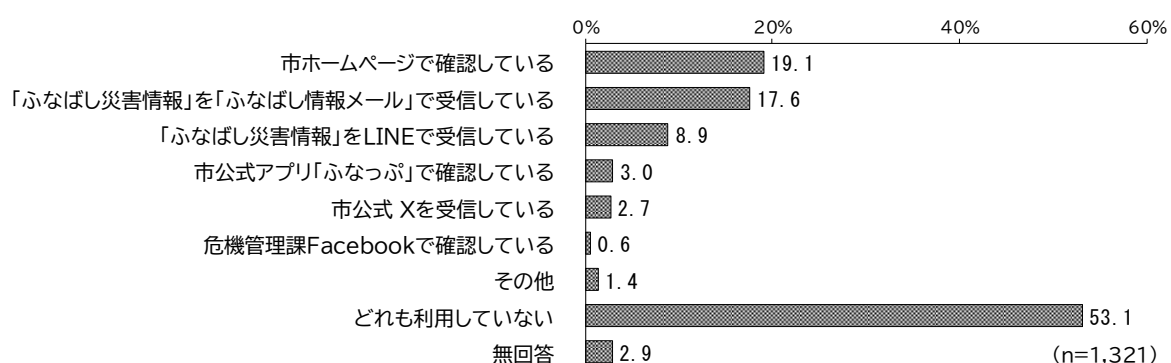
(12) 防災情報を入手するために利用しているホームページ、メール、SNS等

「市ホームページで確認している」が2割弱

【問36】市では、気象警報や避難所開設情報などを、ホームページやメール、SNSなどで配信しています。利用しているものをお答えください。(〇はいくつでも)

防災情報を入手するために、市のホームページ、メール、SNSなどを利用しているか聞いたところ、「市ホームページで確認している」(19.1%)、『ふなばし災害情報』を『ふなばし情報メール』で受信している」(17.6%)となっている。一方、「どれも利用していない」が53.1%と5割を超えている。

その他については、「Yahoo アプリ(天気、防災など)」(6件)、「気象・防災アプリ(その他)」(3件)などが挙がっている。



図Ⅲ－１２２ 防災情報を入手するために利用しているホームページ、メール、SNS等

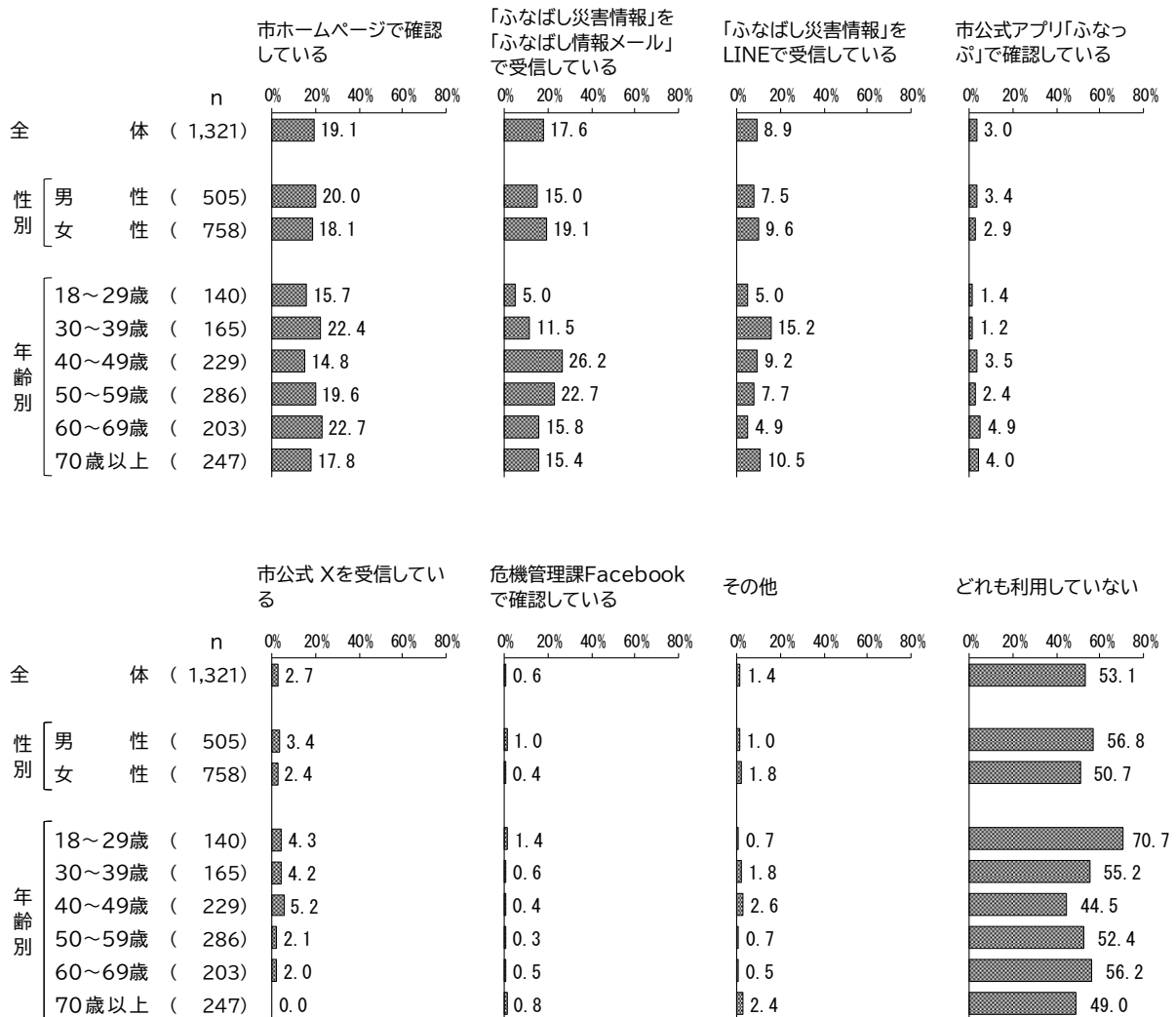
表Ⅲ－４３ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
Yahooアプリ(天気、防災など)	6
気象・防災アプリ(その他)	3
分からない	2
家族から聞いている	2
テレビ	2
その他(1件のみの回答)	5
合 計	20

【性別／年齢別】

性別で比較すると、『ふなばし災害情報』を『ふなばし情報メール』で受信している、『ふなばし災害情報』をLINEで受信しているでは、女性（19.1%、9.6%）が男性（15.0%、7.5%）より4.1、2.1ポイント高くなっている。「どれも利用していない」の割合では、男性（56.8%）が女性（50.7%）より6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「市ホームページで確認している」では60～69歳が22.7%と最も高く、次いで30～39歳（22.4%）、50～59歳（19.6%）と続いている。



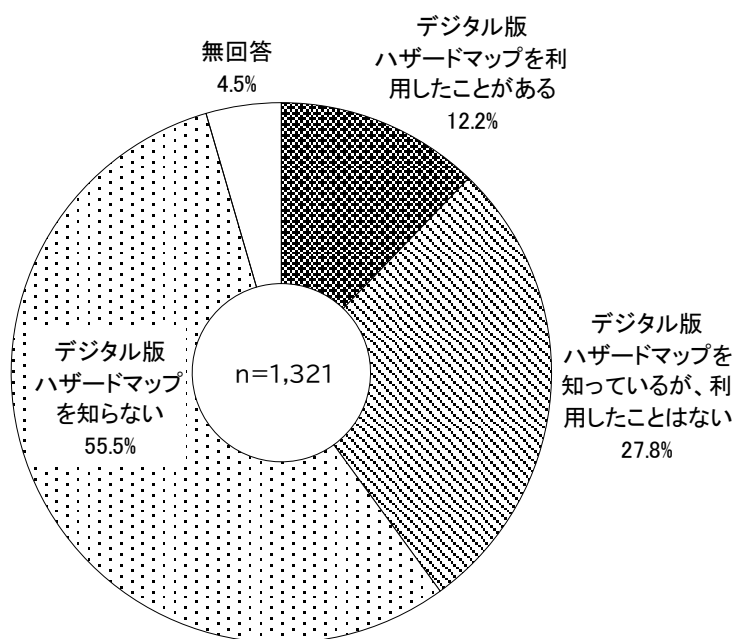
図Ⅲ－１２３ 防災情報を入手するために利用しているホームページ、メール、SNS等
（性別／年齢別）

(13) デジタル版ハザードマップの利用状況

『デジタル版ハザードマップを知っている人』は4割

【問37】現在、市ホームページでは、住所検索が可能なデジタル版ハザードマップを公開しております。利用状況について教えてください。(Qは1つ)

デジタル版ハザードマップの利用状況について聞いたところ、「デジタル版ハザードマップを利用したことがある」では12.2%となっており、「デジタル版ハザードマップを知っているが、利用したことはない」(27.8%)を合わせた『デジタル版ハザードマップを知っている人』では40.0%となっている。一方、「デジタル版ハザードマップを知らない」は55.5%となっている。

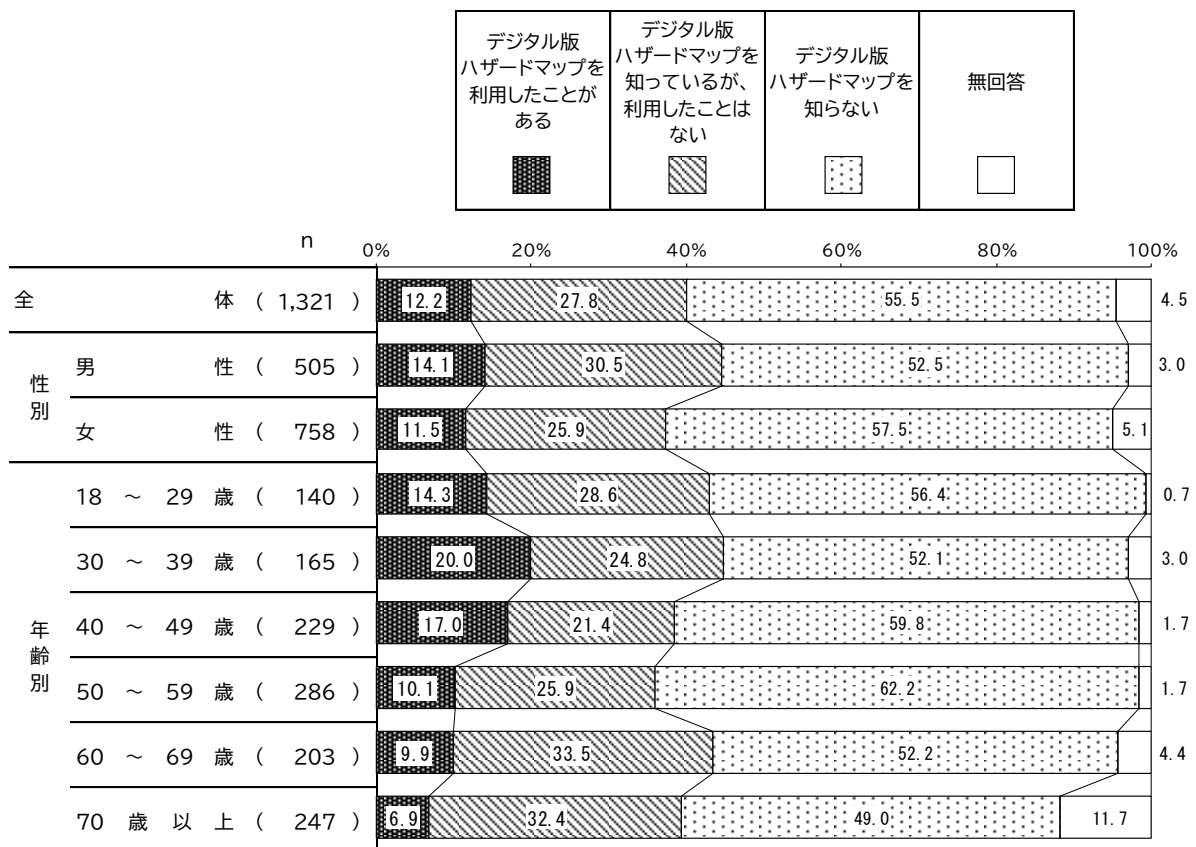


図Ⅲ－１２４ デジタル版ハザードマップの利用状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「デジタル版ハザードマップを知っているが、利用したことはない」、「デジタル版ハザードマップを利用したことがある」を合わせた『デジタル版ハザードマップを知っている人』の割合は、男性（44.6%）が女性（37.4%）より 7.2 ポイント高くなっている。一方で「デジタル版ハザードマップを知らない」の割合は、女性（57.5%）が男性（52.5%）より 5.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が下がるに従い「デジタル版ハザードマップを利用したことがある」の割合が高くなる傾向があり、最も高い 30～39 歳（20.0%）と、最も低い 70 歳以上（6.9%）では 13.1 ポイントの差がある。「デジタル版ハザードマップを知っているが、利用したことはない」では、60～69 歳が 33.5%で最も高く、次いで 70 歳以上（32.4%）、18～29 歳（28.6%）と続いている。

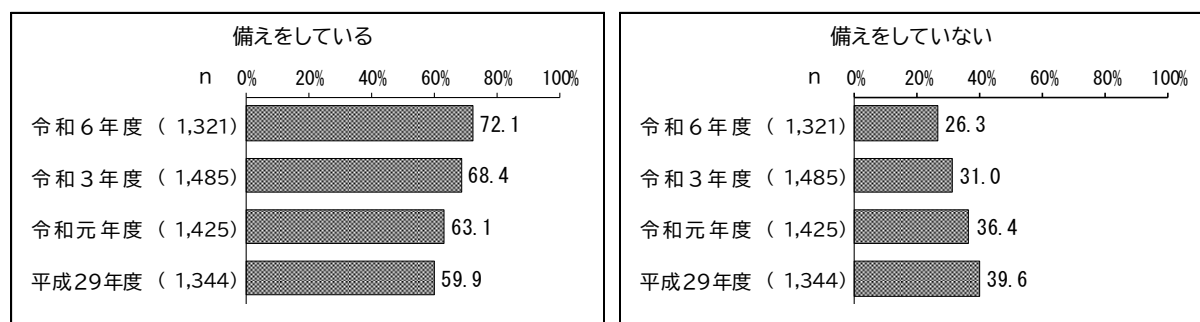


図Ⅲ－１２５ デジタル版ハザードマップの利用状況（性別／年齢別）

(14) 「災害への備え」概観

平成 29 年度以降で最も市民の防災意識が高まっている

日頃から災害への備えをしているか聞いたところ、「備えをしている」(72.1%)、「備えをしていない」(26.3%)となっている。平成 29 年度以降の調査では、「備えをしている」が平成 29 年は 59.9%、令和元年度は 63.1%、令和 3 年度は 68.4%となっており、年々その割合は増加している。特に能登半島地震(令和 6 年 1 月)以後の今回の調査では、初めて 70%を超え、市民の防災意識が高まっていることがわかる。



再掲 図Ⅲ－92 日頃の災害への備え(時系列比較)

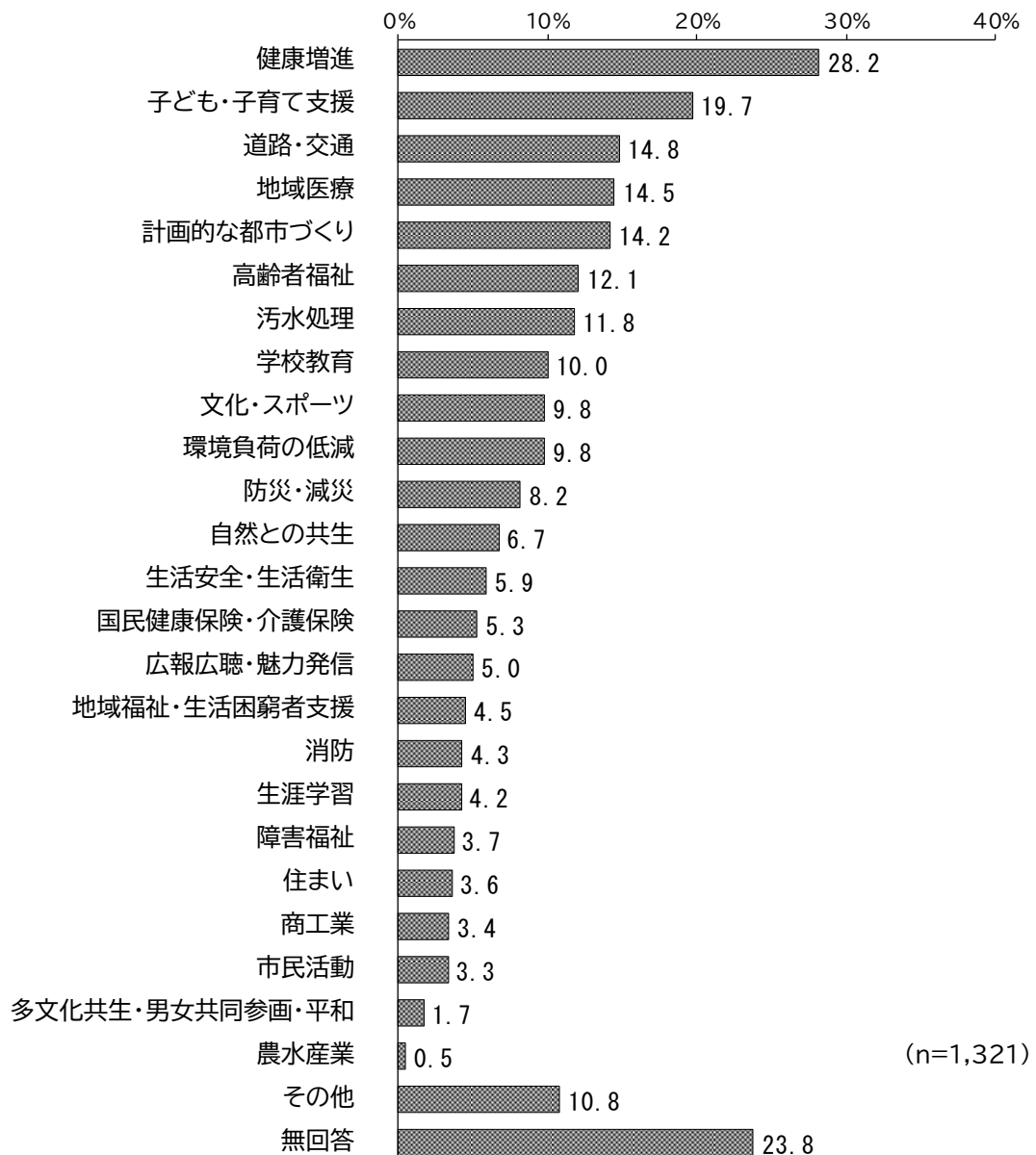
6. 「市の施策」について

(1) ここ数年でよくなった市の施策

ここ数年でよくなった市の施策は、「健康増進」が最も高く3割弱

【問38】次ページの「表 市の施策（25項目）」について、どのように感じていますか。①ここ数年でよくなったもの（5つまで選んで番号を記入してください）

25項目の市の施策（無回答を含めて26項目）について、「ここ数年でよくなったもの」は何か聞いたところ、「健康増進」が28.2%で最も高く、次いで「子ども・子育て支援」（19.7%）、「道路・交通」（14.8%）、「地域医療」（14.5%）、「計画的な都市づくり」（14.2%）、「高齢者福祉」（12.1%）、「污水处理」（11.8%）、「学校教育」（10.0%）、「文化・スポーツ」（9.8%）、「環境負荷の低減」（9.8%）の順で上位10項目が挙がっている。



図Ⅲ－１２６ ここ数年でよくなった市の施策

その他については、「高校生までの医療費助成」（３件）などが挙げられている。

表Ⅲ－４４ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
高校生までの医療費助成	3
公園の整備	2
環境問題への対応	2
下水道の整備	2
行政手続きのし易さ	2
JR船橋駅前の整備	2
全体的に改善されている	2
よくなったものはない・特にない・実感できない	64
わからない	44
その他（１件のみの回答）	21
合 計	144

【性別／年齢別／居住地区別】（上位 10 項目）

性別で比較すると、「子ども・子育て支援」では女性（23.7%）が男性（13.7%）より 10.0 ポイント高く、「文化・スポーツ」では男性（11.7%）が女性（9.2%）より 2.5 ポイント高くなっている。

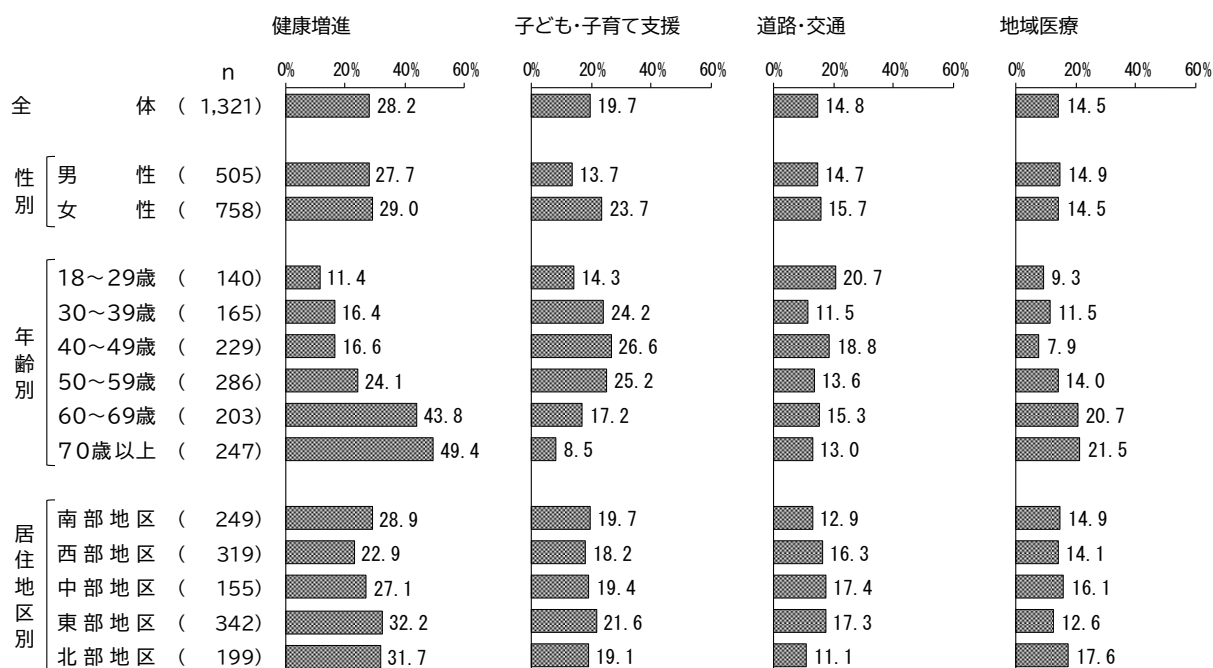
年齢別にみると、「健康増進」、「地域医療」、「污水处理」では、70 歳以上（49.4%、21.5%、22.3%）と 60～69 歳（43.8%、20.7%、17.2%）が他の年齢に比べ高くなっている。

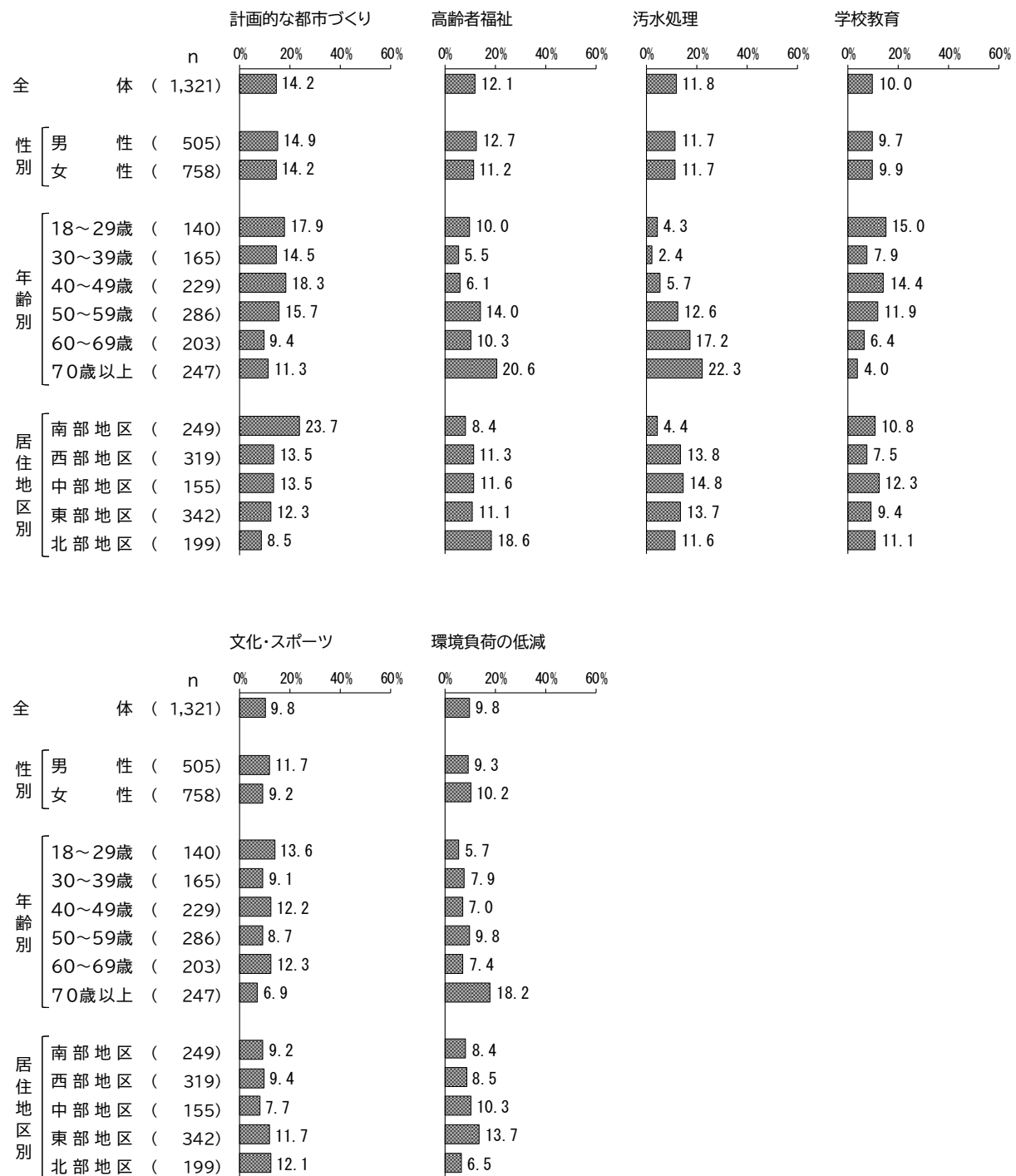
「子ども・子育て支援」では 40～49 歳（26.6%）、50～59 歳（25.2%）、30～39 歳（24.2%）が他の年齢に比べ高く、「学校教育」では 18～29 歳（15.0%）と 40～49 歳（14.4%）が他の年齢に比べ高くなっている。

「健康増進」では、年齢が上がるに従い割合が高くなっており、最も高い 70 歳以上（49.4%）と最も低い 18～29 歳（11.4%）に 38.0 ポイントの差がある。

居住地区別にみると、「計画的な都市づくり」では、最も高い南部地区（23.7%）と最も低い北部地区（8.5%）で 15.2 ポイントの差がある。

「高齢者福祉」では、最も高い北部地区（18.6%）と最も低い南部地区（8.4%）に 10.2 ポイントの差がある。





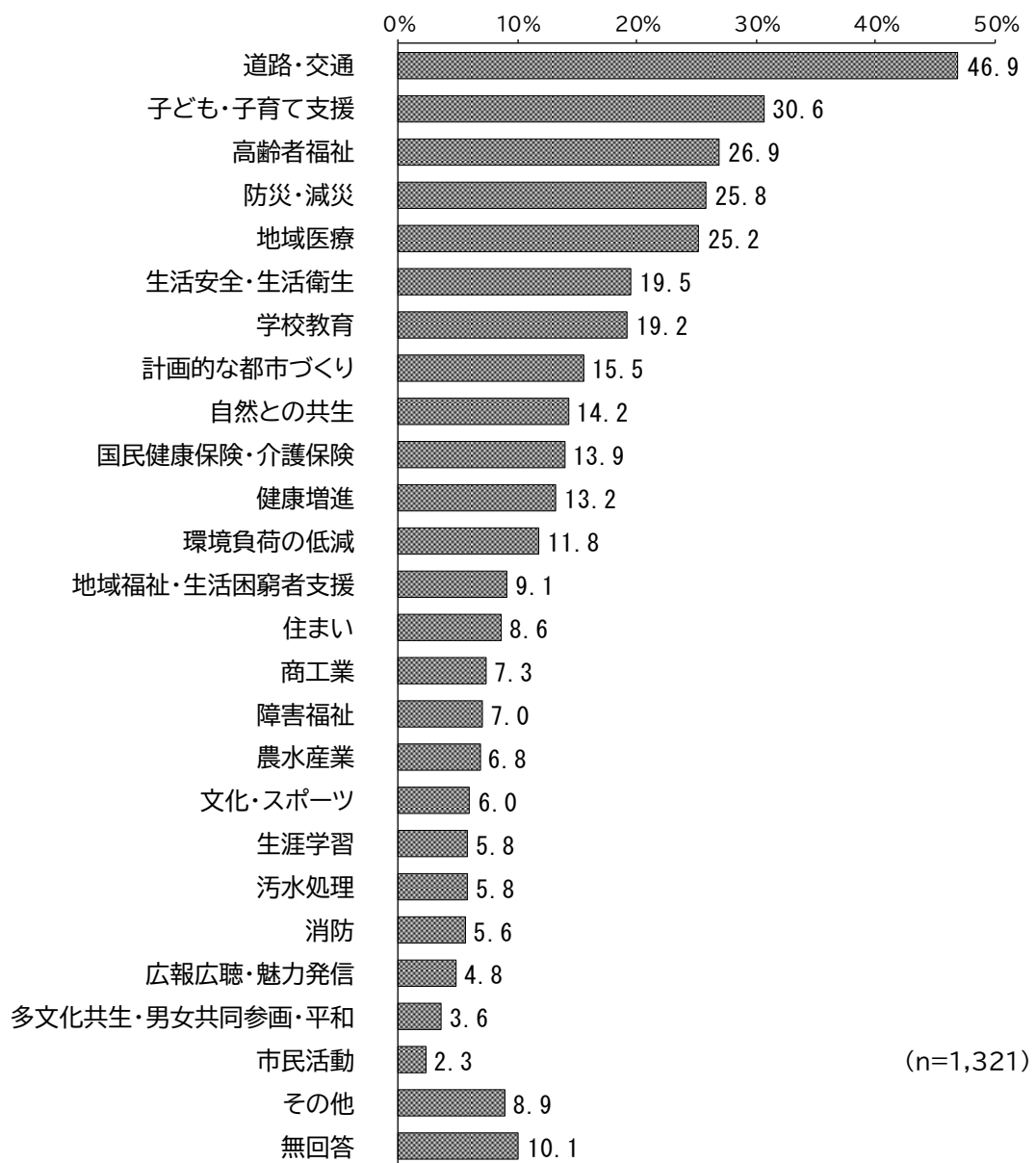
図Ⅲ－１２７ ここ数年でよくなった市の施策 上位１０項目（性別／年齢別／居住地区別）

(2) 力を入れるべき市の施策

力を入れるべき市の施策は、「道路・交通」が最も高く 5 割近く

【問38】次ページの「表 市の施策（25項目）」について、どのように感じていますか。②力を入れるべきもの（5つまで選んで番号を記入してください）

25 項目の市の施策（無回答を含めて 26 項目）について、「力を入れるべきもの」は何か聞いたところ、「道路・交通」が 46.9%で最も高く、次いで「子ども・子育て支援」（30.6%）、「高齢者福祉」（26.9%）、「防災・減災」（25.8%）、「地域医療」（25.2%）、「生活安全・生活衛生」（19.5%）、「学校教育」（19.2%）、「計画的な都市づくり」（15.5%）、「自然との共生」（14.2%）、「国民健康保険・介護保険」（13.9%）の順で上位 10 項目が挙がっている。



図Ⅲ－１２８ 力を入れるべき市の施策

その他については、「道路・渋滞に関すること」(30 件)、「バス・鉄道の改善に関すること」(8 件)、「ルール・マナー(自転車の運転・駐輪・路上喫煙・高齢者・外国人)に関すること」(8 件)、「都市計画・まちづくりに関すること」(8 件)などが挙げられている。

表Ⅲ－４５ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
道路・渋滞に関すること	30
バス・鉄道の改善に関すること	8
ルール・マナー(自転車の運転・駐輪・路上喫煙・高齢者・外国人)に関すること	8
都市計画・まちづくりに関すること	8
子育て支援・若者支援・女性への支援などに関すること	6
病院(医療・受け入れ体制)に関すること	5
文化・音楽・運動等のイベントに関すること	5
治安・防犯対策に関すること	5
地域猫・動物愛護に関すること	4
図書館の整備・充実に関すること	4
学校教育・施設・給食に関すること	4
高齢者・障害者・生活困窮者福祉の支援・手続きに関すること	4
災害対策・防災に関すること	2
特にない	2
わからない	8
その他(1件のみの回答)	23
(記載なし)	2
合 計	128

【性別／年齢別／居住地区別】（上位 10 項目）

性別で比較すると、「道路・交通」、「計画的な都市づくり」では、男性（48.5%、17.4%）が女性（45.8%、14.0%）よりそれぞれ 2.7、3.4 ポイント高くなっている。「学校教育」では、女性（20.6%）が男性（17.6%）より 3.0 ポイント高くなっている。

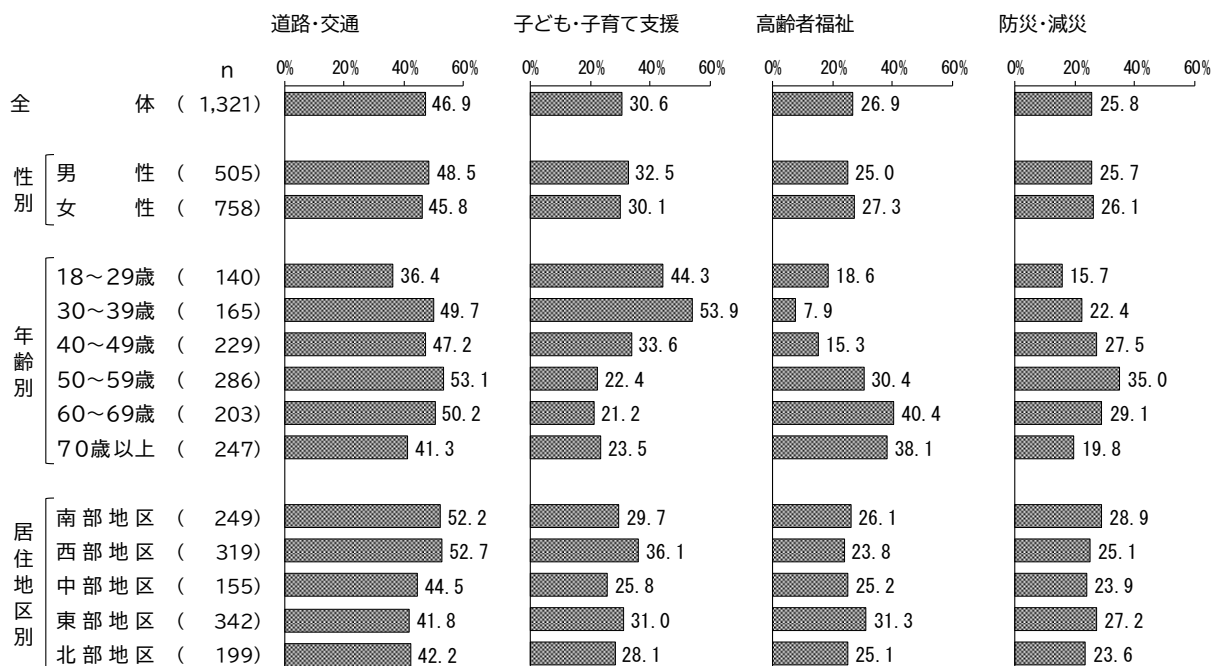
年齢別にみると、「子ども・子育て支援」では、30～39 歳（53.9%）で 5 割を超えて、18～29 歳（44.3%）で 4 割を超えており、他の年齢に比べて高くなっている。

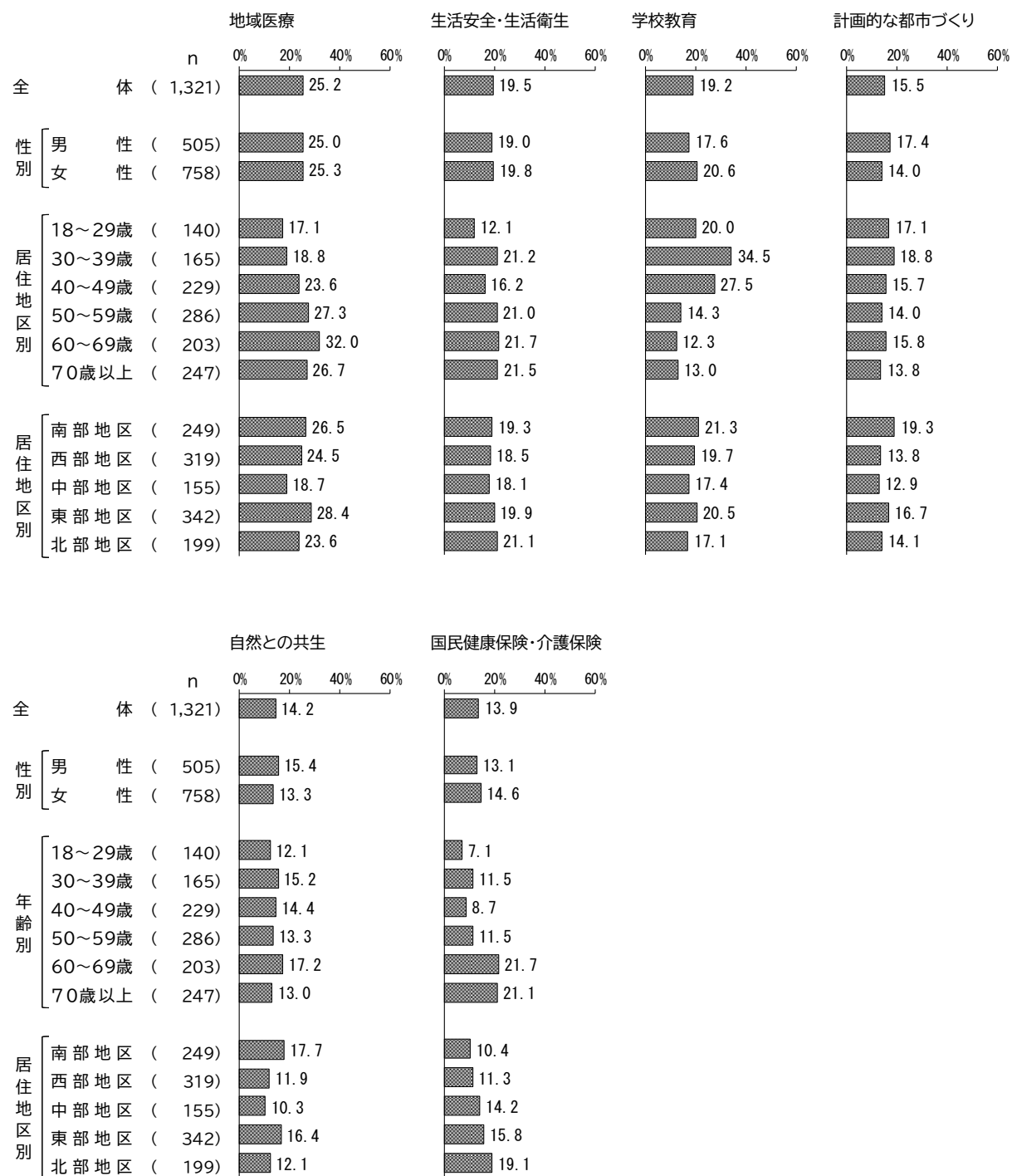
「高齢者福祉」、「国民健康保険・介護保険」では、60～69 歳（40.4%、21.7%）と 70 歳以上（38.1%、21.1%）の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

「学校教育」では、30～39 歳（34.5%）と 40～49 歳（27.5%）の割合が他の年齢に比べ高く、「防災・減災」では、50～59 歳（35.0%）の割合が高くなっている。

居住地区別にみると、「道路・交通」では、最も高い西部地区（52.7%）と最も低い東部地区（41.8%）には 10.9 ポイントの差があり、「地域医療」では、最も高い東部地区（28.4%）と最も低い中部地区（18.7%）で 9.7 ポイントの差がある。

「自然との共生」では、最も高い南部地区（17.7%）と最も低い中部地区（10.3%）には 7.4 ポイントの差があり、「防災・減災」では、最も高い南部地区（28.9%）と、最も低い北部地区（23.6%）には 5.3 ポイントの差がある。





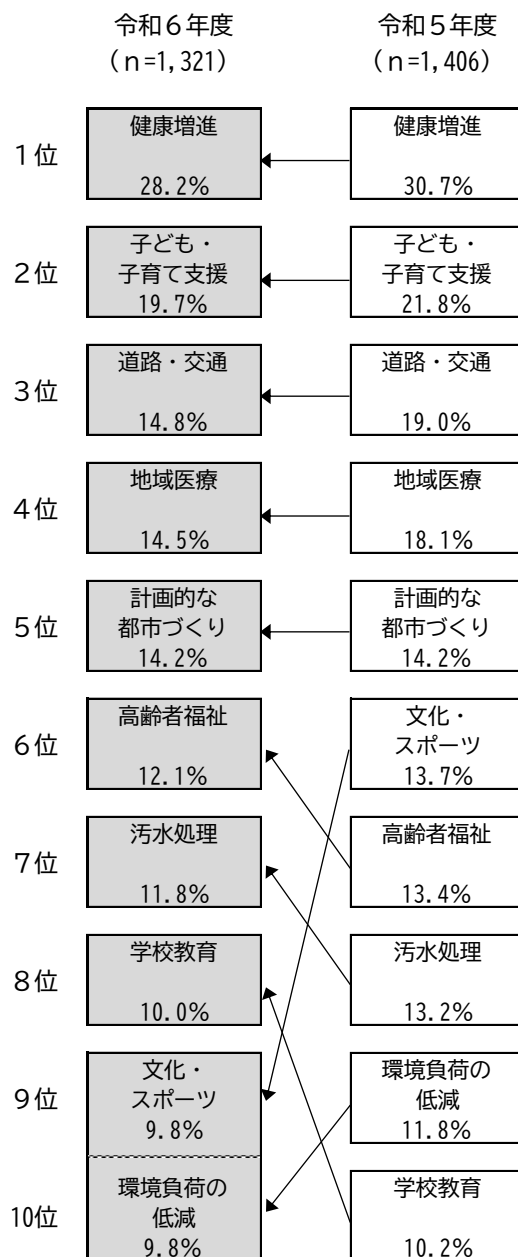
図Ⅲ－１２９ 力を入れるべき市の施策 上位１０項目（性別／年齢別／居住地区別）

(3) 「市の施策について」概観

ここ数年でよくなった市の施策は、前年度から変わらず「健康増進」、「子ども・子育て支援」、「道路・交通」が上位

市の施策において「ここ数年でよくなったもの」の上位10項目を時系列で比較すると、順位の入れ替わりはあるものの、項目は令和5年度と変わっていない。また、上位5位までは、順位の入れ替わりもなく、「健康増進」が1位、「子ども・子育て支援」が2位、「道路・交通」が3位、「地域医療」が4位、「計画的な都市づくり」が5位となっている。

「高齢者福祉」、「污水处理」、「学校教育」の順位が上がった一方で、「文化・スポーツ」と「環境負荷の低減」は順位が下がった。

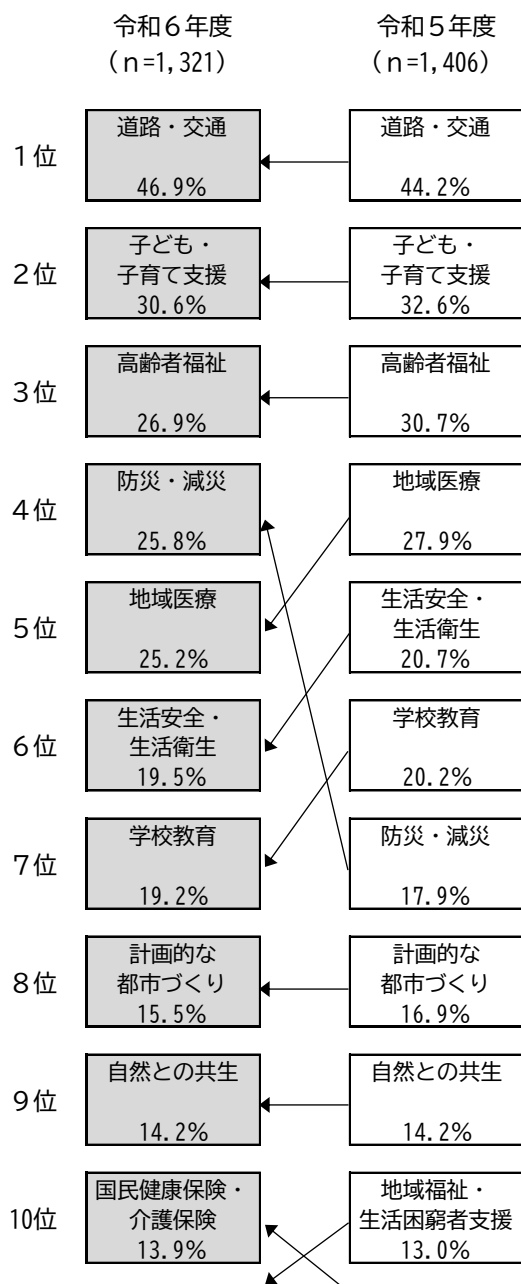


図Ⅲ－130 ここ数年でよくなった市の施策（時系列比較）（上位10項目）

力を入れるべき市の施策は、前年度から変わらず「道路・交通」、「子ども・子育て支援」、「高齢者福祉」が上位

市の施策において「力を入れるべきもの」の上位 10 項目を時系列で比較すると、上位 9 項目が令和 5 年度と変わっていない。また、上位 3 項目は順位の入替わりもなく、「道路・交通」が 1 位、「子ども・子育て支援」が 2 位、「高齢者福祉」が 3 位となっている。4 位の「防災・減災」は順位が 3 つ上がった。

令和 5 年度の 11 位以下から上位 10 項目に入ってきた施策としては、10 位の「国民健康保険・介護保険」があり、一方、令和 6 年度に 11 位以下に順位を下げた施策には「地域福祉・生活困窮者支援」がある。



図Ⅲ－１３１ 力を入れるべき市の施策（時系列比較）（上位 10 項目）

7. 自由意見

(1) 自由意見のまとめ

自由意見については、428 人から回答があり、回答内容を下表のとおり分類したところ、503 件の意見が寄せられた。

1 人の回答者が複数の意見を記入している場合は、それぞれの項目で 1 件、明確に良い意見と悪い意見が併記されている場合には、同じ項目で 2 件としている。

回答内容を分類し集計した結果は以下のとおりである。

表Ⅲ－４６ 自由意見のまとめ

項 目	件数	構成比 (%)
道路・渋滞・歩道	126	25.0
災害・防災	32	6.4
自然・環境	30	6.0
税金・財政・政策等	28	5.6
まちづくり・都市計画	25	5.0
公園	22	4.4
交通機関	20	4.0
保育・子育て	20	4.0
ごみ・リサイクル	15	3.0
教育・文化・スポーツ	14	2.8
商工業・農業・イベント	13	2.6
市役所・フェイス・議会	11	2.2
自動車・自転車	10	2.0
広報・HP・SNS	10	2.0
治安・防犯	9	1.8
高齢者支援	9	1.8
病院・医療	8	1.6
学区・学校	8	1.6
アンケート関連	8	1.6
動物・鳥・虫	8	1.6
雨水・上下水道	7	1.4
国際社会	6	1.2
介護・福祉	5	1.0
障害者支援	5	1.0
地域社会・自治会	5	1.0
空き家	5	1.0
たばこ	5	1.0
特になし	19	3.8
その他	20	4.0
合 計	503	100.0

(2) 自由意見の抜粋

自由意見の回答内容を分類した項目ごとに、主な意見を抜粋して示す。

【道路・渋滞・歩道】

- ・歩道の整備。狭くて段差が多く歩きにくく危険です。(男性・70歳以上)
- ・歩道の雑草が通行の妨げになっていたり、街路樹の葉が邪魔で信号が見にくく、危険な道があったりします。(男性・40～49歳)
- ・歩道が狭かったり、無い場所が多く感じます(塚田駅)。子どもも多くなっている地域なので、より安全に住みやすくしてほしいです。(女性・40～49歳)
- ・船橋市内の国道県道市道、皆道幅が狭すぎます。車道は渋滞(高速 IC 迄の道が大渋滞している。武石 IC、花輪 IC 付近)。解消するよう、歩道は段差を付けて安全対策をお願いします。(男性・30～39歳)
- ・法典地区に住んでいますが、木下街道の歩道が狭すぎます。安心して子どもを歩かせられません。市川市の方が市民の事を考えているなと思いました。(男性・40～49歳)
- ・ベビーカーでつまずく道路が多いです。道路工事の際はなるべく平らにしていただけると助かります。(女性・40～49歳)
- ・塚田駅周辺の道路の道幅が狭い。そのうえ道路側に自転車用のゾーンが書かれている。そこで走行することは自転車にとっても自動車にとっても危険。トラブルのもと。道幅を広げる努力をもっとしてほしい。(女性・40～49歳)
- ・船橋駅南口・北口周辺の交通渋滞解消。(男性・70歳以上)
- ・新船橋駅～塚田駅の線路沿いの道をもっと広くしてほしい。通学の子供と通勤の大人がすれ違うのが大変だし、自転車のレーンもなく道路も狭いため、自転車も歩道を通るので危ないし危険。(女性・30～39歳)
- ・塚田南小周辺の道路事情は何とかならないのか。車も踏切を渡りにくいし、登校(放課後ルーム含)の子どもが危ない。(女性・40～49歳)
- ・右折車線がない。交通量が多い道での車線減少などにより、船橋駅や南船橋駅付近の道路はいつも渋滞している。大きな施設ができたのだから道路も考えてほしい。(女性・50～59歳)
- ・道路の整備が良くなく、常に渋滞している。災害時などは全く車が動かないことが予想される。鉄道は発達しているのに残念。(女性・50～59歳)
- ・原木 IC 付近の交通量が多く、通勤、通学時間帯の渋滞が緩和されるとよりいいと思います。(女性・18～29歳)
- ・船橋駅北口から市の運動公園や市の霊園につながる道路の渋滞がひどい。(女性・70歳以上)
- ・住み心地はいいが、周辺道路の渋滞が年々悪化している印象がある。道路拡幅等は今すぐ行うことは困難であると思いますが、時差式や歩車分離等の信号機の改良等を行っていただきたいです。(男性・18～29歳)
- ・道路の線の引き直し、道路の溝に蓋を付けて、ごみや草が生えないようにしてほしい。小さな交差点にミラーをつけてほしい。出会いがしらの事故が起きている。(女性・50～59歳)
- ・木下街道や船取線の歩道が狭く危険なので改善してほしいです。(女性・50～59歳)
- ・道路が危険だととにかく感じます(私の近所では東海神駅付近)。スクールゾーンの7:00～8:30 通行禁止など、機能していないのはいかなるものなのでしょうか。(男性・40～49歳)

【災害・防災】

- ・防災行政無線が全く聞こえないのは大問題です。船橋の外れに位置しているからでしょうか。
(女性・60～69歳)
- ・災害の備えは個人によって限界がある。市としての備蓄だとしても県と協力体制をもって保管量を増やし、大規模災害時に支援してほしい。(男性・30～39歳)
- ・災害があった時に避難場所が少なすぎると感じています。もっと増やすことを願います。(女性・50～59歳)
- ・大雨が降るとすぐに海老川が洪水警報になるのが心配。(女性・50～59歳)
- ・防災公園が少ないように思える(用地問題は残ると思うが)(男性・60～69歳)
- ・ペットと一緒に被災した際の避難所が調べても良くわからなかった。事前に調べられる方法や対応を考えてほしい。(女性・40～49歳)
- ・防災セット、非常用持ち出し袋を配布してほしい。(女性・40～49歳)
- ・防災行政無線のスピーカーが遠く聞こえづらいので、設置場所を増やしてほしい。(女性・50～59歳)
- ・避難所のプライバシーや快適性の確保に力を入れてほしい。(男性・40～49歳)
- ・公園や緑が少なく、道路も狭いので、災害時に不安を感じる。最寄りの避難所はキャパが小さく、実際利用できないのではと思っている。(女性・50～59歳)
- ・船橋市はあまり大雨などの災害が少なく住みやすい。(女性・50～59歳)
- ・金杉台の高い所に住んでいますので、船橋港～海拔 2.8m 地震が心配です。(女性・70歳以上)
- ・災害に対して常に備えなければならないと思う。特に水や電気がとまったとき困るので備えたい。市でもお願いしたいです。(女性・60～69歳)

【自然・環境】

- ・住宅地の増加が急激に進み、緑地が減ってしまっている。その分どこかで増やすべき。宅地開発に緑地を30%程度義務づけるとか。(男性・70歳以上)
- ・街路樹等の道路の緑は費用対効果が低いため、力を入れるべきではない。ビッグモーターの街路樹伐採を見ても明らかなように、管理の適正化は困難である。効果の高い緑化施策に予算を回すべし。(男性・50～59歳)
- ・習志野市と比べると街路樹や低木や植え込みの手入れが疎かに感じます(雑草がボーボー)。(男性・40～49歳)
- ・河川敷の草刈りの回数が年2回(おそらく)から3回くらいに増やして下さると、道の状態が良くなると思います。(女性・30～39歳)
- ・海老川と海老川河口付近(栄町と湊町の間の河口)が臭く、沈んだ船も放置されており、外観的にも臭いも気になり、船橋市としてのイメージがすごくマイナスにつながっています。対処をお願いします。(女性・50～59歳)
- ・緑を増やすことは重要だが、適切な手入れがされず繁茂するだけの状態ではむしろ生活環境にも害がある。管理を個人ができるように補助や指導をすべきである。高齢化とともに住人の管理能力も低下しているので強制伐採も検討すべき。(男性・60～69歳)
- ・電線を地下にしたり景観や自然を大事にしてほしい。田舎っぽさがまだまだある。力を入れてほしい。(女性・30～39歳)
- ・家を出てすぐ自然と触れ合えるような町に住みたいです。(女性・18～29歳)

【税金・財政・政策等】

- ・施策の際の資金の見える化、災害で何か起こるかの見える化。(男性・18～29歳)
- ・建築物価が高騰している中で、建替事業を進めすぎです。税金を効率的に使ってほしい。(男性・30～39歳)
- ・市民税を、もう少し安くしてほしい。(女性・40～49歳)
- ・独身で子どもがいないと住んでいる地域行政と関わる機会が特にありません。将来単身高齢者世帯が増えると思うので、亡くなった後、行政が火葬や家の後始末をしてくれるシステムができたらいなと思います。(女性・50～59歳)
- ・児童手当等の所得制限が低すぎるように思う。パスポート取得などは簡単になってきてよかった。交通の便がいいところと悪いところの差が広がっているように思う。(男性・40～49歳)
- ・市民としても企業としても、魅力のある市となるよう官民交流をしながら施策を進めてほしい。(男性・30～39歳)
- ・船橋市に住んで4年になります。以前住んでいた港区、浦安市に比べると広い分、市の施策が見えにくい(伝わってきにくい)ような気がします。(女性・50～59歳)
- ・中山地区は市川との間にあり、両市の影響を受け生活しているので、パートナーシップ制度や交流に力を入れてほしい。(男性・60～69歳)
- ・PayPayキャンペーン、またお願いします！(女性・50～59歳)
- ・市営霊園に樹木葬のできる墓地があるといい。少子化、核家族などで先のことが心配なので。(女性・70歳以上)

【まちづくり・都市計画】

- ・流山市のような子育て世代を中心に注目を浴びている、子どもから高齢者まで活気あふれる町づくりをしてほしい。(買い物、病院、交通の便利さ)(男性・18～29歳)
- ・拠点となる駅周辺の緑を増やし、環境に配慮した都市としてのイメージアップを図ってほしいと思います。(男性・70歳以上)
- ・海老川上流開発は税金の無駄で不要だと思う。(男性・40～49歳)
- ・船橋駅周辺の公園と室内で幼児が安心して遊べる施設を増やしてほしい。(女性・18～29歳)
- ・船橋市民として他市他県の人に誇れる自慢できる市、まちづくりをしてほしい。全ては必要ない。「これだけは」誇れるという、医療支援でも緑でも運動環境でも絞って重点化してほしい。(男性・60～69歳)
- ・住み心地について(地域活性化)。駅を作してほしい。特にアンデルセン公園のエリア。船橋市のシンボルにしてほしい。(男性・40～49歳)
- ・都市開発と共に道路混雑問題も一緒に解決してほしい。(女性・30～39歳)
- ・文化の香りが全く感じられない。都市計画が短期的に感じる。(男性・70歳以上)
- ・私が今一番気になっているのは東葉高速の新駅の開業です。私の住む金杉はバスでないと船橋駅まで出られないため、駅ができることで新駅～三咲駅のバスができれば都内へのアクセスが便利になります。周辺の開発も含めて情報が知りたいです。(女性・60～69歳)
- ・電柱の地中化を進めてほしい。(女性・50～59歳)
- ・二和向台駅前の公園の計画を非常に楽しみにしている。計画推進の加速に期待している。(男性・30～39歳)

【公園】

- ・運動公園をもっと充実するか、大きな公園を作ってほしい。(女性・30～39歳)
- ・公園でキャッチボールくらいはやらせてほしい。(男性・70歳以上)
- ・四季を感じられる公園、学習できる図書館が整うとより住みやすい環境になると思います(個人的にですが)。(男性・30～39歳)
- ・犬の散歩で習志野台近隣公園を毎日利用しています。公園管理の方々はとてもよく手入れをしてくださっていて、本当に頭の下がる思いです。ありがとうございます。(女性・50～59歳)
- ・大きく魅力的な公園を増やしてほしいです。(女性・40～49歳)
- ・公園にバスケットコート、ゴールを増やしてほしいです。(女性・40～49歳)
- ・公園の中の雑草が生い茂ってきているので、草を刈ってほしい。(女性・60～69歳)
- ・市の管理している公園は、お金をかけて定期的に除草、剪定をお願いします。(男性・60～69歳)
- ・公園のトイレを綺麗にしてほしい。(女性・40～49歳)
- ・スケートボードの専用で出来る場所を作ってほしい。公園での夜中の花火を取り締まってほしい。(男性・50～59歳)
- ・公園を高齢者の過ごしやすいようにだけでなく、子どもたちのために球技ができる場所を増やしてください。(女性・30～39歳)
- ・普段より公園の整備等ありがとうございます。安心して利用させていただいております。(男性・18～29歳)

【交通機関】

- ・交通費が高い。(男性・70歳以上)
- ・東船橋は坂道が多くて老人には不便なことが多々あります。コミュニティバスなどがあるとよいと思います。(女性・60～69歳)
- ・JR 武蔵野線の混雑緩和や京成バスの増便など、住みやすいまちづくりをお願いします。(その他・50～59歳)
- ・ミニバスの運行(京成バスは本数が少なく不便)。(男性・60～69歳)
- ・JR 船橋駅のホームが狭く、人が多いので、ホームを拡幅してほしいです。(女性・30～39歳)
- ・南船橋駅ですが、ららアリーナでイベント時に人が多くて改札が不足していると感じます。(男性・30～39歳)
- ・鉄道以外の交通手段(バス等)が乏しいのでコミュニティバスやバス会社の支援を行ってほしい。(男性・18～29歳)
- ・馬込沢駅の新京成コミュニティバス(丸山循環)のバス停は、何年も屋根もなく雨の時など皆苦労して並んでいる。反対方面のバス停(鎌ヶ谷管轄でしょうか)は、設備が整っています。当該バス停についても検討していただければ幸いです。(女性・50～59歳)
- ・船橋駅の混雑がもう少し緩和されると良いと思います。住みごこちの良さに関係してくると思います。(女性・40～49歳)
- ・バスの本数減・廃止への対応、ミニバスを増やすなどしてほしい。松が丘にはないので、ミニバスが通る地域増を。(男性・60～69歳)
- ・東葉高速鉄道の運賃を下げしてほしい。(女性・18～29歳)
- ・高野台地区は市からの恩恵をあまり感じられない。バスは維持してほしい。(女性・50～59歳)

【保育・子育て】

- ・小中学校の給食費無料化、トイレの洋式化（すでにそうなっているのかもしれませんが）。（女性・60～69歳）
- ・ふなっこ教室のページが見にくいです。各学校ごとのページを作ってほしいです。特に「今日開いているのか？」が知りたいのに、なかなかカレンダーに行きつかず不便です。（女性・30～39歳）
- ・子どもの支援（助成金など）の充実。（女性・40～49歳）
- ・未満児の保育料無償化を国は先行して実現くださりありがとうございます。船橋市は子育てしやすい町だと感じます。地域の方々が子どもたちの登下校を見守る「わんわんパトロール」などの取り組みが推進されたらいいと思います。朝登校の見守りをしてくださるスクールガードさんには本当に感謝しています。下校時の地域見守りがあれば、子どもたちも安全だと思うので、ご検討ください。（女性・30～39歳）
- ・子どもの人数に関わらず給食の無償化、高校、大学費用の補助や援助をしてほしい。（女性・40～49歳）
- ・子育て支援を厚くしてほしい。（男性・40～49歳）
- ・船橋市は住みやすい町だと思い、子育てもこの場所ですていこうと思いました。妊娠、出産応援ギフト（5万円ずついただきました）は大変助かりました。お年寄りが多い世の中ですが、未来の子どもたちがよりよい環境で過ごせるよう、子育て世代、若い世代をぜひ今後も大切にしていってほしいです。子どもたちを温かく見守ってもらえる市であってほしいです。（女性・30～39歳）
- ・近隣の市に比べて子育て政策が少ないように感じます。力を入れて子育ての町と呼ばれるような船橋市になってほしいです。（女性・30～39歳）
- ・待機児童対策をもっとしてほしい。入りたい時期に全ての人が保育園を利用できるようにしてほしい。（女性・30～39歳）
- ・子どもの学び舎遊び場として、三番瀬環境学習館やアンデルセン公園の施設があり、充実していると実感する。引き続き子育てしやすい環境整備に力を入れてほしい。（男性・30～39歳）

【ごみ・リサイクル】

- ・ごみの夜収集は、昼にごみが放置されており不潔だと思う。朝収集がよい。（女性・50～59歳）
- ・リサイクルをもっと充実させてほしい。プラボトルやプラスチック製品のリサイクルに力を入れればごみ処理場を増やすこともないと思う。（女性・40～49歳）
- ・夜間はごみ出しが厳しく不便。ごみ出しのために仕事から帰ってくる。（男性・40～49歳）
- ・ごみの分別を細かくしてリサイクル率を増やしてほしい。（男性・40～49歳）
- ・道路上のごみが増えてきてます。「クリーン船橋 530（ごみゼロ）の日」に参加してますが、少し出るのが遅れると先の方が拾って参加した気持ちが薄れます。市内の自治会を2班に分け、年に4～6回実施してはいかがでしょう。（男性・70歳以上）
- ・ごみの分別が今までで一番楽。夜のごみ収集はとてもありがたい。（男性・50～59歳）
- ・ごみ袋が他市に比べて高すぎて、購買意欲がなくなる。ごみ袋代を下げた方が税収につながると思う。（女性・30～39歳）
- ・不燃ごみ、粗大ごみの持ち込みを日曜日でも受けただけだと助かる。（女性・60～69歳）
- ・ごみ回収を週3回に戻してほしい。（女性・30～39歳）

【教育・文化・スポーツ】

- ・最近、公民館で学習スペースが増えていて良いと思いました。(女性・18～29歳)
- ・住み心地は良いですが、音楽、美術などのホールがもっとあると良いと思います。(女性・70歳以上)
- ・津田沼駅周辺の図書館の充実を長年切望しています。津田沼駅周辺は船橋市民にとって通勤通学買物等で非常によく利用する場所でもあるにもかかわらず、習志野市との境界であるせいか、船橋市の公共施設が手薄であると感じます。交通の便がよい津田沼駅周辺に船橋市民の憩いの場となるような文化施設として図書館の充実をご検討くださいますよう切望しています。(女性・50～59歳)
- ・千葉ジェッツをもっと盛り上げてほしい。(女性・18～29歳)
- ・生涯学習については広報等でインタビューしたものを紹介し、多くの人の目に留まる形で広げてほしい。(男性・30～39歳)
- ・「生涯学習」について船橋日大前駅周辺は大人や学生がゆっくりと勉強できる場所がなく、TRC、八千代中央図書館のような場所があれば嬉しいです。坪井公民館の図書館が狭く、本の数を増やしてほしいです。(女性・50～59歳)
- ・市営のスポーツセンター、プールなど、日頃から使える場所を増やしてほしい。(男性・40～49歳)
- ・習志野との境の津田沼からどんどん文化賑わいが失われていて悲しいです。街として本屋、図書館、公園を増やしてほしいです。東部公民館建て替え中の図書利用スペース、本当に有難かったです！(女性・40～49歳)
- ・図書館をもっと良くしてください。市のメイン図書館（中央図書館）がビルの2フロアなんてお粗末すぎる。(女性・50～59歳)

【商工業・農業・イベント】

- ・船橋花火大会を復活させてほしい。(女性・18～29歳)
- ・東武百貨店、イトーヨーカドー船橋店が閉店とならぬよう、市としても頑張ってもらいたい。市内にデパートがあるのは魅力の一つである。(女性・50～59歳)
- ・前原東、特に田喜野井地区に近い所は坂が多く、買い物に不便、年金受給者は近くに買物する所がないです。(女性・70歳以上)
- ・イオン（新船橋）に映画館、ホールがほしい。(男性・60～69歳)
- ・若者にスマート農業を貸借地を含めて推進する。(男性・70歳以上)
- ・外国人も気軽に参加できるイベントを作ってもらいたい（外国人のみ、外国人メイン）。(女性・40～49歳)
- ・船橋市民祭りの本町神輿以外の創作神輿にも力を入れてほしい。(男性・18～29歳)
- ・昔はスポーツの振興が有名な船橋だったのに、施設が少ない、専門のスポーツ用品店もなく、市外に行かないとスポーツシューズも買えないのが大変。(女性・40～49歳)
- ・駅前に映画館を作ってください。娯楽場所が駅周辺にないです（飲み屋、パチンコ店など不健全なものばかりで夜は雰囲気が悪い）。(女性・18～29歳)
- ・船橋駅前に夜も営業しているアイスクリーム屋さんがほしい。(その他・30～39歳)
- ・船橋市高根町に住んでいますが、近くにスーパーがありません。スーパーを増やしてほしい。(男性・50～59歳)

【市役所・フェイス・議会】

- ・市役所の方々が皆さん丁寧に日々対応してくださり、感謝しています。安心して暮らせています。(女性・18～29 歳)
- ・給付金などの進み具合(対応)が他の自治体より遅く、なかなかできていないように思う。もっとスムーズにできるのでは？(男性・70 歳以上)
- ・いつも頑張ってもらってありがたいです。障害福祉課の皆さんにはいつもお世話になってます。ありがとうございます。(女性・40～49 歳)
- ・近々に、いくつかの課題について HP 等で質問等を差し上げましたが、職員の方からの丁寧な対応が誠に気持ちよかったです。感謝します。(男性・70 歳以上)
- ・市のサービスの土日の充実(一般サラリーマンは土日じゃないと手続きができない)。(男性・60～69 歳)
- ・各課に申請に行ったとき同じ用紙を何度も書き提出したが、一度で済ませてほしいです。総合のネットでみる事は出来ないのか？(女性・60～69 歳)

【自動車・自転車】

- ・自転車の運転がとても乱暴で、とても困っております。もっと規制をしていただきたいです。(男性・40～49 歳)
- ・自転車の交通マナー教育(特に高齢者)について検討する必要がある。(男性・60～69 歳)
- ・道路の自転車通行帯が自動車と接触しそうでとても危険だと思う。(男性・50～59 歳)
- ・通勤時間帯の自転車利用者のマナーの悪さが目立ちます。いつ事故が起きてもおかしくないもので、見回りなどがあると安心できます。(女性・30～39 歳)
- ・電動自転車に乗っている人たちの歩道での危険な乗り方がやや気になる。子どもを乗せているのに逆走など、歩いている人の横を通る時は車道に出てほしい。電動自転車の取り締まりをしてほしい。(女性・40～49 歳)
- ・自転車の逆走、2 人乗り(特に外国人)、スマホを見ながらの走行、どうにかしてほしい。(女性・60～69 歳)
- ・駐輪禁止場所に止めている自転車への対応。朝に違反ステッカーを指導員の方が自転車に貼ってくれていますが、効果が出ていません。そろそろ撤去を視野に入れてみてはいかがでしょうか。(女性・40～49 歳)
- ・自転車のマナーが非常に悪い。市は学校や企業に対し指導と危険運転への厳罰化をするよう法整備を進めるべき。(男性・18～29 歳)

【広報・HP・SNS】

- ・色々なされているのかと思いますが、正直あまり知りません。プロモーション活動につき、もう少し力を入れていただければと思います。(男性・40～49 歳)
- ・広報は活字が多く、探しづらい(特に HP)。よく高齢の母から質問され、代わりに調べるが、頼れる人がいない人は情弱になりやすいと思う。(女性・30～39 歳)
- ・新聞を定期購読していません。市議会便りは郵便受けに届きます。紙版の広報ふなばしも届くようにしてもらいたい。JR 船橋駅に置いてあるものはすぐなくなる。(男性・70 歳以上)
- ・広報活動・防災活動について「広報ふなばし」等を充実させてお知らせ願います。(男性・70 歳以上)

- ・船橋市は豊かさ、住みやすさ、満足度ともにとても高いレベルだと思いますし、今回初めて市のホームページから「施策」「計画」を全て拝見しましたが、素晴らしいと思いました。しかしそれを「認知」「実感」していない人がほとんどだと思います。ホームページの見づらさを含めて広報の仕方を改善し、船橋市を盛り上げてほしいです。(男性・18～29歳)
- ・北海道旭川から移り住んで8年くらい経ちました。以前は毎日のように市の広報が入って、無料のスポーツや音楽鑑賞等で楽しみましたが、船橋にはそういうものがあるのかわかりません。ホームページ見てみます。今はもう冊子配布ではなくネット中心なんですかね。(女性・50～59歳)
- ・町内の人々のコラムがあれば、情報交換がわかりやすいので、各関係者のコラムが読みたい。(女性・40～49歳)
- ・私は広報紙を頻繁に利用していないが、オンライン情報にアクセス困難な方も沢山いらっしゃるの、このようなデータを廃止・縮減への枚挙にしないで。(男性・40～49歳)
- ・学生への広報活動を増やしてほしい。船橋市は都心へのアクセスがよく、他方面の進学に向いている。住みやすい街で育ち、嬉しい。(女性・18～29歳)

【治安・防犯】

- ・外人増加による生活環境の悪化防止。(男性・60～69歳)
- ・夜中の2輪、4輪車が騒がしいので治安の良くなる取り組みをしてほしい。(男性・18～29歳)
- ・ここ3～4年、夏の夜になると中国人の方が蟬の幼虫を捕まえるために木をたたいたり、枝をゆすったりしていて気分が悪いです。懐中電灯で急に顔を照らされたりして嫌な思いを何度もしています。何とかしてほしいです。(女性・50～59歳)
- ・初めて来た時に市外中心地に風俗店があり、あまり品性がよくない印象を持ちました。子育てをする上でも不安を感じます。(女性・40～49歳)
- ・防犯カメラ設置拡大。(男性・60～69歳)
- ・高齢者等への防犯安全意識を高めるような啓蒙(チラシ等で)をお願いします。(女性・50～59歳)

【高齢者支援】

- ・高齢者のための無料または低運賃のバスを巡回してほしい。薬田台、飯山満の住宅地等。(女性・50～59歳)
- ・高齢者に健康維持のための講習や運動を！(男性・70歳以上)
- ・以前東京都に住んでいました。東京に比べ高齢者へのいろいろな補助が少なく感じます。(女性・70歳以上)
- ・web導入はいいが、スマホを持っていない人や、やり方がわからない人にも気を配ってほしい。高齢者が外出しやすい環境を整備してほしい。東京都港区のような「ちいばす」等、低価格で乗れるバスがあったらと思う。(女性・70歳以上)
- ・都内のように車を運転できない高齢者のために電車・バスを無料で利用できるようにしていただきたいです。(男性・50～59歳)
- ・老人にやさしい町にしてください。老人にもわかりやすい説明とかにしてください。(ホームページの見方)(女性・60～69歳)
- ・高齢者に対する生活の支援、充実したサービス等。シニアの仕事の充実・自立等。(女性・50～59歳)

【病院・医療】

- ・船橋医療センターの再検討⇒大学病院の誘致・場所等。(男性・60～69歳)
- ・過剰医療を今後はしない。(男性・70歳以上)
- ・居住地域が丸山であり、飛地のため公共整備が他地域より遅れている。住んでいる人の高齢化もあり、バスの増便、医療施設の充実を望む。(女性・60～69歳)
- ・あまりいい病院がない。他市町村に比べ、予防接種等補助が遅れている。(男性・50～59歳)
- ・メディカルタウンの早期完成をお願いします。(男性・50～59歳)

【学区・学校】

- ・小学校・中学校を取り巻く問題改善を進めてほしい。特に不登校支援はまったく希望が持てず、絶望・諦観した。家庭对学校の枠組みだけでなく、学校から離れた場所がほしい。そもそも学校に足を踏み入れられない子どもには所詮いけない場所であることに変わりはない。情報の一元化。学校の先生はそもそも忙しく、スクールカウンセラーは頼りにならない。誰に頼ればいいのかわからない。(女性・50～59歳)
- ・小中学校の校舎が古いので、小中学校が一体となった通年校舎を新たに作ってほしいです。(男性・30～39歳)
- ・小学校の先生の激務、教員の人数の少なさによる学校で起こる問題などが今身近に感じられる問題点です。ぜひ早急な対応をお願いしたいです。(女性・30～39歳)
- ・生涯学習より、義務教育の教師を教育してください。子どもたちが中学生の時に同じ教師から部活動でひどいいじめを受けました。親としては、子どもを預けているので何も言えませんでした。今度同じ思いをする父母がいなくなることを切に願います。(女性・50～59歳)
- ・老朽化した県立高校の設備の早急な改修について、県へ働きかけを推進してほしい。(男性・50～59歳)
- ・小学校の側に住んでいますが、電気の消し忘れがとにかく多いです(教室の)。土、日ずっとついていることも結構あります。市立の小学校の電気代は税金ですよね？自覚を持っていただきたいです。(女性・50～59歳)

【アンケート関連】

- ・そもそもこの調査を電子化すべき。紙で提出するのは面倒です。(女性・30～39歳)
- ・気が向いたから返答したが、時間のかかることを20代がやるとは思えない。紙と労力の無駄になりやすいため、Google フォームにした方がいい。(男性・18～29歳)
- ・質問が多い。(男性・70歳以上)
- ・興味深い情報があり、たくさんの活動をされていることを知りました。今後自ら情報を取り、活かしたいと思いました。ありがとうございました。(女性・40～49歳)
- ・こちらのアンケートを収集される方々のご負担なきように。(男性・40～49歳)
- ・このアンケートをきっかけに「災害の備え」等を見直したいと思います。(女性・70歳以上)
- ・記入に1時間以上費やし、負担が大きかった。筆記用具を指定するなら回答のお礼もかねてボールペンを添付してほしい。(男性・70歳以上)
- ・オンライン調査の方がコスト低くないですか？(すでにやっていたらすみません)(女性・30～39歳)

【動物・鳥・虫】

- ・道路が犬のフンやその跡で汚れていて汚くて気分が悪い。飼い主さんと市にはきれいな道路であるための方策を考えて。(女性・70歳以上)
- ・法典地区に住んでいますが、カラスの被害が多いので何とかしてほしい。(男性・40～49歳)
- ・ムクドリやカラスが多くて困る時は住み心地が悪いと思います。(女性・50～59歳)
- ・公園は緑が多くいい点もあるが、スズメバチの駆除をきちんとしてほしい。(女性・30～39歳)
- ・ムクドリの騒音、フンの被害が自宅近くでも発生したり、道路から臭いがすることがあるので対処してほしい(下水のにおい?)。(女性・18～29歳)
- ・緑の近くには大量の虫。この対策をしてほしい。(女性・30～39歳)
- ・犬の排泄物を散歩中に放置する人が多く、たまに不快な気持ちになります。飼い主が定期的に見回る等、何か対策をしていただけると嬉しいです。(女性・18～29歳)

【雨水・上下水道】

- ・浸水被害が心配です。家の前の側溝は泥が堆積し、大雨が降った際に水がうまく流れるのでしょうか?中には缶やごみ、コンクリートで詰まっている側溝もあります。掃除したくても重すぎて持ち上げることはできません。側溝の掃除は誰がするのでしょうか。(女性・60～69歳)
- ・水道水を美味しくしてほしいです(PFASが気にならない位)。(女性・18～29歳)
- ・水路の浄化をすすめていただきたい。(男性・50～59歳)
- ・下総中山駅付近の側溝の臭い(ドブ臭さ)が気になる。(女性・40～49歳)
- ・以前冠水の事で市に相談したところ、水が溢れているのは市川市の川だから対応できないと門前払いされました。もう少しでいいのでしっかりと話を聞いて考えてください。(男性・50～59歳)
- ・大雨が降った後に水はけが悪い。(女性・60～69歳)

【国際社会】

- ・外国人のマナー違反について指導してください。(男性・50～59歳)
- ・外国人移住者の増加で衛生面のモラル低下を懸念。犬の散歩でフンを他人の敷地にしたままにする人(中国人)、ごみ捨てルールを守らない人(東南アジア系)が自宅周辺で散見される。(男性・30～39歳)
- ・多文化共生という美名の元で、外国人による治安悪化を無視する政策は市の偽善であると思う。(男性・40～49歳)
- ・マナーの悪い外国人が増え続けているのでどうにかしてほしい。(女性・30～39歳)
- ・外国人の増加により、不安なことが増えた。(女性・18～29歳)
- ・外国人居住者が多くなりました。生活ルール他を守ることの必要、重要さをもっと知らしめる方法を!(男性・70歳以上)

【介護・福祉】

- ・東京に住んでいたもので、医療や福祉の面で格差を感じました。自治なので、それぞれ違うのは仕方ないことですが、これでは特に事情がない限り、東京に集中してしまいます(都内は高齢者の交通費はほぼ無料です)。(女性・50～59歳)
- ・福祉サービスとして無料や低価格で使えるサービスが充実してほしい。(女性・40～49歳)

- ・コロナの最中に他市は対策を検討し、現在混乱は見られないが船橋市は何もしていなかったため、介護保険の認定書類が溜まり滞っている。結果が出るまでにひどく時間がかかり市民に迷惑をかけている。退職をするような状況が続いた。現在は人材確保を名義に平等さにかける対応がある。詳細はぜひ上層部ではなく現場の声を聞いてほしい。(女性・60～69歳)

【障害者支援】

- ・家族に障害者（重度）がおります。早急に入所できるグループホームか入所施設を作ってください。船橋市は障害者福祉が遅れています。(女性・70歳以上)
- ・家族に重度身体障害者が居ますが、道が狭いなど設備が悪く、車椅子では通れる道がほとんどありません。道路も混んでいてタクシーもつかまえられず交通手段に困っています。誰でも通れるバリアフリーの道を増やしてほしいです。(女性・18～29歳)
- ・障害福祉のことについて、よく考えてほしい。(男性・18～29歳)
- ・個人的に思ったことですが、市川市、千葉市に比べて発達障害の子どもが通える教室、支援サービスが少ないと思います。(男性・30～39歳)

【地域社会・自治会】

- ・若い人たちの町会への入会が少なく、どのように声掛けしたらいいか。(女性・70歳以上)
- ・自治会活動がなくなるように働きかけてほしい。(男性・30～39歳)
- ・地区の方々の親睦を深め、隣人の人とのつながりが持てたら良いかなと思います。(女性・70歳以上)
- ・町会に加入しない人も出てきて、町会費を集める班長とかも大変な方も増えているので、市で管理できないか。(女性・70歳以上)

【空き家】

- ・独居や空家が多くなっている。(女性・70歳以上)
- ・隣人宅ですが、何年も留守ですので、植木、草木、自宅雑草など（車が傷つく）、隣の草木がはみ出て剪定して良いか困ってます。害虫が増えて、草木の蔓が伸びて困ってます。自宅の雑草は隣人に迷惑をかけないようにしてほしい。(道路、歩道にも木、草が伸びてきてる)（電線に巻き付きどうなるか怖いです、火事にならないと良いが）(男性・60～69歳)
- ・近所に人が住んでいなさそうな古い家があり、地震など災害時の被害が心配です。(女性・18～29歳)
- ・畑や田んぼがどんどん住宅地になり、自然が減っていることに憤りを感じる。その一方で空き家も多く、先にそちらをどうにかすべきではないか。(女性・30～39歳)
- ・多くはありませんが、廃屋の管理を市が積極的に持ち主に働きかけてほしい。民家からはみ出している庭木の枝が道路を狭くしている場合、近隣住民だとトラブルになり易いので方策を考えて頂きたい。(女性・70歳以上)

【たばこ】

- ・葛飾町2丁目に住んでいますが、周辺のオフィスで働く人々の外での喫煙が酷く、タバコのごみはかなり落ちているので、何とかしてほしいです（子どもが散歩で触ってしまう）。(女性・30～39歳)

- ・歩きタバコやめてほしい。(女性・18～29 歳)
- ・歩きタバコの取り締まりを強化していただきたいです。(女性・60～69 歳)
- ・西船橋駅付近でタバコや酒を路上で行う人が増えています。パトロールを見かけたことがないのですが、ぜひ行ってほしいです。(女性・18～29 歳)

IV. 調査票

令和6年度 船橋市 市民意識調査

船橋市のまちづくりについて あなたの声をお聞かせください

日頃より、船橋市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

市は、「人も まちも 輝く 笑顔あふれる船橋」を将来都市像として、市民の皆様が自分らしく輝くとともに、都市としての輝きも創出することで、笑顔の輪が広がり、さらに活気あふれるまちを目指しています。

本調査は、このようなまちを目指すうえで、市民の皆様の生活についての実感や日頃の行動などについてご意見をお聞かせいただき、これまでの市の取組みを評価するとともに、今後の市政運営に反映させるものとして行うものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、これまでの市の取組みに対する市民の皆様の実感をしっかりと把握し、今後の取組みや、まちづくりに生かしていくためにも、ぜひ、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査の実施にあたりましては、市内にお住いの満18歳以上の方の中から無作為に選んだ3,000名の方へお送りしています。

調査結果については、「広報ふなばし」や市のホームページなどで公表しますが、統計的に処理されます(この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。)ので、個人の考え方が公表されることはありません。また、調査の目的以外に使用することは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

令和6年9月

船橋市長 松戸 徹

～ ご記入にあたって ～

1. 調査票や返信用封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
2. ご記入は、必ず宛名のご本人がおこなってください。
3. ご記入は、黒や青のボールペン、濃い色の鉛筆などをご使用ください。
ご記入方法は、2ページ目の「**■ご回答にあたって■**」をご覧ください。
4. 「その他」を選んだ場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
5. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、

令和6年9月30日(月)まで にご投函ください。

6. ご不明の点などありましたら下記までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞ 〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号
船橋市 市民の声を聞く課
電話：047-436-2784 FAX：047-436-2789
e-mail：shiminnokoe@city.funabashi.lg.jp

■ ご回答にあたって ■

● 回答例（１）

以下のような質問については、選択肢の番号を「（〇は１つ）」と指示した数だけ〇で囲んでください。以下の例では、「１．愛着がある」と回答したことになります。

【問１】あなたは、「船橋市」に愛着を持っていますか。（〇は１つ）

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| ① 愛着がある | ３．あまり愛着がない | ５．わからない |
| ２．やや愛着がある | ４．愛着がない | |

● 回答例（２）

以下のように、選択肢として「その他」を選んでいただくと同時に記入をお願いする選択肢があります。そのような場合、カッコ内に必要な記入をお願いします。

【問２７】飲料水・食料品・薬（常備薬・処方薬）・携帯トイレを何日分備蓄していますか。

（〇は横方向に１つずつ）

※備蓄日数の目安は、１日３食×人数を、携帯トイレは、１日５回×人数を目安に算出してください。

①飲料水	１．１日分	２．３日分	３．１週間分	４．２週間分以上	⑤ その他 (５日分)	６．わからない	７．備蓄してない
------	-------	-------	--------	----------	----------------	---------	----------

● 回答例（３）

質問の前に、「問３０で「４．転倒防止をしておらず、今後もする予定はない」とお答えの方に）」などの網掛けされた記載がある質問については、該当する場合にのみご回答ください。

（問３０で「４．転倒防止をしておらず、今後もする予定はない」とお答えの方）

【問３１】家具の転倒防止をしていない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

- | |
|------------------|
| １．費用が掛かるから |
| ２．やり方がわからないから |
| ③ 面倒だから |
| ４．効果が期待できないから |
| ５．家具や壁を傷つけてしまうから |
| ６．その他（.....） |

● 回答例（４）

以下のように、別表の番号の記入をお願いする質問があります。

以下の例では、「市の施策（２５項目）」の番号を５つまで枠内に記入してください。

【問３８】次ページの「表 市の施策（２５項目）」について、どのように感じていますか。

- ① ここ数年でよかったもの
（５つまで選んで番号を記入してください）

1	4	21		
---	---	----	--	--

表 市の施策（２５項目）

番号	基本施策	施策の主な内容
1	健康増進	健康づくりの推進、疾病予防対策の充実、感染症対策等の健康危機管理の強化
2	地域医療	在宅医療の推進、難病患者等の支援体制の充実、医療提供体制の充実、救急医療体制の充実
3	高齢者福祉	生きがいづくりの推進、特別養護老人ホームの整備・介護人材の確保、相談支援体制の充実、家事援助等の生活支援の充実
4	地域福祉・生活困窮者支援	地域福祉の体制整備、生活困窮者への支援、包括的な相談支援体制の構築

このページは空白です。次の4ページからご回答ください。

1 「住みごころ」についてお聞きします

【すべての方に】

【問1】あなたは、「船橋市」に愛着を持っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 愛着がある | 3. あまり愛着がない | 5. わからない |
| 2. やや愛着がある | 4. 愛着がない | |

【問2】あなたは、今後も「船橋市」に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 3. できれば移転したい | 5. わからない |
| 2. しばらくは住み続けたい | 4. 移転したい | |

【問3】あなたは、「船橋市」を住みよいまちと感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------|
| 1. 住みよい | 2. まあまあ住みよい | ⇒問3-1へ |
| 3. あまり住みよくない | 4. 住みよくない | ⇒問3-2へ |
| 5. わからない | | ⇒問4へ |

（問3で「1. 住みよい」または「2. まあまあ住みよい」とお答えの方）

【問3-1】住みよいと感じるのはどのようなことですか。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから | 6. 公園などの憩いの場所が多いから |
| 2. 商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから | 7. 福祉の施設・制度が充実しているから |
| 3. 道路、下水道などの都市基盤が整備されているから | 8. 保健や医療の施設・体制が充実しているから |
| 4. 公民館、図書館などの社会教育・文化施設が充実しているから | 9. 親しみのある自然が残っているから |
| 5. スポーツ・レクリエーション施設が充実しているから | 10. 防災・防犯体制が充実しているから |
| | 11. 静かさなどの周辺環境がよいから |
| | 12. 近隣とのつきあいがうまくいっているから |
| | 13. その他 (.....) |
- ⇒問4へ

（問3で「3. あまり住みよくない」または「4. 住みよくない」とお答えの方）

【問3-2】住みよくないと感じるのはどのようなことですか。(○は2つまで)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 通勤・通学に不便だから | 6. 公園などの憩いの場所が少ないから |
| 2. 商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから | 7. 福祉の施設・制度が十分でないから |
| 3. 道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから | 8. 保健や医療の施設・体制が十分でないから |
| 4. 公民館、図書館などの社会教育・文化施設が十分でないから | 9. 自然が少ないから |
| 5. スポーツ・レクリエーション施設が十分でないから | 10. 防災・防犯体制が十分でないから |
| | 11. 騒音、大気汚染などがあり、周辺環境がよくないから |
| | 12. 近隣とのつきあいがうまくいっていないから |
| | 13. その他 (.....) |
- ⇒問4へ

2 「広報活動」についてお聞きます

【すべての方に】

【問4】 普段、情報入手するためによく利用する情報媒体は何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. パソコン | →問4-1 へ |
| 2. 携帯機器（スマートフォン、タブレット等） | |
| 3. 新聞 | |
| 4. テレビ（ケーブルテレビを除く） | |
| 5. ケーブルテレビ | |
| 6. ラジオ | |
| 7. その他（.....） | |

（問4で「1. パソコン」または「2. 携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」とお答えの方）

【問4-1】 普段よく利用（閲覧）するソーシャルメディア系サービス・アプリは何ですか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. LINE | 4. TikTok | 7. その他（.....） |
| 2. X | 5. Instagram | 8. 利用していない |
| 3. Facebook | 6. YouTube | |

【すべての方に】

【問5】 普段、市の事業やイベント情報などをどこから入手しますか。（〇はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. 広報ふなばし（紙） |
| 2. 広報ふなばし（電子媒体、スマートフォン用アプリ「マチイロ」など） |
| 3. 船橋市ホームページ |
| 4. ふなばし CITYNEWS（ケーブルテレビ／地上デジタル 11ch・YouTube） |
| 5. デジタルサイネージ（船橋駅前歩道橋デジタルサイネージ、庁舎にあるモニターなど） |
| 6. データ放送（チバテレビ※d ボタンの「市町村情報」） |
| 7. ふなばし情報メール・船橋市公式 LINE |
| 8. 船橋市公式 X |
| 9. 船橋市公式 Facebook |
| 10. 船橋市公式 YouTube |
| 11. 船橋市公式アプリ（「ふなっぶ」など） |
| 12. ふなばし市民便利帳 |
| 13. 地域の情報誌 |
| 14. 船橋市ホームページ以外のインターネット |
| 15. 新聞、新聞折り込み |
| 16. テレビ |
| 17. 家族や友人、知人との会話から |
| 18. その他（.....） |
| 19. 入手していない |

【問6】広報紙やホームページで知りたい情報は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 公共施設の利用案内 | 10. 消費生活や食生活など |
| 2. 催し物やイベント、サークル活動 | 11. 国民健康保険や国民年金の加入手続きなど |
| 3. 医療（予防接種、休日診療など） | 12. 市議会の活動内容 |
| 4. 都市計画や再開発のまちづくり | 13. ボランティア活動 |
| 5. 福祉（給付、貸付、サービスなど） | 14. 規制や公共サービスの有料化など |
| 6. 散策コースやレジャー | 15. 市勢や統計調査などの基礎データ |
| 7. 気象、防災 | 16. 環境（地球温暖化、水質、PM2.5 など） |
| 8. まちの話題 | 17. その他（.....） |
| 9. 教育、文化 | 18. 特にない・わからない |

【問7】「広報ふなばし」を読んでいますか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|--------|
| 1. よく読んでいる | 2. ときどき読んでいる | ⇒問7-1へ |
| 3. あまり読んでいない | | |
| 4. 読まない | | ⇒問7-4へ |

（問7で「1. よく読んでいる」「2. ときどき読んでいる」「3. あまり読んでいない」とお答えの方）

【問7-1】「広報ふなばし」をどこで入手していますか。次の中からすべて選んでください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 新聞折り込み | 5. 郵便局・銀行 |
| 2. 自宅にポスティング | 6. 商業施設 |
| 3. 公共施設（市役所・フェイス・出張所・公民館など） | 7. 船橋市ホームページ |
| 4. 駅スタンド | 8. スマートフォン用アプリ「マチイロ」 |
| | 9. その他（.....） |

【問7-2】「広報ふなばし」は月2回（1日・15日）発行しています。発行回数で好ましいものを、次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|---------|---------------|
| 1. 現行の通り | 2. 毎月1回 | 3. その他（.....） |
|----------|---------|---------------|

【問7-3】「広報ふなばし」は読みやすいですか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 読みやすい | ⇒問8へ |
| 2. 読みにくい | ⇒問7-5へ |

（問7で「4. 読まない」とお答えの方）

【問7-4】「広報ふなばし」を読まない理由を次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 読みにくい | ⇒問7-5へ |
| 2. 読みたい情報がない | |
| 3. 他の手段で情報を得ている（船橋市ホームページなど） | ⇒問8へ |
| 4. 入手方法がわからない | |
| 5. その他（.....） | |

（問7-3で「2. 読みにくい」とお答えの方）または、

（問7-4で「1. 読みにくい」とお答えの方）

【問7-5】読みにくいとされた具体的な理由をご自由にお書きください。

3 「生涯学習」についてお聞きします

船橋市では、生涯をとおして自分らしく学び続け、学びの成果を活かすことができる社会の実現を目指すため、船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）を策定し、生涯学習（※）の推進に取り組んでいます。

今後の生涯学習における施策を検討するにあたり、現在の生涯学習の取り組み状況等について把握するため、この調査を実施します。

ふなばし一番星プランは、右コードから確認することができます。



※ 生涯学習とは、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習を指します。

【すべての方に】

【問8】あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。（○は1つ）

- | |
|---------------------------|
| 1. 言葉も内容も知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない |
| 3. 聞いたことがない |

【問9】あなたは、この1年間に船橋市（公民館を含む）が主催した講演会・学習会・催し物に参加したことがありますか。（○は1つ）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. 知っていたが、都合が合わなかったので参加できなかった |
| 3. 知っていたが、参加したい内容ではなかった |
| 4. 知らなかった |

【問10】あなたは、継続して（※）何かを学んだり、活動したりしていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

（具体的な学びや活動の例）

・ 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること

- ・インターネットの知識・技能に関すること
- ・ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること
- ・自然体験や生活体験などの体験活動に関すること
- ・人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること
- ・健康やスポーツに関すること
- ・料理や裁縫などの家庭生活に関すること
- ・育児や教育に関すること
- ・音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
- ・文学や歴史、語学などの教養に関すること

※「継続して」とは、この1年くらいの間に、月に1日以上学びを行っている状態のこと。

同一の内容を継続して学んでいる場合だけでなく、様々な学びや活動を単発で行っている場合であっても、学びや活動を月に1日以上行っている場合には、「継続して」学んだり活動したりしているものとしします。

【問11】あなたは、学びの成果(※1)を自分以外のために活かしたいと思いますか。(※2)
(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 既に活かしている | 5. 活かそうとは思わない |
| 2. 今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている | 6. わからない |
| 3. どちらかといえば、活かしたい | 7. 自分以外のために活かせる学びの成果は特に持っていない |
| 4. どちらかといえば、活かそうと思わない | |

※1「学びの成果」とは、自分のこれまでの学びや活動を通じて得た知識・技術・技能などのこと。

※2「自分以外のために活かす」とは、仕事、地域や社会での活動、家庭・日常の生活、家族や友人等の健康の維持・増進などに役立てること。

【問12】今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか
(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など) |
| 2. インターネットに関すること |
| 3. ボランティア活動のために必要な知識・技能 |
| 4. 自然体験や生活体験などの体験活動 |
| 5. 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など) |
| 6. 健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など) |
| 7. 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など) |
| 8. 育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など) |
| 9. 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など) |
| 10. 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など) |
| 11. その他(.....) |
| 12. 学習をしたいとは思わない |
| 13. 特にない・わからない |

4 「公園」と「緑」についてお聞きします

船橋市では平成29年に「船橋市緑の基本計画【改定第2版】」を公表し、緑地の保全・緑化の推進・公園の整備等を進めております。令和7年に計画の中間年次を迎えることから、市民の皆様が身の回りの「公園」と「緑」についてどのように感じているか貴重なご意見を伺いたく調査を実施します。

※緑の基本計画【改定第2版】については右のコードからご確認ください。



【すべての方に】

【問13】「船橋市緑の基本計画」をご存じですか。(〇は1つ)

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 知らなかった

【問14】「船橋市緑の基本計画」では、都市の中でどこにでも緑が目に入り、ふれあうことのできる、都市と緑が共生する街づくりの実現をめざしています。お住まいの近くで日常的に目に入りふれあうことのできる緑はありますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|-------|
| 1. 少ないがある | |
| 2. 満足できる程度にある | →問15へ |
| 3. 多くある | |
| 4. まったくない | →問16へ |

(問14で「1. 少ないがある」「2. 満足できる程度にある」「3. 多くある」とお答えの方)

【問15】お住まいの近くにあるのはどのような緑ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 自宅（集合住宅等も含む）の緑 | 6. 田や畑などの緑 |
| 2. 近所の生け垣や庭木 | 7. 山林 |
| 3. 街路樹など道路の緑 | 8. 神社やお寺の緑 |
| 4. 学校や公共施設の緑 | 9. 河川沿いの緑 |
| 5. 公園や広場の緑 | 10. その他（.....） |

【すべての方に】

【問16】緑の量の変化についておたずねします。10年前と比べて自宅周辺の緑の量はどのように変化していますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 増えている | 4. 急速に減っている |
| 2. あまり変わらない | 5. わからない |
| 3. 少しずつ減っている | |

【問17】自宅から徒歩15分(距離1km)で行ける公園についてどのように感じていますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 満足 | ➡問17-2へ |
| 2. 不満 | |
| 3. わからない | ➡問18へ |

(問17で「1. 満足」または「2. 不満」とお答えの方)

【問17-2】「満足」、「不満」と感じるのはどのような点ですか。(自由記述)

【すべての方に】

【問18】公園の主な利用目的と利用頻度、滞在時間を教えてください。また、公園や緑が社会の中での役割を果たすためには、どのようなことが重要だと思いますか。それぞれの項目の重要度を表す数字に○をつけてください。(○は横方向に1つずつ)

利用目的(散歩・休憩・遊び・運動・その他())

利用頻度(月約 回) 滞在時間(1回あたり平均約 分)

		重要でない	普通	重要
① 遊びや体を動かす場	➡	1-----2-----3-----4-----5		
② 良好な景観の形成	➡	1-----2-----3-----4-----5		
③ 自然を感じる場	➡	1-----2-----3-----4-----5		
④ 地域社会の交流拠点	➡	1-----2-----3-----4-----5		
⑤ コミュニティ活動の場	➡	1-----2-----3-----4-----5		
⑥ 防災・減災機能	➡	1-----2-----3-----4-----5		
⑦ 地球温暖化の防止	➡	1-----2-----3-----4-----5		
⑧ 生き物生息環境の保全	➡	1-----2-----3-----4-----5		
⑨ 地域の資産価値の向上	➡	1-----2-----3-----4-----5		
その他()				

【問19】あなたが知っている「緑」に関する活動はどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. ふれあい花壇(公園の花壇に町会が植栽) | 6. 花苗サポーター(自宅で花苗を育成) |
| 2. 花壇コンテスト | 7. 親子自然散策会 |
| 3. 花と緑のジャンボ市(緑化イベント) | 8. 緑のカーテン(ゴーヤの苗配布) |
| 4. 緑や環境についての講座(まちづくり出前講座) | 9. その他(.....) |
| 5. 公園清掃委託制度(町会に公園清掃委託) | 10. ひとつも知らない |

【問20】「緑豊かなまちづくり」のために、あなたが取り組んでみたいこと（すでに取り組んでいること）はどれですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 玄関先等をプランターや鉢で緑化 | 7. 公園清掃・植樹等のボランティア |
| 2. 緑のカーテンで日よけ | 8. 緑化イベント・講座への参加 |
| 3. 庭やベランダでガーデニング | 9. 緑に関する募金や寄付 |
| 4. 家庭菜園等の野菜作り | 10. その他（.....） |
| 5. 花苗の育成 | 11. 特にない |
| 6. 生垣の育成・保全 | |

【問21】今後、市民の方が緑の環境づくりに関わっていくために、市のどのような支援が最も必要だと考えますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 活動をする場所の提供 | 5. 緑に関する情報の提供 |
| 2. 専門家等によるアドバイスや相談などの人的支援 | 6. 種や花苗の提供 |
| 3. 活動費用に対する助成 | 7. その他（.....） |
| 4. 活動に必要な道具等の提供 | 8. 特にない・わからない |

【問22】あなたのお住まいの地区で、地区の緑のシンボルとを感じる場所や、今後に残したい場所はどこですか。（○はいくつでも）また、その具体的な場所がわかれば（ ）内に記入してください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 身近に緑を感じる公園（ | ） |
| 2. 街路樹などの道路の緑（ | ） |
| 3. 公共施設（市役所、学校、公民館など）の緑（ | ） |
| 4. 市民の森などの自然林（ | ） |
| 5. 水田・農地（ | ） |
| 6. 河川・用水等の水辺環境や遊歩道（ | ） |
| 7. 歴史情緒を感じる神社・寺の緑（ | ） |
| 8. 船橋の地域性・文化を残す巨木・名木や屋敷林（ | ） |
| 9. 良好な緑地環境を維持する風致地区※（ | ） |
| 10. その他（ | ） |
| 11. 特にない・わからない | |

※風致地区とは、都市において自然的な要素に富んだ良好な自然的景観を維持し、都市環境の保全を図るために定めた地区で、市内に4地区（葛飾、中山競馬場、法典、滝不動）あります。建築物等の高さや規模等を抑えるなど、各種の行為に対して制限があります。

【問23】これからあなたはどんなところを重点に緑を保全し、または増やしていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 公園・広場 | 6. 企業のオフィス群や工場地帯 |
| 2. 学校・公共施設 | 7. 住宅街（庭、屋上緑化など） |
| 3. 道路（街路樹） | 8. その他（.....） |
| 4. 河川敷などの遊歩道 | 9. 特にない・わからない |
| 5. 中心市街地 | |

5 「災害への備え」についてお聞きします

本市の災害対策について

本市でも大きな被害が発生した東日本大震災から13年が経過するとともに、令和6年元日には最大震度7を観測した能登半島地震が発生し、石川県を中心に甚大な被害が発生しています。

また気象災害では、令和元年9月に台風第15号、10月に台風第19号が、連続して本市に接近し、家屋の損壊など大きな被害が発生しています。

この調査は、市民の皆さまの防災に対する日頃からの備えや、災害時の情報発信のあり方等について把握するために実施するものです。

【すべての方に】

【問24】日頃から災害への備えをしていますか。(○は1つ)

1. 備えをしている	→問25へ
2. 備えをしていない	→問28へ

【問24で「1. 備えをしている」とお答えの方】

【問25】どのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

1. 避難所・避難場所の確認	
2. 避難経路や避難方法の確認	
3. 安否確認の方法の確認	→問29へ
4. 住宅の耐震(補強)	
5. 隣近所との交流	※「8. 災害時に必要となるものの備蓄」選択した場合は問26へ
6. 防災訓練への参加	
7. その他()	
8. 災害時に必要となるものの備蓄	→問26へ

【問26】どのような品を備蓄していますか。(○はいくつでも)

1. 飲料水	
2. 食料品	
3. 常備薬(大衆薬)	→問27へ
4. 処方薬(常飲薬)	
5. 簡易・携帯トイレ	
6. 懐中電灯	
7. 電池、ポータブル充電器	→問30へ
8. 携帯ラジオ	※「1. 飲料水」～「5. 簡易・携帯トイレ」を選んだ場合は問27へ
9. 燃料	
10. 衣類	
11. その他()	

（問26で「1. 飲料水」から「5. 簡易・携帯トイレ」のいずれか1つでもお答えの方）

【問27】飲料水・食料品・薬（常備薬・処方薬）・携帯トイレを何日分備蓄していますか。

（○は横方向に1つずつ）

※備蓄日数の目安は、1日3食×人数を、携帯トイレは、1日5回×人数を目安に算出してください。

①飲料水	1. 1日分	2. 3日分	3. 1週間分	4. 2週間分以上	5. その他 ()	6. わからない	7. 備蓄していない
②食料品	1. 1日分	2. 3日分	3. 1週間分	4. 2週間分以上	5. その他 ()	6. わからない	7. 備蓄していない
③常備薬	1. 1日分	2. 3日分	3. 1週間分	4. 2週間分以上	5. その他 ()	6. わからない	7. 備蓄していない
④処方薬	1. 1日分	2. 3日分	3. 1週間分	4. 2週間分以上	5. その他 ()	6. わからない	7. 備蓄していない
⑤簡易・携帯トイレ	1. 1日分	2. 3日分	3. 1週間分	4. 2週間分以上	5. その他 ()	6. わからない	7. 備蓄していない

→問30へ

（問24で「2. 備えをしていない」とお答えの方）

【問28】備えをしていない理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 避難経路や避難方法の確認方法がわからないから
2. 安否確認の手段がわからないから
3. 費用がかかるから
4. 隣近所と交流を持つことに抵抗を感じているから
5. 保管場所を確保できないから
6. 面倒だから
7. 気にならないから
8. その他（.....）

（問25で「8. 災害時に必要となるものの備蓄」を選ばなかった方）

【問29】備蓄していない理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 避難場所へ行けばどうにかなるから
2. 地震発生後に調達すればよいから
3. 費用がかかるから
4. 賞味期限等の管理が難しいから
5. 食料不足はないと思うから
6. 町会・自治会で備蓄しているから
7. 備蓄する意識がないから
8. 保管場所を確保できないから
9. その他（.....）

【すべての方に】

【問30】家具の転倒を防止するために何かしていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 転倒防止をしている | ➡問32へ |
| 2. 今後転倒防止をする予定 | |
| 3. 転倒する家具がない、転倒しても危険ではない | |
| 4. 転倒防止をしておらず、今後もする予定はない | ➡問31へ |

(問30で「4. 転倒防止をしておらず、今後もする予定はない」とお答えの方)

【問31】家具の転倒防止をしていない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------|
| 1. 費用が掛かるから |
| 2. やり方がわからないから |
| 3. 面倒だから |
| 4. 効果が期待できないから |
| 5. 家具や壁を傷つけてしまうから |
| 6. その他 (.....) |

【すべての方に】

【問32】地震が引き起こす電気火災を防止するために「感震ブレーカー(※)」を設置していますか。(○は1つ)

※感震ブレーカーとは…地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める装置

- | |
|-------------------------------|
| 1. 設置している(設置されている) |
| 2. 設置していないが今後する予定 |
| 3. 設置しておらず今後もする予定はない |
| 4. 賃貸住宅・社宅・寮のため、今後の設置予定はわからない |

【問33】防災行政無線では、地震や津波など緊急情報の他に、「迷子・行方不明者情報」や「振り込め詐欺注意喚起」等を、音量を調整して放送しています。平常時の防災行政無線の聞こえ方について、お答えください。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. よく聞こえる |
| 2. だいたい聞こえる |
| 3. 聞こえにくい(音は聞こえるが何を言っているのかわからない) |
| 4. まったく聞こえない |
| 5. その他 (.....) |
| 6. わからない |

【問34】緊急地震速報や土砂災害警戒情報が発表された際には、Jアラート（全国瞬時警報システム）を通じて、防災行政無線を最大音量で放送しています。災害時の防災行政無線の聞こえ方について、お答えください。（〇は1つ）

※最大音量・・・例年5月、8月、11月、2月頃の訓練放送の音量

1. よく聞こえる
2. だいたい聞こえる
3. 聞こえにくい（音は聞こえるが何を言っているのかわからない）
4. まったく聞こえない
5. その他（.....）
6. わからない

【問35】ホームページやメール、SNSなどを利用する際、どのような機器でご覧になりますか。（〇はいくつでも）

1. パソコン
2. タブレット
3. スマートフォン
4. フィーチャーフォン
5. その他（.....）
6. インターネットを閲覧する環境がない

【問36】市では、気象警報や避難所開設情報などを、ホームページやメール、SNSなどで配信しています。利用しているものをお答えください。（〇はいくつでも）

1. 「ふなばし災害情報」を「ふなばし情報メール」で受信している
2. 「ふなばし災害情報」をLINEで受信している
3. 市ホームページで確認している
4. 市公式 X を受信している
5. 危機管理課 Facebook で確認している
6. 市公式アプリ「ふなっぶ」で確認している
7. その他（.....）
- 8.どれも利用していない

【問37】現在、市ホームページでは、住所検索が可能なデジタル版ハザードマップを公開しております。利用状況について教えてください。（〇は1つ）



デジタル版ハザードマップ

住所検索の利用方法

➡ 右上の「三」マークをタップし、「住所検索」を選択

1. デジタル版ハザードマップを利用したことがある
2. デジタル版ハザードマップを知っているが、利用したことはない
3. デジタル版ハザードマップを知らない

6 「市の施策」についてお聞きます

【問38】次ページの「表 市の施策（25項目）」について、どのように感じていますか。

- ① ここ数年でよかったもの
（5つまで選んで番号を記入してください）

--	--	--	--	--

「25. その他」を回答した場合は、具体的内容をお書きください。

- ② 力を入れるべきもの
（5つまで選んで番号を記入してください）

--	--	--	--	--

「25. その他」を回答した場合は、具体的内容をお書きください。

表 市の施策（25項目）

番号	基本施策	施策の主な内容
1	健康増進	健康づくりの推進、疾病予防対策の充実、感染症対策等の健康危機管理の強化
2	地域医療	在宅医療の推進、難病患者等の支援体制の充実、医療提供体制の充実、救急医療体制の充実
3	高齢者福祉	生きがいづくりの推進、特別養護老人ホームの整備・介護人材の確保、相談支援体制の充実、家事援助等の生活支援の充実
4	地域福祉・生活困窮者支援	地域福祉の体制整備、生活困窮者への支援、包括的な相談支援体制の構築
5	障害福祉	障害への理解の促進、相談・生活支援の充実
6	国民健康保険・介護保険	国民健康保険事業の適正な運営、介護保険事業の適正な運営
7	子ども・子育て支援	教育・保育の充実、子供の健全な育成、妊娠期から子育て期にわたる支援、特別な配慮を要する子供への支援、ひとり親家庭等の自立支援、児童虐待防止対策の強化
8	学校教育	教育内容の充実、特別支援教育の推進、不登校児童生徒や帰国・外国人生徒への支援等のニーズに応じた支援の充実、教育体制の整備
9	生涯学習	多様な学習ニーズへの対応と充実した学習機会の提供、学習と活動の循環
10	文化・スポーツ	文化振興、文化財の保存・活用、スポーツ振興
11	防災・減災	地域防災力の向上、防災体制の充実、都市防災機能の向上
12	消防	火災予防の推進、消防体制の充実、救急体制の充実
13	市民活動	市民活動への支援と協働の推進、町会・自治会活動の促進
14	多文化共生・男女共同参画・平和	国際交流・多文化共生の推進、男女共同参画の推進、平和施策の推進
15	住まい	市営住宅の供給や民間賃貸住宅への入居支援等の住宅セーフティネットの充実、住宅バリアフリー化の支援等の住宅ストックの適正な管理と質の向上
16	生活安全・生活衛生	交通安全意識の啓発、防犯体制の充実、安心できる消費生活の確立、生活衛生の向上
17	商工業	商業環境の整備、企業活動の活性化支援、安定的な雇用の確保、卸売市場の機能強化・充実
18	農水産業	新規就農者・漁業就業者の育成等の人材育成と農地活用、流通・販売の強化
19	計画的な都市づくり	持続可能なまちづくり、JR 南船橋駅南口市有地活用事業や海老川上流地区のまちづくりの推進等の良好な市街地の整備
20	道路・交通	歩行者空間の整備、自転車利用環境の整備、道路ネットワークの構築、地域公共交通の活性化
21	污水处理	下水道の整備と管理、し尿処理体制の充実
22	自然との共生	自然を活かした水辺の整備、緑の保全と公園緑地の整備、生物多様性の保全・利用
23	環境負荷の低減	ごみの適正処理、地球温暖化対策の推進、生活環境の保全
24	広報広聴・魅力発信	広報広聴機能の充実、魅力発信の充実
25	その他	

7 「回答していただいた方」についてお聞きます

【F1】性別を教えてください。(〇は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他 ※自認する性別を選んでください

【F2】年齢を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

【F3】職業を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 農業・漁業 | 6. 学生（予備校生を含む） |
| 2. 会社員・公務員 | 7. 専業主婦（主夫） |
| 3. 自営・自由業・経営者 | 8. 無職（年金生活を含む） |
| 4. 家族従業（1を除く）※ | 9. その他（.....） |
| 5. アルバイト・パート・契約（派遣）社員 | |

※「家族従業」とは、個人事業主の家族で、その事業を手伝っている者

【F4】世帯状況を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） | 4. 三世帯世帯（親と子と孫など） |
| 2. 一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ） | 5. その他（.....） |
| 3. 二世帯世帯（親子など） | |

【F5】「船橋市」に何年くらいお住まいですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 4. 20年以上 |
| 2. 5年以上10年未満 | 5. 生まれたときから |
| 3. 10年以上20年未満 | |

【F6】現在お住まいの地区を教えてください。

次ページの「表 居住地区一覧」から該当する「地区の番号」を1つ記入してください。

【F7】現在お住まいのところに住む以前は、どちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 生まれたときから現在のところ | 4. 東京都・神奈川県・埼玉県 |
| 2. 船橋市内の他の地区 | 5. 「1～4」以外の道府県 |
| 3. 千葉県の他の市町村 | 6. 日本国外 |

「 表 居住地区一覧 」

番号	地区名	住所
1	宮本	宮本、市場、東船橋、東町、駿河台
2	湊町	本町3丁目、湊町、浜町、若松、日の出、西浦、栄町、潮見町、高瀬町
3	本町	本町1～2丁目・4～7丁目
4	海神	南本町、海神、海神町、海神町東・西・南、南海神
5	葛飾	山野町、印内町、葛飾町、本郷町、古作町、古作、西船、印内、東中山
6	中山	二子町、本中山
7	塚田	旭町、行田町、行田、山手、北本町、前貝塚町
8	法典	丸山、上山町、馬込町、馬込西、藤原
9	夏見	夏見、夏見町、夏見台、米ヶ崎町
10	高根・金杉	高根町、金杉町、金杉、金杉台、緑台
11	高根台	高根台1～6丁目
12	新高根・芝山	芝山、新高根、高根台7丁目
13	前原	前原東、前原西、中野木
14	二宮・飯山満	二宮、飯山満町、滝台町、滝台
15	薬円台	薬円台、薬園台町、七林町
16	三山・田喜野井	三山、田喜野井、習志野
17	習志野台	習志野台、西習志野
18	二和	二和東、二和西
19	三咲	三咲町、三咲、南三咲
20	八木が谷	八木が谷町、咲が丘、みやぎ台、八木が谷、高野台
21	松が丘	松が丘
22	大穴	大穴町、大穴南、大穴北
23	豊富	小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町
24	坪井	坪井町、坪井東、坪井西

8 自由意見

最後に、「住みごころ」、「広報活動」、「生涯学習」、「公園と緑」、「災害への備え」、「市の施策」について、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

以上で質問は終了です。
ご協力ありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**9月30日（月）までに**
ご投函ください。

（お知らせ）

- ・調査結果及び活用状況は、船橋市ホームページにて公表いたします。
- ・ご希望の方には、調査結果概要版（ふなばしタウンレポート）と活用状況を
送付いたしますので、市民の声を聞く課までメール、電話、FAXにてご連絡
ください。（送付の時期は、ホームページ公表後の来年4～5月頃になります）
- ・ご連絡先は、表紙（1ページ目）の枠内に記載してあります。
- ・市政に対するご意見・ご要望がある場合は、以下、市ホームページからお問い合
わせください。

お問い合わせ・ご意見・ご要望

検索

<eモニター募集のご案内>

市ではインターネットを活用したWeb調査の導入を検討しています。インターネットを活用することで、より鮮度の高い、より多くの市民の皆様の声を市政に反映できる等のメリットがあると考えております。

この度、実証事業を行うため、ご協力いただけるeモニターを募集いたします。

👉下記コードから登録が可能です👉



※eモニターとは、Web調査を通じて市政に対する
意見を述べるモニターとして登録した市民を言います。

都市宣言

スポーツ健康都市宣言（昭和五十八年十月十日）

私たち船橋市民は、地域に根ざしたスポーツ活動を通じて健康で豊かな心とからだを育て、活力ある近代的な都市をめざして、ここにスポーツ健康都市を宣言します。

- 一、市民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康な生活を営もう。
- 一、みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり、こどもを健やかに育てよう。
- 一、スポーツを通じて、いきいきとした地域の輪を広げよう。
- 一、スポーツを通じて多くの仲間とふれあい、はすむ心を世界に伸ばそう。

平和都市宣言（昭和六十一年十二月十九日）

船橋市は、現在人口五十一万人を擁する首都圏有数の中核都市に成長し、第二の飛躍期を迎えている。そして、「活力ある近代的都市」を市政の目標に掲げ、より豊かな福祉社会実現のため懸命な努力を続けているところである。

しかし、郷土船橋の限らない繁栄は、日本の安全と世界の恒久平和なくしては望み得ないものである。

私たち船橋市民は、世界の恒久平和を願い、我が国の国是である非核三原則を遵守し、平和を脅かす核兵器の廃絶を目指して最大の努力を払うことを決意し、ここに「平和都市」を宣言する。

福祉と緑の都市宣言（平成四年九月十四日）

船橋市は、今や人口五十四万人を擁する首都圏屈指の中核都市へと成長し、二十一世紀に向けさらに大きく飛躍しようとしております。

私たち船橋市民は、緑豊かな環境の中で、お年寄りや障害をもつ方々を大切にする優しい心をはぐくみ、次代を担う子供たちが、すくすくと成長できる生きがいと温もりに満ちたまちづくりを目指し、ここに「福祉と緑の都市」を宣言いたします。

令和 6 年度 市民意識調査報告書

令和 7 年 2 月発行

- 【発 行】 〒273-8501 船橋市湊町 2 丁目 10 番 25 号
船橋市市長公室 市民の声を聞く課
☎ 047 (436) 2784 (直通)
ホームページ <https://www.city.funabashi.lg.jp/>
メールアドレス shiminokoe@city.funabashi.lg.jp
- 【実 施】 〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬 1 丁目 3 番地
幕張テクノガーデン CB 棟 3 階 MBP
株式会社 総合企画 千葉事務所
☎ 043 (330) 3600 (代表)

●この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。

